

No. 074

昭和60事業年度

収入支出予算明細書

国際協力事業団

昭和六十事業年度 収入支出予算明細書

国際

000
36
FAF

CR

JICA LIBRARY



1033485[2]

国際協力事業団	
受入 月日 '85. 6. 28	000
登録No. 11670	36
	FAF

目 次

一般勘定収入-----	1
(款) 交付金収入-----	5
(款) 出資金収入-----	5
(款) 雑収入-----	5
(款) 他勘定より受入-----	21
一般勘定支出-----	23
(款) 管理費-----	25
I 業務運営に必要な経費-----	25
1. 一般業務経費-----	25
(1) 人件費-----	25
(2) 管理経費-----	39
(3) 運営審議会経費-----	81
(4) 職員研修経費-----	81
2. 海外事務所に必要な経費-----	88
3. 国際協力計画調整調査及び効果測定経費-----	114
4. 情報管理に必要な経費-----	119
5. 電子計算機関係に必要な経費-----	127
6. 広報に必要な経費-----	136

7. 青年海外協力隊業務に必要な経費-----	147
(1) 協力隊事務局経費-----	147
(2) 駒ヶ根訓練所経費-----	154
II. 事業運営に必要な経費-----	157
1. 研修員受入業務経費-----	157
2. 帰国研修員アフターケア業務経費-----	161
3. アセアン青年招へい経費-----	163
4. 専門家派遣業務経費-----	168
5. 専門家フォローアップ業務経費-----	171
6. 機材供与業務経費-----	173
7. 特殊機材仕様書等作成経費-----	176
8. 技術協力センター業務経費-----	179
9. 保健医療協力業務経費-----	184
10. 農林業協力業務経費-----	190
11. 産業開発協力業務経費-----	194
12. 地域別・国別計画調査及び調整に必要な経費-----	197
13. 開発調査業務経費-----	201
14. 開発協力業務経費-----	205
15. 開発投資業務経費-----	207

16. 無償協力業務経費	210
Ⅲ. 附属機関及び国内支部に必要な経費	212
1. 附属機関に必要な経費	212
(1) 国際研修センター業務に必要な経費	212
(2) 海外移住センター業務経費	216
(3) 海外移住研修所業務経費	219
(4) 国際協力総合研修所に必要な経費	224
2. 国内支部に必要な経費	226
Ⅳ 予 備 費	231
(軟) 海外技術協力事業費	232
1. 研修員受入費	232
2. アセアン青年招へい費	261
3. 専門家派遣費	286
4. 機材供与費	305
5. 技術協力センター費	309
6. 保健医療協力費	358
7. 人口家族計画協力費	391
8. 農林業協力費	411
9. 産業開発協力費	443
10. 青年海外協力隊派遣費	462

11. 専門家等福利厚生費	495
12. 専門家養成確保費	503
13. 開発調査費	525
14. 開発協力費	593
15. 無償資金協力費	615
(軟) 海外移住事業費	631
1. 移住業務の調査統計に必要な経費	631
(1) 移住業務調査統計費	631
(2) 農業情報収集費	640
(3) 出資企業監督調査費	643
(4) 伯国移住対策調査費	644
(5) 中南米移住地自立安定対策調査費	644
2. 海外移住知識の普及および相談幹施に必要な経費	646
3. 訓練講習に必要な経費	671
4. 移住者の送出事業に必要な経費	703
5. 海外開発青年制度に必要な経費	714
6. 移住者の援助指導に必要な経費	722
(1) 啓蒙普及費	722
(2) 医療衛生対策費	763
(3) 教育対策費	784
(4) 生活環境整備費	802
(5) 道路対策費	808

(6) 移住地電化対策費	812
(款) 出資金等施設整備費	813
国内研修施設勘定収入	819
国内研修施設勘定支出	825
開発投融资勘定収入	833
開発投融资勘定支出	857
入植地勘定収入	863
入植地勘定支出	871
移住投融资勘定収入	885
移住投融资勘定支出	889
受託等事業勘定収入	895
(款) 受託事業収入	897
(款) 直営事業収入	898
受託等事業勘定支出	899
(款) 海外開発計画調査事業費	901
(款) 直営事業費	915

(参考)

1. 国際協力事業団年度別認可予算額総表	919
2. 昭和60年度一般勘定外職員定員表	920
3. 昭和60年度自己収入見合等の収入支出予算	921
4. 昭和60年度人件費認可予算総括表(交付金ベース)	923

一 般 勘 定

収 入 の 部

(5)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(款) 交付金収入	(77,078,730) 77,734,413	84,271,424	6,537,011	(注) 1. 前年度予算額欄の上段()内額は、補正後の予算額である。 なお、前年度比較額は当初予算である。 2. 積算基礎の欄の⊕の表示は、外貨関連経費を示す。 3. 積算基礎の欄の⊖の表示は、原則節約対象除外経費を示す。
(項) 管理費収入	(12,203,365)			
(目) 管理費収入	12,313,917	12,667,064	353,147	
(項) 海外技術協力費業費収入	(62,945,816)			
(目) 海外技術協力費業費収入	63,419,683	69,538,761	6,119,078	
(項) 海外移住事業費収入	(1,929,550)			
(目) 海外移住事業費収入	2,000,813	2,065,599	64,786	
(款) 出資金収入				
(項) 出資金収入	(4,590,000)			
(目) 出資金収入	4,651,000	4,324,000	△ 327,000	
(款) 雑収入				
(項) 雑収入	(1,111,384)			
(目) 利息収入	1,111,388	1,087,107	△ 24,277	
	(503,302)			
	503,302	524,973	21,671	

(6)

(単位：千円)

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 所属先給与補てん収入	(224,205) 224,205	265,761	41,556	<p>1. 技術協力派遣職員給与</p> $\begin{matrix} (405,800) & (552.5) \\ 418,400円 & \times 563人・月 \end{matrix} = 235,559 (224,205)$ <p>2. ライフワーク専内家</p> <p>(1) 国内俸 $\begin{matrix} (430,000) \\ 443,300円 \end{matrix} \times 6月 \times 10人 = 26,600(0)$</p> <p>(2) 社会保険掛金 $\begin{matrix} (430,000) \\ 443,300円 \end{matrix} \times 6月 \times 10人 \times \frac{13.4}{1,000} = 3,602(0)$</p> <p>計 (1) + (2) 30,202(0)</p> <p>合計 1 + 2 265,761(224,205)</p>

(7)
(単位：千円)

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
(目)家賃収入	(159,507) 159,507	161,590	2,083	1. 職員宿舍収入 50,382千円(49,995)						
				地区	職員住宅名	旧家賃額	新家賃額	月数	戸数	金額
				東京	新原町田グリーンハイツ(A)	14,000 ^円	14,000 ^円	12	9	1,512,000 ^円
					新原町田グリーンハイツ(B)	14,500	14,500	12	3	522,000
					南海神	13,400	13,400	12	2	321,600
					西八王子ハイツ	18,800	17,800	12	17	3,631,200
					宮前平グリーンハイツ(A)	15,000	15,000	12	10	1,800,000
					鎌ヶ谷グリーンハイツ(A)	11,000	11,000	12	10	1,320,000
					鎌ヶ谷グリーンハイツ(B)	14,200	14,200	12	10	1,704,000
					京王北野	18,800	18,800	12	2	451,200
					所沢(A)	18,100	18,100	12	8	1,737,600
					所沢	5,300	5,000	12	8	480,000
					めじろ台ハイム	18,400	17,300	12	10	2,076,000
					八王子セントラル	20,000	20,000	12	12	2,880,000
					八王子千人町ハイム	33,200	33,200	12	1	398,400
					町屋ハイム	15,300	15,300	12	12	2,203,200
					ウインザーハイム宮前平	17,100	17,100	12	4	820,800
					相模大野(A)	7,800	7,800	12	10	936,000
					相模大野(B)	9,600	9,600	12	1	115,200
					根岸住宅	11,300	11,300	12	12	1,627,200
					相武台(A)	13,400	13,400	12	6	964,800
					相武台(B)	9,300	9,300	12	4	446,400

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎						
				地区	職員住宅名	旧家賃額	新家賃額	月数	戸数	金額
				東京	篠原町	19,400円	17,600円	12	2	422,400円
					葛西スカイハイツ	18,900	18,900	12	6	1,360,800
					パイロット東村山	23,200	23,200	12	4	1,113,600
					第三聖蹟桜ヶ丘	21,400	21,400	12	4	1,027,200
					見次公園ハイデンス(A)	18,800	18,800	12	2	451,200
					見次公園ハイデンス(B)	19,500	19,500	12	1	234,000
					コープ府中 (A)	22,300	23,400	12	1	280,800
					コープ府中 (B)	22,300	23,600	12	1	283,200
					三軒茶屋	5,100	5,100	12	6	367,200
					高円寺	5,700	5,700	12	14	957,600
					小岩	6,100	6,100	12	16	1,171,200
					小岩 (B)	6,300	6,300	12	4	302,400
					ハイネス立川	4,700	4,700	12	2	112,800
					相武台 (独身)	4,300	4,300	12	10	516,000
					新規購入物件 1 (59)	16,700	16,700	12	1	200,400
					" 2 (60)	0	21,500	8	2	344,000
				神奈川	横須賀ハイム (A)	14,500	14,500	12	1	174,000
					横須賀ハイム (B)	23,000	23,000	12	1	276,000
					湘南長沢グリーンハイツ	21,800	21,000	12	1	252,000
				大阪	南春日丘	10,400	10,400	12	2	249,600
					南春日丘	11,100	11,100	12	2	266,400

(9)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
				地区	職員住宅名	旧家賃額	新家賃額	月数	戸数	金額
				大阪	桃山台	16,400 ^円	16,400 ^円	12	2	393,600 ^円
					桃山台(B)	14,400	14,400	12	1	172,800
					ルネ千里丘	19,800	19,800	12	6	1,425,600
					ピアン面岩	17,000	17,000	12	1	204,000
					メゾン新大阪(A)	15,500	15,500	12	1	186,000
					メゾン新大阪(B)	10,100	10,100	12	2	242,400
					メゾン新大阪(C)	9,000	9,000	12	2	216,000
				結屋	名古屋センター	12,500	12,500	12	1	150,000
					ハイツサンライズ	20,700	20,700	12	1	248,400
					日進町	9,200	9,200	12	2	220,800
					平和が丘サンハイツ	32,000	32,000	12	1	384,000
					名鉄新栄町ハイツ	21,900	19,400	12	1	232,800
					パールマンション金山	20,400	20,400	12	1	244,800
					エスポア-社	7,100	7,100	12	2	170,400
				兵庫	須磨-の谷グリーンハイツ	13,600	13,600	12	2	326,400
					須磨-の谷グリーンハイツ	14,600	14,600	12	1	175,200
					甲南本山コーポラス	11,400	11,400	12	1	136,800
				筑波	筑波センター構外	17,900	16,600	12	12	2,390,400
					筑波センター構外	9,900	9,300	12	6	669,600
				長野	駒ヶ根構外	13,800	13,800	12	4	662,400

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
				地区	職員住宅名	旧家賃額	新家賃額	戸数	戸数	金額
				群馬	海外移住研修所	9,500 ^円	9,500 ^円	12	5	570,000 ^円
				北越	G Sハイム中島公園	17,800	17,800	12	1	213,600
				東北	コープ野村	16,300	16,300	12	1	195,600
				九州	スカイマンション高宮	23,800	23,800	12	2	571,200
					エクセルハイツ	24,000	24,000	12	1	288,000
				沖縄	ロイヤルマンション源崎	19,100	19,100	12	1	229,200
					新規購入物件	0	21,500	8	2	344,000
					小計					47,574,400
				(備上職員住宅)						
				北海道	北海道支部		5,600	12	1	67,200
				東北	東北支部 (1)		6,000	12	1	72,000
					" (2)		11,300	12	1	135,600
				近畿	中部支部		7,300	12	1	87,600
				中国	中国支部 (1)		16,100	12	1	193,200
					" (2)		9,200	12	1	110,400
					" (3)		7,400	12	1	88,800
				四国	四国支部 (1)		11,500	12	1	138,000
					" (2)		7,500	12	1	90,000
				九州	九州支部 (1)		11,500	12	1	138,000
					" (2)		5,000	12	1	60,000

(11)
(單位：千円)

事項及科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
				地区	職員住宅名	旧家賃額	新家賃額	戸数	戸数	金額
				九州	九州支部(3)		6,300円	12	1	75,600円
					・ (4)		5,400	12	1	64,800
				神奈川	神奈川国際センター(1)		5,400	12	1	64,800
					・ (2)		12,000	12	1	144,000
					・ (3)		16,500	12	1	198,000
				長野	駒ヶ根訓練所		8,000	12	1	96,000
				沖縄	沖縄国際センター(1)		20,600	12	1	247,200
					・ (2)		18,800	12	1	225,600
					・ (3)		13,300	12	1	159,600
					・ (4)		12,800	12	1	153,600
					・ (5)		16,500	12	1	198,000
					小計					2,808,000
					合計					50,382,400
				2. 厚生施設利用収入(伊東・那須・箱根・勝浦保養所) 3,785千円						
				(1) 伊東 1,000円 x 470人 = 470,000円						
				(2) 那須 1,000円 x 210人 = 210,000円						
				(3) 箱根 1,500円 x 870人 = 1,305,000円						
				(4) 勝浦 1,500円 x 1,200人 = 1,800,000円						
				計 3,785,000円						

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎						
					3. 派遣職員用借上げ住宅収入 107.423 (105.727)						
派遣地域	氏名	住居手当の号	契約家賃の日額			年間借上住宅使用料			積算基礎	契約期間	
			現地通貨	円貨	邦貨	月数	円貨	邦貨			
マニラ	A	1	P 30.000	1,500.75	355.677	12	5,228.41	1,239.133	#1,500.75 x 331月 x 237 = 1,239.133	58.7.16 ~ 60.7.15	
			P 33.000	1,650.82	391.244		13,659.87	3,237.389		#1,604 x 237 = 3,237.389	60.7.16 ~ 61.7.15
	B	2	P 23.000	1,150.57	272.685	12	10,355.13	2,454.165	#1,150.57 x 9月 x 237 = 2,454.165	60.1.1 ~ 60.12.31	
			P 25.000	1,250.62	296.396		3,751.86	889.190		#1,250.62 x 3月 x 237 = 889.190	61.1.1 ~ 61.12.31
	C	4	P 19.000	950.42	225.261	12	3,158.01	748.448	#950.42 x 361月 x 237 = 748.448	59.7.11 ~ 60.7.10	
			P 20.000	1,000.50	237.118		8,681.75	2,057.574		#1,000.50 x 237月 x 237 = 2,057.574	60.7.11 ~ 61.7.10
	D	3	P 18.000	900.45	213.406	12	3,834.17	908.698	#900.45 x 471月 x 237 = 908.698	59.8.8 ~ 60.8.7	
			P 22.000	1,100.85	260.830		8,520.38	2,019.330		#1,100.85 x 237月 x 237 = 2,019.330	60.8.8 ~ 61.8.7
	E	4	P 14.000	700.35	165.982	12	2,101.05	497.943	#700.35 x 3 x 237 = 497.943	59.7.1 ~ 60.6.31	
			P 20.000	1,000.50	237.118		9,004.50	2,134.066		#1,000.50 x 9 x 237 = 2,134.066	60.7.1 ~ 61.6.31
	F	2	P	25.000	1,250.62	296.396	12	15,087.44	3,556.763	#1,250.62 x 12 x 237 = 3,556.763	60.4.1 ~ 61.3.31
				小計					19,742.704		
ジャカルタ	G	1	# 1.900	1.900	450.300	12	19.380	4,593.060	#1,615 x 12 x 237 = 4,593.060	58.9.1 ~ 61.8.31	
	H	1	# 1.850	1.850	438.450	12	19.380	4,593.060	#1,615 x 12 x 237 = 4,593.060	59.11.11 ~ 62.11.10	
	I	3	# 1.360	1.360	322.320	12	14.352	3,401.424	#1,196 x 12 x 237 = 3,401.424	58.5.14 ~ 61.5.13	
	J	3	# 1.200	1.200	284.400	12	14.352	3,401.424	#1,196 x 12 x 237 = 3,401.424	57.9.12 ~ 60.9.11	
			# 1.495	1.495	354.315					60.9.12 ~ 63.9.11	
	K	2	# 1.600	1.600	379.200	12	16.512	3,913.344	#1,376 x 12 x 237 = 3,913.344	59.10.9 ~ 62.10.8	
	L	4	# 1.150	1.150	272.550	12	12.924	3,062.988	#1,077 x 12 x 237 = 3,062.988	59.10.4 ~ 62.10.3	

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
派遣地域	氏名	住居手 当の号	契約家賃の月額			年間借上住宅使用料			積算基礎	契約期間
			現地通貨	円貨	邦貨	月数	円貨	邦貨		
	M	3	¥ 1,495	1,495	354,315	12	14,352	3,401,424	# 1,176 × 12 × 237 = 3,401,424	60.2.16 ~ 63.2.16
	N	3	¥ 1,495	1,495	354,315	12	14,352	3,401,424	# 1,176 × 12 × 237 = 3,401,424	60.4.1 ~ 63.3.31
							小計	29,768,148		
グニカ	O	1	TK 15,000	591.71	140,235	12	7,988.12	1,893,184	# 591.71 × 2 × 237 = 280,470	59.6.1 ~ 60.5.31
			TK 17,250	680.47	161,271				# 680.47 × 10 × 237 = 1,612,714	60.6.1 ~ 61.5.31
	P	2	TK 15,700	619.32	146,778	12	7,885.49	1,868,861	# 619.32 × 7 × 237 = 1,027,461	59.10.1 ~ 60.9.30
			TK 18,000	710.05	168,781				# 710.05 × 5 × 237 = 841,410	60.9.30 ~ 61.9.30
Q	4	TK 15,000	591.71	140,235	12	7,587.77	1,798,306	# 691.71 × 5 × 237 = 787,126	59.9.20 ~ 60.9.19	
		TK 17,250	680.47	161,271				# 668 × 6 1/2 × 237 = 1,011,180	60.9.20 ~ 61.9.19	
						小計	5,560,351			
リヤド	R	2	SR 17,083.33	4,812.20	1,140,491	12	57,746.40	13,685,896	# 4,812.20 × 12 × 237 = 13,685,896	59.6.12 ~ 61.6.11
ランブーン	S	1	K 6,000			12	8,606.04	2,029,631	# 717.17 × 12 × 237 = 2,029,631	59.6.30 ~ 60.6.29
			K 6,000	717.17	169,949					
	T	3	K 5,000			12	6,540	1,549,980	# 545 × 12 × 237 = 1,549,980	59.6.1 ~ 60.5.31
			K 5,000	597.64	141,640					
						小計	3,589,611			

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
派遣地域	氏名	住居手 当の号	契約家賃の月額			年間借上住宅使用料			積算基礎	契約期間
			現地通貨	円貨	邦貨	円数	円貨	邦貨		
コロンボ	U	1	RS 26,000	1,026. ⁴⁵	243,268	12	12,317. ⁴⁰	2,919,223	$\$1,026 \times 12 \times 237 = 291,223$	60.4.1 ~ 61.3.31
		2	RS 19,500	769. ⁸³	182,449	12	10,193. ⁴⁹	2,415,857	$\$769 \times 3 \times 237 = 547,349$	59.7.1 ~ 60.6.31
			RS 22,200	876. ⁸³	207,713				$\$876 \times 9 \times 237 = 1,868,508$	60.7.1 ~ 61.6.31
	W	3	RS 19,300	762	180,594	12	9,144	2,167,128	$\$762 \times 12 \times 237 = 2,167,128$	60.4.1 ~ 61.3.31
						小計	7,502,208			
ダレサレム	X	1	\$ 1,499	1,499	355,263				$\$1,499 \times 6 \times 237 = 2,131,578$	59.9.1 ~ 60.8.31
			\$ 1,679	1,679	397,923	12	19,068	4,519,116	$\$1,679 \times 6 \times 237 = 2,387,538$	60.9.31 ~ 61.8.31
	Y	2	\$ 3,360	3,360	796,320	12	34,980	8,290,260	$\$2,915 \times 12 \times 237 = 8,290,260$	60.4.1 ~ 61.3.31
	Z	3	\$ 2,500	2,500	592,500				$\$2,500 \times 12 \times 237 = 2,656,695$	59.8.16 ~ 60.8.15
			\$ 2,800	2,800	663,600	12	30,263. ⁸⁵	7,172,342	$\$2,535 \times 7 \times 237 = 4,515,645$	60.8.15 ~ 61.8.15
						小計	19,981,718			
イスラマバード	A'	2	RP 9,000	635. ³⁹	150,587					59.8.1 ~ 60.7.31
			RP 9,315	657. ⁶³	155,858	12	6,336	1,501,632	$\$528 \times 12 \times 237 = 1,501,632$	60.8.1 ~ 62.7.31
	B	3	RP 8,115	572. ⁹¹	135,779	12	5,520	1,308,240	$\$460 \times 12 \times 237 = 1,308,240$	
							2,809,872			
アワラ	C'	2	₹ 1,000	1,000	237,000				$\$1,000 \times 1 \times 237 = 237,000$	59.5.1 ~ 60.4.30
			₹ 1,100	1,100	260,700	12	13,100	3,104,700	$\$1,100 \times 11 \times 237 = 2,867,700$	60.5.1 ~ 61.4.30

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
派遣地域	氏名	住居手 当の号	契約家賃の月額			年間借上住宅使用料			積算基礎	契約期間
			現地通貨	円貨	邦貨	月数	円貨	邦貨		
ブラントイ	D'	/K	850	590.07	139,346	12	7,080 ⁸⁴	1,678.159	590.07 × 12 × 237 = 1,678.159	60.4.1 ~ 61.3.31
合計	30							(105,727) 107,423		

(16)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
(目) 施設利用収入	(3,818) 3,818	3,818	0	<p>1. 宿泊料収入</p> <p>(1) 移住センター</p> <p>470円 × 650人 = 306 (306)</p> <p>680円 × 350人 = 238 (238)</p> <p>小計 544 (544)</p> <p>(2) 海外移住研修所</p> <p>470円 × 100人 = 47 (47)</p> <p>680円 × 100人 = 68 (68)</p> <p>小計 115 (115)</p> <p>計 659 (659)</p> <p>2. 宿泊者食費収入</p> <p>(1) 移住センター</p> <p>1,170円 × 1,000人 = 1,170 (1,170)</p> <p>(2) 海外移住研修所</p> <p>講師 1,170円 × 100人 = 117 (117)</p> <p>職員 1,170円 × 300日 × 5人 = 1,755 (1,755)</p> <p>外部 1,170円 × 100人 = 117 (117)</p> <p>小計 1,989 (1,989)</p> <p>小計 (1) + (2) 3,159 (3,159)</p> <p>合計 3,818 (3,818)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 海外移住研修所収入	(5,531) 5,531	5,531	0	1. 圃場(野菜, 果樹) 208 (208) 2. 温室(切花, 針物) 494 (494) 3. 畜産 (1) 肥育豚 45,150円 × 70頭 = 3,161 (3,161) (2) ブロイラー 680円 × 500羽 = 340 (340) (3) 鶏卵 20円 × 235個 × 240日 = 1,128 (1,128) (4) 肥育牛 199,500円 × 1頭 = 200 (200) 小計 (1)~(4) 4,829 (4,829) 合計 5,531 (5,531)
(目) 農場収入	(18,658) 18,658	15,625	△ 3,033	1. 海外分 (1) パラグアイ農業総合試験場(本場) イ. 畜産売却収入 サンタ・ヘルトルデイス(産牛) 60,960円 × 10頭 = 610 (610) サンタ・ヘルトルデイス(育成牛) 45,730円 × 20頭 = 915 (915) ネローレ産(育成牛) 30,480円 × 10頭 = 305 (305) 小計 1,830 (1,830) ロ 畑作物売却収入 大豆 63円 × 53,170kg = 3,350 (0) 小麦 63円 × 21,600kg = 1,361 (0)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				小計 4,711 (0)
				合計 1 ~ 口 6,541 (1,830)
				(2) パラグアイ農業総合試験場アルト・パラナ分場 前年度限り 0 (5,375)
				(3) スエバ・エスペランサ畜産試験農場
				イ. 畜産売却収入
				種 牛 (産牛)
				38,180円 × 40頭 = 1,527 (1,527)
				パールドスイス (育成牛)
				23,340円 × ⁽⁴⁰⁾ 200頭 = 4,668 (934)
				ロ. 薬品販売収入
				140円 × 4,000頭 = 560 (560)
				ハ. 往診料収入
				190円 × 10件 × 12月 = 23 (23)
				計 1. ~ ハ 6,778 (3,044)
				(4) サン・フアン試験農場 前年度限り 0 (2,691)
				(5) アマゾンニア熱帯農業総合試験場 前年度限り 0 (3,412)
				(6) アルゼンチン園芸センター 苗売却収入
				カーネーション苗 21円 × 80,000本 = 1,680 (1,680)
				合計 (1) ~ (6) 14,999 (1,832)

(19)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	種 算 基 礎																																																																																					
(目) 医療収入	(46,942) 46,942	46,942	0	2. 国内分 筑波農業センター農業実習による収穫物換金収入 米 200円×2050kg = 410 (410) その他 216 (216) 合計 626 (626) 総計 1+2 15,625 (18,658)																																																																																					
				<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1489 858 1757 905">支部及び診療所</th> <th data-bbox="1757 858 1872 905">区 分</th> <th data-bbox="1872 858 1976 905">数 量</th> <th data-bbox="1976 858 2139 905">単 価</th> <th data-bbox="2139 858 2312 905">金 額</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人</td> <td>円</td> <td>千円</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" data-bbox="1489 940 1757 966">(アスンシオン支部)</td> </tr> <tr> <td colspan="5" data-bbox="1489 989 1757 1014">アルパラナ診療所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>初診料</td> <td>1,000</td> <td>340</td> <td>340</td> </tr> <tr> <td></td> <td>再診料</td> <td>3,000</td> <td>170</td> <td>510</td> </tr> <tr> <td></td> <td>往診料</td> <td>1,250</td> <td>660</td> <td>825</td> </tr> <tr> <td></td> <td>処置料</td> <td>5,000</td> <td>660</td> <td>3,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>注射料</td> <td>3,500</td> <td>340</td> <td>1,190</td> </tr> <tr> <td></td> <td>入院料</td> <td>1,200</td> <td>340</td> <td>408</td> </tr> <tr> <td></td> <td>薬品代</td> <td>12月</td> <td>689,250</td> <td>8,271</td> </tr> <tr> <td></td> <td>雑収入</td> <td></td> <td></td> <td>2,882</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>(17,726) 17,726</td> </tr> <tr> <td colspan="5" data-bbox="1489 1493 1757 1518">フラム診療所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>初診料</td> <td>500</td> <td>340</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td></td> <td>再診料</td> <td>2,000</td> <td>170</td> <td>340</td> </tr> <tr> <td></td> <td>往診料</td> <td>500</td> <td>660</td> <td>330</td> </tr> </tbody> </table>					支部及び診療所	区 分	数 量	単 価	金 額			人	円	千円	(アスンシオン支部)					アルパラナ診療所						初診料	1,000	340	340		再診料	3,000	170	510		往診料	1,250	660	825		処置料	5,000	660	3,300		注射料	3,500	340	1,190		入院料	1,200	340	408		薬品代	12月	689,250	8,271		雑収入			2,882		計			(17,726) 17,726	フラム診療所						初診料	500	340	170		再診料	2,000	170	340	
支部及び診療所	区 分	数 量	単 価	金 額																																																																																					
		人	円	千円																																																																																					
(アスンシオン支部)																																																																																									
アルパラナ診療所																																																																																									
	初診料	1,000	340	340																																																																																					
	再診料	3,000	170	510																																																																																					
	往診料	1,250	660	825																																																																																					
	処置料	5,000	660	3,300																																																																																					
	注射料	3,500	340	1,190																																																																																					
	入院料	1,200	340	408																																																																																					
	薬品代	12月	689,250	8,271																																																																																					
	雑収入			2,882																																																																																					
	計			(17,726) 17,726																																																																																					
フラム診療所																																																																																									
	初診料	500	340	170																																																																																					
	再診料	2,000	170	340																																																																																					
	往診料	500	660	330																																																																																					

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	種 算 基 礎				
				支部及び診療所	区 分	数 量	単 価	金 額
						人	円	千円
					処置料	2,500	660	1,650
					注射料	2,000	340	680
					入院料	500	340	170
					薬品代	12月	292850	3,514
					雑収入			2,319
					計			(9,173) 9,173
				イグアス診療所	初診料	500	340	170
					再診料	1,200	170	204
					往診料	500	660	330
					処置料	2,000	660	1,320
					注射料	1,500	340	510
					入院料	500	340	170
					薬品代	12月	361900	4,343
					雑収入			1,555
					計			(8,602) 8,602
				(サンタクルス支部)				
				サンファン診療所	初診料	1,200	920	1,104
					再診料	1,500	230	345
					往診料	500	2,310	1,155

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎				
				支部及び診療所	区 分	数 量	単 価	金 額
						人	円	千円
					処置料	1,500	770	1,155
					注射料	2,500	230	575
					入院料	1,200	350	420
					薬品代	12月	528,910	6,347
					雑収入			340
					計			(11,441) 11,441
				台 計				(46,942) 46,942
(目) 不動産売却収入	(25,600) 25,600	25,520	△ 80	職員住宅売却収入				
(目) 有償技術協力事業収入	(95,200) 95,200	0	△ 95,200					
(目) 雑 収 入	(28,621) 28,621	30,151	1,530	雇用保険料預り金	$5,481,953 \text{ 千円} \times \frac{55}{1000} = 30,151 \text{ 千円}$			
(款) 他勘定より受入								
(項) 他勘定より受入								
(目) 他勘定より受入	(42,915) 42,915	78,147	35,232					

支 出 の 部

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
				54年度 当加 予算額	55年度 (10,077,233)	56年度 (10,882,4)	57年度 (11,705,083)	58年度 (11,707,121)
(款) 管理費	(13,119,626) 13,230,178	13,619,963	389,785	9,399,048	10,136,787	10,962,920	12,077,466	12,279,285
I 業務運営に必要な経費	(11,325,866) 11,403,149	11,990,715	587,602	(昭和53年度に海外移住事業費のうち一般業務運営経費及び予備費を各々組替計上)				
1. 一般業務経費	(9,447,882) 9,473,481	9,870,335	396,854	ODA $8,164,603 \times \frac{966人}{980人} = 8,047,966$				
(1) 人件費	(7,928,925) 7,928,925	8,369,466	440,541	U) 役員俸給				
(1) 既定定員分	(7,928,925) 7,928,925	8,350,291	421,366	総裁 (1062,000) 1,098,000 円 × 1人 × 12月 = 13,176 (12,744) 副総裁 (872,000) 901,000 円 × 2人 × 12月 = 21,624 (20,928) 理事 (729,000) 753,000 円 × 8人 × 12月 = 72,288 (78,732) 監事 (638,000) 659,000 円 × 1人 × 12月 = 7,908 (15,312)				
(項) 役員給与	(7,561,118) 7,561,118	7,973,223	412,105	計 114,996 (127,716)				
(目) 役員給与	(191,724) 191,724	172,628	△ 19,096	(2) 特別調整手当 9,583千円 × 0.08 × 12月 = 9,200 (10,218)				
				(3) 特別手当 9,583千円 × 1.08 × 3.8月 = 39,328 (43,679)				
				副増分 9,583千円 × 0.25 × 3.8月 = 9,104 (10,111)				
				計 48,432 (53,790)				
				合計 (1)~(3) 172,628 (191,724)				

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 職員基本給	(3369.638) 3369.638	3,540.878	171.240	(1) 職員俸給 (イ) 一般 $\frac{(289.940)}{302.993} \text{円} \times 866 \text{人} \times 12 \text{月} = 3,148.704 (2,923.226)$ (ロ) 在外職員 $\frac{(289.940)}{302.993} \text{円} \times \frac{80}{100} \times 60 \text{人} \times 12 \text{月} = 174.524 (192.057)$ (ハ) 現採職員 伯国 $\frac{(231.595)}{243.489} \text{円} \times 11 \text{人} \times 12 \text{月} \times (1-0.015) = 31.658 (57.486)$ その他 $\frac{(230.454)}{242.290} \text{円} \times 19 \text{人} \times 12 \text{月} \times (1-0.015) = 54.414 (78.995)$ 小計 86.072 (136.481) 計 (イ) ~ (ハ) 3,409.300 (3,251.764) (2) 扶養手当 (イ) 一般 $\frac{(10.789)}{11.841} \text{円} \times 866 \text{人} \times 12 \text{月} = 123.052 (108.940)$ (ロ) 在外職員 $\frac{(10.789)}{11.841} \text{円} \times 60 \text{人} \times 12 \text{月} = 8.526 (8.934)$ 計 (イ) ~ (ロ) 131.578 (117.874) 合計 (1) ~ (2) 3,540.878 (3,369.638)
(目) 職員諸手当	(3,086.590) 3,086.590	3,294.918	208.328	(1) 管理取手当 (イ) 一般 $\frac{(10.703)}{11.152} \text{円} \times 866 \text{人} \times 12 \text{月} = 115.892 (107.502)$ (ロ) 在外職員 $\frac{(10.703)}{11.152} \text{円} \times 60 \text{人} \times 12 \text{月} = 8.029 (8.862)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				計(1)~(ロ) 123,921 (116,364)
				(2) 通勤手当 9,827千円 × 866人 × 12月 × 1.0262 = 104,799 (100,462)
				(3) 宿日直手当 (海外移住センター 2人 海外移住研修所 1人 沖縄支部 1人 協力隊 4人)
				(イ) 宿日直 2,400円 × 8人 × 52日 = 999 (999)
				(ロ) 宿直 1,600円 × 8人 × 313日 = 4,007 (4,007)
				(ハ) 日直 1,600円 × 8人 × 68日 = 863 (857)
				計(イ)~(ハ) 5,869 (5,863)
				(4) 特別手当
				(イ) 一般
				職員俸給 扶養手当
				(3,148,704千円 + 123,052千円) × 1.0247 × $\frac{49}{12}$ 月
				= 1,368,966 (1,266,594)
				割増分 3,148,704千円 × 0.0125 = 39,359 (36,402)
				小計 1,408,325 (1,302,996)
				(ロ) 在外職員
				職員俸給 扶養手当
				(174,524千円 + 8,526千円) × $\frac{49}{12}$ 月 = 74,746 (82,072)
				(ハ) 現採職員
				伯国 職員俸給 31,658千円 × $\frac{15}{12}$ = 3,957 (7,186)
				その他 職員俸給 54,414千円 × $\frac{1}{12}$ = 4,534 (6,583)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				小計 8,491 (13,769)
				計(1)~(5) 1,491,562 (1,398,837)
				(5) 寒冷地手当
				(1) 一級寒冷地手当
				取員俸給単価 扶養手当単価
				3級地 (302,993円 + 11,841円) × $\frac{30}{100}$ × 10人 = 945 (871)
				2級地 (302,993円 + 11,841円) × $\frac{23}{100}$ × 8人 = 579 (534)
				1級地 (302,993円 + 11,841円) × $\frac{17}{100}$ × 15人 = 845 (766)
				(2) 定額分
				3級地 63,100円 × 10人 = 631 (631)
				2級地 49,100円 × 8人 = 393 (393)
				1級地 36,100円 × 15人 = 742 (742)
				(3) 北海道分 81,600円 × 6人 = 313 (313)
				(二) 3級地及び2級地(除く北海道)
				3級地 21,600円 × 4人 = 68 (68)
				2級地 13,000円 × 8人 = 67 (67)
				計(1)~(二) 4,583 (4,467)
				(6) 住居手当 2,596円 × 866人 × 12月 = 26,978 (27,119)
				(7) 特別都市手当
				(一般職員俸給 扶養手当 管理職手当)
				(3,148,704円 + 1,230,524円 + 115,892,4円) × 0.0247
				= 83,676 (77,865)
				(8) 在勤基本手当

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(目) 超過勤務手当	(265,126) 265,126	272,111	6,985	<p>(イ) 96人 $474,874円 \times \frac{(80)}{96人} \times 12月 = 547,056 (455,880)$</p> <p>(ロ) 60人 $399,839円 \times \frac{(69)}{60人} \times 12月 = 287,884 (331,067)$</p> <p>計 (イ)~(ロ) 834,940 (786,947)</p> <p>(9) 配偶者手当</p> <p>(イ) 96人 $474,874円 \times \frac{40}{100} \times 96人 \times 12月 \times \frac{80}{100} = 175,059 (145,882)$</p> <p>(ロ) 60人 $399,839円 \times \frac{40}{100} \times 60人 \times 12月 \times \frac{75}{100} = 86,365 (99,320)$</p> <p>計 (イ)~(ロ) 261,424 (245,202)</p> <p>(10) 在外住居手当</p> <p>(イ) 96人 $54,235円 \times 103人 \times \frac{50}{100} \times 96人 \times 12月 = 251,309 (209,424)$</p> <p>(ロ) 60人 $58,532円 \times 237人 \times 60人 \times 12月 \times \frac{70}{100} = 63,563 (73,098)$</p> <p>計 (イ)~(ロ) 314,872 (282,522)</p> <p>(11) 子女教育手当</p> <p>(イ) 96人 $40,500円 \times 96人 \times 12月 \times \frac{1}{3} = 15,552 (12,960)$</p> <p>(ロ) 60人 $27,329円 \times 60人 \times 12月 \times \frac{42}{100} = 8,264 (9,504)$</p> <p>計 (イ)~(ロ) 23,816 (22,464)</p> <p>(12) 租税負担金</p> <p>$18,478千円 \times 1 = 18,478 (18,478)$</p> <p>合計 (1)~(12) 3,294,918 (3,086,590)</p> <p>U) 一般</p> <p>$\left\{ \left(\frac{3,078,621千円}{2288人 \times 714人} \times 1,0247 \times 0,809066 \times 1,25 \times 714人 \right) + \left(\frac{62,083千円}{2288人 \times 714人} \right) \right\} \times 1,0247 \times 1,25 \times 3人 = 1,954円$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 法定福利費	(633.183) 633.183	677.026	43.843	<p>(1) 健康保険料</p> <p>(イ) 役員分 $710千円 \times 12人 \times 12月 \times \frac{4.2}{1,000} = 4.294 (4.154)$</p> <p>(ロ) 一般分</p> <p>一般職員俸給 在外職員俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 $(3,148.704千円 + 174.524千円 + 131.578千円 + 123.921千円 + 104.799千円 +$ 宿日直手当 住居手当 特別都市手当 在勤基本手当 $5.869千円 + 26.978千円 + 8.3676千円 + 834.940千円 +$ 配偶者手当 子女教育手当 超過勤務手当) $261.424千円 + 23.816千円 + 263.353千円) \times \frac{4.1}{1,000} \times 0.9330$ $= 198.288 (186.240)$</p> <p>計 (イ)~(ロ) $202.582 (190.394)$</p> <p>(2) 厚生年金保険料</p> <p>(イ) 役員分 上半期 $410千円 \times 12人 \times 6月 \times \frac{3.7}{1,000} = 1.093$ 下半期 $470千円 \times 12人 \times 6月 \times \frac{3.7}{1,000} = 1.252$ 計 $2.345 (2.549)$</p> <p>(ロ) 一般分</p> <p>一般職員俸給 在外職員俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 $(3,148.704千円 + 174.524千円 + 131.578千円 + 123.921千円 + 104.799千円 +$ 宿日直手当 住居手当 特別都市手当 超過勤務手当 休暇者給付) $5.869千円 + 26.978千円 + 8.3676千円 + 263.353千円 + 11.932千円 +$ $\times \frac{33.1}{1,000} \times 0.9384 \times 1.124787 = 142.381 (117.564)$</p> <p>計 (イ)~(ロ) $144.726 (120.113)$</p> <p>(3) 厚生年金基金</p> <p>(イ) 役員分 $450千円 \times 12人 \times 12月 \times \frac{4.1}{1,000} = 26.57 (2.994)$</p> <p>(ロ) 一般分</p> <p>一般職員俸給 在外職員俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 $(3,148.704千円 + 174.524千円 + 131.578千円 + 123.921千円 + 104.799千円 +$</p>

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				$\left(\begin{array}{l} \text{宿日直手当} \quad \text{住居手当} \quad \text{特別都市手当} \quad \text{超過勤務手当} \quad \text{休職者給与} \\ 5,869^{\text{千円}} + 26,978^{\text{千円}} + 83,676^{\text{千円}} + 263,353^{\text{千円}} + 11,932^{\text{千円}} \end{array} \right) \times$ $\frac{40}{1,000} \times 0.9217 = 150.251 \quad (144.205)$ <p>計 (イ) ~ (ロ) 152.908 (147.199)</p>
				<p>(4) 雇用保険料</p> $(1) \left(\begin{array}{l} \text{一般職員俸給} \quad \text{在外職員俸給} \quad \text{扶養手当} \quad \text{管理職手当} \quad \text{通勤手当} \\ 3,148,704^{\text{千円}} + 174,524^{\text{千円}} + 131,578^{\text{千円}} + 123,921^{\text{千円}} + 104,799^{\text{千円}} + \\ \text{宿日直手当} \quad \text{住居手当} \quad \text{一般職員特別手当} \quad \text{在外職員特別手当} \quad \text{寒冷地手当} \\ 5,869^{\text{千円}} + 26,978^{\text{千円}} + 1,408,325^{\text{千円}} + 74,746^{\text{千円}} + 4,583^{\text{千円}} \\ \text{特別都市手当} \quad \text{超過勤務手当} \\ + 83,676^{\text{千円}} + 263,353^{\text{千円}} \end{array} \right) \times \frac{9}{1,000} = 49,288 \quad (46.094)$ $(ロ) \text{自己収入見合分} 5,551,055^{\text{千円}} \times \frac{5.5}{1,000} = 30,058 \quad (28.621)$ <p>計 (イ) ~ (ロ) 79,346 (74.715)</p>
				<p>(5) 労働災害保険料</p> <p>(イ) 国内分</p> $\left(\begin{array}{l} \text{一般職員俸給} \quad \text{扶養手当} \quad \text{管理職手当} \quad \text{通勤手当} \quad \text{宿日直手当} \\ 3,148,704^{\text{千円}} + 123,052^{\text{千円}} + 115,892^{\text{千円}} + 104,799^{\text{千円}} + 5,869^{\text{千円}} + \\ \text{住居手当} \quad \text{一般職員特別手当} \quad \text{寒冷地手当} \quad \text{特別都市手当} \quad \text{超過勤務手当} \\ 26,978^{\text{千円}} + 1,408,325^{\text{千円}} + 4,583^{\text{千円}} + 83,676^{\text{千円}} + 263,353^{\text{千円}} \end{array} \right) \times \frac{5}{1,000} = 26,427 \quad (24.559)$ <p>(ロ) 海外分</p> $9,000^{\text{円}} \times 365^{\text{日}} \times \frac{11}{1,000} \times 156^{\text{人}} = 5,637 \quad (4.188)$ <p>計 (イ) ~ (ロ) 32,064 (28.747)</p>
				<p>(6) 共済組合員租金 $449,031^{\text{円}} \times 52^{\text{人}} \times \frac{71.7}{1,000} \times \frac{1}{12} = 20,090 \quad (17.588)$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(7) 在外職員共済給付制度負担金 $(474,874円 + 151,960円) \times 96人 \times 12月 \times \frac{12}{1,000}$ $= 8,667 (7,222)$
				(8) 在外職員福利厚生基金納付金 $\frac{\text{在外職員俸給}}{174,524円} \times \frac{35}{1,000} = 6,108 (6,722)$
				(9) 公務災害補償費 (イ) $5,000円 \times 96人 \times 12月 = 5,760 (4,800)$ (ロ) $(\frac{\text{在外職員俸給}}{174,524円} + \frac{\text{同左の25\%}}{43,631円}) \times \frac{1.5}{1,000} = 328 (361)$
				(ハ) 伯国現探取員分 $(\frac{\text{取員俸給}}{31,658円} + \frac{\text{特別手当}}{3,957円} + \frac{\text{超過勤務手当}}{3,667円}) \times \frac{1.38}{100} = 542 (966)$
				(ニ) その他現探取員分 $\frac{\text{取員俸給}}{54,414円} \times \frac{1.5}{1,000} = 82 (119)$ 計 (イ)～(ニ) $6,712 (6,246)$
				(10) 海外福利費 (イ) 伯国在外職員社会保険料 $(\frac{\text{在勤基本手当}}{287,884円} + \frac{\text{配偶者手当}}{86,365円} + \frac{\text{在外住居手当}}{63,563円} + \frac{\text{子女教育手当}}{8,264円}) \times \frac{12人}{60人} \times \frac{50}{100} \times \frac{8}{100} = 3,569 (3,569)$

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎	
(目) 児童手当	(3,507) 3,507	3,730	223	(ロ) 伯国現採職員社会保険料 $\left(\begin{array}{l} \text{職員俸給} \\ 31,658 \text{千円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{特別手当} \\ 3,957 \text{千円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{超過勤務手当} \\ 3,667 \text{千円} \end{array} \right) \times \frac{15.1}{100}$ $= 5,931 (10,568)$	
				(ハ) その他現採職員社会保険料 $\left(\begin{array}{l} \text{職員俸給} \\ 54,414 \text{千円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{特別手当} \\ 4,534 \text{千円} \end{array} \right) \times \frac{18}{100}$ $= 10,611 (15,074)$	
				(ニ) 社会総合プログラム基金納付金 $2,053 \text{千円} \times (1 - 0.015)$ $= 2,023 (2,023)$	
				(ホ) 家族手当基金納付金(伯国) $\left(\begin{array}{l} \text{職員俸給} \\ 31,658 \text{千円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{特別手当} \\ 3,957 \text{千円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{超過勤務手当} \\ 3,667 \text{千円} \end{array} \right) \times \frac{4.3}{100}$ $= 1,689 (3,009)$	
				計 (イ)～(ホ)	23,823 (34,243)
				合計	677,026 (633,183)
				(1) 役員分 $470 \text{千円} \times 12 \times 12 \text{月} \times \frac{0.9}{1,000}$ $= 61 (62)$	
				(2) 一般分 $\left(\begin{array}{l} \text{一般職員俸給} \\ 3,148,704 \text{千円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{在外職員俸給} \\ 174,524 \text{千円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{扶養手当} \\ 131,578 \text{千円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{管理職手当} \\ 123,921 \text{千円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{通勤手当} \\ 104,799 \text{千円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{休日直手当} \\ 5,869 \text{千円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{住居手当} \\ 26,978 \text{千円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{特別都市手当} \\ 83,676 \text{千円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{超過勤務手当} \\ 263,353 \text{千円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{休職者給与} \\ 11,932 \text{千円} \end{array} \right) \times \frac{0.9}{1,000}$ $= 3,669 (3,445)$	
				計 (1)～(2)	3,730 (3,507)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(項)退職手当	(143.602) 143.602	141.509	△ 2.093	
(目)退職手当	(143.602) 143.602	141.509	△ 2.093	<p>(1) 役員分</p> <p>総 裁 1,098,000 円 $\times \frac{36}{100} \times 1^{\text{人}} \times 12^{\text{月}} = 4,744 (4,588)$</p> <p>副総裁 901,000 円 $\times \frac{36}{100} \times 2^{\text{人}} \times 12^{\text{月}} = 7,785 (7,534)$</p> <p>理 事 753,000 円 $\times \frac{36}{100} \times 8^{\text{人}} \times 12^{\text{月}} = 26,024 (28,344)$</p> <p>監 事 659,000 円 $\times \frac{36}{100} \times 1^{\text{人}} \times 12^{\text{月}} = 2,846 (5,512)$</p> <p>計 41,399 (45,978)</p> <p>(2) 一般職員、在外職員</p> <p>(イ) 一般職員俸給</p> <p>$3,148,704 \text{千円} \times 0.03 \times 0.939959 = 88,791 (82,453)$</p> <p>(ロ) 在外職員俸給</p> <p>$174,524 \text{千円} \times 1.25 \times 0.03 = 6,545 (7,203)$</p> <p>計 95,336 (89,656)</p> <p>(3) 伯国現採職員分</p> <p>勤続期間保証基金 (F. G. T. S.)</p> <p>$(\text{職員俸給 } 31,658 \text{千円} + \text{特別手当 } 3,957 \text{千円} + \text{超過勤務手当 } 3,667 \text{千円}) \times \frac{8}{100} = 3,142 (5,599)$</p> <p>(4) その他現採職員分</p> <p>職員俸給</p> <p>$54,414 \text{千円} \times 0.03 = 1,632 (2,369)$</p> <p>合 計 (1) ~ (4) 141,509 (143,602)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(項) 技術協力派遣職員給与	(224.205) 224.205	235.559	11.354	
(目) 技術協力派遣職員給与	(224.205) 224.205	235.559	11.354	自己収入見合支出手算 $\frac{(406,800)}{418,400円} \times \frac{(5525)}{563人月} = 235,559 (224,205)$
(口) 新規増員	0	19.175	19.175	
(項) 役職員給与	0	18.840	18.840	
(目) 職員基本給	0	11.665	11.665	(1) 職員俸給 一般 $154,796円 \times 12人 \times 6月 = 11,146 (0)$
				(2) 扶養手当 $7,200円 \times 12人 \times 6月 = 519 (0)$
				合計 (1) ~ (2) 11,665 (0)
(目) 職員諸手当	0	4,256	4,256	(1) 管理取手当 一般 $5,727円 \times 12人 \times 6月 = 413 (0)$
				(2) 通勤手当 $9,827円 \times 12人 \times 6月 \times 1.0262 = 727 (0)$
				(3) 特別手当 職員俸給 + 扶養手当 $(11,146円 + 519円) \times 1.0247 \times \frac{1.25}{8} = 2490 (0)$
				割増分 $11,146円 \times 0.0125 = 140 (0)$
				小計 2,630 (0)
				(4) 住居手当 $2,596円 \times 12人 \times 6月 = 187 (0)$
				(5) 特別都市手当 一般職員俸給 + 扶養手当 + 管理取手当 $(11,146円 + 519円 + 413円) \times 0.0247 = 299 (0)$
				合計 (1) ~ (5) 4,256 (0)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 超過勤務手当	0	936	936	職員俸給単価 特別都市手当単価 $\frac{154,796 \text{ 円} + 3,823 \text{ 円}}{52 \times 44} \times 12 \text{ 月} \times 1.25 = 1,040 \text{ 円}$ $1,040 \text{ 円} \times 10 \text{ 人} \times 15 \text{ 日} \times 6 \text{ 月} = 936 \text{ (0)}$
(目) 法定福利費	0	1,970	1,970	(1) 健康保険料 (一般職員俸給 扶養手当 管理取手 通勤手当 住居手当 $(11,146 \text{ 千円} + 519 \text{ 千円} + 413 \text{ 千円} + 227 \text{ 千円} + 187 \text{ 千円}$ $+ \text{特別都市手当} + \text{超過勤務手当}) \times \frac{41}{1000} \times 0.9330$ $= 545 \text{ (0)}$ (2) 厚生年金保険料 (一般職員俸給 扶養手当 管理取手 通勤手当 住居手当 $(11,146 \text{ 千円} + 519 \text{ 千円} + 413 \text{ 千円} + 227 \text{ 千円} + 187 \text{ 千円}$ $+ \text{特別都市手当} + \text{超過勤務手当}) \times \frac{33.1}{1000} \times 0.9384$ $\times 1.124787 = 498 \text{ (0)}$ (3) 厚生年金基金 (一般職員俸給 扶養手当 管理取手 通勤手当 住居手当 $(11,146 \text{ 千円} + 519 \text{ 千円} + 413 \text{ 千円} + 227 \text{ 千円} + 187 \text{ 千円}$ $+ \text{特別都市手当} + \text{超過勤務手当}) \times \frac{40}{1000} \times 0.9217$ $= 525 \text{ (0)}$ (4) 雇用保険料

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(1) (一般職員俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 住居手当 (11,146千円 + 519千円 + 413千円 + 727千円 + 187千円 特別手当 特別勤務手当 超過勤務手当) + 2,630千円 + 299千円 + 936千円) × $\frac{9}{1,000}$ = 152 (0)
				(ロ) 自己収入見合分 16,856千円 × $\frac{5.5}{1,000}$ = 93 (0) 計 (1) ~ (ロ) 245 (0)
				(5) 労働災害保険料 一般職員俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 住居手当 (11,146千円 + 519千円 + 413千円 + 727千円 + 187千円 特別手当 特別勤務手当 超過勤務手当) + 2,630千円 + 299千円 + 936千円) × $\frac{5}{1,000}$ = 85 (0)
				(6) 共済組合負担金 1,000円 × 12人 × 6月 = 72 (0) 合計 (1) ~ (6) 1,970 (0)
(目) 児童手当	0	13	13	一般職員俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 住居手当 (11,146千円 + 519千円 + 413千円 + 727千円 + 187千円 特別勤務手当 超過勤務手当) + 299千円 + 936千円) × $\frac{0.9}{1,000}$ = 13 (0)
(項) 退職手当	0	335	335	
(目) 退職手当	0	335	335	一般職員俸給 11,146千円 × 0.03 = 335 (0)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(2) 管理経費	(1,510,119) 1,535,445	1,491,759	△ 43,686	全額 ODA
(1) 既定分	(1,510,119) 1,535,445	1,490,043	△ 41,223	
(項) 業務諸費	(1,481,703) 1,504,976	1,459,580	△ 45,396	
(目) 諸謝金	(53,561) 53,951	58,029	4,078	1. 顧問謝金等 (1) 顧問謝金 $\left\{ 593,000円 + (593,000円 \times 0.08) \right\}$ $\times 1^{\wedge} \times 12月 = 7,685 (7,685)$ (2) 特別慰労金 $\left\{ (593,000円 \times 0.08) + (593,000円 \times 1.25) \right\}$ $\times 3.8 = 2,997 (2,997)$ (3) 退職慰労金 $593,000円 \times \frac{36}{100} \times 12月 = 2,562 (2,562)$ (4) 社会保険料 1 健康保険料 $641 \times 1^{\wedge} \times 12月 \times \frac{4.2}{1,000} = 323 (237)$

(40)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎	硬
				ロ 厚生年金保険料	
				$410 \times 1人 \times 12月 \times \frac{37}{1,000}$	= 182 (182)
				ハ 厚生年金基金	
				$440 \times 1人 \times 12月 \times \frac{40.9}{1,000}$	= 216 (216)
				小計 イ～ハ	721 (635)
				計 (1)～(4)	13,965 (13,879)
				2. その他謝金	
				(1) 技術顧問謝金 ☆	
				$417,320円 \times 1人 \times 12月$	= 5,008 (5,008)
				$332,620円 \times 5^{(4)}人 \times 12月$	= 19,958 (15,966)
					24,966 (20,974)
				(2) 調査委託謝金 ☆	
				$68,870円 \times 2人 \times 12月$	= 1,653 (1,653)
				(3) 会計士謝金 ☆	
				$51,710円 \times 2人 \times 12月$	= 1,241 (1,241)
				(4) 医師謝金 ☆	
				$140,480円 \times 1人 \times 12月$	= 1,686 (1,686)

(41)
(单位: 十円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				(5) 弁護士謝金 女 $50,560円 \times 3人 \times 12月 = 1,821 (1,821)$
				(6) 看護婦謝金 女 $116,760円 \times 1人 \times 12月 = 1,401 (1,401)$
				(7) 集金謝金 $88,420円 \times 1人 \times 12月 \times 0.9 = 955 (955)$
				(8) 入札予定価格調査謝金 $3,550円 \times 20人 \times 0.9 = 64 (64)$
				(9) 検査謝金 $4,250円 \times 20人 \times 0.9 = 77 (77)$
				(10) 作業部会専門講師謝金 女 $3,310円 \times 5人 \times 5日 \times 2件 = 166 (166)$
				(11) 結学検定謝金 海外 $138,142円 \times 4人 \times 1回 \times 0.9 = 497 (497)$ 国内 $138,142円 \times 3人 \times 2回 \times 0.9 = 746 (746)$
				計 1,243 (1,243)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(12) 嘱託謝金
				イ 一般
				89,070円 × 3人 × 12月 × 0.9 = 2,886 (2,886)
				3,540円 × 30人 × 0.9 = 96 (96)
				ロ 語学 女
				英語
				130,330円 × 1人 × 12月 = 1,564 (1,564)
				仏語
				18,030円 × 60人月 = 1,082 (1,082)
				西語
				18,030円 × 60人月 = 1,082 (1,082)
				小 計 3,728 (3,728)
				ハ 入植地管理謝金 女
				108,960円 × (12月 + 4.8月) × 1人 = 1,831 (1,831)
				計 イ ~ ハ 8,541 (8,541)
				(13) 配偶者来道前オリエンテーション謝金
				25,000円 × 10回 = 250 (250)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
(目) 赴任旅費	(13,569) 13,569	13,569	0	計 (1) ~ (13) = 44,064 (40,072)					
				総計 1 + 2 = 48,029 (53,951)					
				★ 本部 ~ 附属機関 ★ 229,983円 × 59人 = 13,569 (13,569)					
区分	等級	基準地	鉄道賃	日当	宿泊料	移転料	着後手当	計	
赴任旅費	3	大阪	14,950円 × 2.5人 = 37,375円	(1,100円 × 1日) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{3}$) = 2,200円	(5,100円 × 1泊) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{3}$) = 10,200円	118,208円	(6,200円 × 5日) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{3}$) = 62,000円	229,983円	
(目) 職員旅費			(6,337) 6,814	6,814	0	1. 役員分			
						(1) 一般 28,985円 × 47回 × 0.9 = 1,226 (1,226)			
						(2) 集団研修コース開閉講式 13,140円 × 50回 × 0.9 = 591 (591)			
						小計 (1) + (2) = 1,817 (1,817)			
						2. 職員分			
						(1) 国内研修センター監査指導 19,270円 × 2人 × 5カ所 × 9回 × 0.9 = 1,561 (1,561)			
						(2) 国内事務所予算会計指導 19,750円 × 2人 × 16回 × 0.9 = 569 (569)			

(44)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(3) 移住センター事務連絡 $500円 \times 2人 \times 13回 \times 0.9 = 12(12)$
				(4) 役員随行 $20,880円 \times 5人 \times 5回 \times 0.9 = 470(470)$
				(5) 業務状況視察 $24,038円 \times 2人 \times 40回 \times 0.9 = 1,731(1,731)$
				(6) 語学検定 $20,167円 \times 3人 \times 2回 \times 0.9 = 109(109)$
				(7) 沖縄センター特別分 $90,900円 \times 2人 \times 3回 = 545(545)$
				小計 (1) ~ (7) 4,997(4,997)
				計 1 + 2 6,814(6,814)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎		
区分	等級	基準地	期間	鉄道賃	日当	宿泊料	計
役員旅費							
一 般	役員	大阪	3泊4日	$5,421円 \times 2 = 10,842円$	$965円 \times 4日 = 3,860円$	$4,761円 \times 3泊 = 14,283円$	28,985円
コース開閉講式	"	名古屋	1泊2日	$3,225円 \times 2 = 6,450円$	$965円 \times 2日 = 1,930円$	$4,760円 \times 1泊 = 4,760円$	13,140円
職員旅費							
国内研修センター (監査指導)	3	大阪 名古屋 筑波 内原 横須賀 兵庫	4泊5日	4,301円	$722円 \times 23日 \times \frac{1}{5}$ $= 3,321円$	$\{(3,345円 \times 12泊) +$ $(3,017円 \times 6泊)\} \times \frac{1}{5}$ $= 11,648円$	19,270円
国内事務所 (予算会計指導)	4	大阪	3泊4日	$3,539円 \times 2 = 7,078円$	$708円 \times 4日 = 2,832円$	$3,280円 \times 3泊 = 9,840円$	19,750円
移住センター (業務連絡)	4		日帰)	500円	0	0	500円
役員随行	3	大阪	3泊4日	7,957円	$722円 \times 4日 = 2,888円$	$3,345円 \times 3泊 = 10,035円$	20,880円
業務状況視察	3	大阪	4泊5日	$3,681円 \times 2 = 7,378円$	$708円 \times 5日 = 3,540円$	$3,280円 \times 4泊 = 13,120円$	24,038円
語学検定	3	大阪	3泊4日	8,244円	$722円 \times 4日 = 2,888円$	$3,345円 \times 3泊 = 10,035円$	20,167円
沖縄センター特 別分	3	沖縄	2泊3日	67,400円	$1,900円 \times 3日 = 5,700円$	$8,900円 \times 2泊 = 17,800円$	90,900円

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 庁 費	(1,388,312) 1,410,718	1,359,968	△ 50,750	<p>1. 人当庁費</p> <p> $\left[\begin{array}{l} \text{役員 } (14) \text{ 14人、本部 } (529) \text{ 533人、青年海外協力隊 } (71) \text{ 72人} \\ \text{国際研修センター } (64) \text{ 78人、海外移住センター } (9) \text{ 8人、海外移住研修所 } \\ (7) \text{ 6人、国際協力総合研修所 } (9) \text{ 13人、国内支部 } (63) \text{ 57人} \\ \text{海外事務所 } (214) \text{ 199人、計 } (980) \text{ 980人} \end{array} \right]$ </p> <p>既定</p> <p>① 国内分 $4,382円 \times 776人 \times 0.9 = 28,901 (28,901)$</p> <p>② 海外分 $62,210円 \times 136人 \times \frac{237}{225} \times 0.9 = 8,021 (8,054)$</p> <p>小計 ① + ② $36,922 (36,955)$</p> <p>2. 厚生費</p> <p>(1) 人当厚生費</p> <p>既定</p> <p>イ 国内分 $3,922円 \times 776人 \times 0.9 = 2,739 (2,739)$</p> <p>③ ロ 海外分 $10,000円 \times 214人 \times \frac{237}{238} = 2,131 (2,140)$</p> <p>小計 イ + ロ $4,870 (4,879)$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(2) 職員厚生費
				イ 成人病予防及び精密検診費
				既定
				$5,325円 \times 760人 \times \frac{2}{3} \times 0.9 = 2,428 (2,428)$
				ロ 海外帰国職員特別健康診断費
				$15,515円 \times 44人 \times 1 \times 2.5 \times 0.9 = 1,536 (1,536)$
				ハ 診療所運営費
				$120,870円 \times 12月 \times 0.9 = 1,305 (1,305)$
				ニ 海の家、山の家借上費
				$359,280円 \times 5カ所 \times 0.9 = 1,617 (1,617)$
				ホ 保養所借上げ費
				$170,860円 \times 4カ所 \times 12月 \times 0.9 = 7,381 (7,381)$
				ヘ 職員厚生施設借上げ費
				$176,667円 \times 12月 \times 0.9 = 1,908 (1,908)$
				ト グランド借上げ費
				野球場 $1,593円 \times 5H \times 2回 \times 12月 \times 0.9 = 172 (172)$
				テニスコート $25,500円 \times 12月 \times 0.9 = 275 (275)$
				計 447 (447)
				④ 今 海外職員厚生費
				$4,020円 \times 136人 \times \frac{237}{225} \times 0.9 = 518 (520)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				小計 1～4 17,140 (17,142)
				計 (1)～(2) 22,010 (22,021)
				3. 備品費
				(1) 既定備品
				キヤビネット 27,118円×17×0.9= 415 (415)
				戸棚 39,615円×26×0.9= 927 (927)
				卓上電子計算機 93,667円×3×0.9= 253 (253)
				間仕切り 21,113円×80×0.9= 1,520 (1,520)
				衝立 21,000円×5×0.9= 95 (95)
				ロッカー 27,886円×35×0.9= 878 (878)
				並机 23,720円×25×0.9= 534 (534)
				椅子 8,840円×25×0.9= 199 (199)
				欧文タイプライター 100,000円×2×0.9= 180 (180)
				複写機 247,600円×5×0.9= 1,114 (1,114)
				診療所備品 1,872 (1,872)
				その他備品 5,300 (5,300)
				小計 13,287 (13,287)

(49)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				(2) カセットプリンター 350,000円×2×0.9 = 630 (630)
				(3) シュレッダー 500,000円×3×0.9 = 1,350 (1,350)
				(4) 電動タイプライター 300,000円×4×0.9 = 1,080 (1,080)
				(5) 応接セット 168,330円×3×0.9 = 454 (454)
				合計 (1) ~ (5) 16,801 (16,801)
				4. 消耗品費
				(1) 用紙帳簿類 245,583円×12月×0.9 = 2,652 (2,652)
				(2) 雑誌新聞購読料 48,750円×12月×0.9 = 527 (527)
				(3) その他事務用品 73,500円×12月×0.9 = 794 (794)
				計 (1) ~ (3) 3,973 (3,973)
				5. 被服費
				(1) 電話交換手、タイピスト、秘書 10,000円×15人×0.9 = 135 (135)
				(2) 運転手 20,000円×16人×2着×0.9 = 576 (576)
				計 (1) + (2) 711 (711)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>6. 印刷製本費</p> <p>(1) 予算関係 $63\text{円} \times 375\text{部} \times 20\text{種} \times 0.9 = 4,259 (4,259)$</p> <p>(2) 経理決算関係 $654\text{円} \times 290\text{部} \times 15\text{種} \times 0.9 = 2,560 (2,560)$</p> <p>(3) 物品不動産管理関係及台帳類 $18.6\text{円} \times 1,500\text{部} \times 30\text{種} \times 0.9 = 753 (753)$</p> <p>(4) 法令規程追録 $394\text{円} \times 500\text{部} \times 3\text{回} \times 0.9 = 532 (532)$</p> <p>(5) 事業団通達事例 $3,376\text{円} \times 300\text{部} \times 3\text{回} \times 0.9 = 2,702 (2,702)$</p> <p>(6) 関係国法例集(原文対比和訳) $550\text{円} \times 100\text{部} \times 7\text{種} \times 0.9 = 347 (347)$</p> <p>(7) 移住地概況 $423\text{円} \times 400\text{部} \times 0.9 = 152 (152)$</p> <p>(8) 機関誌「移住研究」 $171\text{円} \times 2,000\text{部} \times 2\text{回} \times 0.9 = 616 (616)$</p>

(51)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(9) 移住報務月報 $468円 \times 100部 \times 2種 \times 12月 \times 0.9 = 1,011 (1,011)$
				(10) 融資業務諸報告用紙 $13,500円 \times 12月 \times 0.9 = 146 (146)$
				(11) 入植地管理業務諸用紙 $97円 \times 1,810部 \times 4種 \times 0.9 = 63 (63)$
				(12) 証憑書製本 $223円 \times 773冊 \times 0.9 = 155 (155)$
				(13) その他諸資料 $62.3円 \times 250部 \times 30種 \times 12月 \times 0.9 = 5,046 (5,046)$
				計 (1) ~ (13) 18,342 (18,342)
				7. 通信運搬費
				(1) 電話料(旧庁舎及び新庁舎)
				イ 電話交換維持費 $56,944円 \times 3台 \times 12月 \times 0.9 = 1,845 (1,845)$
				ロ 基本料 $1,932円 \times 50本 \times 3台 \times 12月 = 3,477 (3,477)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				ハ 内線使用料 $149円 \times 350本 \times 3台 \times 12月 \times 0.9 = 1,690 (1,690)$
				ニ 度数料 $24円 \times 203回 \times 25日 \times 50本 \times 3台 \times 12月 \times 0.9$ $= 60,839 (60,839)$
				ホ 市外通話用 $270円 \times 24通話 \times 350回 \times 12月 \times 0.9$ $= 24,494 (24,494)$
				ヘ 国際通話料 $7,462円 \times 5回 \times 19カ所 \times 0.9 = 638 (638)$
				ト 専用電話料 外務省分 $2,250円 \times 12月 \times 0.9 = 24 (24)$ 東京センター分 $1,625円 \times 2本 \times 12月 \times 0.9$ $= 35 (35)$
				小計 59 (59)
				計 イ～ト 93,042 (93,042)
				私定電話公費負担分 $\Delta 1,974 (\Delta 1,974)$
				台計 91,068 (91,068)

(53)
(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(2) テレックス</p> <p>イ 機器使用料 $22,125円 \times 2台 \times 12月 = 531 (531)$</p> <p>ロ 通信費 $840円 \times 20分 \times 25日 \times 12月 \times 0.9 = 4,536 (4,536)$</p> <p>業務委託分 $840円 \times 20分 \times 25日 \times 12月 \times \frac{1}{2} = 2,520 (0)$</p> <p>計 イ + ロ $7,587 (5,067)$</p> <p>(3) 郵便料 (国内) 普通郵便 $37円 \times 306通 \times 25日 \times 12月 \times 0.9 = 3,088 (3,088)$</p> <p>ハガキ $15円 \times 50通 \times 25日 \times 12月 \times 0.9 = 203 (203)$</p> <p>速達 $156円 \times 26通 \times 25日 \times 12月 \times 0.9 = 1,095 (1,095)$</p> <p>裏留 $238円 \times 30通 \times 25日 \times 12月 \times 0.9 = 1,928 (1,928)$</p> <p>小包 $505円 \times 150ヶ \times 12月 \times 0.9 = 818 (818)$</p>

(54)

(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(国外)
				航空便
				$334円 \times 1,650通 \times 12月 \times 0.9 = 5,952 (5,952)$
				業務委託分 $334円 \times 415通 \times 12月 = 1,663 (0)$
				小包
				$653円 \times 607 \times 12月 \times 0.9 = 423 (423)$
				計 $15,170 (13,507)$
				(4) 印刷物発送費
				イ 事務用印刷物等送付
				$554,417円 \times 12月 \times 0.9 = 5,988 (5,988)$
				ロ 在外支部等伝票等他送付
				$19,275円 \times 10 Kg \times 12月 \times 0.9 = 2,082 (2,082)$
				計 イ + ロ $8,070 (8,070)$
				(5) 電報料
				イ 国内
				$149円 \times 317通 \times 12月 \times 0.9 = 510 (510)$
				ロ 国外
				$3,718円 \times 250通 \times 12月 \times 0.9 = 10,039 (10,039)$

(55)
(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				計 1 + 口 10,549 (10,549)
				合計 (1) ~ (5) 132,444 (128,261)
				8. 光熱水料
				(1) 共通相当割当額
				イ 三井ビル庁舎
				電気 344円 × 56.25万Kw × 12月 × 0.9 = 20,898 (20,898)
				ガス 167,060円 × 12月 × 0.9 = 1,804 (1,804)
				水道 234,000円 × 12月 × 0.9 = 2,527 (2,527)
				小計 25,229 (25,229)
				ロ 経協ビル庁舎
				電気 19,040,040円 × $\frac{39.7}{100}$ × 0.9 = 6,803 (6,803)
				ガス 864,760円 × $\frac{39.7}{100}$ × 0.9 = 309 (309)
				燃料 1,846,310円 × $\frac{39.7}{100}$ × 0.9 = 660 (660)
				水道 7,167,264円 × $\frac{39.7}{100}$ × 0.9 = 2,561 (2,561)
				小計 10,333 (10,333)
				計 1 + 口 35,562 (35,562)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(2) 電子計算機室(経協ビル庁舎) 電気 $6,89円 \times \{ 34.2 KVA + (55 \times 2 KVA) \}$ $\times (12H \times 25日 \times 12月) \times 0.9 = 3,219 (3,219)$ 合計 (1) + (2) $38,781 (38,781)$
				9. 借料及び損料 ☆ (1) 事務所借料(三井ビル) 1. 事務所(45~48階) $6,900円 \times 6,718.80m^2 \times 12月^{(6)} = 556,317 (532,129)$ 事務所(9階) $6,700円 \times 839.85m^2 \times 12月^{(6)} = 67,524 (64,501)$ 小計 $623,841 (596,630)$
				四. コア $4860円 \times 664.36m^2 \times 12月^{(6)} = 38,745 (37,351)$
				八. 倉庫 $3,630円 \times 51.22m^2 \times 12月^{(6)} = 2,231 (2,112)$
				二. 車庫 $85,320円 \times 30台 \times 12月 = 30,715 (30,715)$ 計 1 ~ = $695,532 (666,808)$

(57)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(2) 経済協力センター土地借料
				イ アジア経済研究所所有地借料
				建物敷地
				$\{(386,790円 \times 0.06 \times 752.8m^2) + 11,303,910円 \times \frac{752.8m^2}{3,378.5}\}$
				$\times \frac{39.7}{100} = 7,936 (7,936)$
				駐車場敷地
				$(386,790円 \times 0.06 \times 306.9m^2) + 11,303,910円 \times \frac{306.9m^2}{3,378.5}$
				$\times \frac{14}{21} 台 = 5,433 (5,433)$
				ロ 民有地借料
				$527,170円 \times 12月 \times \frac{39.7}{100} = 2,511 (2,511)$
				ハ 国有地借料 (警視庁及び防衛庁)
				$20,278円 \times \frac{39.7}{100} = 8 (8)$
				計 イ～ハ 15,888 (15,888)
				(3) ゼロックス借料
				$97,630円 \times 7台 \times 12月 = 8,201 (8,201)$
				(4) 事務合理化機器

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				イ. ワードプロセッサー借料 $86,560円 \times 2台 \times 12月$ $= 2,077 (2,077)$
				ロ. パーソナルコンピュータ借料 $22,430円 \times 3台 \times 12月 = 808 (0)$
				ハ. 光ディスク借料 $290,000円 \times 1台 \times 12月 = 3,480 (0)$
				計 イ～ハ 6,365 (2,077)
				(5) 在外住宅借上料 $3,674円 \times 93.781 (181,967)$ (自収入見合) $= 97,455 (185,641)$
				(6) 国内住宅借上料 $45,780円 \times 22戸 \times 12月 = 12,086 (12,086)$
				特別分 13,865 (13,865)
				合計 (1)～(6) 849,392 (904,566)
				10. 会議費 理事会 $205円 \times 18人 \times 4回 \times 12月 \times 0.9 = 159 (159)$
				部長会 $205円 \times 23人 \times 4回 \times 12月 \times 0.9 = 204 (204)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				全国支部長会議 $314円 \times 86人 \times 1回 \times 0.9 = 24(24)$
				関係各省連絡会議 $318円 \times 10人 \times 6回 \times 12月 \times 0.9 = 206(206)$
				一般事務打合せ $200円 \times 16人 \times 24回 \times 12月 \times 0.9 = 829(829)$
				確定選考連絡会議 $317円 \times 10人 \times 4回 \times 12月 \times 0.9 = 137(137)$
				特別会議 $63,590円 \times 2回 \times 12月 \times 0.9 = 1,374(1,374)$
				計 2,933(2,933)
				11. 交通費 地下鉄等 $89円 \times 2,567回 \times 0.9 = 206(206)$
				自動車 $327円 \times 645回 \times 0.9 = 190(190)$
				自動車借上料 $6,575円 \times 7台 \times 25回 \times 12月 \times 0.9 = 12,427(12,427)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎	
				計	12,823 (12,823)
				12. 図書購入費	
				執務参考図書(和書)	
				$676円 \times 720冊 \times 0.9$	= 438 (438)
				執務参考図書(洋書)	
				$1,797円 \times 360冊 \times 0.9$	= 582 (582)
				計	1,020 (1,020)
				13. 賃金	
				(1) 常備賃金	
				一般事務	
				$62,910円 \times 2人 \times (12月+4.9月)$	= 2,126 (2,126)
				会計事務	
				$127,130円 \times 1人 \times (12月+4.9月)$	= 2,148 (2,148)
				小計	4,274 (4,274)
				(2) 臨時雇賃金	
				$2,420円 \times 6人 \times 13日 \times 6月 \times 0.9$	= 1,061 (1,019)
				$2,420円 \times 10人 \times 14日 \times 12月 \times 0.9$	= 3,659 (3,659)
				$2,420円 \times 1,390人 \times 0.9$	= 3,027 (3,027)
				小計	7,705 (7,705)

(61)
(単位: 千円)

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				計 (1) + (2) 11,979 (11,979)
				14. 保険料 女 ----- (除自己収入見合支出分 160千円)
				(1) 自動車保険料
				強制賠償 44,320円 × 10台 = 443 (443)
				任意賠償 116,624円 × 20台 = 2,332 (2,332)
				小 計 2,775 (2,775)
				(2) 火災保険料
				イ 経協ビル方舎
				庁舎
				$280,000 \times \frac{50}{100} \times \frac{1.16}{1000} = 163 (163)$
				ボイラー
				{ 1台 × (3,600 × $\frac{7.82}{1000} + 6,500$ 円)
				+ (5,000 × $\frac{0.3}{1000}$) } × $\frac{39.7}{100} = 15 (15)$
				小 計 178 (178)
				ロ 職員住宅
				$2,745$ 千円 + ($162,990$ 千円 × $\frac{4}{1000}$) + 160 千円 (自己収入見合)
				= 3,557 (3,557)
				ハ 動 産
				$11,200 \times \frac{4}{1000} = 45 (45)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				計 イ～ハ 3,780 (3,780)
				合計 (1) + (2) 6,555 (6,555)
				15. 諸税公課 女
				(1) 不動産取得税
				職員住宅
				$158,240 \times \frac{80}{100} \times \frac{3}{100} = 3,798 (3,798)$
				(2) 固定資産税
				イ 職員住宅
				$2,119,897 \times \frac{14}{1,000} = 29,679 (29,679)$
				ロ 経協ビル庁舎
				$308,000 \times \frac{80}{100} \times \frac{14}{1,000} = 3,450 (3,450)$
				ハ 償却資産税
				$43,164 \times \frac{14}{1,000} = 604 (604)$
				計 イ～ハ 33,733 (33,733)
				(3) 都市計画税
				イ 経協ビル庁舎

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				$308,000 \times \frac{80}{100} \times \frac{3}{1,000} = 740 (740)$
				□ 土地建物
				$246,117 \times \frac{3}{1,000} = 738 (738)$
				計 □
				$1,478 (1,478)$
				(4) 法人郡民税
				10 (10)
				(5) 自動車重量税
				$39,690円 \times 7台 + 52,920円 \times 3台 = 437 (437)$
				(6) 自動車税
				757 (757)
				合計 (1) ~ (6)
				40,213 (40,213)
				16. 自動車購入費
				$2,203 \times 3台 \times 0.9 = 5,948 (5,948)$
				17. 自動車維持費
				$151,997円 \times 20台 \times 0.9 = 2,736 (2,736)$
				18. 修繕費
				(1) 機械器具修繕費
				タイプ修理
				$13,917円 \times 12月 \times 0.9 = 150 (150)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				会計器修理
				$84,250円 \times 4台 \times 0.9 = 303(303)$
				その他
				$14,417円 \times 12月 \times 0.9 = 156(156)$
				計 609(609)
				(2) 住宅等修理
				1. 東京地区
				(a) 所沢住宅(S.40. 3建, 18戸) ⁽²⁴⁾
				畳取替
				$4,870円 \times 10.5畳 \times 9戸 \times 0.9 = 414(460)$ ⁽¹⁰⁾
				襖張替
				$2,440円 \times 14枚 \times 9戸 \times 0.9 = 277(307)$ ⁽¹⁰⁾
				小計 691(767)
				(b) 西八王子住宅(S.45. 10建, 17戸)
				畳取替
				$4,870円 \times 16.5畳 \times 6戸 \times 0.9 = 434(434)$
				襖張替
				$2,440円 \times 12枚 \times 6戸 \times 0.9 = 158(158)$
				小計 592(592)

(65)
(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(c) 客前平住宅(S.46.10連、10戸) 畳取替 $4,870円 \times 16.5畳 \times 5戸 \times 0.9 = 362(362)$ 襖張替 $2,440円 \times 15枚 \times 5戸 \times 0.9 = 165(165)$ 小計 527(527)
				(d) 南海神住宅(S.41.1連、2戸) 畳取替 $4,870円 \times 16畳 \times 2戸 \times 0.9 = 140(140)$ 襖張替 $2,440円 \times 10枚 \times 2戸 \times 0.9 = 44(44)$ 小計 184(184)
				(e) 鎌ヶ谷住宅(S.47.8連、10戸) 畳取替 $4,870円 \times 18畳 \times 7戸 \times 0.9 = 552(552)$ 襖張替 $2,440円 \times 17枚 \times 6戸 \times 0.9 = 224(224)$ 小計 776(776)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎	
				(5) 三軒茶屋住宅(S.46.3建.3戸) 畳取替 $4,870円 \times 12畳 \times 3戸 \times 0.9 = 158(158)$ 襖張替 $2,440円 \times 4枚 \times 3戸 \times 0.9 = 26(26)$ 小計 184(184)	
				(9) 高円寺住宅(S.46.12建.7戸) 畳取替 $4,870円 \times 12畳 \times 7戸 \times 0.9 = 368(368)$ 襖張替 $2,440円 \times 4枚 \times 7戸 \times 0.9 = 61(61)$ 小計 429(429)	
				(A) 新原町田住宅(S.44.3建.12戸) 風呂釜取替 $8,140円 \times 5戸 \times 0.9 = 366(366)$ 畳取替 $4,870円 \times 16.5畳 \times 6戸 \times 0.9 = 434(434)$ 襖張替 $2,440円 \times 13枚 \times 6戸 \times 0.9 = 171(171)$ 小計 971(971)	

(67)
(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				(6) 京王北野マンション(S.51. 2建、2戸) 畳取替 $4,870円 \times 16.5畳 \times 2戸 \times 0.9 = 145(145)$ 換張替 $2,440円 \times 10枚 \times 2戸 \times 0.9 = 44(44)$ 小計 189(189)
				(7) 横須賀ハイム(S.51. 7建、1戸) 畳取替 $4,870円 \times 16.5畳 \times 1戸 \times 0.9 = 72(72)$ 換張替 $2,440円 \times 10枚 \times 1戸 \times 0.9 = 22(22)$ 小計 94(94)
				(8) 八王子セントラルマンション(S.51. 12建、10戸) 畳取替 $4,870円 \times 12畳 \times 5戸 \times 0.9 = 263(263)$ 換張替 $2,440円 \times 10枚 \times 5戸 \times 0.9 = 110(110)$ 小計 373(373)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(2) 八王子セントラルマンション(S. 52. 3建. 1戸)
				受取替
				$4,870円 \times 12量 \times 1戸 \times 0.9 = 53(53)$
				換張替
				$2,440円 \times 10枚 \times 1戸 \times 0.9 = 22(22)$
				小計 75(75)
				(m) ハイネス立川(S. 52. 11建. 1戸)
				受取替
				$4,870円 \times 6量 \times 1戸 \times 0.9 = 26(26)$
				換張替
				$2,440円 \times 2枚 \times 1戸 \times 0.9 = 4(4)$
				小計 30(30)
				(n) 町屋ハイム(S. 53. 3建. 12戸)
				受取替
				$4,870円 \times 12量 \times 6戸 \times 0.9 = 316(316)$
				換張替
				$2,440円 \times 4枚 \times 6戸 \times 0.9 = 53(53)$
				小計 369(369)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(O) 相模大野住宅(S.41.11建.10戸) 内壁塗装 $855円 \times 54.6 m^2 \times 10戸 \times 0.9 = 420 (420)$
				(P) 相模大野住宅(S.45.10建.1戸) 風呂釜取替 $81,000円 \times 1戸 \times 0.9 = 73 (73)$ 畳取替 $4,870円 \times 16.5畳 \times 1戸 \times 0.9 = 72 (72)$ 襖張替 $2,500円 \times 10枚 \times 1戸 \times 0.9 = 23 (23)$ 小計 168 (168)
				(Q) 相武台住宅(S.45.10建.4戸) 風呂釜取替 $81,250円 \times 4戸 \times 0.9 = 293 (293)$ 畳取替 $4,870円 \times 16.5畳 \times 4戸 \times 0.9 = 289 (289)$ 襖張替 $2,440円 \times 10枚 \times 4戸 \times 0.9 = 88 (88)$ 小計 670 (670)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎		
				(R) 根岸住宅(S.47. 3建、12戸) 風呂釜取替 $81,280円 \times 6戸 \times 0.9 = 439(439)$ 畳取替 $4,870円 \times 15畳 \times 6戸 \times 0.9 = 394(394)$ 換気管 $2,440円 \times 10枚 \times 6戸 \times 0.9 = 132(132)$ 小計 965(965) 計 (a) ~ (R) 7,707(7,783)		
				口. 地方 (a) 大阪センター住宅(S.44. 1建、4戸) 換気管 $2,440円 \times 10枚 \times 4戸 \times 0.9 = 88(88)$		
				(b) 桃山台住宅(S.47. 3建、3戸) 畳取替 $4,870円 \times 12畳 \times 3戸 \times 0.9 = 158(158)$ 換気管 $2,440円 \times 10枚 \times 3戸 \times 0.9 = 66(66)$ 小計 224(224)		

(71)
(单位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(c) 川木千里丘住宅(S. 51. 7建. 6戸)
				畳取替
				$4,870円 \times 12畳 \times 3戸 \times 0.9 = 158 (158)$
				襖張替
				$2,440円 \times 10枚 \times 3戸 \times 0.9 = 66 (66)$
				小計 224 (224)
				(d) 須磨一谷住宅(S. 48. 6建. 2戸)
				畳取替
				$4,870円 \times 12畳 \times 2戸 \times 0.9 = 105 (105)$
				襖張替
				$2,440円 \times 10枚 \times 2戸 \times 0.9 = 44 (44)$
				小計 149 (149)
				(e) Xゾーン新大阪住宅(S. 49. 2建. 5戸) ⁽⁷⁾
				風呂釜取替
				$81,167円 \times 5戸 \times 0.9 = 365 (438)$ ⁽⁶⁾
				畳取替
				$4,870円 \times 10.5畳 \times 5戸 \times 0.9 = 230 (230)$
				襖張替
				$2,440円 \times 6枚 \times 4戸 \times 0.9 = 53 (53)$
				小計 648 (721)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(5) 園内支部等借上住宅(22戸) 置取替 $4,870円 \times 10.5畳 \times 12戸 \times 0.9 = 552(552)$ 換張替 $2,440円 \times 6枚 \times 12戸 \times 0.9 = 158(158)$ 小計 710(710) 計 (a) ~ (5) 2,043(2,116)
				ハ. 宿舍等保護管理(自己収入見合) $434,930円 \times 12戸 = 5,219(5,219)$
				ニ. その他 水回り排水管オーバーホール $2,440円 \times 40戸 \times 1回 \times 0.9 = 88(88)$ 置取替 $1,628円 \times 16畳 \times 150戸 \times \frac{1}{3} \times 0.9 = 1,172(1,172)$ 換張替 $1,628円 \times 20枚 \times 150戸 \times \frac{1}{3} \times 0.9 = 1,465(1,465)$ 計 2,725(2,725)
				合計 イ ~ = 17,694(17,843)

(73)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(3) 各所修繕 $24,245円 \times 12月 \times 0.9 = 262 (262)$
				(4) 特別修繕 $956 (807)$
				総計 (1) ~ (4) $19,521 (19,521)$
				19. 資料収集費 賦課金 $76,000円 \times 9件 \times 0.9 = 616 (616)$
				資料収集費 $25,500円 \times 12件 \times 0.9 = 275 (275)$
				各種移住地関係資料 $12,713円 \times 20組 \times 0.9 = 229 (229)$
				計 $1,120 (1,120)$
				20. 雑役務費 (1) 支払手数料 ☆ 1 海外為替送金手数料 $\{ (3,120円 \times 2回) + (930円 \times 10回) \}$ $\times 2,120件 = 32,945 (32,945)$
				2 国内送金手数料 $280円 \times 315件 \times 12月 = 1,058 (1,058)$

(74)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>ハ 雑手数料</p> <p>土地売買契約認証 5,030円 × 5件 × 12月 = 302 (302)</p> <p>委任状公正証書認証 1,440円 × 2件 × 12月 = 35 (35)</p> <p>登記簿本証明料 860円 × 5件 × 12月 = 72 (72)</p> <p>雑証明料 280円 × 10件 × 12月 = 34 (34)</p> <p>小計 443 (443)</p> <p>計 イ～ハ 34,446 (34,446)</p> <p>(2) 事務所管理委託費 女</p> <p>イ 三井ビル庁舎 事務所清掃料 370円 × 7,434.38 m² × 12月 = 33,009 (33,009)</p> <p>電話交換管理委託費 977,410円 × 12月 = 11,729 (11,729)</p> <p>小計 44,738 (44,738)</p>

(75)
(单位: 十円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				口 経協ビル庁舎 (a) 事務所保安料 $15,848,330円 \times \frac{39.7}{100} = 6,292(6,292)$ (b) 事務所管理料 $29,282,840円 \times \frac{39.7}{100} = 11,625(11,625)$ (c) 事務所清掃料 $28,548,310円 \times \frac{39.7}{100} = 11,334(11,334)$ 小計 29,251(29,251) 計イ + 口 73,989(73,989)
				(3) 職員採用試験広告料 $1,941円 \times 25行 \times 3段 \times 2回 \times 0.9 = 262(262)$
				(4) 身体検査料 $1,005円 \times 100人 \times 0.9 = 90(90)$
				(5) 関係法令外注翻訳料 $2,428円 \times 1,000枚 \times 0.9 = 2,185(2,185)$
				(6) 事務省力化研究費 311(311)
				(7) 職員住宅等管理費(自己収入見合) 23,713(23,428)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 共済会負担金	(19,924) 19,924	21,200	1,276	(8) 雑費 69,250円 × 12月 × 0.9 = 748 (748)
(項) 交際費				合計 (1) ~ (8) 135,744 (135,459)
(目) 交際費	(1,943) 2,003	2,003	0	自己収入見合
(項) 外国旅費	(26,473) 28,466	28,460	△ 6	(954千円 × 0.9) + 1,144千円(自己収入見合) = 2,003 (2,003)
(目) 外国出張旅費	(25,191) 27,087	27,087	0	総合計 1 ~ 20 1,359,968 (1,410,718)

区分	等級	人員	期間	航空賃 円	支度料 円	日当・宿泊料 円	旅行雑費 円	計	目的地
国際会議出席									
(1) コロンボ会議	役員	1	2/1	346,074	54,274	(2,077円 × 21日) + (6,545円 × 20泊) = 174,516	1,573	576	テヘラン
"	2	1	2/1	250,351	44,100	(1,636円 × 21日) + (5,098円 × 20泊) = 136,316	1,573	432	"
(2) D A C 会議	2	2	2/1	297,488 × 2人 = 594,976	44,100 × 2人 = 88,200	{(1,636円 × 21日) + (5,098円 × 20泊)} × 2 = 272,632	1,573 × 2人 = 3,146	958	パリ
(3) ESCAP 会議	2	1	2/1	106,988	44,100	(1,636円 × 21日) + (5,098円 × 20泊) = 136,316	1,573	289	バンコック
(4) UNIDO 会議	2	1	2/1	312,278	44,100	" 136,316	1,573	494	パリ
(5) UNDP 会議	2	1	2/1	215,989	44,100	" 136,316	1,573	398	ニューヨーク
(6) A D B 会議	2	1	2/1	74,640	44,100	(1,573円 × 21日) + (4,846円 × 20泊) = 129,953	1,573	250	マニラ

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
区分	等級	人員	期間	空賃 円	支度料 円	日当 ・ 宿泊料 円	旅行雑費 円	計	目的地
先進国の技術協力実施調査						計	3,397 × 0.8852 × 1.0488	= 3,154	
技術協力実施機 関実態調査	2	1	21	312,278	44,100	(1,636円 × 21日) + (5,098円 × 20泊) = 136,316	1,573	494	パリ
業務調査									
アジア地域	役員	1	21	296,985	54,274	(2,077円 × 21日) + (6,545円 × 20泊) = 174,517	1,573	527	インド、パキスタン ビルマ、インドネシア
"	3	1	21	174,516	39,013	(1,510円 × 21日) + (4,783円 × 20泊) = 127,370	1,573	350	"
中近東地域	3	1	21	276,211	39,013	"	127,370	444	トルコ、イラン アフガニスタン
アフリカ地域	3	1	21	363,690	39,013	"	127,370	531	エチオピア ザンビア
中南米地域	3	1	30	331,662	39,013	(1,510円 × 30日) + (4,783円 × 29泊) = 184,007	1,573	556	メキシコ、ブラ ジル、ペルー
派遣専門要員等との 業務打合せ	2	2	16	151,142 × 2人 = 302,284	44,100 × 2人 = 88,200	{(1,573円 × 16日) + (4,846円 × 15泊)} × 2 = 195,716	1,573 × 2人 = 3,146	589	タンザニア
中南米事務所長会議	2	3	10	251,711 × 3人 = 755,133	22,050 × 3人 = 66,150	{(1,573円 × 10日) + (4,846円 × 9泊)} × 3人 = 178,032	1,573 × 3人 = 4,719	1,003	メキシコ
技術協力状況調査	2	1	14	108,681	22,050	(1,573円 × 14日) + (4,846円 × 13泊) = 85,020	1,573	217	バンコック
"	4	2	14	103,212 × 2人 = 206,424	22,050 × 2人 = 44,100	{(1,322円 × 14日) + (4,154円 × 13泊)} × 2人 = 145,020	1,573 × 2人 = 3,146	390	ニューデリー、タン カ、インドネシア

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
区分	等級	人員	期間	航空賃 円	交度料 円	日当・宿泊料 円	旅行雑費 円	計	目的地
供与機材状況調査	3	6	21	186,260 × 6人 = 1,117,560	39,013 × 6人 = 234,078	{(1,510円 × 21日) + (4,783円 × 20泊)} × 6人 = 764,220	1,573 × 6人 = 9,438	2,125	バンコック、マニラ、ジャカルタ、クアラルンプール
業務調整									
(1) 中近東地域	役員	1	21	346,124	54,274	(2,077円 × 21日) + (6,545円 × 20泊) = 174,517	1,573	576	テヘラン
"	1	1	21	347,131	49,189	(1,762円 × 21日) + (5,442円 × 20泊) = 145,242	1,573	543	"
(2) アジア地域	役員	1	21	297,048	54,274	(2,014円 × 21日) + (6,230円 × 20泊) = 166,894	1,573	520	インド、パキスタン、ビルマ、インドネシア
"	2	1	21	214,070	44,100	(1,573円 × 21日) + (4,846円 × 20泊) = 129,953	1,573	390	"
開飛実施計画協議									
(1) 西アフリカ地域	役員	2	30	730,764 × 2人 = 1,461,528	65,905 × 2人 = 131,810	{(3,020円 × 30日) + (9,251円 × 29泊)} × 2人 = 717,758	1,573 × 2人 = 3,146	2,314	ナイジェリア、コート、ザール
(2) 中近東地域	役員	1	30	712,979	65,905	(3,020円 × 30日) + (9,251円 × 29泊) = 358,879	1,573	1,139	エジプト、アラブ、イラン、シリア、パキスタン
(3) 中南米地域	役員	1	30	647,465	65,905	358,879	1,573	1,074	メキシコ、ブラジル、ペルー、コロンビア
調査指導連絡会議	役員	2	29	582,013 × 2人 = 1,164,026	54,274 × 2人 = 108,548	{(3,020円 × 29日) + (9,251円 × 28泊)} × 2人 = 693,216	1,573 × 2人 = 3,146	1,969	フェリスアイランド
一般調査指導									
(1) 南米地域	3	5	34	389,498 × 5人 = 1,947,490	47,370 × 5人 = 236,850	{(1,510円 × 34日) + (4,783円 × 32泊)} × 5人 = 1,021,980	1,573 × 5人 = 7,865	3,214	フェリスアイランド
(2) 北米地域	3	1	16	218,985	39,013	(1,510円 × 16日) + (4,783円 × 14泊) = 91,122	1,573	351	トロント
移住事務連絡会議	3	1	31	388,479	47,370	(1,510円 × 31日) + (4,783円 × 29泊) = 185,517	1,573	623	フェリスアイランド

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
区分	等級	人員	期間	航空賃 円	支席料 円	日当 円	宿泊料 円	旅行雑費 円	計	目的地
在外経理指導調査										
中南米地域	3	2	35	388,479 × 2人 = 776,958	47,370 × 2人 = 94,740	{(1,510円 × 35日) + (4,783円 × 33泊)} × 2人 = 421,378		1,573 × 2人 = 3,146	1,296	ブエノスアイレス
予算関係指導調査	3	1	35	388,479	47,370	(1,510円 × 35日) + (4,783円 × 33泊)	= 210,689	1,573	648	"
訟務関係調査	3	1	43	388,479	47,370	(1,510円 × 43日) + (4,783円 × 41泊)	= 261,033	1,573	699	"
監事監査	監事	1	34	582,013	65,905	(2,077円 × 34日) + (6,545円 × 32泊)	= 280,058	1,573	930	"
監事監査	3	1	34	388,429	47,370	(1,510円 × 34日) + (4,783円 × 32泊)	= 204,396	1,573	642	"
						計	24,154 × 0.8749 × 1.0488		= 22,163	
専門家語学検定										
(1) アジア地域	2	2	30	143,093 × 2人 = 286,186	53,550 × 2人 = 107,100	{(1,762円 × 30日) + (5,412円 × 29泊)} × 2人 = 449,616		1,573 × 2人 = 3,146	816	ジャカルタ、マニラ、バンコク
(2) 中近東アフリカ地域	2	1	30	23,219	53,550	(1,825円 × 30日) + (5,664円 × 29泊)	= 219,006	1,573	506	キンシャサ、ロハ、ナイロビ、ハラレ
(3) 中南米地域	2	1	30	291,177	53,550	"	219,006	1,573	565	ブエノスアイレス、ボゴタ、メキシコ
						計	1,887 × 0.8745 × 1.0488		= 1,770	
合計		55				計			27,087	

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎				
(目) 現地調査費	(1,282) 1,379	1,373	△ 6	② 調査費 $49,950円 \times 294 - 4 \times \frac{237}{225} \times 0.9 = 1,373 (1,379)$				
(ロ) 増員分	0	1,716	1,716					
(ハ) 業務諸費	0	1,716	1,716					
(ニ) 赴任旅費	0	594	594	全額 ☆ $115,360円 \times 12人 \times \frac{3}{7} = 594 (0)$				
	基準地	等級	鉄道賃	日当	宿泊料	移転料	着後手当	計
	名古屋	5	13,560円	1,300円 × 1日 = 1,300	6,500円 × 1泊 = 6,500	110,000円 × $\frac{1}{2}$ = 55,000	(1,300 + 6,500) × 5日 = 39,000	115,360円
(目) 庁費	0	1,122	1,122	1. 人当庁費	59,730円 × 12人	=	477 (0)	
				2. 厚生費				
				(1) 人当厚生費	3,900円 × 12人	=	47 (0)	
				(2) 職員厚生費				
				成人病予防及び精密検診費	5,210円 × 12人	=	63 (0)	
				計 (1) + (2)		=	110 (0)	
				3. 備品費 (初年度備品)	44,600円 × 12人	=	535 (0)	
				計 1 ~ 3				1,122 (0)

(81)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(3) 運営審議会経費				
(項) 業務諸費	(978) 1,053	1,053	0	全額 ODA
(目) 諸謝金	(275) 296	296	0	$2,350円 \times 10人 \times 14回 \times 0.9 = 296 (296)$
(目) 委員旅費	(192) 207	207	0	$12,937円 \times 4人 \times 4回 = 207 (207)$
(目) 方費	(511) 550	550	0	1. 印刷製本費 $39円 \times 50部 \times 3種 \times 4回 \times 0.9 = 21 (21)$
				2. 借料及び損料 $3,103円 \times 4回 = 12 (12)$
				3. 会議費 $1,244円 \times 33人 \times 14日 \times 0.9 = 517 (517)$
				計 1 ~ 3 550 (550)
(4) 職員研修経費	(7,860) 8,058	8,057	△ 1	全額 ODA
(項) 業務諸費	(7,860) 8,058	8,057	△ 1	

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 謝金	(6,228) 6,406	6,405	△ 1	<p>1. 一般研修 女</p> <p>(1) 人事院方式監督者研修 $3,570円 \times 6H \times 8日 \times 2回 = 343 (343)$</p> <p>(2) 語学研修講師謝金(初級及び中級)</p> <p>英語 $3,500円 \times 2H \times 20日 \times 4コース \times 5カ所 = 2,800 (2,800)$</p> <p>スペイン語 $3,500円 \times 3H \times 12週 \times 1コース \times 1カ所 = 126 (126)$</p> <p>ポルトガル語 $3,500円 \times 3H \times 12週 \times 1コース = 126 (126)$</p> <p>フランス語 $3,500円 \times 3H \times 12週 \times 1コース = 126 (126)$</p> <p>小計 $3,178 (3,178)$</p> <p>計 (1) + (2) $3,521 (3,521)$</p> <p>2. 実務及び専門研修 女</p> <p>(1) 簿記講習(中・上級) $3,010円 \times 1H \times 30人 \times 1人 = 90 (90)$</p> <p>(2) 金融実務講習 $3,010円 \times 2H \times 6日 \times 1人 = 36 (36)$</p>

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				(3) 語学研修(上級) $64,040円 \times 1人 \times 3コース = 192 (192)$
				(4) 中南米駐在職員・融資専門員合同研修(海外) ④ ☆ $5,650円 \times 4人 \times \frac{237}{225} = 24 (25)$
				計 (1) ~ (4) 342 (343)
				3. 委託研修
				(1) 労務、人事、契約等講習会参加研修 $19,400円 \times 15コース \times 2人 \times 0.9 = 524 (524)$
				(2) 研修管理員委託研修 $33,550円 \times 2コース \times 7人 \times 0.9 = 423 (423)$
				(3) 英語研修 $22,130円 \times 1月 \times 25人 \times 0.9 = 498 (498)$
				(4) フランス語、スペイン語、アラビア語、ポルトガル語研修 $13,380円 \times 1月 \times 3人 \times 4種 \times 0.9 = 145 (145)$
				計 (1) ~ (4) 1,590 (1,590)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 職員旅費	(1,371) 1,371	1,371	0	4. スペシャリスト養成研修
				(1) 開発エコノミスト養成研修
				$88,150円 \times 12月 \times 1人 \times 0.9 = 952 (952)$
				合計 1 ~ 4 6,406 (6,406)
				全額★
				1. 一般研修
				(1) 人事院方式監督研修(3等級、2泊3日、センター)
				イ 鉄道賃
				$2,052円 \times 2回 \times 31人 = 127 (127)$
				ロ 日当・宿泊料
$\{(708円 \times 3日) + (3,280円 \times 2泊)\} \times 31人 = 269 (269)$				
小計 1 + ロ 396 (396)				
(2) 国内機関職員合同業務研修(4等級、3泊4日、センター)				
イ 鉄道賃				
$2,052円 \times 2回 \times 31人 = 127 (127)$				
ロ 日当・宿泊料				
$\{(643円 \times 4日) + (2,251円 \times 3泊)\} \times 31人 = 289 (289)$				
小計 1 + ロ 416 (416)				

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				計 (1) + (2) 812 (812)
				2. 専門研修
				(1) 農業試験研修(東京～平塚、4等級、10泊11日)
				イ 鉄道賃
				6,250円 × 2 × 4人 × 1回 = 50 (50)
				ロ 日当・宿泊料
				{(643円 × 11日) + (2,251円 × 10泊)}
				× 4人 × 1回 = 119 (119)
				小計 イ + ロ 169 (169)
				(2) 農業機械技術研修(東京～内麻、4等級、9泊10日)
				イ 鉄道賃
				8,349円 × 2 × 3人 × 1回 = 50 (50)
				ロ 日当・宿泊料
				{(643円 × 10日) + (2,251円 × 9泊)}
				× 3人 × 1回 = 81 (81)
				小計 イ + ロ 131 (131)
				(3) 養蚕技術研修(東京～長野、4等級、9泊10日)
				イ 鉄道賃
				8,750円 × 2 × 2人 × 1回 = 35 (35)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				□ 日当・宿泊料 $\{(643円 \times 10日) + (2,251円 \times 9泊)\}$ $\times 2^{\wedge} \times 1回 = 53 (53)$ 小 計 イ + □ 88 (88)
				(4) 畜産技術研修(東京～白河, 4等級, 9泊10日) イ 鉄道賃 $8,500円 \times 2 \times 2人 \times 1回 = 34 (34)$
				□ 日当・宿泊料 $\{(643円 \times 10日) + (2,251円 \times 9泊)\}$ $\times 2^{\wedge} \times 1回 = 53 (53)$ 小 計 イ + □ 87 (87)
				(5) 農業土木技術研修(東京～平塚, 4等級, 10泊11日) イ 鉄道賃 $6,250円 \times 2 \times 2人 \times 1回 = 25 (25)$
				□ 日当・宿泊料 $\{(643円 \times 11日) + (2,251円 \times 10泊)\}$ $\times 2^{\wedge} \times 1回 = 59 (59)$ 小 計 イ + □ 84 (84)

(87)
(単位：十円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 庁 費	(261) 281	281	0	計 1) ~ (5) 559 (559)
				合 計 1 + 2 1,371 (1,371)
				1. 備品費 語学研修用テープ $1,840円 \times 2セット \times 3種 \times 8カ所 \times 0.9$ = 79 (79)
				2. 図書購入費 $350円 \times 4種 \times 100冊 \times 0.9 = 126 (126)$
				3. 印刷製本費 研修用資料作成費 $210円 \times 4種 \times 100冊 \times 0.9 = 76 (76)$
				合 計 1 ~ 3 281 (281)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
2. 海外事務所に必要な経費	(1,264,767) 1,298,490	1,437,030	138,540	金額 ODA
(項) 外国旅費	(358,659) 368,365	388,651	29,286	
(目) 外国赴滞任旅費	(201,138) 201,138	221,359	20,221	★
				1. 海外事務所(テヘラン基準、家族構成2.5人、3等級)
				(1) 赴任(新規 ⁽⁶⁾ 16件 交替赴任 ⁽²²⁾ 23件 計 ⁽²⁸⁾ 39件)
				航空賃 $318,880円 \times 2.5人 = 797,200円$
				支度料 $190,000円 \times (1 + \frac{2}{3}) = 316,667$
				移転料 $377,500円 \times (1 + \frac{15}{100}) = 434,125$
				着後手当 $13,555円 \times \frac{6}{3} \times 10日 = 271,100$
				日当 $3,200円 \times \frac{6}{3} = 6,400$
				旅行雑費 20,000
				小計 $1,845,492円 \times 39件^{(28)} \times 0.95 \times 1.13 = 772,64(55,472)$
				(2) 帰国(交替帰国 ⁽²²⁾ 23件)
				航空賃 $318,880円 \times 2.5人 = 797,200円$
				移転料 $377,500円 \times (1 + \frac{15}{100}) = 434,125$
				着後手当 $9,700円 \times \frac{6}{3} \times 5日 = 97,000$

(89)
(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				日当 $3,200円 \times \frac{2}{3} = 6,400$ 旅行雑費 9,570 小計 $1,344,295円 \times 2.31^{(2)} \times 0.95 \times 1.13 = 33,191(31,740)$ 小計 (1) + (2) 110,455(87,220)
				2. 本部 ~ 海外支部交替旅費 (フエノスライヴ基準、家族構成 3.5人、3等級)
				(1) 赴任(交替赴任 $\frac{(18)}{18}$ 件)
				航空賃 $448,220円 \times 3.5人 = 1,569$ 支度料 $150,000円 \times (1 + \frac{2}{3}) = 250$ 移転料 $302,000円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 393$ 着後手当 $(2,600 + 8,100)円 \times \frac{8}{3} \times 10日 = 285$ 日当・宿泊料 $\{(2,600 \times 3日) + 8,100\} \times \frac{8}{3} = 43$ 旅行雑費 $4,000円 \times 4人 = 16$ 小計 $2,556 \times 18.1件 \times 0.95 \times 1.13 = 49,390(47,390)$
				(2) 帰国(交替帰国 $\frac{(18)}{18}$ 件)
				航空賃 $448,200円 \times 3.5人 = 1,569$ 移転料 $302,000円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 393$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				着後手当 $(850 + 4,100) \times \frac{8}{3} \times 5^{\text{日}} = 66$
				日当宿泊料 $\{(2,600 \times 3\text{日}) \times 8,100\text{円}\} \times \frac{8}{3} = 43$
				旅行雑費 4
				小計 $2,075 \times 181\text{件} \times 0.95 \times 1.13 = 40,095(40,095)$
				計 (1) + (2) 89,485(89,485)
				3. 駐在員事務所(テヘラン基準、家族構成3.5人、3等級)
				(3) 1) 赴任(交替赴任 3件)
				航空賃 $251,660\text{円} \times 3.5\text{人} = 881$
				支度料 $150,000\text{円} \times (1 + \frac{2}{3}) = 250$
				移転料 $274,800\text{円} \times (1 + \frac{30}{100}) = 357$
				着後手当 $(2,600 + 8,100) \times \frac{8}{3} \times 10^{\text{日}} = 285$
				日当・宿泊料 $(2,600 + 8,100) \times \frac{8}{3} \times 2^{\text{日}} = 57$
				旅行雑費 $2,500\text{円} \times 3.5\text{人} = 9$
				小計 $1,839 \times 3\text{件} \times 0.95 \times 1.13 = 5,922(5,922)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				(2) 帰国(交管帰国 ⁽³⁾ 3件)
				航空賃 $25,660円 \times 3.5人 = 881$
				移転料 $274,800円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 357$
				着後手当 $(1,100 + 5,100)円 \times \frac{8}{3} \times 5日 = 83$
				日当・宿泊料 $(2,600 + 8,100)円 \times \frac{8}{3} \times 2日 = 57$
				旅行雑費 $2,500円 \times 3.5人 = 9$
				小計 $1,387 \times 3件 \times 0.95 \times 1.13 = 4,467(4,467)$
				計 (1) + (2) $10,389(10,389)$
				4. 海外支那間交替旅費
				(サンパウロ～アスンソン 基準, 家族構成 3.5人 4等級)
				航空賃 $42,100円 \times 3.5人 = 140$
				移転料 $221,000円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 287$
				着後手当 $(3,200円 + 9,800)円 \times \frac{8}{3} \times 10日 = 347$
				日当・宿泊料 $3,200円 \times \frac{8}{3} = 9$
				旅行雑費 $= 5$
				計 $788 \times 8件 \times 0.95 \times 1.13 = 6,767(6,767)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>5. 海外域内間支管旅費 ①</p> <p>(サンパウロ→ブラジリア基埠、家族構成3.5人 4等級)</p> <p>航空賃 $24,000^{\text{円}} \times 3.5^{\text{人}} = 84$</p> <p>移転料 $128,460^{\text{円}} \times (1 + \frac{30}{100}) = 167$</p> <p>着後手当 $(2,330 + 7,150)^{\text{円}} \times \frac{8}{3} \times 5^{\text{日}} = 126$</p> <p>計 $377 \times \frac{(17)^{\text{円}}}{10^{\text{円}}} \times \frac{(238)^{\text{円}}}{225} \times 0.95 \times 1.13 = 4,263 (7,277)$</p> <p>合計 1～5 $221,359 (201,138)$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 子女呼寄せ旅費	(1,416) 1,523	1,627	104	海外事務所(テヘラン基準) $(334,300 \text{円} \times \frac{75}{100} - 20,000 \text{円}) \times (70^{\text{A}} - 23^{\text{A}}) \times \frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \times 0.9 = 1,627 (1,523)$
(目) 在外職員活動旅費	(61,250) 65,860	62,187	△ 3,673	1. 海外事務所 (イ) 既設 航空賃 $33,520 \text{円} \times 1 \text{回} \times 12 \text{月} \times 26 \text{ヶ所} = 10,458 (10,458)$ 日当・宿泊料 $\{(1,818 \text{円} \times 4 \text{日}) + (5,664 \text{円} \times 3 \text{泊})\} \times 1 \text{回} \times 12 \text{月} \times 26 \text{ヶ所} = 7,570 (7,570)$ 小計 $18,028 \times 0.9 \times 0.95 \times 1.088 = 16,773 (16,773)$ (ロ) 新設 航空賃 $33,520 \text{円} \times 1 \text{回} \times 6 \text{月} \times 1 \text{ヶ所} = 201$ 日当・宿泊料 $\{(1,818 \text{円} \times 4 \text{日}) + (5,664 \text{円} \times 3 \text{泊})\} \times 1 \text{回} \times 6 \text{月} \times 1 \text{ヶ所} = 146$ 小計 $347 \times 0.9 \times 0.95 \times 1.088 = 323 (0)$ 計 17,096 (16,773)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>2. 海外支那 ㊸</p> <p>航空賃 $35,970 \text{円} \times 2 \text{回} \times 12 \text{月} \times 12 \text{機} = 10,359$</p> <p>日当・宿泊料 $\{(1,222 \text{円} \times 4 \text{日}) + (3,806 \text{円} \times 3 \text{泊})\} \times 2 \text{回} \times 12 \text{月} \times 12 \text{機}$ $= 4,696$</p> <p>(238) $\frac{237}{225}$ 計 $15,055 \times \frac{237}{225} \times 0.9 \times 0.95 \times 1.088$ $= 14,752 (14,816)$</p> <p>3. 駐在員事務所</p> <p>$135,020 \text{円} \times 16 \text{机} \times 12 \text{月} \times 0.95 \times 1.088 = 26,800 (26,800)$</p> <p>4. 融資管理旅費 ㊸</p> <p>(1) 現地一般融資の新規貸付及び既貸付債権管理旅費</p> <p>(238) $\frac{237}{225}$ $172,480 \text{円} \times 12 \text{月} \times \frac{237}{225} = 2,180 (2,263)$</p> <p>(2) 更生資金貸付及び指導旅費</p> <p>(238) $\frac{237}{225}$ $30,200 \text{円} \times 12 \text{月} \times \frac{237}{225} = 382 (396)$</p> <p>計 $2,562 \times 0.95 \times 1.088 = 2,648 (2,749)$</p> <p>5. 借法人清算活動旅費</p> <p>(1) JAMIC 土地分譲債権の南銀移転手続(ペレオン)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				$51,000円 \times \overset{(4)}{1} \text{地区} \times \overset{(3)}{1} \text{人} \times 2 \text{回} = 102 (1,224)$
				(ロ) 入植地処分に伴う管内機関打合せ(ベレーン) $40,000円 \times \overset{(3)}{1} \text{地区} \times \overset{(2)}{1} \text{人} \times 2 \text{回} = 80 (480)$
				(ハ) 伯国中央官庁(中央銀行、IN CRA等)打合せ(リオ、サンパウロ、ベレーン) $85,000円 \times 3 \text{支部} \times 1 \text{人} \times 2 \text{回} = 510 (510)$
				(ニ) 支店開鎖手続打合せ(於：リオ、サンパウロ、ベレーン) $85,000円 \times \overset{(4)}{2} \text{支部} \times 1 \text{人} \times 1 \text{回} = 170 (340)$
				(ホ) その他前年度限り) 0 (2,025)
				計 (イ) ~ (ホ) $\overset{(4577)}{862 \times 0.95 \times 1.088} = 891 (4,722)$
				合計 1 ~ 5 62,187 (65,860)
(目) 一時帰国旅費	(89,906) 96,673	99,010	2,337	1. 一時帰国旅費 (イ) 海外事務所(テヘラン基準) $\text{航空賃 } 351,900円 \times 2.5 \text{人} \times \overset{(21)}{23} \text{人} = 20,234 (18,475)$ $\text{白 当 } 1,812円 \times 1 \text{日} \times 2 \text{回} \times \frac{4}{3} \times \overset{(21)}{23} \text{人} = 167 (152)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				$\text{小計 } \overset{(18,627)}{20,401} \times 0.9 = 18,361 \text{ (16,764)}$
				(ロ) 海外支那(プエ)スマイルズ基準 航空賃 $498,540 \text{円} \times 3.5 \text{人} = 1,727$ 日当・宿泊料 $\{ (2,937 \text{円} \times 2 \text{日}) + (2,657 \text{円} \times 1 \text{日}) + 2,888 \text{円} \} \times \frac{8}{3}$ $\times 2 \text{(往復)} = 93$ $\text{小計 } 1,820 \times 20 \text{件} \times 0.9 = 32,760 \text{ (32,760)}$
				(ハ) 駐在員事務所(テヘラン基準) 航空賃 $503,300 \text{円} \times 3.5 \text{人} = 1,762$ 日当 $4,200 \text{円} \times 1 \text{日} \times 2 \text{回} \times \frac{8}{3} = 22$ $\text{小計 } \overset{(2)}{1,784} \times 3 \text{件} \times 0.9 = 4,817 \text{ (4,817)}$
				$\text{計 (1) ~ (ハ)} \quad 55,938 \text{ (54,341)}$
				2. 急引帰国旅費 (イ) 海外事務所 $(600,160 \text{円} - 50,000 \text{円}) \times 70 \times \frac{2}{3} \times \frac{45}{1000}$ $= 1,155 \text{ (1,073)}$
				(ロ) 海外支那 $(746,370 \text{円} - 50,000 \text{円}) \times 5 \text{件} = 3,482 \text{ (3,482)}$

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				合計 1~3 99,010 (96,673)
(目) 現地採用者内地研修旅費	(1,415) 1,521	1,521	0	テヘラン基準 航空賃 日当・宿泊料 (648,200円 + 7,500円 × 15日) × 2件 = 1,521 (1,521)
(目) 地域別会議旅費	(1,534) 1,650	1,650	0	(イ) 外国旅費 (航空賃) (日当・宿泊料) 円 1,297,970円 + 245,780円 = 1,543,750 (1,543,750)
				(ロ) 調査費 円 106,250 (106,250)
				計 (イ) + (ロ) 1,650 × 1件 = 1,650 (1,650)
(目) 親族緊急派遣旅費	0	1,297	1,297	テヘラン基準 648,200円 × 2人 × 1件 = 1,297 (0)
項) 業務諸費	(898,936) 920,263	1,038,558	118,295	
(目) 諸謝金	(36,145) 36,145	41,050	4,905	金額 ☆ ②
				(1) 顧問謝金 148,420円 × 1人 × 12月 = 1,781 (1,781)
				(2) 嘱託謝金 68,930円 × 5人 × 12月 = 4,136 (4,136)
				(3) 弁護士謝金 43,600円 × 15人 × 12月 = 7,848 (7,848)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(4) 会計士謝金 $36,480円 \times 1人 \times 12月 = 438 (438)$
				(5) カナダ協力員謝金 $18,050円 \times 6人 \times 12月 = 1,300 (1,300)$
				(6) 亜拓謝金 $182,070円 \times 1人 \times 12月 = 2,185 (2,185)$
				(7) オーストラリア協力員謝金 $18,050円 \times 5人 \times 12月 = 1,083 (1,083)$
				(8) 委託謝金 $400,000円 \times \frac{(3)}{4} \times 12月 = 19,200 (14,400)$
				(9) 借法人清算関係依頼謝金 1,000 (1,000)
				(イ) 弁護士謝金 500
				(ロ) 会計士謝金 500
				計 (1) ~ (9) $\frac{(34,171) (238)}{38,971 \times \frac{237}{225}} = 41,050 (36,145)$
(目) 庁 費	(704.382) 716.289	818.146	101.857	1. 備品費
				(1) 海外事務所
				① 既設分 $182,540円 \times 26ヶ所 \times 0.9 = 4,271 (4,271)$
				② 新設分 $4000,000円 \times 1ヶ所 = 4,000 (0)$
				小 計 8,271 (4,271)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(2) 海外支部 ㊦</p> <p style="text-align: right;">(238)</p> $509,100円 \times 12ヶ所 \times \frac{237}{225} \times 0.9 = 5,792 (5,816)$ <p>(3) 駐在員事務所</p> <p>① 事務所 24,410円 × 16ヶ所 = 391 (391)</p> <p>② 連絡所 24,410円 × 30ヶ所⁽²⁷⁾ = 732 (659)</p> <p style="text-align: right;">計 ① ~ ② ^(1,050) 1,123 × 0.9 = 1,011 (945)</p> <p style="text-align: right;">計 (1) ~ (3) 15.074 (11,032)</p> <p>2. 現地備人員 ☆ ㊦</p> <p>(1) 海外事務所</p> <p>① 既設分</p> <p style="text-align: right;">(931.69) (25) (238)</p> $\text{高級クラスワ } 964.77 \text{ドル} \times 13 \text{月} \times 33 \text{人} \times 237 \text{円} = 98,114 (72,067)$ <p style="text-align: right;">(360.93) (29) (238)</p> $\text{クラスワ } 373.82 \text{ドル} \times 13 \text{月} \times 44 \text{人} \times 237 \text{円} = 50,677 (43,552)$ <p style="text-align: right;">(252.24) (238)</p> $\text{タイピスト等 } 261.25 \text{ドル} \times 13 \text{月} \times 36 \text{人} \times 237 \text{円} = 28,976 (28,096)$ <p style="text-align: right;">計 177,767 (143,715)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>② 新設分</p> <p>高級クラーク $964.97 \text{ 円} \times 1 \text{ 人} \times 6 \text{ 月} \times 237 \text{ 円} = 1,372 (0)$</p> <p>クラーク $373.82 \text{ 円} \times 1 \text{ 人} \times 6 \text{ 月} \times 237 \text{ 円} = 532 (0)$</p> <p>タイピスト等 $261.25 \text{ 円} \times 1 \text{ 人} \times 6 \text{ 月} \times 237 \text{ 円} = 371 (0)$</p> <p style="text-align: right;">計 2,275 (0)</p> <p>① + ② 合計 180,042 (143,715)</p> <p>(2) 海外支部</p> <p>$\frac{(56,220) \text{ (11)} \times 237}{58,232 \text{ 円} \times 13 \text{ 月} \times 5 \text{ 人} \times 225} = 3,987 (8,504)$</p> <p>$\frac{(3,555,850) \text{ (20)} \times 237}{3,682,856 \text{ 円} \times 30 \text{ 人} \times 247} = 106.013 (68,526)$</p> <p style="text-align: right;">計 110,000 (77,030)</p> <p>(3) 駐在員事務所</p> <p>① 事務所</p> <p>高級クラーク $\frac{(931.69) \text{ (238)} \times 237}{964.97 \text{ 円} \times 13 \text{ 月} \times 6 \text{ 人} \times 237 \text{ 円}} = 17,838 (17,296)$</p> <p>タイピスト等 $\frac{(252.24) \text{ (238)} \times 237}{261.25 \text{ 円} \times 13 \text{ 月} \times 16 \text{ 人} \times 237 \text{ 円}} = 12,879 (12,487)$</p> <p style="text-align: right;">小計 30,717 29,783</p>

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				$\textcircled{2} \text{ 連絡所 } \frac{(102,58)}{106,24} \times 13 \text{月} \times 30 \text{ヶ所} \times \frac{(27)}{237} \times 237 \text{円} = 9,820 (8,569)$
				計 ① ~ ② 40,537 (38,352)
				合計 ① ~ ③ 330,579 (259,097)
				3. 通信運搬費 ④
				(1) 海外事務所
				(イ) 一般分
				既設分 $32,110 \text{円} \times 12 \text{月} \times 26 \text{ヶ所} \times \frac{(238)}{225} \times 0.9 = 9,497 (9,537)$
				新設分 $32,110 \text{円} \times 6 \text{月} \times \frac{(0)}{1} \text{ヶ所} \times \frac{(238)}{225} \times 0.9 = 183 (0)$
				計 9,680 (9,537)
				(ロ) テレックス使用料
				既設分 $1,010 \text{円} \times 17 \text{回} \times 20 \text{月} \times 19 \text{ヶ所} \times \frac{(238)}{225} \times 0.9 = 74,223 (56,999)$
				新設分 $1,010 \text{円} \times 17 \text{回} \times 20 \text{月} \times 6 \text{月} \times 1 \text{ヶ所} \times \frac{(238)}{225} \times 0.9 = 1,753 (0)$
				計 76,176 (56,999)
				(ハ) ファクシミリ
				① 指料 $125,000 \text{円} \times (12 \text{月} \times 2 \text{ヶ所} + 6 \text{月} \times 2 \text{ヶ所}) = 4,500 (1,500)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				設置料 保守料 (2) ② 設置料等 $34,000 \text{円} \times 2 \text{ヶ所} + 445,000 \text{円} \times 4 \text{ヶ所} = 1,848 (958)$
				③ 回線使用料 $525 \text{円/分} \times 10 \text{回} \times 10 \text{分} \times (12 \text{月} \times 2 \text{ヶ所} + 6 \text{月} \times 2 \text{ヶ所})$ $= 1,890 (630)$
				小計 ②～③ 8,238 (3,088)
				計 (1)～(11) 94,094 (69,624)
				(2) 海外支部 (238) $69,730 \text{円} \times 12 \text{月} \times 12 \text{ヶ所} \times \frac{237}{225} \times 0.9 = 9,519 (9,559)$
				(3) 駐在員事務所 (イ) 一般分 $29,400 \text{円} \times 12 \text{月} \times 16 \text{ヶ所} \times 0.9 = 5,080 (5,080)$
				(ロ) テレックス使用料 $2,450 \text{円} \times 10 \text{回} \times 12 \text{月} \times 16 \text{ヶ所} \times 0.9 = 4,234 (4,234)$
				計 (1)～(ロ) $9,314 \times \frac{237}{225} = 9,811 (9,852)$
				合計 (1)～(3) 113,424 (89,035)
				4. テレックス設置費 $2,046,290 \text{円} \times 1 \text{ヶ所} \times 0.9 = 1,842 (1,842)$
				5. 借料及預料 ☆ ④
				(1) 海外事務所

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				(イ) 既設分 $113,890円 \times 12月 \times 18ヶ所 \times \frac{(238)}{225} = 25,912 (26,022)$
				(ロ) 新設分 $113,890円 \times 6月 \times 7ヶ所 \times \frac{(238)}{225} = 720 (0)$
				ウ) 合併分
				① ナイロビ $(1,266 \times 1.2) \times 12月 \times \frac{(238)}{217} = 19,911 (19,995)$
				② クアラルンプール $(630 \times 1.2) \times 12月 \times \frac{(238)}{217} = 9,908 (9,950)$
				③ ダレサラム $(1,719 \times 1.2) \times 12月 \times \frac{(238)}{217} = 27,035 (27,149)$
				④ マニラ $(955 \times 1.2) \times 12月 \times \frac{(238)}{229} = 14,232 (14,292)$
				⑤ タツカ $(303 \times 1.2) \times 12月 \times \frac{(238)}{229} = 4,515 (4,539)$
				⑥ カトマンドウ $(170 \times 1.2) \times 12月 \times \frac{(238)}{229} = 2,534 (2,544)$
				小計 ①～⑥ 78,135 (78,469)
				(ニ) 事務所借上
				① バンコック $(1,444 \times 1.2) \times 12月 \times \frac{(238)}{217} = 22,710 (22,806)$
				② ジャカルタ $(1,720 \times 1.2) \times 12月 \times \frac{(238)}{225} = 26,089 (26,199)$
				駐車場借料 $464円 \times 12月 \times \frac{(238)}{225} = 582 (584)$
				小計 ①～③ 49,381 (49,589)

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(ホ) テレックス機器借料 $386,500 \text{円} \times 6 \text{ヶ所} \times \frac{237}{225} = 2,443 (2,453)$ <small>(238)</small>
				(ハ) 事務合理化機器 $86,500 \text{円} \times 12 \text{月} \times 5 \text{ヶ所} = 5,190 (2,076)$ <small>(2)</small>
				計 (イ) ~ (ハ) 161,781 (158,609)
				(ニ) 海外支部
				(イ) 賃借料 $5,328,670 \text{円} \times 12 \text{月} \times \frac{237}{225} = 67,354 (71,343)$ <small>(238)</small>
				(ロ) 現採職員宿舍借料 $104,200 \text{円} \times 15 \times 12 \text{月} \times \frac{1}{3} \times \frac{237}{225} = 9,878 (9,919)$ <small>(238)</small>
				(ウ) 柏園アネックス借料 $113,890 \text{円} \times 12 \text{月} \times 8 \text{ヶ所} \times \frac{237}{229} = 11,316 (11,363)$ <small>(238)</small>
				小計 (イ) ~ (ウ) 88,548 (92,625)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(3) 駐在員事務所
				(1) 事務所 $77,740円 \times 12月 \times 10ヶ所 = 9,329 (9,329)$
				(2) 連絡所 $77,740円 \times 12月 \times 30ヶ所 = 27,986 (25,188)$
				小計 (1) ~ (2) $\frac{(34,517)}{225} \times \frac{(238)}{237} = 39,305 (36,511)$
				計 (1) ~ (3) 289,634 (287,745)
				6. 自動車購入費
				(1) 海外事務所
				$1,393,120円 \times 11台 \times 0.9 = 13,792 (13,792)$
				新設分
				$2,700,000円 \times 1台 = 2,700 (5,400)$
				小計 16,492 (19,192)
				(2) 海外支店 ④
				$1,689,950円 \times 14台 \times \frac{(238)}{225} \times 0.9 = 22,429 (22,524)$
				(3) 駐在員事務所
				$1,393,120円 \times 9台 \times 0.9 = 11,284 (11,284)$
				計 (1) ~ (3) 50,205 (53,000)

(107)
(单位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 療 切 費	(149,804) 159,189	171,991	12,802	7. 印刷製本費
				(1) 技術協力紹介カレンダー $800円 \times 10,000部 \times 0.9 = 7,200 (7,200)$
				(2) 技術協力事業手帳 $370円 \times 10,000部 \times 0.9 = 3,330 (3,330)$
				(3) 業務用資料印刷費 $\frac{(103,200)}{203,200円 \times 251件} = 5,080 (2,580)$
				計 15,610 (13,110)
				8. 海外事務所負担金(自己収入更合) 1,778 (1,428)
				計 1 ~ 8 818,146 (716,289)
				全 額 ④
				1. 療 切 費
				(1) 海外事務所 47,334 (46,540)
既設 $696,291円 \times 12月 \times 26所 \times \frac{(238)}{237円} \times 0.9 = 46,344 (46,540)$				
新設 $696,391円 \times 6月 \times 1所 \times 237円 = 990 (0)$				
(2) 海外支部				
$\{ (945,041円 \times 92所) + (1,058,441円 \times 32所) \} \times 12月 \times 237円 \times 0.9 = 29,878 (30,024)$				

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
				(3) 駐在員事務折 ① 事務折 $756.05 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} \times 16 \text{ 折} \times 237 \text{ 円} \times 0.9$ $\qquad\qquad\qquad = 30,963 (31,094)$ ② 連絡折 $246.74 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} \times 30 \text{ 折} \times 237 \text{ 円} \times 0.9$ $\qquad\qquad\qquad = 18,947 (17,124)$ 小計 $49,910 (48,218)$ 計 (1) ~ (3) $127,142 (124,782)$ 2. 勤務環境改善費 (1) 海外事務折						
				対象地域	保養地	航空賃 円	日当・宿泊料 円	小計 円	人数 人	計 円
				(アジア地域)						
				バングラデシュ	シンガポール	$152,200 \times 25 = 380,500$	$\left\{ \begin{array}{l} 30 \text{ 円} \times 10 \times 4 \\ \times 14 \text{ 日} \times 225 \text{ 円} \end{array} \right\}$ 220,500	601	4	2,404
				ネパール	"	$175,400 \times 25 = 438,500$	220,500	659	4	2,636
				インド	"	$245,700 \times 2.5 = 614,250$	220,500	835	2	1,670

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎			
				航空賃	日当・宿泊料	小計	人数
ビルマ			$166,800 \times 2.5^{\wedge} = 417,000$	220,500	638	2	1,276
パキスタン (中近東地域)			$318,200 \times 2.5^{\wedge} = 795,500$	220,500	1,016	(0) 1	(0) 1,016
サウジアラビア (アフリカ地域)			$266,970 \times 2.5^{\wedge} = 667,425$	220,500	888	2	1,776
ナイジェリア			$271,690 \times 2.5^{\wedge} = 679,225$	220,500	900	1	900
タンザニア (中南米地域)			$350,600 \times 2.5^{\wedge} = 876,500$	220,500	1,097	3	3,291
ポリウイア(ラパス) (太平洋地域)			$60,960 \times 2.5^{\wedge} = 152,400$	220,500	373	2	746
パプアニューギニア			$154,000 \times 2.5^{\wedge} = 385,000$	220,500	606	1	606
フィジー			$259,000 \times 2.5^{\wedge} = 647,500$	220,500	868	(0) 1	(0) 868
計						(21) 23	(15,233) 17,189
			$(15,233) \times \frac{(238)}{225} = 16,113$				
			$17,189 \times \frac{237}{225} = 18,106$				

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
				(2) 駐在員事務所	小計	人数	計	
				円	円	千円	人	千円
(アフリカ地域)								
エチオピア			マ	247,190 × 3.5 ^人 = 865,165	220,500	1,086	1	1,086
マラウイ			"	328,240 × 3.5 ^人 = 1,148,840	220,500	1,369	1	1,369
ガーナ			マドリッド	292,000 × 3.5 ^人 = 1,022,000	220,500	1,243	1	1,243
ザンビア			ローマ	601,200 × 3.5 ^人 = 2,104,200	220,500	2,325	1	2,325
計							4	6,023
				$6,023 \times 225 =$	$\frac{(238)}{225}$			6,344 (6,371)
				計 (1) ~ (2)				24,450 (22,484)
				3. 高地対策費				
				(1) 海外事務所				
				円	円	千円	回数	千円
メキシコ			アカapulコ	18,590 × 2.5 ^人 × 3家族 = 139,425	$\frac{174}{30} \times (10 \times 2) \times 3$ $\times 4 \times 225 = 135,000$	275	3	825
ボゴタ			サンタマルタ	20,000 × 2.5 ^人 × 2家族 = 97,450	$\frac{174}{30} \times (10 \times 2) \times 2$ $\times 4 \times 225 = 90,000$	187	3	567
ラパス			サンタクルス	18,820 × 2.5 ^人 × 2 = 94,100	90,000	184	3	552
計							9	(1,944) 1,944

(111)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
				$1,944 \times \frac{(238)}{225} = 2,048(2,057)$						
				(2) 駐在員事務所						
				対象地域	保養地	航空賃	日当・宿泊料	小計	回数	計
						円	円	千円	回	千円
				アジスアベバ	アスマラ	$34,340 \times 3.5 \times 1 \text{ 家族}$ $= 120,190$	$\{30 \times (10 \times 4)\} \times 4 \text{ 日}$ $\times 1 \text{ 家族} \times 225 \text{ 円}$ $= 63,000$	183	3	549
										$549 \times \frac{(238)}{225} = 578(580)$
										計(1)~(2) 2,626(2,637)
				4. 防犯強化対策費						
				① 事務所保安改善費 5,580(3,780)						
										$360 \times 3 \text{ 件} = 1,080(1,080)$
										$900 \times 5 \text{ 件} = 4,500(2,700)$
				② 警備員謝金						
										$40 \text{ 冊} \times 1 \text{ 冊} \times 12 \text{ 月} \times 10 \text{ 件} = 4,800(4,800)$
										計①~② 10,380(4,260)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
(目) 移住地管理費	(8,605) 8,640	7,371	△ 1,269	5. 在外啓発活動強化費 $1560 \times 3 \text{件} = 4,680 (0)$
				6. 在外支部回収資金外貨送金費用 $1,942,650 \cdot 62 \text{ドル} \times \frac{2\pi}{12} \times \frac{35}{100} \times 237 \text{円} = 2,713 (0)$
				7. その他前年度限り (伯法人清算に伴う債権保全経費) $0 (5,026)$
				計 1 ~ 7 $171,991 (159,189)$
				全 額 ㊦
				1. サンファン・オキナワ移住地境界線清掃費 ☆
				サンファン $120 \text{Km} \times \frac{1}{2} \times 11,050 \text{円} = 663 (663)$
				オキナワ $234 \text{Km} \times \frac{1}{2} \times 11,050 \text{円} = 1,293 (1,293)$
				境界線巡回見廻謝金 $6,570 \text{円} \times 2 \times 12 \text{月} = 158 (158)$ 小 計 $2,120 \times \frac{238}{255} = 2,233 (2,242)$
				2. アンデス移住地管理費 ☆
(1) 水利税				
水利税賦課面積 687ha (総面積 $1,257 \text{ha}$)				
税 額 $5,480 \text{円} \times 687 = 3,765 (3,765)$				
(2) 水路維持費 (事業回負担分)				

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				主水路 $95\text{m} \times 845\text{m} \times 2\text{回} = 162 (162)$
				幹線水路 $47\text{m} \times 1,289\text{m} \times 2\text{回} = 121 (121)$
				支線水路 $26\text{m} \times 2,662\text{m} \times 2\text{回} = 138 (138)$
				小計 421 (421)
				(3) 分水口維持費
				分水口(大) $86,940\text{円} \times 1\text{カ所} \times \frac{687}{1,257}\text{円} = 48 (48)$
				(小) $5,1350\text{円} \times 6\text{カ所} \times \frac{687}{1,257}\text{円} = 168 (168)$
				小計 216 (216)
				計 (1)~(3) $4,402 \times \frac{237}{225} = 4,637 (4,657)$
				3. 融資管理業務印刷製本費
				現地融資の貸付・回収管理等に要する諸様式 $105\text{円} \times 4,529\text{部} \times \frac{237}{225} = 501 (503)$
				4. その他前年度限り (279バラ移住管理費) 0 (1,238)
				計 1~4 7371 (8,640)
(項) 施設費	(9,172) 9,862	9,821	△ 41	
(目) 施設費	(9,172) 9,862	9,821	△ 41	全額 (外)
				職員宿舍建設
				工事費 $64,600\text{円} \times 70\text{m}^2 \times 2\text{棟} = 9,052 (9,052)$
				工事雑費 $9,052 \times 0.03 = 272 (272)$
				計 $9,324 \times \frac{237}{225} = 9,821 (9,862)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
3. 国際協力計画調整調査及び 効果測定経費	(13,152) 14,143	14,138	△ 5					
(1) 国際協力等調査員派遣経費	(5,434) 5,843	5,841	△ 2					
(項) 外国旅費	(4,071) 4,377	4,375	△ 2					
(目) 外国出張旅費	(3,613) 3,885	3,885	0					

区分	等級	人員	期間	航空賃	支度料	日当・宿泊料	旅行雑費	計
	号	人	日	円	円	円	円	千円
1. 国際協力調査								
アジア地域 (バンコク基準)	3	4	30	96,050 × 4人 = 384,200	48,418 × 4人 = 193,672	{(1,672 × 30日) + (5,210 × 29泊)} × 4人 = 805,000	1,608 × 4人 = 6,432	1,389
アフリカ地域 (ナイロビ基準)	3	2	30	268,000 × 2人 = 536,000	48,418 × 2人 = 96,836	{(1,672 × 30日) + (5,210 × 29泊)} × 2人 = 402,500	1,608 × 2人 = 3,216	1,039
小計		6						2,428
2. 効果測定調査								
アジア地域 (ダッカ基準)	3	2	30	140,530 × 2人 = 281,060	48,418 × 2人 = 96,836	{(1,672 × 30日) + (5,210 × 29泊)} × 2人 = 402,500	1,608 × 2人 = 3,216	784
アフリカ地域 (ナイロビ基準)	3	1	30	268,000 × 1人 = 268,000	48,418 × 1人 = 48,418	{(1,672 × 30日) + (5,210 × 29泊)} × 1人 = 201,250	1,608 × 1人 = 1,608	519
中南米地域 (リオ基準)	3	1	30	335,100 × 1人 = 335,100	48,418 × 1人 = 48,418	{(1,672 × 30日) + (5,210 × 29泊)} × 1人 = 201,250	1,608 × 1人 = 1,608	586
小計		4						1,889
合計		10					4,317 × 0.9 =	(3,885) 3,885

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(目) 現地調査費	(458) 492	490	△ 2	⑧ $103.310 \text{円} \times 5^{+A} \times \frac{(238)}{225} \times 0.9 = 490 (492)$
(項) 業務諸費	(1,363) 1,466	1,466	0	
(目) 諸謝金	(531) 571	571	0	(1) 会議出席謝金 $2.850 \text{円} \times 9 \text{人} \times 6 \text{回} \times 0.9 = 139 (139)$ (2) 外国資料翻訳料 $600 \text{円} \times 100 \text{枚} \times 8 \text{種} \times 0.9 = 432 (432)$ 計 (1) ~ (2) 571 (571)
(目) 宅原旅費	(60) 65	65	0	会議上京旅費 (大阪基準, 3等級, 3泊4日) $(8.686 \text{円} + 12.922 \text{円}) \times 3 \text{人} = 65 (65)$
(目) 職員旅費	(52) 56	56	0	会議打合旅費 (大阪基準, 3等級, 3泊4日) $(7.740 \text{円} + 12.922 \text{円}) \times 3 \text{人} \times 0.9 = 56 (56)$
(目) 庁費	(720) 774	774	0	(1) 印刷製本費 報告書作成費 $189 \text{円} \times 450 \text{部} \times 9 \text{種} \times 0.9 = 689 (689)$ (2) 通信運搬費 連絡通信費 $4.444 \text{円} \times 6 \text{種} \times 0.9 = 24 (24)$ (3) 会議費 出発前, 帰国打合せ $188 \text{円} \times 10 \text{人} \times 6 \text{回} \times 6 \text{種} \times 0.9 = 61 (61)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				計 (1) ~ (3) 774 (774)
(2) 業種別及び効果測定研究会経費	(2,944) 3,167	3,167	0	
(項) 業務諸費	(2,944) 3,167	3,167	0	
(目) 諸謝金	(781) 840	840	0	(1) 委員謝金 $1,980円 \times 7人 \times 4回 \times 8委員会 \times 0.9 = 399 (399)$ (2) 調査資料等作成謝金 $490円 \times 100枚 \times 10種 \times 0.9 = 441 (441)$ 計 (1) + (2) 840 (840)
(目) 委員旅費	(764) 822	822	0	委員上京旅費 (大阪基準, 3等級, 3泊4日) $(11,191円 + 12,293円) \times 5人 \times 7回 = 822 (822)$
(目) 弁費	(1,399) 1,505	1,505	0	(1) 印刷製本費 (イ) 委員会資料 $140円 \times 100部 \times 6回 \times 2委員会 \times 0.9 = 151 (151)$ (ロ) 委員会報告書 $300円 \times 100部 \times 2委員会 \times 0.9 = 54 (54)$ (ハ) 報告書作成 $450円 \times 200部 \times 2種 \times 0.9 = 162 (162)$ (ニ) 調査資料作成 $250円 \times 200部 \times 10種 \times 0.9 = 450 (450)$ 計 (1) ~ (ニ) 817 (817)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(2) 通信運搬費 連絡通信費 $1,560円 \times 12回 \times 0.9 = 17(17)$ (3) 図書購入費 研究図書 $1,560円 \times 28種 \times 0.9 = 39(39)$ (4) 会議費 (イ) 委員会 $400円 \times 10人 \times 8回 \times 3委員会 \times 0.9 = 86(86)$ (ロ) 研究発表会 $380円 \times 7人 \times 10回 \times 0.9 = 24(24)$ 計 (イ) + (ロ) 110(110) (5) 賃金 臨時雇員 $2,610円 \times 3人 \times 77日 \times 0.962 \times 0.9 = 522(522)$ 計 (1) ~ (5) 1,505(1,505)
(3) 技術協力要請等開発途上国 調査費	(4,774) 5,133	5,130	△ 3	
(4) 外国旅費	(4,774) 5,133	5,130	△ 3	
(5) 外国出張旅費	(4,269) 4,590	4,590	0	

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
区分	等級	人員	期間	航空賃 円	支度料 円	日当・宿泊料 円	旅行雑費 円	計 千円
東南アジア (バンコク基準)	3	2	30	236,090 × 2人 = 472,180	65,786 × 2人 = 131,572	{(3320 × 30日) + (9965 × 29泊)} × 2人 = 777,170	2,185 × 2人 = 4,370	(1,335) 1,385
西南アジア (テヘラン基準)	3	2	30	375,390 × 2人 = 750,780	65,786 × 2人 = 131,572	777,170	2,185 × 2人 = 4,370	(1,664) 1,664
中近東・アフリカ (カイロ基準)	3	2	30	569,160 × 2人 = 1,138,320	65,786 × 2人 = 131,572	777,170	2,185 × 2人 = 4,370	(2,051) 2,051
合計		6					小計 5,100 ^円	(5,100) 5,100
(目) 現地調査費		(505) 543		540	△ 3	(2) 190,020 ^円 × 3 ^人 × $\frac{237}{225} × 0.9$		= 540 (543)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
4. 情報管理に必要な経費	(13,000) 13,979	13,979	0	
(1) 統計費				
(項) 業務諸費	(1,557) 1,675	1,675	0	
(目) 方 費	(1,557) 1,675	1,675	0	
				1. 備品費
				(1) ファイルキャビネット 3,560円 × 4個 = 14(14)
				(2) カードボックス 17,310円 × 1個 = 17(17)
				計 (1) ~ (2) 31(31)
				2. 印刷製本費
				(1) 実績表(和文) 240円 × 450部 × 4回 = 432(432)
				(2) " (英文) 410円 × 270部 × 2回 = 221(221)
				(3) 統計カード 9円 × 1,800部 = 16(16)
				(4) 統計帳票 40円 × 2,000部 × 3種 = 240(240)
				計 (1) ~ (4) 909(909)
				3. 賃金
				実績集計等臨時雇員
				2,610円 × 270人月 × 0.962 = 678(678)
				4. 通信運搬費
				(1) 実績表(国内) 40円 × 135部 × 4回 = 22(22)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(2) 実績表(海外) $50\text{冊} \times 90\text{部} \times 2\text{冊} = 9(9)$
				計 (1) ~ (2) $31(31)$
				5. 会議費
				総計作成打合せ
				$160\text{冊} \times 15\text{人} \times 12\text{冊} \times 0.9 = 26(26)$
				合計 1 ~ 5 $1,675(1,675)$
(2) 資料費				
(項) 業務諸費	(4,779) 5,139	5,139	0	
(目) 諸謝金	(649) 698	698	0	1. 外国資料翻訳料 $540\text{冊} \times 45\text{枚} \times 20\text{種} = 486(486)$
				2. 情報資料分析謝金 $470\text{冊} \times 90\text{枚} \times 5\text{件} = 212(212)$
				計 1 ~ 2 $698(698)$
(目) 弁 費	(4,130) 4,441	4,441	0	1. 資料収集費
				(1) 資料購入費
				イ) 外国雑誌等 $675\text{冊} \times 5\text{種} \times 12\text{冊} = 41(41)$
				ロ) 国内雑誌等 $370\text{冊} \times 18\text{種} \times 12\text{冊} = 80(80)$
				ハ) 外国図書 $1,500\text{冊} \times 90\text{部} = 135(135)$

(121)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				二) 国内図書(一般) 370円 × 270部 = 100(100) ホ) (専門) 1,850円 × 45部 = 83(83) ハ) 世界経済情報サービス「ARCレポート」年間 = 194(194) ト) 新聞縮刷版 999円 × 5種 × 12回 = 60(60) チ) その他資料 1,674円 × 5種 × 12回 = 100(100) 小計 1) - 4) 793(793) (2) マイクロフィルム作成費 イ) 専門家報告書 7.35円 × 20枚 × 1.800件 = 265(265) ロ) 一般資料 7.35円 × 100枚 × 90件 = 66(66) 小計 1) ~ ロ) 331(331) 計 (1) ~ (2) 1,124(1,124) 2. 備品費 マイクロフィルムキャビネット 49,545円 × 2個 = 99(99) 3. 印刷製本費 (1) 資料室蔵書目録 780円 × 450部 = 351(351) (2) 刊行物資料目録 90円 × 450部 × 2回 = 81(81) (3) 図書目録カード用紙 10円 × 2,700部 = 27(27)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(4) 翻訳資料作成 $160円 \times 100部 \times 18種 = 288(288)$
				(5) 国別技術協力実績 $410円 \times 450部 = 185(185)$
				(6) 分析情報資料作成 $280円 \times 90部 \times 5件 = 126(126)$
				計 (1) ~ (6) $1,058(1,058)$
				4. 会議費
				関係機関情報収集打合せ
				$220円 \times 18人 \times 12回 = 48(48)$
				5. 消耗品費
				(1) コピー用紙
				$15.8円 \times \{40枚 \times 1,500件\} + \{100枚 \times 100件\}$
				$\times 0.9 = 356(356)$
				(2) 現像液(MA) $1,359円 \times 5缶 = 7(7)$
				(3) 現像液(MN) $4,068円 \times 5缶 = 20(20)$
				計 (1) ~ (3) $383(383)$
				6. 借料及び模料
				和文静電ファックス受信機のための借料
				$105,050円 \times 12月 = 1,261(1,261)$

(123)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(3) 技術協力情報整備費 (庚) 業務諸費 (目) 諸謝金	(2,591) 2,786 (1,566) 1,684	2,786 1,684	0 0	<p>7. 賃金</p> <p>(1) 図書資料整理臨時雇員 $2,610円 \times 2人 \times 73日 \times 0.962 \times 0.9 = 330(330)$</p> <p>(2) マイクロフィルム臨時雇員 $2,610円 \times 1人 \times 61日 \times 0.962 \times 0.9 = 138(138)$</p> <p>計 (1) ~ (2) 468(468)</p> <p>合計 1 ~ 7 444(444)</p> <p>図書資料室の一般公開に伴う整備費</p> <p>(1) 資料整備費 $1,560円 \times 1人 \times 4時間 \times 25日$ $\times 1月 \times 0.9 = 140(140)$</p> <p>(2) 目録整備費</p> <p>イ) 目録カード(和書)作成 $460円 \times 1,755冊 = 807(807)$</p> <p>ロ) 目録カード(洋書)作成 $630円 \times 1,170冊 = 737(737)$</p> <p>小計 イ) ~ ロ) 1,544(1,544)</p> <p>合計 (1) ~ (2) 1,684(1,684)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 委員旅費	(125) 134	134	0	専門図書館連絡会議出席(大阪基準 3等級, 3泊4日) $(11,686円 + 13,142円) \times 1人 \times 3回 \times 4件 \times \frac{1}{2} \times 0.9$ $= 134(134)$
(目) 片 費	(900) 968	968	0	1. 印刷製本費 (1) 報告書作成 $160円 \times 135部 \times 4件 = 86(86)$ (2) 資料作成 $70円 \times 36部 \times 3種 \times 4件$ $= 30(30)$ 計 (1) ~ (2) $116(116)$ 2. 会議費 図書資料整備打合せ $220円 \times 12人 \times 3回 \times 4件 \times 0.9$ $= 29(29)$ 3. 賃 金 臨時雇員 $2,610円 \times 56日 \times 2人 \times 0.962 \times 0.9$ $= 253(253)$ 4. 雑務費 技術協力情報整備費 $570(570)$ 合 計 1 ~ 4 $968(968)$

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(4) フィルムライブラリー経費				
(項) 業務諸費	(592) 636	636	0	
(目) 庁 費	(592) 636	636	0	
				1. 消耗品費
				(1) フィルム(白黒) 140円 × 180本 = 25(25)
				(2) フィルム(カラ-) 590円 × 180本 = 106(106)
				計 (1) ~ (2) 131(131)
				2. 備品費
				キャビネット 20,178円 × 2個 = 40(40)
				3. 買上げ費
				(1) 映画フィルム買上げ 70,767円 × 3本 = 212(212)
				(2) スライド買上げ 10,278円 × 12本 = 123(123)
				計 (1) ~ (2) 335(335)
				4. 雑務費
				(1) フィルムプリント 120円 × 180本 = 22(22)
				(2) フィルム焼付 34(34)
				(3) スライド製作複写 50円 × 900枚 = 45(45)
				計 (1) ~ (3) 101(101)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(5) 調査田収集資料等整備費				5. 会議費 打合せ会議 $220円 \times 12人 \times 12回 \times 0.9 = 29 (29)$ 合計 1~5 636 (636)
(項) 業務諸費	(3,481) 3,743	3,743	0	
(目) 庁費	(3,481) 3,743	3,743	0	1. 印刷製本費 (1) 収集資料コピー作成費 $20円 \times 250頁 \times 90部 = 450 (450)$ (2) 個別収集資料目録作成費 $2,690円 \times 270部 = 726 (726)$ (3) 専門分野別目録作成費 $2,690円 \times 270部 = 726 (726)$ (4) 地図目録作成費 $1,620円 \times 270部 = 437 (437)$ 計 (1)~(4) 2,339 (2,339) 2. 備品費 リーダープリンター $1,404千円 \times 1台 = 1,404 (1,404)$ 合計 1~2 3,743 (3,743)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
5. 電子計算機に必要経費				
(項) 業務諸費	(227,814) 233,078	233,078	0	
(目) 諸謝金	(38,667) 41,578	41,578	0	全額 ODA
				1. プログラム等委託謝金
				(1) 人事・給与システムプログラム開発費
				システム開発費 378,400円 × 6月 × 0.9 = 2,049(2,049)
				プログラミング 220円 × 10,000 ^{スタッフ} × 0.9 = 1,980(1,980)
				小計 4,029(4,029)
				(2) 経費予算管理システムプログラム開発費
				システム開発費 378,400円 × 4月 × 0.9 = 1,366(1,366)
				プログラミング 220円 × 8,000 ^{スタッフ} × 0.9 = 1,584(1,584)
				小計 2,950(2,950)
				(3) 調査団プロジェクト専門家派遣システム開発費
				システム開発費 378,400円 × 6月 × 0.9 = 2,049(2,049)
				プログラミング 220円 × 10,000 ^{スタッフ} × 0.9 = 1,980(1,980)
				小計 4,029(4,029)

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(4) 協力隊派遣情報システム開発費</p> <p>システム開発費 377,400円 × 2月 × 0.9 = 683 (683)</p> <p>プログラミング 220円 × 5,000^{ステップ} × 0.9 = 990 (990)</p> <p>小計 1,673 (1,673)</p> <p>(5) 移住地農家経営調査分析システム開発費</p> <p>システム開発費 446,400円 × 6月 × 0.9 = 2,411 (2,411)</p> <p>プログラミング 250円 × 5,000^{ステップ} × 0.9 = 1,125 (1,125)</p> <p>小計 3,536 (3,536)</p> <p>(6) 移住事業実績統計システム開発費</p> <p>システム開発費 485,200円 × 4月 × 0.9 = 1,747 (1,747)</p> <p>プログラミング 270円 × 8,000^{ステップ} × 0.9 = 1,944 (1,944)</p> <p>小計 3,691 (3,691)</p> <p>(7) 統計システム開発費</p> <p>システム開発費 510,800円 × 4月 × 0.9 = 1,839 (1,839)</p> <p>プログラミング 300円 × 5,000^{ステップ} × 0.9 = 1,350 (1,350)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				小計 3,189 (3,189)
				(8) 予算総合管理システム開発費
				システム開発費 546,050円 × 4月 × 0.9 = 1,966 (1,966)
				プログラミング 320円 × 5,000 ^{ステップ} × 0.9 = 1,440 (1,440)
				小計 3,406 (3,406)
				計 (1) ~ (8) 26,503 (26,503)
				2. パンチ業務費
				(1) 専門家登録関係 67円 × 900人 × 30枚 = 1,809 (1,809)
				(2) 専門家派遣関係 67円 × 900人 × 30枚 = 1,809 (1,809)
				(3) 専門家経費関係 67円 × 900人 × 30枚 = 1,809 (1,809)
				(4) 研修員受入関係 67円 × 900人 × 30枚 = 1,809 (1,809)
				(5) 人事給与関係 67円 × 900人 × 30枚 = 1,809 (1,809)
				(6) 統計関係 67円 × 24,300枚 = 1,628 (1,628)
				(7) 協力隊派遣関係 67円 × 9,000枚 = 603 (603)
				(8) 表家経営統計関係 67円 × 45,000枚 = 3,015 (3,015)

(130)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(9) DAC統計関係 67円 × 7,200枚 = 482(482)
				(10) 予算総合関係 67円 × 4,500枚 = 302(302)
				計 (1) ~ (10) 15,075(15,075)
				合計 1 + 2 41,578(41,578)
(目) 庁 費	(189,147) 191,500	191,500	0	1. 備品費 (電子計算機室用備品)
				(イ) 入出力帳票保管庫 71,100円 × 1台 = 71(71)
				(ロ) ディスクパック格納庫 84,600円 × 1台 = 85(85)
				(ハ) マニュアルハンガー 58,500円 × 1台 = 59(59)
				(ニ) データ・ファイル・ キャビネット 40,050円 × 1台 = 40(40)
				(ホ) カード・キャビネット 40,050円 × 1台 = 40(40)
				(ヘ) テープ・キャビネット 40,050円 × 1台 = 40(40)
				(ト) テープ搬送用コンテナ 9,900円 × 1個 = 10(10)
				(チ) エッジ・カード・トラック 5,400円 × 1個 = 5(5)
				(リ) データ・トラック 40,500円 × 1個 = 41(41)
				計 (1) ~ (リ) 391(391)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				2. 消耗品費
				(1) 80欄カード(汎用) 0.78円 × 819,000枚 = 639(639)
				" (コボル・アセンブル) 0.89円 × 90,000枚 = 80(80)
				(2) 連続用紙(1パート) 1.34円 × 774,000枚 = 1,037(1,037)
				" (2パート) 4.64円 × 144,000枚 = 668(668)
				(3) 磁気テープ 5,878円 × 103巻 = 605(605)
				(4) コンソール・タイプ ライター用紙 1.26円 × 45,000枚 = 57(57)
				(5) コンソール・タイプ ライター用リボン 780円 × 90本 = 70(70)
				(6) カード穿孔機用リボン 630円 × 180本 = 113(113)
				(7) フローチャート用紙 250円 × 270冊 = 68(68)
				(8) 捲縮テープ 3,900円 × 9巻 = 35(35)
				(9) 設計用紙 245円 × 900冊 = 221(221)
				(10) ラインプリンターリボン 4,450円 × 45本 = 200(200)
				(11) 漢字入出力用紙 8.55円 × 90,000枚 = 770(770)
				(12) トナー 1,980円 × 7カートン = 14(14)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(3) 現像液 6,300円 × 32本 = 202(202)
				(4) 紙テープ 450円 × 90巻 = 41(41)
				(5) 端末機プリンター用 リボン 3,000円 × 48個 × 0.9 = 130(130)
				(6) 端末機用テープ タブレット 6,400円 × 10冊 × 0.9 = 58(58)
				計 (1) ~ (16) 5,008(5,008)
				3. 印刷製本費
				(1) マスタ関係用紙印刷(受入・派遣・経理・人事・給与)
				11.15円 × 8,000 ^{セット} × 11種 = 981(981)
				(2) 申請関係用紙 10.67円 × 1,350 ^{セット} × 1種 = 14(14)
				(3) 登録関係用紙 10.75円 × 4,500 ^{セット} × 4種 = 194(194)
				(4) 送金 , 10.75円 × 4,500 ^{セット} × 11種 = 532(532)
				(5) 統計 , 10.75円 × 4,500 ^{セット} × 6種 = 290(290)
				(6) 経理 , 13.00円 × 4,500 ^{セット} × 6種 = 351(351)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				(7) 人事 ; $10.75 \text{円} \times 4,500 \text{セット} \times 5 \text{種} = 242 (242)$
				(8) 給与関係用紙 $10.75 \text{円} \times 4,500 \text{セット} \times 5 \text{種} = 242 (242)$
				(9) 移住履歴簿 $10.75 \text{円} \times 4,500 \text{セット} \times 5 \text{種} = 242 (242)$
				(10) コード・ブック・マニュアル等作成 $773 \text{円} \times 90 \text{部} \times 10 \text{種} = 696 (696)$
				(11) スパージング・シート等作成 $11.37 \text{円} \times 45,000 \text{セット} \times 1 \text{種} = 512 (512)$
				(12) 移住管理統計関係用紙 $12.26 \text{円} \times 9,000 \text{セット} \times 5 \text{種} = 552 (552)$
				(13) DAC $15.50 \text{円} \times 4,500 \text{セット} \times 5 \text{種} = 349 (349)$
				(14) 予算統合関係用紙 $15.50 \text{円} \times 2,200 \text{セット} \times 6 \text{種} = 205 (205)$
				計 (1) ~ (14) 5,402 (5,402)
				4. 交通費
				連絡打合せ
				(1) 自動車 $654 \text{円} \times 18 \text{回} \times 12 \text{月} = 141 (141)$
				(2) 地下鉄 $67 \text{円} \times 36 \text{回} \times 12 \text{月} = 29 (29)$
				計 (1) + (2) 170 (170)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>7. 借料及び損料★ 電子計算機日立M-240H型(端末機, 漢字入出力装置を含む借料) $13,157^{\text{千円}} \times 12^{\text{月}} = 157,884 (157,884)$</p> <p>8. 賃金 臨時職員 $2,610^{\text{千円}} \times 180^{\text{日}} \times 2^{\text{人}} \times 0.95 \times 0.96$ $\times 0.9 = 771 (771)$</p> <p>9. 雑役務費 (1) 電子計算機運用管理費 (イ) オペレータ $262,104^{\text{千円}} \times 3^{\text{人}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 8,492 (8,492)$ (ロ) パンチャー $105,324^{\text{千円}} \times 2^{\text{人}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 2,275 (2,275)$ (ハ) コーダ $105,324^{\text{千円}} \times 2^{\text{人}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 2,275 (2,275)$ (ニ) 漢字入力タイピスト $131,000^{\text{千円}} \times 2^{\text{人}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 2,830 (2,830)$ 小計 (イ) ~ (ニ) $15,872 (15,872)$ (2) 機械室清掃 $25,416^{\text{千円}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 274 (274)$ (3) 回線使用料 $280,000^{\text{千円}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 3,024 (3,024)$ (4) 災害対策ファイル保管料 $225,740^{\text{千円}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 2,438 (2,438)$ 計 (1) ~ (4) $21,608 (21,608)$ 合計 1 ~ 9 $191,500 (191,500)$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
6. 広報に必要な経費				
広報出版費				
(項) 業務諸費	(92,076) 96,890	96,890	0	全額ODA (邦) 海外移住事業費からの組替分を含む)
(目) 諸謝金	(1,015) 1,091	1,091	0	<ul style="list-style-type: none"> 1. 事業団概算印刷料(英文) $380円 \times 90枚 = 34(34)$ 2. 国際協力誌系稿料 $380円 \times 225枚 \times 12円 = 1,026(1,026)$ 3. 講師謝金 $580円 \times 4時間 \times 1人 \times 15回 \times 0.9 = 31(31)$ 計 1~3 1,091(1,091)
(目) 職員旅費	(424) 456	456	0	<ul style="list-style-type: none"> 1. 講師旅費(大阪基準2泊3日特級) $(10,550円 + 10,157円) \times 2人 \times 5回 \times 0.9 = 186(186)$ 同行旅費等(大阪基準2泊3日3等級) $(10,550円 + 9,089円) \times 5回 \times 0.9 = 88(88)$

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 庁 費	(13,813) 14,852	14,852	0	<p>2. 国際協力誌取寄費</p> <p>$(10.550円 + 6.265円) \times 12回 \times 0.9 = 182(182)$</p> <p>計 1-2 456(456)</p> <p>1. 印刷製本費</p> <p>(1) 国際協力誌</p> <p>$110円 \times 6,525部 \times 12月 = 8,613(8,613)$</p> <p>(2) 争業団概要(英文)</p> <p>$430円 \times 2,700部 = 1,161(1,161)$</p> <p>(3) 争業団概要(和文)</p> <p>$130円 \times 5,400部 = 702(702)$</p> <p>(4) 争業団パンフレット</p> <p>英文・和文</p> <p>$110円 \times 7,200部 \times 2種 = 1,584(1,584)$</p> <p>計 (1) ~ (4) 12,060(12,060)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				2. 通信運搬費
				展示パネル模型運搬料
				$73,010\text{円} \times 9\text{回}$ = 657 (657)
				3. 会場・映写機借料等
				$73,010\text{円} \times 9\text{回}$ = 657 (657)
				4. 会議費
				国際協力誌等編集
				$143\text{円} \times 15^{\wedge} \times 12\text{回} \times 0.9 = 23 (23)$
				新聞発表打合せ
				$349\text{円} \times 20^{\wedge} \times 12\text{回} \times 0.9 = 75 (75)$
				計 98 (98)
				5. 賃金
				臨時雇員備上料
				$(2,420\text{円} \times 7\text{回} \times 3^{\wedge}) \times 1\text{回} \times 0.9 = 46 (46)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				6. 雑役務費
				(1) ポスター作成費 $70円 \times 270枚 \times 10種 = 189(189)$
				(2) ポスター掲載料 $150円 \times 135枚 \times 10種 = 203(203)$
				(3) 展示品作成(プラフ作成) $13,910円 \times 5件 \times 0.9 = 63(63)$
				(4) 写真パネル(白黒) $7,300円 \times 20件 \times 0.9 = 131(131)$
				(5) 写真パネル(カラー) $21,910円 \times 20件 \times 0.9 = 394(394)$
				(6) 模型 $109,520円 \times 2件 \times 0.9 = 197(197)$
				(7) 広販写真プリント焼付 92(92)
				(8) スライド製本複写 $36円 \times 1,800本 = 65(65)$
				計 (1) ~ (8) 1,334(1,334)
				合計 1 ~ 6 14,852(14,852)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 広報諸費	(76,824) 80,491	80,491	0	<p>1. マスメディア広報</p> <p>(1) テレビフィルム製作・放送費 ★</p> <p>(30分番組、Bタイム、13回(17-18話)3局ネット、日曜放送)</p> <p>イ. 番組製作費</p> <p>国内分 (764,990円 × 6本) + アジア地区分 (956,240円 × 4本)</p> <p>中近東・アフリカ地区分 (1,214,480円 × 1本) + 中南米地区分 (1,434,370円 × 1本) =</p> <p>11,064(11,064)</p> <p>ロ. 電波料</p> <p>東京放送(TBS)、中部放送(CBC)、毎日放送(大阪放送)</p> <p>(463,220円 + 402,040円 + 445,740円) × 13回 =</p> <p>17,043(17,043)</p> <p>計 イ + ロ 28,107(28,107)</p> <p>(2) 記事掲載料</p> <p>パシフィックフレンド記事 5回分 1,239(1,239)</p> <p>ルックジャパン記事 2回分 5,315(5,315)</p> <p>国際開発ジャーナル誌 4回分 1,239(1,239)</p> <p>計 7,793(7,793)</p>

(141)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																																							
				(3) ルポライター等取材費 (ルポライター1名を中南米・アフリカ6カ国へ派遣する) 1. 取材費 A. 派遣旅費 $1,285^{\text{千円}} \times 0.9 = 1,157 (1,157)$																																							
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>派遣国</th> <th>等級</th> <th>期日</th> <th>員数</th> <th>航空運賃</th> <th>支度料</th> <th>日当</th> <th>宿泊料</th> <th>旅行雑費</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>円</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中南米</td> <td>亞芭秘魯</td> <td>2</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>554,480</td> <td>74,290</td> <td>$332^{\text{円}} \times 50^{\text{日}} = 166,050^{\text{円}}$</td> <td>$9,964 \times 49^{\text{日}} = 488,236^{\text{円}}$</td> <td>2,185</td> <td>1,285,241</td> </tr> </tbody> </table>							地域	派遣国	等級	期日	員数	航空運賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	合計						円	円			円	円	中南米	亞芭秘魯	2	50	1	554,480	74,290	$332^{\text{円}} \times 50^{\text{日}} = 166,050^{\text{円}}$	$9,964 \times 49^{\text{日}} = 488,236^{\text{円}}$	2,185	1,285,241
地域	派遣国	等級	期日	員数	航空運賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	合計																																	
					円	円			円	円																																	
中南米	亞芭秘魯	2	50	1	554,480	74,290	$332^{\text{円}} \times 50^{\text{日}} = 166,050^{\text{円}}$	$9,964 \times 49^{\text{日}} = 488,236^{\text{円}}$	2,185	1,285,241																																	
				B. 現地調査費(機材含む) $371^{\text{千円}} \times 0.9 = 334 (334)$																																							
				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">通訳備上料</th> <th rowspan="2">車輛借上料</th> <th rowspan="2">会議費</th> <th colspan="2">資料費</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>フィルム代</th> <th>ライト・バッテリー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>$3,580^{\text{円}} \times 5^{\text{日}} \times 5^{\text{名}} = 89,500^{\text{円}}$</td> <td>$4,220^{\text{円}} \times 5^{\text{日}} \times 6^{\text{名}} = 126,600^{\text{円}}$</td> <td>$1,760^{\text{円}} \times 10^{\text{人}} \times 5^{\text{回}} = 88,000^{\text{円}}$</td> <td>(3,000^{リットル}×6×6カラー)</td> <td>$330^{\text{円}} \times 150^{\text{本}} = 49,500^{\text{円}}$</td> <td>$3,520^{\text{円}} \times 5^{\text{日}} = 17,600^{\text{円}}$</td> <td>371,200^円</td> </tr> </tbody> </table>							通訳備上料	車輛借上料	会議費	資料費		合計	フィルム代	ライト・バッテリー	$3,580^{\text{円}} \times 5^{\text{日}} \times 5^{\text{名}} = 89,500^{\text{円}}$	$4,220^{\text{円}} \times 5^{\text{日}} \times 6^{\text{名}} = 126,600^{\text{円}}$	$1,760^{\text{円}} \times 10^{\text{人}} \times 5^{\text{回}} = 88,000^{\text{円}}$	(3,000 ^{リットル} ×6×6カラー)	$330^{\text{円}} \times 150^{\text{本}} = 49,500^{\text{円}}$	$3,520^{\text{円}} \times 5^{\text{日}} = 17,600^{\text{円}}$	371,200 ^円																		
通訳備上料	車輛借上料	会議費	資料費		合計																																						
			フィルム代	ライト・バッテリー																																							
$3,580^{\text{円}} \times 5^{\text{日}} \times 5^{\text{名}} = 89,500^{\text{円}}$	$4,220^{\text{円}} \times 5^{\text{日}} \times 6^{\text{名}} = 126,600^{\text{円}}$	$1,760^{\text{円}} \times 10^{\text{人}} \times 5^{\text{回}} = 88,000^{\text{円}}$	(3,000 ^{リットル} ×6×6カラー)	$330^{\text{円}} \times 150^{\text{本}} = 49,500^{\text{円}}$	$3,520^{\text{円}} \times 5^{\text{日}} = 17,600^{\text{円}}$	371,200 ^円																																					
				計 A + B 1,491 (1,491)																																							

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				口. 取材報告費 原稿編集料 $1,910^{\text{円}} \times 900^{\text{枚}} = 1,719(1,719)$ 報告会謝金 $4,770^{\text{円}} \times 3^{\text{回}} \times 2^{\text{回}} \times 0.9 = 26(26)$ 計 イ + 口 3,236(3,236)
				(4) アンケート調査費(対象2,000人)
				調査企画費 295(295)
				調査準備費 2,065(2,065)
				調査実施費 3,852(3,852)
				集計費 508(508)
				分析費 226(226)
				報告書作成費 304(304)
				計 7,250(7,250)
				(5) 専業団年報買上費
				イ. 和文年報 $1,970^{\text{円}} \times 1,800^{\text{部}} = 3,546(3,546)$
				ロ. 英文年報 $1,850^{\text{円}} \times 1,350^{\text{部}} = 2,498(2,498)$
				計 イ + ロ 6,044(6,044)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(6) 映画製作(地域：分野別シリーズ30分16mmカラー) (製作スタッフ5名、35日間)</p> <p>企画費 1,160(1,160)</p> <p>スタッフ費 4,901(4,901)</p> <p>機材費 2,193(2,193)</p> <p>フィルム費 3,608(3,608)</p> <p>編集費 824(824)</p> <p>録音費 556(556)</p> <p>ロケーション費 7,158(7,158)</p> <p>小計 20,400(20,400)</p> <p>計 (1)～(6) 72,830(72,830)</p> <p>2. 国際協力キャンペーン実施費</p> <p>(1) 講師謝金 25,400円 × 9カ所 × 4回 = 914(914)</p> <p>(2) 講師旅費(大阪基準2泊3日特級) 29,400円 × 9カ所 × 4回 = 1,058(1,058)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(3) 庁費
				イ. 印刷製本費
				$130円 \times 50部 \times 9冊 \times 4回 = 234(234)$
				ロ. 借損料
				$50,000円 \times 9冊 \times 2回 = 900(900)$
				ニ. 会議費
				$216円 \times 20人 \times 9冊 \times 4回 = 155(155)$
				小計 イ～ハ 1,289(1,289)
				計 (1)～(3) 3,261(3,261)
				3. 国際協力セミナー実施費
				(1) 講師旅費(東京～広島基準2等級2泊3日)
				$\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \\ 19,400円 \end{array} + \begin{array}{l} \text{特級料金} \\ 12,800円 \end{array} + (1,900円 \times 3日) + (8,900円 \times 2泊) \right\}$
				$\times 5人 = 279(0)$
				(2) 講師謝金
				$9,500円 \times 2時間) \times 5人 = 95(0)$
				(3) 参加者交通費(東京～小田原基準1日)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				$\begin{matrix} \text{鉄道賃} & \text{急行料金} \\ (2,480\text{円} + 1,400\text{円}) \times 50\text{人} \times 5\text{回} = 970(0) \end{matrix}$
				(4) 会場借料および付属設備借料 $50,000\text{円} \times 5\text{回} = 250(0)$
				(5) 資料印刷費 $130\text{円} \times 80\text{部} \times 5\text{回} = 52(0)$
				(6) 通信運搬費 $\left. \begin{matrix} \text{(往復はがき)} & 80\text{円} \times 160\text{通} \times 5\text{回} = 64,000\text{円} \\ \text{(定形外280字)} & 350\text{円} \times 80\text{通} \times 5\text{回} = 140,000\text{円} \end{matrix} \right\} 204(0)$
				(7) 会議費 $300\text{円} \times 80\text{人} \times 5\text{回} = 120(0)$
				$\text{計 (1) ~ (7)} \quad 1,970(0)$

(146)

(単位：十円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>4. 筑波科学技術博覧会参加行事実施経費</p> <p>(1) 写真パネル作成費 $27,000\text{円} \times \frac{(60)}{20\text{年}}$ = 540(1,620)</p> <p>(2) 展示用ボード $45,000\text{円} \times \frac{(6)}{4\text{年}}$ = 180(270)</p> <p>(3) 模型作成費 $285,000\text{円} \times \frac{(4)}{6\text{年}}$ = 1,710(1,140)</p> <p>(4) その他前年度限り 0(1,370)</p> <p>計 (1) ~ (4) 2,430(4,400)</p> <p>合計 1 ~ 4 80,491(80,491)</p>

(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
7. 青年海外協力隊業務に必要な経費	(267,175) 273,088	325,301	52,213	
(1) 協力隊事務局に必要な経費	(162,836) 166,395	218,608	52,213	
(項) 業務諸費	(162,836) 166,395	218,608	52,213	
(目) 謝金	(2,171) 2,334	2,334	0	(1) 協力隊運営委員会 $2,050円 \times 16人 \times 8回 \times 0.9 = 236 (236)$ (2) 履歴書917謝金 $56,660円 \times 1人 \times 12月 \times 0.9 = 612 (612)$ (3) 嘱託(一般)謝金 $123,800円 \times 1人 \times 12月 = 1,486 (1,486)$ 計 2,334 (2,334)
(目) 職員旅費	(2,130) 2,290	2,290	0	(1) 検査検収等(広島基準3等級2泊3日超特往復) $17,220円 \times 8回 \times 12月 \times 0.9 = 1,487 (1,487)$

鉄道賃	日当	宿泊料	計
5,640円	1,030円 × 3日 = 3,090円	4,245円 × 2泊 = 8,490円	17,220円

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																				
(目) 赴任旅費	(1,102) 1,102	1,102	0	<p>(2) 駒ヶ根連絡(3等級 2泊3日)</p> $37,180^{\text{円}} \times 2^{\text{回}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 803(803)$ <table border="1"> <thead> <tr> <th>鉄道賃</th> <th>日当</th> <th>宿泊料</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17,780^円</td> <td>$1,600^{\text{円}} \times 3^{\text{日}}$ = 4,800^円</td> <td>$7,300^{\text{円}} \times 2^{\text{泊}}$ = 14,600^円</td> <td>37,180^円</td> </tr> </tbody> </table> <p>計 (1) + (2) 2,290(2,290)</p> <p>対駒ヶ根訓練所赴任(駒ヶ根基準 3等級)</p> $275,530^{\text{円}} \times 2^{\text{回}} \times 2^{\text{回}} = 1,102(1,102)$ <table border="1"> <thead> <tr> <th>鉄道賃</th> <th>移転料</th> <th>着使手当</th> <th>日当</th> <th>宿泊料</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>$8,892^{\text{円}} \times 3.5^{\text{回}}$ = 31,120^円</td> <td>102,000^円</td> <td>$(1,600 + 7,300)^{\text{円}} \times 5^{\text{日}} \times \frac{8}{10}$ = 118,670^円</td> <td>$1,600^{\text{円}} \times \frac{8}{10}$ = 4,270^円</td> <td>$7,300^{\text{円}} \times \frac{8}{10}$ = 19,470^円</td> <td>275,530</td> </tr> </tbody> </table>	鉄道賃	日当	宿泊料	計	17,780 ^円	$1,600^{\text{円}} \times 3^{\text{日}}$ = 4,800 ^円	$7,300^{\text{円}} \times 2^{\text{泊}}$ = 14,600 ^円	37,180 ^円	鉄道賃	移転料	着使手当	日当	宿泊料	計	$8,892^{\text{円}} \times 3.5^{\text{回}}$ = 31,120 ^円	102,000 ^円	$(1,600 + 7,300)^{\text{円}} \times 5^{\text{日}} \times \frac{8}{10}$ = 118,670 ^円	$1,600^{\text{円}} \times \frac{8}{10}$ = 4,270 ^円	$7,300^{\text{円}} \times \frac{8}{10}$ = 19,470 ^円	275,530
鉄道賃	日当	宿泊料	計																					
17,780 ^円	$1,600^{\text{円}} \times 3^{\text{日}}$ = 4,800 ^円	$7,300^{\text{円}} \times 2^{\text{泊}}$ = 14,600 ^円	37,180 ^円																					
鉄道賃	移転料	着使手当	日当	宿泊料	計																			
$8,892^{\text{円}} \times 3.5^{\text{回}}$ = 31,120 ^円	102,000 ^円	$(1,600 + 7,300)^{\text{円}} \times 5^{\text{日}} \times \frac{8}{10}$ = 118,670 ^円	$1,600^{\text{円}} \times \frac{8}{10}$ = 4,270 ^円	$7,300^{\text{円}} \times \frac{8}{10}$ = 19,470 ^円	275,530																			
(目) 庁費	(157,433) 160,669	212,882	52,213	<p>1. 備品 29,677(1,401)</p> <p>(1) 事務局庁舎改築初年度備品 29,677()</p> <p>(2) その他前年度限り 0(1,401)</p> <p>2. 通信運搬費 16,782(16,129)</p> <p>(1) 電話料 9,187(9,187)</p>																				

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				1. 基本料 $1,777円 \times 25本 \times 12月 \times 0.9 = 480(480)$ 2. 授業料 $6.8円 \times 69通話 \times 25本 \times 25日 \times 12月 \times 0.9 = 3,167(3,167)$ 3. 市外通話料 $246円 \times 6通話 \times 25日 \times 10本 \times 12月 \times 0.9 = 3,985(3,985)$ 4. 国際通話料 $7,476円 \times 16通話 \times 12月 \times 0.9 = 1,292(1,292)$ 5. 交換台維持費 $22,470円 \times 12月 \times 0.9 = 243(243)$ 6. 内線使用料 $37円 \times 50本 \times 12月 \times 0.9 = 20(20)$ 2) テレビ7ス $1,816(1,816)$ 1. 使用基本料 $13,600円 \times 12月 \times 0.9 = 147(147)$ 2. 通信料 $772.50円 \times 8分 \times 25日 \times 12月 \times 0.9 = 1,669(1,669)$ 3) 郵便料 $4,321(3,668)$ 1. 国内 $34円 \times 56通 \times 25日 \times 12月 \times 0.9 = 514(514)$ 2. 海外 $180円 \times \{ (830人 \times 4月) + (670人 \times 12月) + (611人 \times 7月) + (100人 \times 4月) + (36人 \times 10日 \times 12月) \} \times 0.9$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				3,298(2,645)
				八. 印刷物発送費 $47,150^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9$ 509(509)
				4) 電報料 1,458(1,458)
				1. 国内 $137^{\text{円}} \times 355^{\text{通}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 525(525)$
				ロ. 海外 $144^{\text{円}} \times 30^{\text{通}} \times 20^{\text{通}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 933(933)$
				3. 消耗品費 1,903(1,903)
				1) 感光紙 $900^{\text{円}} \times 50^{\text{冊}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 486(486)$
				2) ロール感光紙 $3,130^{\text{円}} \times 25^{\text{巻}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 845(845)$
				3) 項目別分類カード $10^{\text{円}} \times 15,000^{\text{枚}} \times 0.9 = 135(135)$
				4) 整理用ファイル $260^{\text{円}} \times 600^{\text{枚}} \times 0.9 = 140(140)$
				5) その他事務用紙 $27,500^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 297(297)$
				4. 自動車維持費 $157,270^{\text{円}} \times 2^{\text{台}} \times 0.9 = 283(283)$
				5. 光熱水料 14,859(14,859)
				1) 電気 6,457(6,457)
				2) ガス 936(936)

(151)
(单位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				3) 重油 3,056(3,056)
				4) 水道 4,410(4,410)
				6. 印刷製本費 3,316(3,316)
				1) 派遣計画及実施要領関係 $180\text{円} \times 50\text{部} \times 25\text{種} \times 12\text{月} \times 0.9 = 2,430(2,430)$
				2) 協力隊年次報告書 $410\text{円} \times 2,400\text{部} \times 0.9 = 886(886)$
				7. 交通費 505(505)
				1) 電車、自動車 $1,350\text{円} \times 25\text{日} \times 12\text{月} \times 0.9 = 365(365)$
				2) 自動車備上 $520\text{円} \times 25\text{日} \times 12\text{月} \times 0.9 = 140(140)$
				8. 図書購入費
				参考図書 $860\text{円} \times 20\text{冊} \times 12\text{月} \times 0.9 = 186(186)$
				9. 会議費 1,211(1,211)
				1) 協力隊運営委員会 $210\text{円} \times 20\text{人} \times 8\text{回} \times 0.9 = 30(30)$
				2) 派遣打合せ等 $210\text{円} \times 20\text{人} \times 40\text{種} \times 4\text{回} \times 0.9 = 605(605)$

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				3) 歓迎迎会 $400^{\text{円}} \times 200^{\text{人}} \times 8^{\text{回}} \times 0.9 = 576 (576)$
				10. 借料及預料 ☆ 1,533 (1,533)
				1) セロックス基本料 $384,440^{\text{円}} + 548,740 = 933 (933)$
				2) 歓迎迎会会場 $100,000^{\text{円}} \times 6^{\text{回}} = 600 (600)$
				11. 修理費、機械、器物及び建物修繕費 2,806 (2,806)
				12. 賃金
				臨時備人 $2,610^{\text{円}} \times 20^{\text{日}} \times 5^{\text{人}} \times 12^{\text{月}} \times 0.8655$ = 2,711 (2,711)
				13. 諸税公課 ☆ 6,928 (6,928)
				1) 固定資産税 $399,000^{\text{千円}} \times \frac{17}{1,000} = 6,783 (6,783)$
				2) 自動車税 $33,080^{\text{円}} \times 2^{\text{台}} = 66 (66)$
				3) 自動車重量税 $39,690^{\text{円}} \times 2^{\text{台}} = 79 (79)$
				14. 保険料 ☆ 372 (372)
				1) 火災保険料 189 (189)
				2) 自動車保険料 $91,690^{\text{円}} \times 2^{\text{台}} = 183 (183)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				<p>15. 雑役務費 129,810(106,526)</p> <p>1) 事務所保安料 ☆ 80,251(80,251)</p> <p>イ. 管理費及清掃費 72,198(72,198)</p> <p>ロ. その他(設置関係法定検査費等) 8,053(8,053)</p> <p>2) 海外為替送金料 ☆ 35,141(25,340)</p> <p>イ. 隊員分(新規、再派遣)</p> <p>$\{(3,450^{\text{円}} \times 2^{\text{回}}) + (1,480^{\text{円}} \times 2^{\text{回}})\} \times 930^{\text{人}} = 9,170(6,902)$</p> <p>ロ. 隊員分(継続、帰国)</p> <p>$\{(3,450^{\text{円}} \times 4^{\text{回}}) + (1,480^{\text{円}} \times 4^{\text{回}})\} \times 1,281^{\text{人}} = 25,261(17,748)$</p> <p>ハ. 駐在員調整員</p> <p>$\{(3,450^{\text{円}} \times 4^{\text{回}}) + (1,480^{\text{円}} \times 4^{\text{回}})\} \times 36^{\text{人}} = 710(690)$</p> <p>3) 隊員バッチ作成費 $380^{\text{円}} \times 800^{\text{人}} \times 0.9 = 274(205)$</p> <p>4) 蛍光灯取替 $430^{\text{円}} \times 615^{\text{本}} \times \frac{1}{2} \times 0.9 = 119(119)$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				5) 職員委託研修費 611 (611)
				イ. 語学(仏.西語) $100,590^{\text{円}} \times 5^{\text{回}} \times 0.9 = 453 (453)$
				ロ. 事務管理関係 $35,110^{\text{円}} \times 5^{\text{回}} \times 0.9 = 158 (158)$
				6) 事務局庁舎改築に伴う移動経費 13.414 (0)
				庁費計 1~15 212.882 (60.669)
(2) 駒ヶ根訓練所に必要な経費	(104.339) 106.693	106.693	0	
(項) 業務諸費	(104.339) 106.693	106.693	0	
(目) 職員旅費	(818) 880	880	0	業務打合せ等(東京基準3等級/泊2日) $27,180^{\text{円}} \times 3^{\text{回}} \times 12^{\text{月}} \times 0.899 = 880 (880)$
(目) 庁費	(103.521) 105.813	105.813	0	1. 備品費 5.003 (5.003) 訓練用備品
				2. 通信運搬費 7.811 (7.811)
				1) 電話料 6.824 (6.824)
				イ. 基本料 $2,600^{\text{円}} \times 10^{\text{本}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 281 (281)$
				ロ. 市外通話料 $375^{\text{円}} \times 7^{\text{通話}} \times 25^{\text{日}} \times 10^{\text{本}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 6,521 (6,521)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>ハ、内線使用料 $50^{\text{円}} \times 40^{\text{回}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 22(22)$</p> <p>2) 郵便料 $50^{\text{円}} \times 50^{\text{通}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 27(27)$</p> <p>3) ファフシミリ</p> <p> ファフシミリ管上料 $80,000^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} = 960(960)$</p> <p>3. 消耗品費 2,697(2,697)</p> <p> 1) トイレットペーパー清掃関係消耗品</p> <p> $58,920^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 636(636)$</p> <p> 2) 感光紙 $1,330^{\text{円}} \times 40^{\text{冊}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 575(575)$</p> <p> 3) ロール感光紙 $4,620^{\text{円}} \times 20^{\text{巻}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 998(998)$</p> <p> 4) 事務用品 $45,230^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 488(488)$</p> <p>4. 自動車維持費 $224,360^{\text{円}} \times 2^{\text{台}} \times 0.9 = 404(404)$</p> <p>5. 光熱水料 12,387(12,387)</p> <p> 1) 電気 $735,820^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 7,947(7,947)$</p> <p> 2) ガス $61,460^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 664(664)$</p> <p> 3) 重油 $349,640^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 3,776(3,776)$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				6. 諸税公課 ☆
				1) 地方税(建物) $881,810^{\text{千円}} \times \frac{17}{1,000} = 14,991(14,991)$
				2) 自動車重量税 $39,690^{\text{円}} \times 2台 = 79(79)$
				3) 自動車税 $33,080^{\text{円}} \times 2台 = 66(66)$
				7. 借料及預料 ☆
				1) 敷地借料 $65^{\text{円}} \times 18,996^{\text{坪}} = 1,235(1,235)$
				2) セロックス借料 基本料 $439,860^{\text{円}} + 超過分 494,220^{\text{円}} = 934(934)$
				8. 保険料 ☆
				1) 火災保険料(建物、不動産) 74(74)
				2) 自動車保険料 $91,690^{\text{円}} \times 2台 = 183(183)$
				9. 雑役務費 ☆
				1) 訓練所管理委託費 ☆ $46,251^{\text{千円}} \times 12月 = 55,500(55,500)$
				2) その他(設置関係法定検査等) 4,449(4,449)
				庁費計 1~9 105,813(105,813)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
II 事業運営に必要な経費	(96,729) 102,603	103,802	1,199	全額 ODA
1. 研修員受入業務経費	(9,295) 9,991	9,991	0	
(項) 業務諸費	(9,295) 9,991	9,991	0	
(目) 諸謝金	(134) 144	144	0	カリキュラム作成報酬 $750^{\text{円}} \times 5^{\text{枚}} \times (125 + 25) \times \frac{1}{5} \times 0.9 = 101 (101)$ 実施調査謝金 $160^{\text{円}} \times 300^{\text{回}} \times 0.9 = 43 (43)$ 計 144 (144)
(目) 職員旅費	(3,043) 3,273	3,273	0	1) 研修先打ち合せ案内(大阪基準、3等級、3泊4日) $(7,548^{\text{円}} + 10,017^{\text{円}}) \times 14^{\text{回}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 2,656 (2,656)$ 2) 管理旅費(3等級、1泊2日) 琉球農業センター $8,323^{\text{円}} \times 1^{\text{回}} \times 12^{\text{月}} \times 0.65 = 65 (65)$ 神奈川センター $4,940^{\text{円}} \times 1^{\text{回}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 53 (53)$ 名古屋センター $9,041^{\text{円}} \times 1^{\text{回}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 98 (98)$ 大阪センター $10,530^{\text{円}} \times 1^{\text{回}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 114 (114)$ 兵庫センター $10,930^{\text{円}} \times 1^{\text{回}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 118 (118)$ 筑波センター $8,323^{\text{円}} \times 1^{\text{回}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 90 (90)$ 小計 538 (538)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 庁 費	(6.118) 6.574	6.574	0	3) 調査打ち合わせ旅費(大阪基準、3等級、1泊2日) $10.956円 \times 2人 \times 4回 \times 0.9 = 79 (79)$ 計 1) ~ 3) 3,273 (273) 1) 印刷製本費 年間受入計画作成 $40円 \times 2,000部 \times 3種 \times 0.9 = 216 (216)$ 研修インフォメーション作成 $179円 \times 100部 \times 120 \times 0.9 = 1,933 (1,933)$ 研修終了証書 $400円 \times 2,600部 \times 0.9 = 936 (936)$ 研修員ニユース $105円 \times 2,600部 \times 2種 \times 0.9 = 491 (491)$ 研修員名簿年度別 $252円 \times 600部 \times 0.9 = 136 (136)$ 研修員名簿国別 $126円 \times 150部 \times 30回 \times 0.9 = 510 (510)$ 研修員調査票 $8.4円 \times 2,200部 \times 0.9 = 17 (17)$ 研修員カード(集計用パンチカード) $16円 \times 2,200部 \times 0.9 = 32 (32)$ <i>Technical Training in Japan</i> $84円 \times 4,000部 \times 0.9 = 302 (302)$ 調査表作成費 $126円 \times 1,950部 \times 0.9 = 221 (221)$ 調査報告書 $536円 \times 650部 \times 0.9 = 314 (314)$ 業種別調査報告書 $452円 \times 90部 \times 0.9 = 37 (37)$ 小計 5,145 (5,145)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				2) 通信運搬費
				研修機関実施調査料 $17^{\text{円}} \times 1.950^{\text{部}} = 33 (33)$
				3) 会議費
				インフォメーション作成打ち合せ
				$210^{\text{円}} \times 5^{\wedge} \times 3^{\text{回}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 34 (34)$
				某団受入計画作成等打ち合せ
				$96^{\text{円}} \times 8^{\wedge} \times 100^{\text{件}} \times 3^{\text{回}} \times 0.9 = 207 (207)$
				個別受入計画作成等打ち合せ
				$96^{\text{円}} \times 8^{\wedge} \times 400^{\text{件}} \times 0.9 = 276 (276)$
				研修監理業務打ち合せ
				$96^{\text{円}} \times 3^{\wedge} \times 120^{\text{件}} \times 0.9 = 31 (31)$
				研修機関実態調査打ち合せ
				$240^{\text{円}} \times 10^{\wedge} \times 10^{\text{回}} \times 0.9 = 22 (22)$
				小計 570 (570)
				4) 交通費
				関係各省連絡 $42^{\text{円}} \times 80^{\text{回}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 36 (36)$
				$315^{\text{円}} \times 50^{\text{回}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 170 (170)$
				関係事務所連絡 $84^{\text{円}} \times 3,000^{\text{件}} \times 0.9 = 227 (227)$
				研修員案内 $630^{\text{円}} \times 400^{\text{件}} \times 0.9 = 227 (227)$
				小計 660 (660)
				5) 賃金

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>カード監理等集計業務</p> <p>臨時雇員 $2,610^{\text{円}} \times 2^{\text{名}} \times 2^{\text{人}} \times 0.9 = 113 (113)$</p> <p>6) 雑役務費</p> <p>研修期間更新手数料 $1,180^{\text{円}} \times 50^{\text{名}} \times 0.9 = 53 (53)$</p> <p>計 1) ~ 6) 6,574 (6,574)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
2. 帰国研修員了了業務経費	(6,855) 7,371	7,371	0	
(項) 業務経費	(6,855) 7,371	7,371	0	
(目) 諸謝金	(42) 45	45	0	調査対象確定のための講師謝金 $4,150円 \times 2人 \times 3人 \times 24-4 \times 0.9 = 45 (45)$
(目) 職員旅費	(103) 111	111	0	調査団打ち合わせ及び調査報告(大改基準、3等級、2泊3日) $(8,069円 + 7,304円) \times 4人 \times 2回 \times 0.9 = 111 (111)$
(目) 庁費	(6,710) 7,215	7,215	0	1) 印刷製本費 調査案作成費 $21円 \times 3,000部 \times 0.9 = 57 (57)$ 同窓会規則印刷費 $347円 \times 170部 \times 2種 \times 0.9$ $= 106 (106)$ KENSHU-IN誌作成費 $126円 \times 8,810部 \times 4回 \times 0.9 = 3,996 (3,996)$ 日本語テキスト $74円 \times 170部 \times 4種 \times 2回 \times 0.9 = 91 (91)$ 参考文献 $1,890円 \times 3カ国 \times 24-4 \times 0.9 = 10 (10)$ 小計 4,260 (4,260) 2) 通信運搬費 調査案送付等 $17円 \times 2回 \times 100人 \times 3カ国 \times 2種 \times 0.9 = 18 (18)$

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>KENSHU-IN 認諾送料</p> <p>$31.5円 \times 8,810部 \times 4回 \times 0.9 = 999(999)$</p> <p>小計 1,017(1,017)</p>
				<p>3) 備品費</p> <p>技術フィルム購入</p> <p>$59,840円 \times 2本 \times 0.9 = 100(100)$</p>
				<p>4) 消耗品費</p> <p>KENSHU-IN 認封筒作成費</p> <p>$10円 \times 8,810部 \times 4回 \times 0.9 = 317(317)$</p> <p>宛名カード作成費</p> <p>$45円 \times 8,810部 \times 4回 \times 0.9 = 1,427(1,427)$</p> <p>日本語習習テープ</p> <p>$1,590円 \times 3種 \times 10本 \times 2回 \times 0.9 = 86(86)$</p> <p>小計 1,830(1,830)</p>
				<p>5) 会議費</p> <p>英語調査打ち合せ</p> <p>$140円 \times 10人 \times 3回 \times 24-4 = 8(8)$</p> <p>計 1) ~ 5) 7,215(7,215)</p>

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
3. アセアン青年招へい業務に必要 経費	(18,632) 18,632	19,349	717	
(1) 業務体制の整備に必要経費	(14,121) 14,121	14,121	0	
(項) 業務諸費	(14,121) 14,121	14,121	0	
(目) 諸謝金	(14,121) 14,121	14,121	0	管理事務嘱託等謝金 1. 27,720円 × 25日 × 4ヶ月 × 3人 = 8,316(8,316) 2. 11,610円 × 25日 × 4ヶ月 × 5人 = 5,805(5,805) 計 1 ~ 2 14,121(14,121)
(2) 専業実施に必要経費	(4,476) 4,476	5,185	709	
1. 現地業務実施経費	(2,304) 2,304	2,754	450	
(項) 外国旅費	(214) 214	257	43	
(目) 在外職員活動旅費	(214) 214	257	43	現地業務に係る旅費 {33,520円 + (1,818円 × 2日 + 5,664円 × 1日)} × 1回 (5ヶ月) × 6ヶ月 = 257(214)
(項) 業務諸費	(2,090) 2,090	2,497	407	
(目) 庁費	(1,261) 1,261	1,507	246	現地備上費(7ラ-7) ☆ ⊕ (5ヶ月) 8,353.22 × 3ヶ月 × 1名 × 6ヶ月 × 237円 = 1,507(1,261)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 渡切費	(829) 829	990	161	渡切費 海外事務所② $8696.31 \times 12月 \times \frac{1}{2} \times 6ヶ国^{(5ヶ国)} \times 237^{\text{円}} = 990(829)$
口. 国内業務実施経費	(2,172) 2,172	2,431	259	
(項) 業務諸費	(2,172) 2,172	2,431	259	
(目) 職員旅費	(263) 263	316	53	1. 地方青年団体打合せ(大阪基準, 3泊4日, 3等級) $(7,548円 + 10,017円) \times 3回 \times 6ヶ国^{(5ヶ国)} = 316(263)$
(目) 庁費	(1,909) 1,909	2,115	206	1. 印刷製本費 (1) 年間計画作成 $40円 \times 100部 \times 6ヶ国^{(5ヶ国)} = 24(20)$ (2) インフォメーション $179円 \times 100部 \times 5分野 \times 6ヶ国^{(5ヶ国)} = 537(498)$ (3) プログラム作成 $40円 \times 10部 \times 5分野 \times 3回 \times 6ヶ国^{(5ヶ国)} = 36(30)$ (4) 国別名簿作成 $126円 \times 100部 \times 6ヶ国^{(5ヶ国)} = 76(63)$ (5) 年次別名簿作成 $252円 \times 100部 = 25(25)$

(165)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(6) 申請書作成 $40円 \times 150人 \times 1冊 \times 6ヶ国^{(5ヶ国)}$ = 36(30)</p> <p>(7) アンケート用紙作成 $40円 \times 780人 \times 1種^{(750)}$ = 31(30)</p> <p>(8) 移了証書作成 $400円 \times 780人^{(750)}$ = 312(300)</p> <p>(9) 青年等カード作成 $16円 \times 780人 \times 1種^{(750)}$ = 12(12)</p> <p>(10) 年間総合報告書 $536円 \times 100部$ = 54(54)</p> <p>計 (1) ~ (10) 1,143(1,012)</p> <p>2. 通信運搬費</p> <p>(1) 海外 $168円 \times 750部 \times 2種$ = 252(252)</p> <p>(2) 国内 $30円 \times 100部 \times 5種$ = 15(15)</p> <p>計 (1) ~ (2) 267(267)</p> <p>3. 備品</p> <p>(1) 国旗 $15,000円 \times 7旗$ = 105(105)</p> <p>(2) キャビネット $16,520円 \times 2台$ = 33(33)</p> <p>計 (1) ~ (2) 138(138)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>4. 会議費</p> <p>(1) プログラム作成打合せ $210円 \times 5人 \times 5回 = 5(5)$</p> <p>(2) 研修監理業務打合せ $210円 \times 5人 \times 5分野 \times 5回 = 26(26)$</p> <p>(3) 青年団体打合せ $210円 \times 5人 \times 5分野 \times 5回 = 26(26)$</p> <p>(4) 受入機関拡充打合せ $210円 \times 5人 \times 5回 = 5(5)$</p> <p>計 (1) ~ (4) 62(62)</p> <p>5. 交通費</p> <p>(1) 関係各省連絡 $42円 \times 2回 \times 5日 \times 12月 = 5(5)$ $315円 \times 2回 \times 5日 \times 12月 = 38(38)$</p> <p>(2) 関係機関連絡 $84円 \times 2回 \times 5日 \times 12月 = 11(11)$</p> <p>計 (1) ~ (2) 54(54)</p> <p>6. 賃金</p> <p>カード監理等集計業務</p> <p>臨時雇員 $3,580円 \times 7日 \times 3回 \times 6ヶ月^{(5ヶ月)} = 451(376)$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				計 1 ~ 6 2,115(1,909)
(3) アフターケア業務経費	(35) 35	43	8	
(項) 業務諸費	(35) 35	43	8	
(目) 庁 費	(35) 35	43	8	1. 印刷製本費 同委員会実施要領等作成 44円 × 150人 × ^(5ヶ回) 6ヶ回 = 40(33) 計 40(33)
				2. 通信運搬費 実施要領アンケート用紙送料 450円 × ^(5ヶ回) 6ヶ回 = 3(2) 計 1 ~ 2 43(35)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
4. 専門家派遣業務経費				
(項) 業務諸費	(3,512) 3,777	3,777	0	
(目) 諸謝金	(518) 557	557	0	1. 専門家選考委員会謝金 $2,260円 \times 3人 \times 220件 \times \frac{1}{10} \times 0.9 = 134 (134)$ 2. 専門家身上調査謝金 $3,760円 \times 220件 \times \frac{1}{5} \times 0.9 = 149 (149)$ 3. 市場調査謝金 $3,810円 \times 80件 \times 0.9 = 274 (274)$ 計 557 (557)
(目) 職員旅費	(945) 1,016	1,016	0	1. 派遣業務打合せ(広島基準 4等級, 2泊3日) $(10,871円 + 6,186円) \times 310件 \times \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} \times 0.9 = 635 (635)$ 2. 機材検収船積立台(大阪基準, 4等級, 2泊3日) $(9,488円 + 6,186円) \times 220件 \times \frac{1}{10} \times 0.9 = 310 (310)$ 3. 資料収集及び運給(大阪基準, 3等級, 3泊4日) $(9,758円 + 10,019円) \times 4回 \times 0.9 = 71 (71)$ 計 1,016 (1,016)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 庁費	(2,049) 2,204	2,204	0	<p>1. 印刷製本費</p> <p>定期報告書作成 $158円 \times 50部 \times 3種 \times 12月 \times 0.9 = 256 (256)$</p> <p>次運計画作成 $168円 \times 115部 \times 12月 \times 0.9 = 209 (209)$</p> <p>インボイス・パッキングリスト輸送依頼書作成 $336円 \times 120冊 \times 4種 \times 0.9 = 145 (145)$</p> <p>専門家業務報告書・業務連絡・調査報告書・行動日程表等作成 $158円 \times 3冊 \times 5種 \times 389 \times \frac{1}{2} \times 0.9 = 415 (415)$</p> <p>計 1,025 (1,025)</p> <p>2. 備品費</p> <p>キャビネット $17,010円 \times 2台 \times 0.9 = 31 (31)$</p> <p>3. 交通費</p> <p>一般事務連絡 $46円 \times 3回 \times 22日 \times 12月 \times 0.9 = 33 (33)$</p> <p>$389円 \times 4回 \times 10日 \times 12月 \times 0.9 = 168 (168)$</p> <p>専門家送迎 $(903円 + 126円) \times 450人 \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times 0.9 = 69 (69)$</p> <p>計 270 (270)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>4. 会議費</p> <p>選考委員会及び派遣打合せ $180円 \times 11人 \times 220件 \times \frac{1}{5} \times 0.9 = 78(78)$</p> <p>各省連絡 $180円 \times 5人 \times 13省庁 \times 12月 \times \frac{1}{3} \times 0.9 = 42(42)$</p> <p>帰国報告会 $180円 \times 10人 \times 220件 \times \frac{1}{2} \times 0.9 = 178(178)$</p> <p>携行機材品目打合せ $180円 \times 5人 \times 220件 \times \frac{1}{5} \times 0.9 = 36(36)$</p> <p>調査打合せ $180円 \times 5人 \times 40回 \times 0.9 = 32(32)$</p> <p>計 366(366)</p> <p>5. 図書購入費 関係図書 $790円 \times 20種 \times 0.9 = 14(14)$</p> <p>6. 賃金 資料作成備人費 $2,610円 \times 106日 \times 2人 \times 0.9 = 498(498)$</p> <p>合計 (1 ~ 6) 2,204(2,204)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
5. 専門家フォローアップ業務経費				
(項) 業務諸費	(3,143) 3,380	3,380	0	
(目) 諸謝金	(221) 238	238	0	エキスパート読原稿料 $440円 \times 20枚 \times 5件 \times 6回 \times 0.9 = 238 (238)$
(目) 職員旅費	(100) 108	108	0	帰国専門家地域別会議旅費 $(8,553円 + 11,475円) \times 6人 \times 1回 \times 0.9 = 108 (108)$
(目) 方 費	(2,822) 3,034	3,034	0	1. 印刷製本費、エキスパート読作成費 $189円 \times 2,260部 \times 6回 \times 0.9 = 2,306 (2,306)$ 2. 通信運搬費、エキスパート読送付 (1) 海外 $168円 \times 750部 \times \frac{1}{2} + 4 \times 6回 \times 0.9 = 340 (340)$ (2) 国内 $30円 \times 1,000部 \times 6回 \times 0.9 = 162 (162)$ 計 502 (502) 3. 交通費 (1) 事務連絡 $53円 \times 5人 \times 12月 \times 0.9 = 3 (3)$ (2) 事務連絡 $400円 \times 5人 \times 12月 \times 0.9 = 22 (22)$ 計 25 (25)

(172)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>4. 会議費</p> <p>(1) 帰国専門家総会 $380円 \times 1,500人 \times \frac{1}{3} \times 0.9 = 171(171)$</p> <p>(2) 帰国専門家地域別会議 $220円 \times 50人 \times 3回 \times 0.9 = 30(30)$</p> <p>計 201(201)</p> <p>合計 (1 ~ 4) 3,034(3,034)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
6. 機材供与業務経費				
(項) 業務経費	(1,405) 1,512	1,512	0	
(目) 諸謝金	(557) 599	599	0	仕様書作成謝金 $3,980円 \times 10枚 \times 25件 \times \frac{1}{2} \times 0.9 = 448 (448)$ 仕様書翻訳料(和文外語訳) $560円 \times 5枚 \times 3種 \times 20件 \times 0.9 = 151 (151)$ 計 599 (599)
(目) 職員旅費	(221) 238	238	0	仕様書打合せ、横収及び船積立合(大阪基準、3等級、3泊4日) $(8,840円 + 10,020円) \times 2種 \times 14件 \times \frac{1}{2} \times 0.9 = 238 (238)$
(目) 庁費	(627) 675	675	0	1. 印刷製本費 仕様書作成 $168円 \times 38件 \times 0.9 = 6 (6)$ 図面(トレース焼付) $2,489円 \times 2種 \times 15件 \times \frac{1}{3} \times 0.9 = 22 (22)$ 品名リスト $305円 \times 2種 \times 20件 \times 10部 \times 0.9 = 110 (110)$ インボイス・パッキングリスト作成 $987円 \times 2種 \times 20部 \times 0.9 = 36 (36)$ 計 174 (174)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				2. 備品費
				キャビネット $19,740円 \times 2台 \times 0.9 = 36 (36)$
				3. 消耗品費
				ファイル $40円 \times 600枚 \times 0.9 = 22 (22)$
				4. 図書購入費
				執務参考図書 $788円 \times 50種 \times 0.9 = 35 (35)$
				5. 交通費
				タクシー $315円 \times 20回 \times 12月 \times 0.9 = 68 (68)$
				地下鉄 $42円 \times 40回 \times 12月 \times 0.9 = 18 (18)$
				計 $86 (86)$
				6. 会議費
				実施計画打合せ
				$190円 \times 10人 \times 6回 \times 0.9 = 10 (10)$
				仕様書作成打合せ
				$180円 \times 5人 \times 2回 \times 38件 \times 0.9 = 62 (62)$
				調査打合せ
				$180円 \times 5人 \times 2回 \times 84件 \times 0.9 = 13 (13)$
				計 $85 (85)$

(175)
(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 差 硬
				<p>7. 賃金</p> <p>賃料作成備人費</p> <p>$2,610円 \times 101日 \times 1人 \times 0.9 = 237(237)$</p> <p>合計 (1~7) 675(675)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎									
7. 特殊機材仕様書専作業務経費													
(項) 業務諸費	(17,647) 18,975	19,457	482										
(目) 謝金	(14,148) 14,148	15,695	482	<p>1. 特別発注機材仕様書作成のための実施設計作業費</p> <p>(3,143,210) $3,242,620 \text{円} \times 175 \text{件} \times \frac{1}{20} \times 0.9 = 12,768 (12,376)$</p> <p>175件の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>センサ-21</td> <td>機材供与</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>基 材</td> <td>保健医療</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>産業開発</td> <td></td> <td>11</td> </tr> </table> <p>(単価内訳)</p> <p>(1) 直接人件費</p> <p>主任技師 $\frac{(37,080)}{38,270 \text{円}} \times 20 \text{名} \times 1 \text{人} = 765,400 (741,600)$</p> <p>技 師 $\frac{(31,850)}{32,840 \text{円}} \times 20 \text{名} \times 1 \text{人} = 656,800 (637,000)$</p> <p>計 1,422,200 (1,378,600)</p> <p>(2) 諸経費 $\frac{(1,378,600)}{1,422,200 \text{円}} \times \frac{90}{100} = 1,279,980 (1,240,740)$</p> <p>(3) 技術経費 $\left(\frac{(1,378,600)}{1,422,200 \text{円}} + \frac{(1,240,740)}{1,279,980 \text{円}} \right) \times \frac{20}{100}$ $= 540,440 (523,870)$</p> <p>単価合計 (1) ~ (3) 3,242,620 (3,143,210)</p>	センサ-21	機材供与	64	基 材	保健医療	37	産業開発		11
センサ-21	機材供与	64											
基 材	保健医療	37											
産業開発		11											

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 職員旅費	(1,594) 1,714	1,714	0	2. 仕様書作成経費 (1) 仕様書作成謝金 $\frac{(3,390)}{3,500} \text{円} \times 5 \text{種} \times 175 \text{冊} \times \frac{1}{4} \times 0.9 = 689 (667)$ (2) 仕様書刷紙料 $\frac{(55,120)}{56,830} \text{円} \times 175 \text{冊} \times \frac{1}{4} \times 0.9 = 2,238 (2,170)$ 計 (1) + (2) 2,927 (2,837) 合計 1 + 2 15,695 (15,213) (大阪基準、4泊5日、3専報) (1) 機材検収 $(7,605 + 16,992) \text{円} \times 58 \text{冊} \times 0.9 = 1,284 (1,284)$ (2) 船積立金 $23,855 \text{円} \times 20 \text{冊} \times 0.902 = 430 (430)$ 計 (1) + (2) 1,714 (1,714)
(目) 庁費	(1,905) 2,048	2,048	0	1. 交通費 ○機材検収 $242 \text{円} \times 20 \text{冊} \times 4 \text{冊} \times 12 \text{冊} \times 0.9 = 209 (209)$ 2. 会議費 (1) 機材調達打合せ $370 \text{円} \times 10 \text{冊} \times 50 \text{冊} \times 0.9 = 167 (167)$ (2) 仕様打合せ $370 \text{円} \times 12 \text{冊} \times 10 \text{冊} \times 0.9 = 40 (40)$ 計 207 (207)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>3. 賃金 臨時職員 $2,610^{\text{円}} \times 223^{\text{日}} \times 0.962 \times 0.9 = 504 (504)$</p> <p>4. 図書購入費 (1) 専門書 $5,460^{\text{円}} \times 10^{\text{種}} \times 0.9 = 49 (49)$ (2) 一般書 $1,160^{\text{円}} \times 8^{\text{種}} \times 0.9 = 8 (8)$ 計 57 (57)</p> <p>5. 備品費 ガラス書庫 $50,400^{\text{円}} \times 2^{\text{台}} \times 0.9 = 91 (91)$</p> <p>6. 消耗品費 ファイル $60^{\text{円}} \times 500^{\text{枚}} \times 0.9 = 27 (27)$</p> <p>7. 印刷製本費 機材品目リスト $1,210^{\text{円}} \times 100^{\text{部}} \times 175^{\text{冊}} \times \frac{1}{20} \times 0.9$ = 953 (953)</p> <p>合計 1～7 2,048 (2,048)</p>

(179)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
8. 技術協力センター業務経費				
(項) 業務経費	(2,715) 2,921	2,921	0	
(目) 諸謝金	(772) 830	830	0	1. 専門家選考委員謝金 $2,260^{\text{円}} \times 5^{\text{人}} \times 1^{\text{回}} \times 2^{\text{件}} \times 0.916 = 21 (21)$ 2. 専門家身上調査謝金 $3,590^{\text{円}} \times 20^{\text{人}} \times \frac{2}{3} \times 0.961 = 46 (46)$ 3. 仕様書作成謝金 $2,150^{\text{円}} \times 70^{\text{枚}} \times 2^{\text{件}} \times 0.943 = 284 (284)$ 4. 仕様書作成謝金 $440^{\text{円}} \times 7^{\text{人}} \times 70^{\text{枚}} \times 2^{\text{件}} \times 0.9916 = 406 (406)$ 5. 委員謝金 $1,070^{\text{円}} \times 4^{\text{人}} \times 9^{\text{回}} \times 2^{\text{件}} \times 0.9475 = 73 (73)$ 計 1 ~ 5 830 (830)

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 職員旅費	(530) 570	570	0	1. 調達船積立台(大阪基準、3号級、3泊4日) $(7,586^{\text{円}} + 10,018^{\text{円}}) \times 4^{\text{回}} \times 2^{\text{件}} \times 0.9 = 127(127)$ 2. 横収連絡旅費 $(7,586^{\text{円}} + 10,018^{\text{円}}) \times 3^{\text{回}} \times 5^{\text{件}} \times 0.9 = 238(238)$ 3. 派遣連絡旅費 $(7,586^{\text{円}} + 10,018^{\text{円}}) \times 5^{\text{回}} \times 2^{\text{件}} \times 0.9 = 158(158)$ 4. 専門系採用打合せ $(7,586^{\text{円}} + 10,018^{\text{円}}) \times 3^{\text{回}} \times 1^{\text{件}} \times 0.9 = 47(47)$ 計 1 ~ 4 570(570)
(目) 庁費	(1,413) 1,521	1,521	0	1. 備品費 キヤビネット $22,260^{\text{円}} \times 3^{\text{台}} \times 0.9 = 60(60)$ 2. 消耗品費 フォイル $40^{\text{円}} \times 600^{\text{枚}} \times 0.9 = 22(22)$ 3. 印刷製本費 (1) 仕様書作成和文 $127^{\text{円}} \times 25^{\text{部}} \times 50^{\text{種}} \times 2^{\text{件}} \times 0.9 = 286(286)$ 英文 $127^{\text{円}} \times 18^{\text{部}} \times 50^{\text{種}} \times 2^{\text{件}} \times 0.9 = 206(206)$ (2) 図面作成(トレース焼付) $2,950^{\text{円}} \times 15^{\text{種}} \times 2^{\text{件}} \times 0.9 = 80(80)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(3) 品目リスト $273円 \times 20部 \times 2種 \times 4件 \times 0.9 = 39(39)$
				(4) 通関船積関係書類(インボイス・パッキングリスト等) $546円 \times 20部 \times 3種 \times 4件 \times 0.9 = 118(118)$ $315円 \times 20部 \times 3種 \times 4件 \times 0.9 = 68(68)$
				(5) 調運資料 $315円 \times 10部 \times 3種 \times 2件 \times 0.9 = 17(17)$ $168円 \times 5部 \times 2種 \times 7件 \times 0.9 = 11(11)$
				(6) 専門家選考委員会 $315円 \times 30部 \times 4種 \times 0.9 = 34(34)$
				(7) 渡航前打合せ関係資料 $315円 \times 30部 \times 4種 \times 0.9 = 34(34)$
				(8) 報告書用紙 $168円 \times 100部 \times 2種 \times 0.9 = 30(30)$
				(9) 定期報告書用紙 $168円 \times 40部 \times 2種 \times 0.9 = 12(12)$
				計 (1) ~ (9) 935(935)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>4. 図書購入費</p> <p>執務参考図書 $790^{\text{冊}} \times 70^{\text{種}} \times 0.9 = 50 (50)$</p> <p>5. 交通費</p> <p>(1) 一般連絡研修交通費 $40^{\text{冊}} \times 50^{\text{冊}} \times 4^{\text{件}} \times 0.9 = 7 (7)$</p> <p>(2) " $399^{\text{冊}} \times 15^{\text{冊}} \times 8^{\text{件}} \times 0.9 = 43 (43)$</p> <p>計 (1) ~ (2) $50 (50)$</p> <p>6. 会議費</p> <p>(1) 仕様書作成打合せ $220^{\text{冊}} \times 20^{\text{人}} \times 2^{\text{回}} \times 4^{\text{件}} \times 0.9 = 32 (32)$</p> <p>(2) 調査打合せ $220^{\text{冊}} \times 26^{\text{人}} \times 2^{\text{回}} \times 4^{\text{件}} \times 0.9 = 41 (41)$</p> <p>(3) 研修打合せ $220^{\text{冊}} \times 10^{\text{人}} \times 2^{\text{回}} \times 4^{\text{件}} \times 0.9 = 16 (16)$</p> <p>(4) 据付関係打合せ $220^{\text{冊}} \times 10^{\text{人}} \times 2^{\text{回}} \times 2^{\text{件}} \times 0.9 = 8 (8)$</p> <p>(5) 専門家選考委員会 $220^{\text{冊}} \times 15^{\text{人}} \times 2^{\text{回}} \times 2^{\text{件}} \times 0.9 = 12 (12)$</p> <p>(6) 帰国報告会 $220^{\text{冊}} \times 20^{\text{人}} \times 2^{\text{回}} \times 2^{\text{件}} \times 0.9 = 16 (16)$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(7) 渡航前打合せ $220^{\text{円}} \times 15^{\text{人}} \times 2^{\text{回}} \times 2^{\text{件}} \times 0.9 = 12 (12)$</p> <p>(8) 設置関係打合せ $220^{\text{円}} \times 17^{\text{人}} \times 2^{\text{回}} \times 11^{\text{件}} \times 0.9 = 74 (74)$</p> <p>計 (1) ~ (8) 211 (211)</p> <p>7. 賃金 $2,610^{\text{円}} \times 85^{\text{日}} \times 1^{\text{人}} \times 0.87 = 193 (193)$</p> <p>合計 1 ~ 7 1,521 (1,521)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
9. 保健医療協働業務経費				
(項) 業務諸費	(6,858) 7,374	7,374	0	
(目) 諸謝金	(931) 1,001	1,001	0	委員会謝金委員会 $2,270^{\text{円}} \times 15^{\text{人}} \times 2^{\text{回}} \times \frac{1}{2} \times 0.9 = 31 (31)$ 専門部会 $2,270^{\text{円}} \times 15^{\text{人}} \times 6^{\text{回}} \times \frac{1}{2} \times 0.9 = 92 (92)$ 専門家人選打合せ謝金 $2,270^{\text{円}} \times 3^{\text{人}} \times 68^{\text{件}} \times \frac{1}{10} \times 0.9 = 42 (42)$ 打合せ謝金 $1,890^{\text{円}} \times 2^{\text{回}} \times 5^{\text{件}} \times 0.9 = 17 (17)$ 仕様書作成謝金 $1,510^{\text{円}} \times 9^{\text{種}} \times 28^{\text{件}} \times 0.9 = 342 (342)$ 翻訳料 $510^{\text{円}} \times 4^{\text{頁}} \times 10^{\text{種}} \times 26^{\text{種}} \times 0.9 = 477 (477)$ 計 1,001 (1,001)
(目) 職員旅費	(1,669) 1,795	1,795	0	調査前打合せ旅費(広島基準、5等級、2泊3日) $(9,689 + 6,144)^{\text{円}} \times 4^{\text{人}} \times 13^{\text{件}} \times \frac{1}{4} \times 0.905 = 186 (186)$ 専門家人選打合せ(大阪基準、3等級、3泊4日) $(7,583 + 10,018)^{\text{円}} \times 68^{\text{件}} \times \frac{1}{5} \times 0.9 = 359 (359)$ 専門家採用打合せ旅費 $(7,583 + 10,018)^{\text{円}} \times 68^{\text{件}} \times \frac{2}{5} \times \frac{1}{5} \times 0.9 = 144 (144)$ 専門家派遣連絡旅費 $(7,583 + 10,018)^{\text{円}} \times 68^{\text{件}} \times \frac{2}{5} \times \frac{1}{4} \times 0.9 = 180 (180)$

(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				携行機材複収船積立台旅費 $(7,583 + 10,018)^{\text{円}} \times 68^{\text{冊}} \times \frac{1}{4} \times 0.901 = 270 (270)$
				帰国専門家等地域別会議出席旅費(大阪基準、3等級、3泊4日) $(7,583 + 10,018)^{\text{円}} \times 4^{\text{人}} \times 0.91 = 64 (64)$
				携行仕様書打合せ複収及び船積立台(大阪基準、3等級、3泊4日) $(7,583 + 10,018)^{\text{円}} \times 2^{\text{種}} \times 28^{\text{冊}} \times \frac{2}{3} \times 0.901 = 592 (592)$
				計 1,795 (1,795)
(目) 委員旅費	(724) 779	779	0	委員上京旅費(大阪基準、3等級、3泊4日) 委員会 $(10,956 + 8,517)^{\text{円}} \times 15^{\text{人}} \times 2^{\text{回}} \times \frac{1}{3} = 195 (195)$ 専門部会 $(10,956 + 8,517)^{\text{円}} \times 15^{\text{人}} \times 6^{\text{回}} \times \frac{1}{3} = 584 (584)$
				計 779 (779)
(目) 庁費	(3,534) 3,799	3,799	0	1. 印刷製本費 定期報告用紙作成費 $168^{\text{冊}} \times 50^{\text{部}} \times 2^{\text{種}} \times 12^{\text{冊}} \times 0.9 = 182 (182)$ 調査団派遣資料 $231^{\text{冊}} \times 30^{\text{部}} \times 3^{\text{種}} \times 8^{\text{冊}} \times 0.9 = 150 (150)$ 派遣計画書作成費 $158^{\text{冊}} \times 50^{\text{部}} \times 12^{\text{冊}} \times 0.9 = 85 (85)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				人選打合せ資料 $168^{\text{円}} \times 20^{\text{部}} \times 25^{\text{種}} \times 0.9 = 76(76)$
				専門家業務報告書
				争務連絡用紙 $158^{\text{円}} \times 3^{\text{部}} \times 3^{\text{種}} \times 133^{\text{人}} \times \frac{1}{2} \times 0.9 = 85(85)$
				委員会資料 $315^{\text{円}} \times 20^{\text{部}} \times 8^{\text{種}} \times 0.9 = 45(45)$
				図面作成(トレス焼付) $3,276^{\text{円}} \times 10^{\text{種}} \times 2^{\text{件}} \times 0.9 = 59(59)$
				仕様書作成和文 $70^{\text{円}} \times 30^{\text{枚}} \times 5^{\text{種}} \times 6^{\text{件}} \times 0.9 = 57(57)$
				“ 英文 $168^{\text{円}} \times 30^{\text{枚}} \times 5^{\text{種}} \times 2^{\text{件}} \times 0.9 = 45(45)$
				インボイス・パッキングリスト $399^{\text{円}} \times 10^{\text{部}} \times 2^{\text{種}} \times 30^{\text{件}} \times 0.9 = 215(215)$
				品目リスト $315^{\text{円}} \times 2^{\text{種}} \times 20^{\text{部}} \times 30^{\text{件}} \times 0.9 = 340(340)$
				調達資料 $315^{\text{円}} \times 20^{\text{部}} \times 2^{\text{種}} \times 28^{\text{件}} \times \frac{1}{3} \times 0.9 = 106(106)$
				計 1,445(1,445)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>2. 通信運搬費</p> <p>海外向 $147^{\text{円}} \times 130^{\text{部}} \times 3^{\text{回}} \times 0.9 = 52 (52)$</p> <p>国内向 $25^{\text{円}} \times 300^{\text{部}} \times 3^{\text{回}} \times 0.9 = 20 (20)$</p> <p>計 72 (72)</p> <p>3. 消耗品費</p> <p>医学雑誌購入費</p> <p>$2,730^{\text{円}} \times 6^{\text{種}} \times 10^{\text{冊}} \times 0.9 = 147 (147)$</p> <p>4. 交通費</p> <p>一般事務連絡 地下鉄</p> <p>$53^{\text{円}} \times 1,370^{\text{回}} \times 0.9 = 65 (65)$</p> <p>“ 自動車</p> <p>$399^{\text{円}} \times 1,370^{\text{回}} \times 0.9 = 492 (492)$</p> <p>専門家送迎</p> <p>$(945 + 168)^{\text{円}} \times 2 \times (\text{短期 } 138\text{人} + \text{長期 } 85\text{人} + \text{大客}$ $\text{教授 } 25\text{人}) \times \frac{1}{2} \times 0.9 = 248 (248)$</p> <p>空港送迎</p> <p>$(861 + 137)^{\text{円}} \times 2 \times 8^{\text{件}} \times 2^{\text{送迎}} \times 0.9$ $= 29 (29)$</p> <p>計 834 (834)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				5. 会議費
				調査団派遣打合せ
				$250^{\text{円}} \times 10^{\wedge} \times 3^{\text{回}} \times 13^{\text{件}} \times 0.9 = 88(88)$
				専門家人選打合せ
				$220^{\text{円}} \times 10^{\wedge} \times 68^{\text{件}} \times \frac{1}{3} \times 0.9 = 45(45)$
				専門家派遣打合せ
				$150^{\text{円}} \times 10^{\wedge} \times 68^{\text{件}} \times \frac{1}{3} \times 0.9 = 31(31)$
				専門家帰国報告会
				$150^{\text{円}} \times 30^{\wedge} \times 90^{\text{件}} \times \frac{1}{3} \times 0.9 = 122(122)$
				専門家携行機材打合せ
				$150^{\text{円}} \times 10^{\wedge} \times 68^{\text{件}} \times \frac{1}{3} \times 0.9 = 31(31)$
				帰国専門家地域別会議
				$400^{\text{円}} \times 30^{\wedge} \times 3^{\text{回}} \times 0.9 = 32(32)$
				$400^{\text{円}} \times 150^{\wedge} \times \frac{1}{2} \times 0.9 = 18(18)$
				仕様書打合せ
				$150^{\text{円}} \times 10^{\wedge} \times 2^{\text{回}} \times 28^{\text{件}} \times 0.9 = 76(76)$
				設計図仕様打合せ
				$220^{\text{円}} \times 10^{\wedge} \times 2^{\text{回}} \times 2^{\text{件}} \times 0.9 = 8(8)$
				機材調整打合せ
				$150^{\text{円}} \times 10^{\wedge} \times 28^{\text{件}} \times 0.9 = 38(38)$
				箱積検収打合せ
				$150^{\text{円}} \times 10^{\wedge} \times 2^{\text{回}} \times 28^{\text{件}} \times 0.9 = 76(76)$

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>委員会打合せ専門部会 $380^{\text{円}} \times 15^{\text{人}} \times 7^{\text{回}} \times 0.9 = 36(36)$</p> <p>計 601(601)</p> <p>6. 図書購入費 業務参考図書 $1,974^{\text{円}} \times 40^{\text{種}} \times 0.9 = 71(71)$</p> <p>7. 賃金 資料作成備人 $2,610^{\text{円}} \times 126^{\text{日}} \times 2^{\text{人}} \times 0.96 \times 0.9 = 569(569)$</p> <p>8. 備品費 キャビネット $2,480^{\text{円}} \times 3^{\text{台}} \times 0.93 = 60(60)$</p> <p>合計 1～8 3,799(3,799)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
<p>10. 養林業協力業務経費</p> <p>(項) 業務経費</p> <p>(目) 諸謝金</p>	<p>(5,340)</p> <p>5,743</p> <p>(1,032)</p> <p>1,110</p>	<p>5,743</p> <p>1,110</p>	<p>0</p> <p>0</p>	<p>総務課業専門家謝金</p> $45,590^{\text{円}} \times 5^{\text{種}} \times 3^{\text{人}} \times 0.901 = 616 (616)$ <p>養林業協力委員謝金</p> $2,490^{\text{円}} \times 10^{\text{人}} \times 4^{\text{回}} \times 0.9 = 90 (90)$ <p>専門家選考謝金</p> $830^{\text{円}} \times 5^{\text{人}} \times 5^{\text{件}} \times 0.9 = 19 (19)$ <p>仕様書作成謝金</p> $2,490^{\text{円}} \times 10^{\text{種}} \times 13^{\text{プロジェクト}} \times 0.9 = 291 (291)$ <p>翻訳謝金</p> $800^{\text{円}} \times 10^{\text{種}} \times 13^{\text{プロジェクト}} \times 0.9 = 94 (94)$ <p>計</p> <p>1,110 (1,110)</p>
<p>(目) 職員旅費</p>	<p>(961)</p> <p>1,033</p>	<p>1,033</p>	<p>0</p>	<p>派遣前運給(広島基準、3等級、3泊4日)</p> $(9,845^{\text{円}} + 9,950^{\text{円}}) \times 3^{\text{回}} \times 10^{\text{プロジェクト}} \times \frac{1}{3} \times 0.9 = 178 (178)$ <p>派遣打合、調達検収等(広島基準、3等級、3泊4日)</p> $(9,845^{\text{円}} + 9,950^{\text{円}}) \times 4^{\text{回}} \times 12^{\text{プロジェクト}} \times 0.9 = 855 (855)$ <p>計</p> <p>1,033 (1,033)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(目) 方 費	(3,347) 3,600	3,600	0	<p>1. 交通費</p> <p>一般事務連絡 $46^{\text{冊}} \times 40^{\text{冊}} \times 12^{\text{冊}} \times 2^{\text{冊}} \times 0.9 = 40 (40)$ $221^{\text{冊}} \times 50^{\text{冊}} \times 12^{\text{冊}} \times 2^{\text{冊}} \times 0.9 = 239 (239)$</p> <p>検収連絡 $399^{\text{冊}} \times 250^{\text{冊}} \times 0.9 = 90 (90)$</p> <p>計 369 (369)</p> <p>2. 会議費</p> <p>派遣前打合せ、帰国報告会 $150^{\text{冊}} \times (20^{\text{人}} \times 2^{\text{冊}} + 30^{\text{人}} \times 1^{\text{冊}}) \times 15^{\text{冊}} \times 0.9 = 147 (147)$</p> <p>仕様書作成打合せ $160^{\text{冊}} \times 10^{\text{人}} \times 3^{\text{冊}} \times 13^{\text{冊}} \times 0.9 = 56 (56)$</p> <p>調理船積、検収打合せ $160^{\text{冊}} \times 10^{\text{人}} \times (3 \times 3)^{\text{冊}} \times 13^{\text{冊}} \times 0.9 = 168 (168)$</p> <p>施設関係打合せ $160^{\text{冊}} \times 10^{\text{人}} \times 3^{\text{冊}} \times 13^{\text{冊}} \times 0.9 = 56 (56)$</p> <p>農業協力委員会打合せ $160^{\text{冊}} \times 10^{\text{人}} \times 3^{\text{冊}} \times 13^{\text{冊}} \times 0.9 = 56 (56)$</p> <p>要員募集関係機関協議会 $220^{\text{冊}} \times 9^{\text{人}} \times 6^{\text{冊}} \times 0.9 = 11 (11)$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				専門家講演报告会 $160^{\text{冊}} \times 20^{\text{人}} \times 13^{\text{回}} \times 0.9 = 37(37)$ 計 526(526)
				3. 印刷製本費 調査関係資料 $231^{\text{冊}} \times 50^{\text{部}} \times 2^{\text{種}} \times 12^{\text{部外}} \times 0.9 = 249(249)$ 仕様書作成(和文) $221^{\text{冊}} \times 50^{\text{部}} \times 20^{\text{部外}} \times \frac{2}{3} \times 0.9 = 133(133)$ 仕様書作成(英文) $431^{\text{冊}} \times 30^{\text{部}} \times 20^{\text{部外}} \times \frac{2}{3} \times 0.9 = 155(155)$ 品目リスト $347^{\text{冊}} \times 30^{\text{部}} \times 20^{\text{部外}} \times \frac{2}{3} \times 0.9 = 125(125)$ 図面作成 $3,035^{\text{冊}} \times 5^{\text{種}} \times 20^{\text{部外}} \times \frac{2}{3} \times 0.9 = 182(182)$ 通関船積関係 $578^{\text{冊}} \times 3^{\text{種}} \times 200^{\text{部}} \times 0.9 = 312(312)$ 農業委員会資料 $252^{\text{冊}} \times 30^{\text{部}} \times 4^{\text{回}} \times 0.9 = 27(27)$ 委員選考委員会資料 $252^{\text{冊}} \times 50^{\text{部}} \times 5^{\text{種}} \times 0.9 = 57(57)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				定期報告書作成 $305\text{冊} \times 150\text{部} \times 5\text{種} \times 0.9 = 206(206)$ 専門家手引書作成 $431\text{冊} \times 100\text{部} \times 0.9 = 39(39)$ 計 1,485(1,485)
				4. 賃金 資料作成備人費 $2,610\text{円} \times 99\text{日} \times 4\text{人} \times 0.9 = 930(930)$
				5. 図書購入費 業務参考書 $1,733\text{冊} \times 5\text{種} \times 12\text{プロジェクト} \times 0.9 = 94(94)$ 農業専門図書 $2,594\text{冊} \times 5\text{種} \times 12\text{プロジェクト} \times 0.9 = 128(128)$ 計 222(222)
				6. 通信運搬費 図書資料海外送料 $290\text{冊} \times 5\text{冊} \times 11\text{プロジェクト} \times 0.9 = 14(14)$
				7. 備品費 電子計算機 $54,000\text{円} \times 1\text{台} = 54(54)$ 計 1 ~ 7 3,600(3,600)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
Ⅰ. 産業開発協力業務経費				
(項) 業務諸費	(2,492) 2,678	2,678	0	
(目) 諸謝金	(271) 291	291	0	開発技術専門家謝金 $45,210円 \times 1人 \times 4種 \times 0.907 = 164 (164)$ 専門家選考会議謝金 $750円 \times 5人 \times 3件 \times 0.9 = 10 (10)$ 資料作成翻訳謝金 $370円 \times 10冊 \times 10種 \times 0.9 = 33 (33)$ 仕様書作成謝金 $2,260円 \times 5種 \times 5件 \times 0.9 = 51 (51)$ 仕様書翻訳謝金 $730円 \times 10冊 \times 5件 \times 0.9 = 33 (33)$ 計 291 (291)
(目) 職員旅費	(339) 364	364	0	(大阪基準 3等級) 機材調達等打合せ(2泊3日) $(7,769円 + 6,876円) \times 9回 \times 0.9 = 119 (119)$ 機材船積等打合せ(2泊3日) $(7,769円 + 6,876円) \times 9回 \times 0.9 = 119 (119)$ 機材検収打合せ(3泊4日) $(7,769円 + 10,021円) \times 8回 \times 0.885 = 126 (126)$

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(目) 庁 費	(1882) 2,023	2,023	0	計 346(346)
				1. 交通費
				一般事務連絡 $41^{\text{円}} \times 270^{\text{回}} = 11(11)$
				$399^{\text{円}} \times 270^{\text{回}} = 108(108)$
				計 119(119)
				2. 会議費
				機材調達等打合せ $220^{\text{円}} \times 10^{\text{人}} \times 81^{\text{回}} = 178(178)$
				専門家報告会 $380^{\text{円}} \times 35^{\text{人}} \times 0.9^{\text{回}} = 12(12)$
				仕様書作成打合せ $220^{\text{円}} \times 10^{\text{人}} \times 25^{\text{回}} \times 0.9 = 50(50)$
				専門家派遣打合せ $220^{\text{円}} \times 20^{\text{人}} \times 5^{\text{回}} \times 0.9 = 20(20)$
				計 260(260)
				3. 印刷製本費
				調査団派遣計画書作成 $168^{\text{円}} \times 30^{\text{部}} \times 9^{\text{種}} = 45(45)$
				仕様書類種書類等作成 $168^{\text{円}} \times 30^{\text{部}} \times 18^{\text{種}} \times 4^{\text{件}} = 363(363)$
				指導用資料作成 $242^{\text{円}} \times 45^{\text{部}} \times 5^{\text{種}} \times 4^{\text{件}} = 218(218)$
				計 626(626)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>4. 通信運搬費</p> <p>資料送送料 $168^{\text{円}} \times 60^{\text{部}} \times 3^{\text{種}} \times 7^{\text{件}} \times 0.9 = 191 (191)$</p> <p>5. 図書購入費</p> <p>専門図書 $2,352^{\text{円}} \times 10^{\text{部}} \times 8^{\text{種}} \times 0.9 = 169 (169)$</p> <p>執務参考図書 $1,565^{\text{円}} \times 10^{\text{種}} \times 0.9 = 14 (14)$</p> <p>計 183 (183)</p> <p>6. 備品費</p> <p>キャビネット等 231 (231)</p> <p>7. 賃金</p> <p>資料作成備人費 $2,610^{\text{円}} \times 88^{\text{日}} \times 2^{\text{人}} \times 0.9 = 413 (413)$</p> <p>合計 1 ~ 7 2,023 (2,023)</p>

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
12. 地域別、国別計画調査及び調整に必要経費	(2,600) 2,795	2,795	0	
(1) 国別資料作成経費				
(項) 業務諸費	(449) 483	483	0	
(目) 庁費	(449) 483	483	0	(1) 印刷製本費 国別資料作成費 $100円 \times 450部 \times 10回 \times 0.9 = 405 (405)$
				(2) 通信運搬費 通信連絡費 $2,250円 \times 6種 \times 0.95 = 13 (13)$
				(3) 会議費 資料作成検討会 $200円 \times 10人 \times 6回 \times 6種 \times 0.9 = 65 (65)$
				計 (1) ~ (3) 483 (483)
(2) 国別委員会経費				
(項) 業務諸費	(1,574) 1,691	1,691	0	
(目) 諸謝金	(178) 191	191	0	(1) 委員謝金 $2,000円 \times 7人 \times 4回 \times 2回 \times 0.9 = 101 (101)$
				(2) 調査資料専作成謝金 $500円 \times 100枚 \times 2種 \times 0.9 = 90 (90)$
				計 (1) ~ (2) 191 (191)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 委員旅費	(789) 848	848	0	委員上京旅費(大段基準、3等級、2泊3日) $\{(6,200^{\text{円}} \times 4,600^{\text{円}}) \times 2 + 1,900^{\text{円}} \times 3^{\text{日}} + 2,900^{\text{円}} \times 2^{\text{泊}}\}$ $\times 3^{\text{人}} \times 3^{\text{回}} \times 2^{\text{回}} = 848 (848)$
(目) 庁費	(607) 652	652	0	(1) 印刷製本費 (i) 委員会資料 $150^{\text{円}} \times 50^{\text{部}} \times 4^{\text{回}} \times 2^{\text{委員会}} \times 0.9 = 54 (54)$ (ii) 委員会報告書 $300^{\text{円}} \times 50^{\text{部}} \times 2^{\text{委員会}} \times 0.9 = 27 (27)$ (iii) 報告書作成 $500^{\text{円}} \times 100^{\text{部}} \times 2^{\text{委員会}} \times 0.9 = 90 (90)$ (iv) 調査資料作成費 $250^{\text{円}} \times 100^{\text{部}} \times 2^{\text{回}} \times 0.9 = 45 (45)$ 計 (i) ~ (iv) 216 (216) (2) 通信運搬費 通信連絡費 $1,800^{\text{円}} \times 8^{\text{回}} \times 0.9 = 13 (13)$ (3) 図書購入費 研究図書 $1,800^{\text{円}} \times 10^{\text{種}} \times 2^{\text{回}} \times 0.9 = 32 (32)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				(4) 会議費 (i) 委員会 $300^{\text{円}} \times 15^{\text{人}} \times 4^{\text{回}} \times 2^{\text{等}} \times 0.9 = 32 (32)$ (ii) 研究発表会 $300^{\text{円}} \times 20^{\text{人}} \times 2^{\text{回}} \times 0.9 = 11 (11)$ 小計 (i) + (ii) 43 (43)
				(5) 賃金 臨時雇員 $2,610^{\text{円}} \times 2^{\text{人}} \times 77^{\text{日}} \times 0.962 \times 0.9 = 348 (348)$ 合計 (1) ~ (5) = 652 (652)
(3) 調査調整に必要な経費				
(項) 業務諸費	(577) 621	621	0	
(目) 諸謝金	(100) 108	108	0	国別情報入手 $2,000^{\text{円}} \times 3^{\text{時間}} \times 20^{\text{人}} \times 0.9 = 108 (108)$
(目) 職員旅費	(119) 128	128	0	会議打合せ旅費(大阪基準、3等級、2泊3日) $\{(6,200^{\text{円}} + 4,600^{\text{円}}) \times 2 + 1,900^{\text{円}} \times 3\text{日} + 9,900^{\text{円}} \times 2^{\text{泊}}\}$ $\times 3^{\text{人}} \times 0.905 = 128 (128)$
(目) 庁費	(358) 385	385	0	(1) 印刷製本費 調査報告書作成費 $200^{\text{円}} \times 100^{\text{部}} \times 10^{\text{種}} \times 0.9 = 180 (180)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(2) 通信運搬費 $2,000^{\text{円}} \times 10^{\text{種}} \times 0.9 = 18 (18)$</p> <p>(3) 会議費 出張前、帰国後打合せ $300^{\text{円}} \times 10^{\text{人}} \times 5^{\text{回}} \times 0.87 = 13 (13)$</p> <p>(4) 賃金 臨時雇員 $2,610^{\text{円}} \times 1^{\text{人}} \times 77^{\text{日}} \times 0.962 \times 0.9 = 174 (174)$</p> <p>小計 (1) ~ (4) 385 (385)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
13. 開発調査業務経費				
(項) 業務諸費	(3,948) 4,244	4,244	0	
(目) 報酬金	(1,133) 1,218	1,218	0	1. 資料翻訳(英文和訳) $500^{\text{円}} \times 60^{\text{頁}} \times 17^{\text{件}} \times 0.9 = 459 (459)$ 2. " (特殊特訳) $500^{\text{円}} \times 50^{\text{頁}} \times 17^{\text{件}} \times 0.9 = 383 (383)$ 3. 調査オリエンテーション 講師謝金 $1,630^{\text{円}} \times 2^{\text{時間}} \times 3^{\text{人}} \times 17^{\text{件}} \times 0.9 = 150 (150)$ 4. 業種別委員会委員謝金 $1,510^{\text{円}} \times 5^{\text{人}} \times 3^{\text{業種}} \times 3^{\text{回}} \times 0.9 = 61 (61)$ 5. プロジェクト選定委員会 $1,510^{\text{円}} \times 5^{\text{人}} \times 3^{\text{業種}} \times 3^{\text{回}} \times 0.9 = 61 (61)$ 6. コンサルタント選定 委員会委員謝金 $1,510^{\text{円}} \times 10^{\text{人}} \times 4^{\text{回}} \times 0.9 = 54 (54)$ 7. 開発調査実績概要特訳 $1,120^{\text{円}} \times 50^{\text{枚}} \times 0.9 = 50 (50)$ 合計 1 ~ 7 1,218 (1,218)
(目) 職員旅費	(322) 346	346	0	1. 調査団派遣打合せ $(8,669^{\text{円}} + 3,734^{\text{円}}) \times 2^{\text{回}} \times 25^{\text{件}} \times \frac{1}{3} \times 0.9 = 186 (186)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 庁 費	(2,493) 2,680	2,680	0	2. 調査団機材検収船積立合 $(8,669^{\text{円}} + 3,734^{\text{円}}) \times 1^{\text{回}} \times 15^{\text{件}} \times \frac{1}{3} \times 0.9 = 56 (56)$ 3. 地方団員打合出席旅費 $(8,669^{\text{円}} + 3,734^{\text{円}}) \times 3^{\text{人}} \times 2^{\text{回}} \times 0.9 = 67 (67)$ 4. 相手国関係者案内旅費 $(8,669^{\text{円}} + 3,734^{\text{円}}) \times 1^{\text{人}} \times 10^{\text{件}} \times \frac{1}{3} \times 0.9 = 37 (37)$ 合 計 1 ~ 4 346 (346)
				1. 備品費 (1) キヤビネット $16,520^{\text{円}} \times 6^{\text{台}} \times 0.9 = 89 (89)$ (2) 地図整理棚 $11,800^{\text{円}} \times 5^{\text{台}} \times 0.9 = 53 (53)$ (3) 備品補修費 $3,930^{\text{円}} \times 30^{\text{枚}} \times 0.9 = 106 (106)$ 計 (1) ~ (3) 248 (248)
				2. 印刷製本費 (1) 欧 文 $3,927^{\text{円}} \times 1^{\text{種}} \times 14^{\text{件}} \times 0.9 = 49 (49)$ (2) 和 文 $1,565^{\text{円}} \times 2^{\text{種}} \times 14^{\text{件}} \times 0.9 = 39 (39)$ (3) 地 図 $473^{\text{円}} \times 10^{\text{種}} \times 14^{\text{件}} \times 0.9 = 60 (60)$ (4) トレーズ(B4) $1,565^{\text{円}} \times 30^{\text{枚}} \times 0.9 = 42 (42)$ (5) 実行計画作成費 $126^{\text{円}} \times 10^{\text{種}} \times 10^{\text{部}} \times 14^{\text{件}} \times 0.9 = 159 (159)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(6) 各種統計作成費 $231^{\text{円}} \times 2^{\text{種}} \times 10^{\text{部}} \times 14^{\text{件}} \times 0.9 = 58(58)$
				(7) 地図回面作成費 $2,352^{\text{円}} \times 10^{\text{種}} \times 15^{\text{件}} \times 0.9 = 318(318)$
				(8) 資料作成費 $168^{\text{円}} \times 50^{\text{部}} \times 7^{\text{種}} \times 15^{\text{件}} \times 0.9 = 794(794)$
				(9) 調査団員手引作成費 $168^{\text{円}} \times 300^{\text{冊}} \times 0.9 = 45(45)$
				(10) 開発調査資料 $231^{\text{円}} \times 100^{\text{部}} \times 4^{\text{種}} \times 0.9 = 83(83)$
				(11) 地図索引目録 $1,210^{\text{円}} \times 100^{\text{部}} \times 0.9 = 109(109)$
				計 (1) ~ (11) 1,756(1,756)
				3. 交通費
				(1) 派遣前連絡 $46^{\text{円}} \times 30^{\text{回}} \times 14^{\text{件}} \times 0.9 = 17(17)$
				$315^{\text{円}} \times 20^{\text{回}} \times 14^{\text{件}} \times 0.9 = 79(79)$
				(2) 帰国後連絡 $46^{\text{円}} \times 20^{\text{回}} \times 14^{\text{件}} \times 0.9 = 12(12)$
				$315^{\text{円}} \times 15^{\text{回}} \times 14^{\text{件}} \times 0.9 = 60(60)$
				(3) プロジェクト調査連絡 $315^{\text{円}} \times 2^{\text{回}} \times 2^{\text{人}} \times 12^{\text{件}} \times 0.9 = 14(14)$
				計 (1) ~ (3) 182(182)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>4. 会議費</p> <p>(1) 調査団派遣打合せ $220^{\text{円}} \times 10^{\text{人}} \times 10^{\text{回}} \times 14^{\text{件}} \times 0.9 = 277 (277)$</p> <p>(2) 関係機関打合せ $220^{\text{円}} \times 10^{\text{人}} \times 14^{\text{件}} \times 0.9 = 28 (28)$</p> <p>計 (1) ~ (2) 305 (305)</p> <p>5. 通信運搬費</p> <p>調査報告書追加資料 $820^{\text{円}} \times 20^{\text{冊}} \times 11^{\text{件}} \times \frac{1}{5} \times 0.9 = 32 (32)$</p> <p>6. 賃金</p> <p>資料作成帰人費 $2610^{\text{円}} \times 67^{\text{日}} \times 1^{\text{人}} \times 0.9 = 157 (157)$</p> <p>合計 1 ~ 6 2,680 (2,680)</p>

(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
14. 開発協力業務経費				
(項) 業務諸費	(1,986) 2,134	2,134	0	
(目) 諸謝金	(379) 407	407	0	1. 資料翻訳料 英文和訳 $600\text{円} \times 50\text{頁} \times 5\text{件} \times 0.9 = 135 (135)$ 特殊語英訳 $850\text{円} \times 40\text{頁} \times 5\text{件} \times 0.9 = 153 (153)$ 2. 開発協力調査研修謝金 $2,640\text{円} \times 5^{\wedge} \times 10\text{回} \times 0.9 = 119 (119)$ 計 407 (407)
(目) 職員旅費	(179) 192	192	0	(大坂基準、3等級、3泊4日) 開発協力事業職員旅費 $(7,525\text{円} + 13,775\text{円}) \times 9\text{回} = 192 (192)$
(目) 庁費	(1,228) 1,535	1,535	0	1. 図書購入費 洋書 $4,600\text{円} \times 90\text{部} = 414 (414)$ 和書 $2,300\text{円} \times 90\text{部} = 207 (207)$ 定期刊行物 $27,570\text{円} \times 9\text{部} = 248 (248)$ 計 869 (869)

(206)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>2. 印刷製本費 開発協力関係印刷物作成 $21^{\text{冊}} \times 944^{\text{枚}} \times 9^{\text{種}} = 178(178)$</p> <p>3. 賃金 統計カード転記臨時要員 $2,610^{\text{円}} \times 216^{\text{人日}} \times 0.962 \times 0.9 = 488(488)$</p> <p>合計 1～3 1,535(1,535)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
15. 開発投融資業務経費				
(項) 業務諸費	(4,728) 5,084	5,084	0	
(目) 諸謝金	(1,498) 1,611	1,611	0	融資審査技術顧問謝金 $44,040円 \times 13件 \times 0.9 = 515 (515)$ 資料翻訳料 $42,790円 \times 13件 \times 0.9 = 501 (501)$ 評価謝金 $220,200円 \times 3件 \times 0.9 = 595 (595)$ 計 1,611 (1,611)
(目) 職員旅費	(231) 248	248	0	開発機関等打合せ(大阪基準、3等級、3泊4日) $(7,456円 + 13,774円) \times 13回 \times 0.9 = 248 (248)$
(目) 方 費	(2,999) 3,225	3,225	0	1. 図書購入費 専門書 $5,000円 \times 27種 = 135 (135)$ 法律書等一般書 $2,500円 \times 27種 = 68 (68)$ 外国文献購入 $5,000円 \times 45種 = 225 (225)$ 国内雑誌購入 $504円 \times 12月 \times 18種 = 109 (109)$ 外国雑誌購入 $998円 \times 12月 \times 9種 = 108 (108)$ 計 645 (645) 2. 印刷製本費

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				審査中間報告書 $567円 \times 80部 \times 18件 = 816 (816)$ 審査報告書 $567円 \times 80部 \times 18件 = 816 (816)$ 計 $1,632 (1,632)$
				3. 交通費 関係機関等連絡 $90円 \times 360回 = 32 (32)$ $600円 \times 180回 = 108 (108)$ 計 $140 (140)$
				4. 会議費 投融资案件打合せ $260円 \times 20人 \times 3回 \times 12月 \times 0.9 = 168 (168)$ 関係各省連絡打合せ $260円 \times 20人 \times 3回 \times 12月 \times 0.9 = 168 (168)$ 個別案件調整会議 $260円 \times 20件 \times 3回 \times 13人 \times 0.9 = 183 (183)$ 関係機関等打合せ $260円 \times 15人 \times 20人 \times 0.9 = 70 (70)$ 融資審査会議 $260円 \times 10人 \times 2回 \times 13件 \times 0.9 = 61 (61)$ 計 $650 (650)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				5. 借料及び損料 関係機関等打合せ会場借料 $8,770^{\text{円}} \times 10^{\text{カマ}} \times 2^{\text{日}} \times 0.9 = 158 (158)$ 合計 1 ~ 5 3,225 (3,225)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	(単位：千円)	
				積算	基礎
16. 無償資金協力業務経費					
(項) 業務諸費	(5,573) 5,992	5,992	0		
(目) 諸謝金	(1,121) 1,205	1,205	0	(1) 資料翻訳料 $54,710円 \times 30件 \times \frac{1}{2} \times 0.9 = 739(739)$	466(466)
				(2) 調査資料収集・整理及び立案	計 1,205(1,205)
(目) 職員旅費	(1,348) 1,450	1,450	0	(1) 関係機関打合せ旅費(大阪基準、3等級、3泊4日) $(21,112円 + 32,991円) \times 20回 \times 0.9 = 974(974)$	
				(2) 被援助国政府職員同行旅費(広島基準、4等級、5泊6日) $(29,978円 + 45,614円) \times 7回 \times 0.9 = 476(476)$	
				計 (1) + (2)	1,450(1,450)
(目) 方 費	(3,104) 3,337	3,337	0	(1) 交通費 関係機関連絡 $158円 \times 4回 \times 12月 \times 25件 \times 0.9 = 171(171)$ " $1,680円 \times 2回 \times 12月 \times 25件 \times 0.9 = 907(907)$	計 1,078(1,078)

(211)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(2) 図書購入費</p> <p>専門書 6,470円 × 9種 = 58 (58)</p> <p>法律等一般書 3,230円 × 9種 = 29 (29)</p> <p>外国文献 6,470円 × 18種 = 116 (116)</p> <p>国内雑誌 640円 × 12月 × 9種 = 69 (69)</p> <p>外国雑誌 1,930円 × 12月 × 9種 = 208 (208)</p> <p>計 480 (480)</p> <p>(3) 印刷製本費</p> <p>業務資料の作成 683円 × 80部 × 18件 = 984 (984)</p> <p>(4) 会議費</p> <p>関係各庁打合せ</p> <p>235円 × 20人 × 2回 × 27件 = 254 (254)</p> <p>関係各機関打合せ</p> <p>235円 × 10人 × 1回 × 27件 = 63 (63)</p> <p>計 317 (317)</p> <p>(5) 賃金</p> <p>臨時傭員 2,610円 × 2人 × 106日 × 0.8638 = 478 (478)</p> <p>合計 (1) ~ (5) 3,337 (3,337)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
Ⅲ 附属機関及び国内支部に必要な経費	(1,056,185) 1,083,580	1,332,714	256,134	
1. 附属機関に必要な経費	(972,906) 1,005,247	1,242,409	244,162	
(1) 国際研修センター業務経費	(963,002) 987,362	1,231,524	244,162	
(項) 業務諸費	(853,349) 862,456	1,122,037	252,581	
(目) 方 費	(434,340) 450,456	600,008	149,552	1. 備品費
				(1) 備品
				① 乗用車 $2,530,000^{\text{円}} \times 2^{\text{台}} \times 0.9 = 4,554 (4,554)$
				② 研修費用バス $7,071,000^{\text{円}} \times 1^{\text{台}} \times 0.9 = 6,364 (6,364)$
				③ 東京国際研修センター 313,741 (0)
				④ 教室内机・椅子等 $\{6,499,000^{\text{円}} \times \frac{8}{8} + (6,499,000^{\text{円}} \times \frac{1}{2})\} \times 0.9$ = 49,717 (46,793)
				⑤ 前年度限り(沖縄国際センター初年度備品) 0 (39,869)
				小 計 ① ~ ⑤ 374,376 (197,580)
				(2) 図書 $\{75,440^{\text{冊}} \times \frac{8}{8} + (75,440 \times \frac{1}{2})\} \times 0.9$ = 577 (543)
				(3) 研修機関施設整備 $140,340^{\text{円}} \times 10^{\text{機関}} \times 0.9 = 1,263 (1,263)$
				計 (1) ~ (3) 376,216 (199,386)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>2. 通信運搬費</p> <p>(1) 電話・郵便料</p> <p>東京センター $89,680^{\text{円}} \times 6^{\text{月}} \times 0.9 = 484(969)$</p> <p>大阪センター $217,630 \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 2,350(2,350)$</p> <p>名古屋センター $192,120 \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 2,075(2,075)$</p> <p>神奈川センター $64,070 \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 692(692)$</p> <p>八王子センター $125,210 \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 1,352(1,352)$</p> <p>兵庫センター $192,120 \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 2,075(2,075)$</p> <p>筑波センター $299,640 \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 3,236(3,236)$</p> <p>農業センター $98,780 \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 1,067(1,067)$</p> <p>沖縄センター $300,000 \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 3,240(600)$</p> <p>東京国際研修センター $130,800 \times 9^{\text{月}} \times 0.9 = 1,059(0)$</p> <p>小計 17,630(14,416)</p> <p>(2) ファクシミリ借上料</p> <p>東京センター他 $80,000^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 8^{\text{センター}} + 80,000^{\text{円}} \times 6^{\text{月}} \times 1^{\text{センター}} = 8,160(7,840)$</p> <p>東京国際研修センター $80,000^{\text{円}} \times 9^{\text{月}} = 720(0)$</p> <p>ファクシミリ用プッシュホン設置 $(80,000^{\text{円}} + 300^{\text{円}}) \times 1^{\text{センター}} \times 0.9 = 72(72)$</p> <p>小計 8,952(7,912)</p> <p>計 (1) ~ (2) 26,582(22,328)</p>

(214)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				<p>3. 借料及預料 ☆</p> <p>(1) 筑波センター土地借料 $19\text{円} \times 50,000\text{m}^2 \times 12\text{回} = 11,400(11,400)$</p> <p>(2) 筑波農業センター圃場借料 $5,470(5,470)$</p> <p>(3) 評議センター土地借料 $482,20\text{円} \times 33,000\text{m}^2 = 15,913(15,913)$</p> <p>計 (1) ~ (3) $32,783(32,783)$</p> <p>4. 自動車維持費</p> <p>東京センター他 $\{(242,380 \times 19\text{円}) + (242,380 \times 2\text{台} \times \frac{1}{2})\}$ $\times 0.9 = 4,363(4,581)$</p> <p>東京国際研修センター $242,380\text{円} \times 2\text{台} \times 0.9 = 436(0)$</p> <p>計 $4,799(4,581)$</p> <p>5. 諸税公課 ☆</p> <p>(1) 固定資産税 東京センター他 $140,375(140,375)$</p> <p>(2) 自動車重量税 $45,010\text{円} \times \frac{(12)}{14\text{台}} = 630(540)$</p> <p>(3) 自動車税 $37,520 \times \frac{(21)}{23\text{台}} = 863(788)$</p>

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(4) その他前年度限り 0 (34,573)
				計 (1) ~ (3) 141,868 (176,276)
				6. 保険料 ☆
				(1) 火災保険料
				東京センター他 5,634 (6,041)
				沖縄センター 1,118 (1,118)
				東京国際研修センター 2,877 (0)
				小計 9,629 (7,159)
				(2) 自動車保険料 $93,780^{\text{円}} \times \frac{(2)}{23}$ = 2,157 (1,969)
				(3) 実習船保険料 $773,470^{\text{円}} \times 2$ = 1,547 (1,547)
				計 (1) ~ (3) 13,333 (10,675)
				7. 農場運営費 $(4,223^{\text{千円}} \times 0.9) + 626^{\text{千円}}$ (自己収入見合) = 4,427 (4,427)
				合計 1 ~ 7 600,008 (452,456)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 国内研修施設勘定へ繰入料	(419,000) 419,000	529,029	110,029	研修センター運営補助費(自己収入見合)
(項) 施設費	(109,653) 117,906	102,487	△ 15,419	
(目) 施設費	(109,653) 117,906	102,487	△ 15,419	東京センター他 (ペンキ塗装 設備機械 保守整備等) 102,487(117,906)
(2) 海外移住センター業務経費	(4,246) 4,512	4,512	0	全額 非ODA
(項) 業務諸費	(4,246) 4,512	4,512	0	
(目) 職員旅費	(124) 133	133	0	1. 業務連絡旅費(本館、日帰り、3等級) 624 ^円 × 120 ^回 = 75(75)
				2. プロット会議出席旅費(広島、1等級、1泊2日) 鉄道賃 6,432 ^円 × 2 = 12,864(12,864) 日当 836 ^円 × 2 ^日 = 1,672(1,672) 宿泊料 3,795 ^円 × 1 ^泊 = 3,795(3,795) 18,331 ^円 × 4 ^回 = 73(73)
				計 1 ~ 2 133(133)

(单位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(目) 庁 費	(4,122) 4,379	4,379	0	
				1. 消耗品費
				(1) 和書 $320^{\text{円}} \times 20^{\text{冊}} \times 0.9 = 6(6)$
				(2) 洋書 $1,510^{\text{円}} \times 10^{\text{冊}} \times 0.9 = 14(14)$
				計 20(20)
				2. 被服費 $1,520^{\text{円}} \times 11^{\text{着}} \times 0.9 = 15(15)$
				3. 光熱水料
				(1) 電気料 $92,850^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} = 1,114(1,114)$
				(2) 水道料 $69,304^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} = 832(832)$
				(3) ガス料 $26,930^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} = 323(323)$
				計 (1) ~ (3) $2,269 \times 0.9 = 2,042(2,042)$
				4. 自動車維持費 $149,700^{\text{円}} \times 1^{\text{台}} \times 0.9 = 135(135)$
				5. 諸税公課 ☆
				(1) 自動車税 $35,690^{\text{円}} \times 1^{\text{台}} = 36(36)$
				(2) 自動車重量税 $42,880 \times 1^{\text{台}} = 43(43)$
				(3) 法人税 9(9)
				(4) 固定資産税 76(76)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				計 (1) ~ (4) 164(164)
				6. 保険科 ☆
				(1) 自動車強制賠償責任保険 40(40)
				(2) 自動車任意賠償責任保険 139(139)
				(3) 事務用火災保険 284(284)
				(4) 職員宿舍火災保険 17(17)
				(5) ボイラー保険 60(60)
				計 (1) ~ (5) 539(539)
				7. 通信運搬費
				(1) 郵便料 347(347)
				(2) 電報料 50(50)
				(3) 電話料 328(328)
				計 (1) ~ (3) 725(725)
				8. 備品費 821 × 0.9 = 739(739)
				合計 1 ~ 8 4,379(4,379)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(3) 海外移住研修所業務経費	(6974) 7274	7274	0	全額 非ODA
(項) 業務諸費	(6974) 7274	7274	0	
(目) 職員旅費	(101) 109	109	0	職員業務連絡旅費(本部1泊2日、4等級)
				鉄道賃 $1,814^{\text{円}} \times 2 = 3,628(3,628)$
				日当 $708 \times 2^{\text{日}} = 1,416(1,416)$
				宿泊料 $3,023 \times 1^{\text{泊}} = 3,023(3,023)$
				計 $8,066^{\text{円}} \times 15^{\text{回}} \times 0.9 = 109(109)$
(目) 庁費	(6,873) 7,165	7,165	0	1. 備品費 $487 \times 0.9 = 438(438)$
				2. 消耗品費
				文具・新聞・雑誌 $13,970^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 151(151)$
				3. 通信運搬費
				(1) 電話料 $8,980^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} = 108(108)$
				(2) 電報料 $550^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} = 7(7)$
				(3) 郵便料 $1,480^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} = 18(18)$
				(4) 運搬費 $1,480^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} = 18(18)$
				計 (1) ~ (4) $151 \times 0.9 = 135(135)$

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				4. 会議費 $160^{\text{円}} \times 275^{\text{人}} \times 0.9 = 40 (40)$
				5. 自動車維持費 $112,500^{\text{円}} \times 4^{\text{台}} \times 0.9 = 405 (405)$
				6. 修繕費
				(1) 建物修繕費
				① 新館 $110^{\text{円}} \times (995^{\text{m}^2} + 256^{\text{m}^2}) = 138 (138)$
				② 旧館 $90^{\text{円}} \times 432^{\text{m}^2} = 39 (39)$
				③ 雑建物 $100^{\text{円}} \times 1,437^{\text{m}^2} = 144 (144)$
				小計 ① ~ ③ $321 (321)$
				(2) 機械器具修繕費
				① ボイラー修繕費 $108 (108)$
				② タイプライター保守整備 $50 (50)$
				③ その他器具等修理 $78 (78)$
				小計 ① ~ ③ $236 (236)$
				計 $557 \times 0.9 = 500 (500)$
				7. 諸税公課 ☆
				(1) 自動車税

(221)
(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				① ライトバン $38,450^{\text{円}} \times 3^{\text{台}} = 115 (115)$
				② 小型トラック $12,930^{\text{円}} \times 1^{\text{台}} = 13 (13)$
				小計 128 (128)
				(2) 自動車重量税
				ライトバン $11,980^{\text{円}} \times 3^{\text{台}} = 36 (36)$
				小型トラック $34,290^{\text{円}} \times 1^{\text{台}} = 34 (34)$
				小計 70 (70)
				(3) 固定資産税
				① 研修施設建物 308 (308)
				② 大胡宿舎 (5戸、倉庫、土地) 197 (197)
				小計 505 (505)
				(4) 渠村民税 10 (10)
				(5) 水道施設保全分担金
				$11,120^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 120 (120)$
				計 (1) ~ (5) 833 (833)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>8. 保険料 ☆</p> <p>(1) 自動車強制賠償保険 $40,180^{\text{円}} \times 4^{\text{台}} = 161 (161)$</p> <p>(2) 自動車任意賠償保険</p> <p> ライトバン $106,700^{\text{円}} \times 3^{\text{台}} = 320 (320)$</p> <p> トラック $65,340 \times 1^{\text{台}} = 65 (65)$</p> <p> トラクター $25,300 \times 3^{\text{台}} = 76 (76)$</p> <p> 小計 $461 (461)$</p> <p>(3) 建物火災保険(新館・旧館・体育館・宿舍地)</p> <p> 新館 $74,950^{\text{円}} (74,950)$</p> <p> 旧館 $56,340^{\text{円}} (56,340)$</p> <p> 体育館 $22,140^{\text{円}} (22,140)$</p> <p> ボイラー室及び機械装置 $33,370^{\text{円}} (33,370)$</p> <p> 職員宿舎(5ヶ) $48,060^{\text{円}} (48,060)$</p> <p> ガレージ(2ヶ) $2,920^{\text{円}} (2,920)$</p> <p> 小計 $238^{\text{円}} (238)$</p> <p> 計 (1) ~ (3) $860 (860)$</p> <p>9. 借料及損料 ☆</p> <p> 土地借上料 $108,870^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} = 1,306 (1,306)$</p>

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>10. 光熱水料</p> <p>(1) 電気料 $37,490^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} = 450 (450)$</p> <p>(2) ガス料 $12,290^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} = 147 (147)$</p> <p>計 (1) ~ (2) $597 \times 0.9 = 538 (538)$</p> <p>11. 被服費</p> <p>作業服 $3,150^{\text{円}} \times 9^{\text{着}} \times 0.9 = 26 (26)$</p> <p>12. 賃金 $2,410^{\text{円}} \times 23^{\text{日}} \times 8.1^{\text{月}} \times 4^{\text{人}} \times 0.9 = 1,616 (1,616)$</p> <p>13. 雑役務費</p> <p>(1) 浄化槽清掃代</p> <p> 研修所 $116 (116)$</p> <p> 大胡宿舎 $44 (44)$</p> <p>(2) ホイラー保守管理 $15,320^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} = 184 (184)$</p> <p>(3) 車検手数料 $1,010^{\text{円}} \times 4^{\text{台}} = 4 (4)$</p> <p>(4) 振込手数料 $400^{\text{円}} \times 12^{\text{件}} = 5 (5)$</p> <p>計 (1) ~ (4) $353 \times 0.9 = 317 (317)$</p> <p>合計 1 ~ 13 $7,165 (7,165)$</p>

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(4) 国際協力総合研修所に必要な 経費				全額 ODA
(項) 業務諸費	(5,684) 6,099	6,099	0	
(目) 庁費	(5,684) 6,099	6,099	0	
				1. 備品費
				(1) 総合研修所事務室及び教室備品 2,000 (2,000)
				2. 通信運搬費
				(1) 電話料 { 国内 円 × 6台 + 国際 円 } × 12月
				= 1,800 (1,800)
				(2) 郵便料 6,000 円 × 12月 = 72 (72)
				計 (1) ~ (2) 1,872 (1,872)
				3. 消耗品費
				(1) 業務用印刷製本費 80,000 円 × 12月 = 960 (960)
				(2) 新聞・その他 12,650 円 × 12月 = 152 (152)
				計 (1) ~ (2) 1,112 (1,112)
				4. 会議費 350 (350)
				5. 雑役務費 100 (100)

(單位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>6 自動車維持費</p> $242,380^{\text{円}} \times 1^{\text{台}} \times \frac{1}{6} \times 12^{\text{月}} = 485 (485)$ <p>7. 諸税公課 ☆</p> <p>(1) 自動車税 $37,520^{\text{円}} \times 1^{\text{台}} = 38 (38)$</p> <p>(2) “重量税 $45,010^{\text{円}} \times 1^{\text{台}} = 45 (45)$</p> <p>計 (1) ~ (2) 83 (83)</p> <p>8 保険料 ☆</p> <p>(1) 火災保険料 $4,500 \times \frac{6}{10,000} = 3 (3)$</p> <p>(2) 自動車保険料 $93,780 \times 1^{\text{台}} = 94 (94)$</p> <p>計 (1) ~ (2) 97 (97)</p> <p>庁費計 1 ~ 8 6,099 (6,099)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
2. 国内支那に必要経費	(76,279) 78,333	90,305	11,972	全額 ODA
(項) 業務諸費	(76,279) 78,333	90,305	11,972	
(目) 職員旅費	(1,990) 2,140	2,140	0	1. 中央連絡旅費(東京～広島、2泊3日、3等級) 鉄道賃 10,175円 × 2 = 20,350(20,350) 日当 708円 × 3日 = 2,124(2,124) 宿泊料 3,216円 × 2泊 = 6,432(6,432) 小計 28,906円 × 2回 × 9支部 = 520(520) 2. 中央会議旅費(東京～広島、2泊3日、3等級) 鉄道賃 10,175円 × 2 = 20,350(20,350) 日当 708円 × 3日 = 2,124(2,124) 宿泊料 3,216円 × 2泊 = 6,432(6,432) 小計 28,906円 × 2回 × 9支部 = 520(520) 3. 支部～関係機関連絡旅費(平均227.4km/泊2日、3等級) 鉄道賃 1,807円 × 2 = 3,614(3,614) 日当 708円 × 2日 = 1,416(1,416) 宿泊料 3,216円 × 1泊 = 3,216(3,216) 小計 8,246円 × 12回 × 9支部 = 891(891)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 弁 費	(74.289) 76.193	88.165	11.972	4. プロッツ会議旅費(東京～広島 1泊2日、2等級) 鉄道賃 $10,092^{\text{円}} \times 2 = 20,184(20,184)$ 日 当 $708^{\text{円}} \times 2^{\text{日}} = 1,416(1,416)$ 宿泊料 $3,216^{\text{円}} \times 1^{\text{泊}} = 3,216(3,216)$ 小 計 $24,816^{\text{円}} \times 2^{\text{回}} \times 9^{\text{支部}} = 447(447)$ 計 1～4 $2,378 \times 0.9 = 2,140(2,140)$
				1. 備品費 既設分 $534,220^{\text{円}} \times 9^{\text{支部}} \times 0.9 = 4,327(4,327)$
				2. 消耗品費 $134,190^{\text{円}} \times 9^{\text{支部}} \times 0.9 = 1,087(1,087)$
				3. 印刷製本費 $15,540^{\text{円}} \times 9^{\text{支部}} \times 0.9 = 126(126)$
				4. 通信運搬費
				(1) 電話郵便料 $20,875^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 9^{\text{支部}} \times 0.9 = 2,030(2,030)$
				(2) 支部業務拡大分 $20,000^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 8^{\text{支部}} = 1,920(1,920)$
				(3) ファクシミリ
				① 借上料 $80,000^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 4^{\text{(2)支部}} = 3,840(1,920)$
				② フォッシュホン設置料 $(80,000^{\text{円}} + 300^{\text{円}}) \times 2^{\text{(2)支部}} = 160(160)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				小計 ① + ② 4,000(2,080)
				計 (1) ~ (3) 7,950(6,030)
				5. 会議費 $28,484^{\text{円}} \times 9^{\text{支部}} \times 0.9 = 230(230)$
				6. 借料及損料 貸借料
				(1) 北海道支部 年間 1,870(1,870)
				(2) 東北 " " 3,041(3,041)
				(3) 関東 " " 10,638(10,638)
				(4) 中部 " " 3,178(3,178)
				(5) 関西 " " 7,430(7,430)
				(6) 中国 " " 3,040(3,040)
				(7) 四国 " " 6,000(1,138)
				(8) 九州 " " 6,243(6,243)
				(9) 沖縄 " " 3,565(3,565)
				(10) ワードプロセッサ $86,500^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 9^{\text{台}} = 9,342(9,152)$
				計 (1) ~ (10) 54,347(44,295)
				7. 光熱水料 $236,670^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 2,556(2,556)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				8. 修繕費
				(1) 建物修繕費 $13,720^{\text{円}} \times 12^{\text{円}} \times 0.9 = 148 (148)$
				(2) 機械器具修繕費 $2,300^{\text{円}} \times 9^{\text{台}} \times 0.9 = 19 (19)$
				計 (1) ~ (2) 167 (167)
				9. 自動車購入費 $2,203,000^{\text{円}} \times 1^{\text{台}} \times 0.9 = 1,983 (1,983)$
				10. 自動車維持費 $146,496^{\text{円}} \times 5^{\text{台}} \times 0.9 = 659 (659)$
				11. 諸税公課 ☆
				(1) 自動車重量税 $37,800^{\text{円}} \times 2^{\text{台}} = 76 (76)$
				(2) 自動車税 $31,500^{\text{円}} \times 5^{\text{台}} = 158 (158)$
				(3) 諸税公課 $7,610^{\text{円}} \times 9^{\text{台}} = 68 (68)$
				計 (1) ~ (3) 302 (302)
				12. 保険料 ☆
				(1) 自動車損害賠償保険料 $35,450^{\text{円}} \times 5^{\text{台}} = 177 (177)$
				(2) 自動車任意保険料 $123,080^{\text{円}} \times 5^{\text{台}} = 615 (615)$
				計 (1) ~ (2) 792 (792)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				<p>13. 賃金等</p> <p>(1) 給与 $140,930^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 3^{\text{人}} = 5,073 (5,073)$</p> <p>(2) 特別手当 $140,930^{\text{円}} \times 4.8^{\text{月}} \times 3^{\text{人}} = 2,029 (2,029)$</p> <p>(3) 通勤手当 $6,160^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 3^{\text{人}} = 222 (222)$</p> <p>(4) 雇用保険料 $7,320^{\text{円}} \times \frac{13}{1,000} \times \frac{1}{2} = 48 (48)$</p> <p>(5) 健康保険料 $5,290^{\text{円}} \times \frac{72}{1,000} \times \frac{1}{2} = 190 (190)$</p> <p>(6) 厚生年金保険料 $5,290^{\text{円}} \times \frac{76}{1,000} \times \frac{1}{2} = 201 (201)$</p> <p>計 (1) ~ (6) 7,763 (7,763)</p> <p>14. 雑役務費 $544,110^{\text{円}} \times 12^{\text{月}} \times 0.9 = 5,876 (5,876)$</p> <p>合計 1 ~ 14 88,165 (76,193)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
IV(項)子備費 (目)子備費	(640,846) 640,846	185,696	△455,150	$ODA \quad 175.157 \times \frac{966^{\wedge}}{980^{\wedge}} = 172.655$ ☆1. 給与改善分(1%分) 64,600(60,891) 2. 退職手当特別分 0(105,499) 3. 在勤手当改善分 49,200(0) 4. 技術協力事業分 0(280,000) 5. その他 61,357(183,917) 6. 自己収入見合分 10,539(10,539) 計 1～6 185,696(640,846)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																																		
				54年度 当初予算額	55年度 当初予算額	56年度 当初予算額	57年度 当初予算額	58年度 当初予算額																														
(款) 海外技術協力事業費	(63,041,016) 63,514,883	69,538,761	6,119,078	36,147,019	43,177,924	48,850,513	52,443,928	58,060,329																														
				36,061,334	43,392,086	49,096,244	53,006,376	58,519,598																														
				(注) 昭和56年度のみ技術協力事業調整費(475,000)を計上																																		
				金額 ODA																																		
				(目) 調査旅費、(目) 現地調査費、(目) 資機材等購送費及び(目) 報告書作成費の積算基礎の欄の※の表示は、それぞれの(目)の金額のうち(目)調査業務実施費へ組替減した金額を示す。																																		
(項) 研修員受入費	(10,382,488) 10,461,592	11,667,383	1,205,791	5,738,888	6,703,156	7,750,664	8,381,726	9,610,666																														
1. 研修員受入費に必要な経費	(9,615,731) 9,568,840	10,413,464	844,624	5,754,039	6,734,933	7,786,248	8,466,141	9,691,873																														
(目) 受入旅費	(6,813,979) 6,818,980	7,334,605	515,625	(4,146)人 × 4.8月 = (19,900.8)人月																																		
				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">昭和60年度</th> </tr> <tr> <th>人員</th> <th>期間</th> <th>単価</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般受入</td> <td>(4,146) 4,420人</td> <td>4.8月</td> <td>(1,644,713) 1,659,413円</td> <td>(6,818,980) 7,334,605</td> </tr> </tbody> </table>					区分	昭和60年度				人員	期間	単価	金額	一般受入	(4,146) 4,420人	4.8月	(1,644,713) 1,659,413円	(6,818,980) 7,334,605																
区分	昭和60年度																																					
	人員	期間	単価	金額																																		
一般受入	(4,146) 4,420人	4.8月	(1,644,713) 1,659,413円	(6,818,980) 7,334,605																																		
				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">期間</th> <th rowspan="2">航空賃*</th> <th rowspan="2">支度料*</th> <th colspan="2">滞在費*</th> <th rowspan="2">書籍費</th> <th colspan="2">国内旅費*</th> <th rowspan="2">資料送付料 (10kg)</th> <th rowspan="2">交通費* (成田~箱崎)</th> <th rowspan="2">単価合計</th> </tr> <tr> <th>単価 (日額)</th> <th>日数</th> <th>金額</th> <th>鉄道賃</th> <th>旅行手当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般受入</td> <td>4.8月</td> <td>412,686円</td> <td>30,000円</td> <td>(7,400) 7,500円</td> <td>147日</td> <td>(1,087,800) 1,102,500円</td> <td>10,000円</td> <td>42,067円</td> <td>46,800円</td> <td>10,760円</td> <td>4,600円</td> <td>(1,644,713) 1,659,413円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	期間	航空賃*	支度料*	滞在費*		書籍費	国内旅費*		資料送付料 (10kg)	交通費* (成田~箱崎)	単価合計	単価 (日額)	日数	金額	鉄道賃	旅行手当	一般受入	4.8月	412,686円	30,000円	(7,400) 7,500円	147日	(1,087,800) 1,102,500円	10,000円	42,067円	46,800円	10,760円	4,600円	(1,644,713) 1,659,413円
区分	期間	航空賃*	支度料*	滞在費*		書籍費	国内旅費*						資料送付料 (10kg)	交通費* (成田~箱崎)		単価合計																						
				単価 (日額)	日数		金額	鉄道賃	旅行手当																													
一般受入	4.8月	412,686円	30,000円	(7,400) 7,500円	147日	(1,087,800) 1,102,500円	10,000円	42,067円	46,800円	10,760円	4,600円	(1,644,713) 1,659,413円																										
				(注) 1. 航空賃* 9ツカ 294,790円 × $\frac{6}{10}$ = 176,874円																																		

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				カイロ $524,960 \text{円} \times \frac{2}{10} = 104,992 \text{円}$ リオ $654,100 \text{円} \times \frac{2}{10} = 130,820 \text{円}$ 計 $412,686 \text{円}$
				2. 滞在費単価内訳(日額)☆ 宿泊費 $3,100 \text{円}$ 食費 $(2,300)$ $2,400 \text{円}$ 雑費 $2,000 \text{円}$ 計 $(7,400)$ $7,500 \text{円}$
				3. 鉄道費☆ (1) 東京～博多運賃 $11,977 \text{円} \times 2 = 23,954 \text{円}$ (2) 東京～青森運賃 $9,057 \text{円} \times 2 = 18,114 \text{円}$ 計 (1) + (2) $42,067 \text{円}$
				4. 客籍費 $10,000 \text{円}$
				5. 旅行手当☆ $3,120 \text{円} \times 15 \text{日} = 46,800 \text{円}$
				6. 資料送料 (10kg) グツカ $5,520 \text{円} \times \frac{6}{10} = 3,312 \text{円}$ カイロ $9,660 \text{円} \times \frac{2}{10} = 1,932 \text{円}$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
(目) 研修諸費	(2,633,596) 2,677,500	2,975,935	298,435	り才 $27,580円 \times \frac{2}{10} = 5,516円$
				計 10,760円
				7 交通費(双田~箱崎)☆
				$2,300円 \times 2 = 4,600円$
				1. 研修経費
				ウ) 諸謝金☆
				(イ) 諸謝金 $\frac{(67,170)円}{69,250円} \times 4.8月 \times \frac{(4,146)人}{4,255人} = (1,336,787)$ $= 1,414,063$
				(ロ) 特別技術研修対策費 $\frac{(0)円}{194,340円} \times 4.8月 \times \frac{(0)人}{45人} = (0)$ $= 41,977$
				小計 (イ) + (ロ) = 1,456,040
				(2) 研修旅費☆ $19,470円 \times 4.8月 \times \frac{(4,146)人}{4,420人} = (387,469)$ $= 413,076$
				(3) 資料費等 $32,160円 \times 4.8月 \times \frac{(4,146)人}{4,420人} = (640,910)$ $= 682,307$
				(4) 視聴覚機材費 $433,760円 \times \frac{(36)件}{40} = (15,615)$ $= 17,350$
				(5) 研修員受入機関拡充費
				(イ) 語学研修経費 $431,200円 \times 2 \text{コース} \times \frac{(5)セク}{6} = (4,312)$ $= 5,174$
				1コース当り単価内訳
講師謝金☆	交通費	資料作成費	計	
円	円	円	円	
$5,200 \times 2 \times 20$	$1,000 \times 10 \times 20$	$1,160 \times 10 \times 2$		
= 208,000	= 200,000	= 23,200	431,200	

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(ロ) 連絡旅費(大阪基準 3等級, 2泊3日) $\{ \text{鉄道賃}(5,700円 + 4,200円) \times 2 \} + 1,900円 \times 3日$ $+ 9,900円 \times 2泊 = 45,300円 \times 2人 \times 13回$ $= 1,178$
				小計 (イ) + (ロ) $(5,490)$ 6,352
				(6) 雑費 $860円 \times \frac{(4,146)}{4,420人} = (3,566)$ = 3,801
				(7) 研修センター施設使用料 $\frac{(60)月 \times 667}{1,000} \times \frac{(50)}{700} \times 8,354m^2 \times 12月 = (66,865)$ $(2,388,887)$ 計 (イ) ~ (7) 2,445,791
				2. 厚生経費
				(1) 保険料☆ $2,100円 \times 4.8月 \times \frac{(4,146)}{4,420人} = (61,692)$ = 63,770
				(2) 医療費 リクイエーション費 $2,395円 \times 4.8月 \times \frac{(4,146)}{4,420人} = (47,662)$ = 50,812
				(3) 医師嘱託料☆ $\frac{(152,080)}{156,794円} \times 12月 \times \frac{(7)月}{9} = (12,775)$ = 16,934
				(4) 死亡等災害処理経費 1,500
				計 (1) ~ (4) $(123,629)$ 135,016
				3. オリエンテーション、日本語教育費
				(1) 謝金
				(イ) オリエンテーション謝金
				(i) 集田コース対象講座謝金☆ $4,670円 \times 2.5H \times 5人 \times \frac{(180)}{190}回 = (10,508)$ = 11,091

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(i) 個別研修員対象講座謝金 ☆ $4,670円 \times 2.5H \times 5人 \times 30回^{(26)} = 1,751$ $(1,518)$ (ii) テキスト原稿翻訳謝金 $(860円 + 2,220円) \times 40枚 \times 7種 = 862$ 小計 (i) ~ (ii) $(12,888)$ $= 13,704$ (ロ) 日本語講師謝金 (i) 一般研修員対象定期講座 ☆ $(1ヶ月1コース) 2,590円 \times 120H \times 70^{(56)}コース = 21,756$ $(17,405)$ (ii) 作業実習の多い長期集団コース対象講座 ☆ $(3ヶ月1コース) 2,690円 \times 300H \times 30コース^{(25)} = 23,310$ $(19,425)$ (iii) 作業実習の多い個別コース対象講座 ☆ $(3ヶ月1コース) 2,590円 \times 300H \times 70コース^{(60)} = 54,390$ $(46,620)$ (iv) 技術用語テキスト原稿作成謝金 $3,700円 \times 25枚 \times 4種 = 370$ 小計 (i) ~ (iv) $(83,820)$ $= 99,826$ (ハ) マスターテープ作成謝金 135 計 (イ) ~ (ハ) $(96,843)$ $113,665$

(237)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(ア) 職員旅費 (大阪基準, 3等級, 1泊2日) $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \\ \text{宿泊料} \\ \text{日当} \end{array} \right\} \times \text{7センター} \times 3 \text{回}$ $\left\{ \begin{array}{l} 2,470 \text{円} \\ + 5,227 \text{円} \\ + 2,091 \text{円} \end{array} \right\} \times 7 \text{センター} \times 3 \text{回}$ $= 311$
				(イ) 方費 (1) 備品費 (i) オリエンテーション用視聴覚機材 ① 日本紹介フィルム $129,770 \text{円} \times 3 \text{種} \times 4 \text{センター} \times \text{(2)} = 1,557$ (779) ② 日本紹介図書購入 $10,500 \text{円} \times 7 \text{種} \times 10 \text{センター} \times \text{(8)} = 735$ (588) $\text{小計 } ① + ② = 2,292$ (1,367) (ii) 日本語教育用資機材 ① 語学学習装置 (小型) $315,000 \text{円} \times 1 \text{セット} \times 3 \text{センター} = 945$ ② カセット・テープ $440 \text{円} \times 86 \text{本} = 38$ $\text{小計 } ① + ② = 983$ (2,350)
				(ロ) 教材費 (i) アトラス・オブ・ジャパン

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				$643円 \times 4,420人 \begin{matrix} (4.146) \\ = 2.851 \end{matrix}$
				(ii) 日本紹介誌(英文)
				$440円 \times 4,420人 \begin{matrix} (4.146) \\ = 1.945 \end{matrix}$
				小計 (i) + (ii) = $\begin{matrix} (4.498) \\ 4.796 \end{matrix}$
				(iv) 会議費
				(i) 講師打合せ
				$260円 \times 10人 \times 28回 = 728$
				(ii) 日本語エバリュエーション会議
				$500円 \times 10人 \times \begin{matrix} (117) \\ 170 \text{ 回} \end{matrix} = \begin{matrix} (585) \\ 850 \end{matrix}$
				小計 (i) + (ii) = $\begin{matrix} (658) \\ 923 \end{matrix}$
				(v) 印刷製本費
				(i) オリエンテーション及び日本語講習テキスト
				$\left\{ 120円 \times 4種 + 220円 \times 3種 \right\} \times 4,420部 \begin{matrix} (4.146) \\ = 5.039 \end{matrix}$
				(ii) 研修員手帳
				$460円 \times 4,420部 \begin{matrix} (4.146) \\ = 2.033 \end{matrix}$
				(iii) 技術用語テキスト
				$1,300円 \times 4種 \times 180部 = 936$
				小計 (i) ~ (iii) = $\begin{matrix} (7.569) \\ 8.008 \end{matrix}$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(ホ) バス備上費 $63,000円 \times 40回 = 2,520$ 計 (イ) ~ (ホ) (17,595) $19,522$
				(ロ) 嘱託日本語講師謝金 ☆ $20,000円 \times 20日 \times 12ヶ月 \times 5人 = 24,000$
				(ハ) 日本語教材開発費 (イ) 教材開発委員謝金 $3,150円 \times 60日 \times 5人 \times 12ヶ月 = 11,340$
				(ロ) 国内旅費 (1等級広島2泊3日) $59,200円 \times 5人 \times 5回 = 1,480$
				(ニ) 教材作成費 (i) テキスト作成費 (700H用 中級Iテキスト) ① 700H用 共通テキスト $4,000円 \times 18課 \times 18ページ = 1,296$
				② 分野別テキスト $4,000円 \times 12課 \times 18ページ \times 3種 = 2,592$
				① + ② 3,888

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				(ii) 文法解説書作成費 $4,000円 \times 4.5課 \times 10冊 = 1,800$
				(iii) 自習用テープ作成費 $20,000円 \times 4.5課 = 900$
				(iv) 教師用指導書作成費 $2,000円 \times 5冊 \times 4.5課 = 450$
				(v) ビデオ作成費 300H用初級テキスト 4.5課分 13,520
				小計 (i) ~ (v) 20,538
				計 (i) ~ (v) (22,192) 33,378
				(6) 技術研修日本語認定試験委員等謝金 ☆ $400,000円 \times 2ヶ月 \times 2人 = 1,600$
				(7) 技術研修日本語認定試験実施経費 $2,000円 \times \frac{(4,146)}{4,420人} \times \frac{2}{10} = (2,488)$ 2,652
				計 (i) ~ (7) (164,984) 195,128
				合計 1 ~ 3 (2,677,500) 2,975,935

(241)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(日) 研修監理経費	(68,156) 72,360	102,924	30,564	臨時高級研修監理員備上謝金 (英語) $11,610円 \times 25日 \times 4.8月 \times \overset{(40)}{50}コース = (55,720)$ $= 69,660$ (仏、西、中国語) $2,720円 \times 25日 \times 4.8月 \times \overset{(5)}{10}コース = (16,632)$ $= 33,264$ 計 $(72,360)$ $102,924$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
2. 帰国研修員アフターケア費	(122,458) 129,011	133,949	4,938						
(目) 調査旅費	(32,175) 34,160	35,840	1,680	$(1,708) \times 20 \text{ 日} = (34,160)$ $1,792 \times 20 \text{ 日} = 35,840$ テラン基準 3等級 期間30日					
	航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	計×1.04×0.95	人員	合計
	円	円	円	円	円	円	円	人	円
	338,290	47,966	$1,436 \times 30 \text{ 日} = 43,080$	$4,487 \times 29 \text{ 泊} = 130,123$	1,496	8,481	(569,436) 597,224	3	(1,708) 1,792
(目) 現地調査費	(13,283) 14,102	14,043	△ 59	※国内旅費内訳 (大阪基準 3等級 2泊3日) (日当宿泊) (運賃) (特急券) $16,109 \text{ 円} + 7,777 \text{ 円} + 1,555 \text{ 円} = 25,441 \text{ 円}$ $25,441 \text{ 円} \times \frac{1}{3} = 8,481 \text{ 円}$ 全額 ⊕ $719 \times 20 \text{ 日} \times \frac{287}{225} \times 0.927124 = 14,102$					
	現地補助員謝金	車両等借上費	資料等購入費	会議費	会場借上費	外貨交換手数料(1%)	計		
	円	円	円	円	円	円	円		
	$930 \times 2 \text{ 人} \times 30 \text{ 日} = 55,800$	$3,490 \times 12 \times 1 \text{ 台} = 41,880$	$1,170 \times 10 \text{ 種} \times 4 \text{ 冊} = 46,800$	$920 \times 40 \text{ 人} \times 4 \text{ 冊} = 147,200$	420,000	7,117	719		
(目) 資機材購送費	(5,286) 5,612	5,612	0	$561,220 \text{ 円} \times 20 \text{ 日} \times \frac{1}{2} = 5,612$					

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(目) 報告書作成費	(3,421) 3,633	3,633	0	181.650円 × 20 号-A = 3,633
(目) 所属先給与補填経費	(16,232) 16,232	16,736	504	全額☆ (405,800) 418,400円 × 60 人月 × $\frac{2}{3}$ = 16,736
(目) 文献供与費	(44,607) 47,358	48,984	1,626	1. 一般図書 (1) 図書購入費 <ul style="list-style-type: none"> ルックジャパン 480円 × $\frac{(1,700)}{2,400}$部 × 12回 = $\frac{(9,792)}{13,824}$ ファミンジャパン 650円 × $\frac{(2,000)}{1,100}$部 × 6回 = $\frac{(7,800)}{4,290}$ テフノフラート 560円 × $\frac{(1,300)}{1,200}$部 × 12回 = $\frac{(8,736)}{9,064}$ ジャパンエコノミクスレビュー 160円 × $\frac{(1,100)}{1,600}$部 × 12回 = $\frac{(2,112)}{3,072}$ アジアパシフィックコミュニティ 700円 × $\frac{(100)}{400}$部 × 4回 = $\frac{(360)}{1,440}$ ジャパンエコー 1,320円 × 100部 × 5回 = 660 <p style="text-align: right;">小計 (29,460) 31,350</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 同窓会育成諸費	(7,454) 7,914	9,101	1,187	全額⊕
				1. 同窓会結成費 $1,268 \text{円} \times 27 \text{回} \times 237 \text{円} \times 0.927/24 = 557$ (560)
				(単価内訳)
				(1) 準備委員会 $2.6 \text{円} \times 10 \text{人} \times 5 \text{回} = 130 \text{円}$
				(2) 趣意書 規程印刷 $0.842 \text{円} \times 500 \text{部} = 421 \text{円}$
				(3) 趣意書 規程送料 $0.1 \text{円} \times 500 \text{部} = 50 \text{円}$
				(4) 会報作成料 $2.0 \text{円} \times 200 \text{部} = 400 \text{円}$
				(5) 会報送料 $0.1 \text{円} \times 200 \text{部} = 20 \text{円}$
				(6) 結成総会費 $3.7 \text{円} \times 200 \text{人} \times \frac{1}{3} = 247 \text{円}$
				小計 (1) ~ (6) 1,268 円
				2. 同窓会運営費 $1,111 \text{円} \times 35 \text{回} \times 237 \text{円} \times 0.927/24 = 8,544$ (7,354)
				(単価内訳)
				(1) 委員会費 $2.6 \text{円} \times 5 \text{人} \times 2 \text{回} = 26 \text{円}$
				(2) 会報作成費 $2.0 \text{円} \times 200 \text{部} \times 2 \text{回} = 800 \text{円}$
				(3) 会報送料 $0.1 \text{円} \times 200 \text{部} \times 2 \text{回} = 40 \text{円}$

(246)

(単位：十円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				① 年次総会 $3,67 \text{ドル} \times 200 \text{人} \times \frac{1}{3} = 245 \text{ドル}$ 小計 1,111 ドル 計(1+2) (7,914) 9,101

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
3. 第三国研修員受入れに必要な経費	(317,743) 323,820	359,121	35,301								
(目) 調査旅費	(14,657) 15,561	16,317	756	チハラン基準 3等級 30日							
	航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	小計X1104X095	人数	計	件数	合計
事前調査	587,000	80,180	96,000	284,200	2,500	8,310	(1,058,190) 1,109,830	3	(3,175) 3,329	3	(9,525) 9,987
実施協議	552,640	76,171	91,200	269,990	2,375	13,647	(1,006,029) 1,055,117	3	(3,018) 3,165	2	(6,036) 6,330
計										5	(15,561) 16,317
(目) 現地調査費	(1,722) 1,828	1,819	△	9	国内旅費、大阪基準 2泊2日、3等級 全額④						
					$1,224 \times \frac{287}{217} \times 0.927124 = (1,245)$ $594 \times \frac{237}{225} \times 0.927124 = (583)$ 計 (1,828) 1,819						
	現地通訳備人費	車両等借上費	会議費	外貨交換 手数料(1%)	計	件数	合計				
事前調査	6,240 × 30日 = 187,200	7,860 × 12日 × 1台 = 90,720	2,520 × 10人 × 5日 = 126,000	4,040	407,960	3	1,224				
実施協議	4,560 × 30日 = 136,800	5,470 × 12日 × 1台 = 65,640	1,830 × 10人 × 5日 = 91,500	2,940	296,880	2	594				
計						5	1,818				

(248)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
				区	分	計	件数	合計	
(四) 報告書作成費	(483) 513	513	0						
				印刷製本費	会議費	資料費			
				円	円	円	円	件	
				2,840 × 50部	570 × 10 × 3回	600 × 20種			
				= 142,000	= 17,100	= 12,000	171,100	3	513

事項又科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																														
4. 研修等施設整備調査費	(2,528) 2,682	7,753	5,071	専門委員等調査費																														
(目) 研修等施設整備調査費	(2,528) 2,682	7,753	5,071	1. ASEAN地域実態調査旅費 (専門委員2名、職員1名)																														
				$\frac{(1,448,439)}{1,519,122 \text{ 円}} \times 1 \text{ 人} = 1,519$ ASEAN諸国平均単価 エコノミークラス																														
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>航空賃</th> <th>支度料</th> <th>日当</th> <th>宿泊料</th> <th>旅行雑費</th> <th>国内旅費</th> <th>交通費</th> <th>計×1,104×0.95</th> <th>人員</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>円</td> <td>円</td> <td>(1日) 円</td> <td>(5泊) 円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>(482,813) 円</td> <td>人</td> <td>(1,448,439) 円</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>271,760</td> <td>78,160</td> <td>22,800</td> <td>57,000</td> <td>5,760</td> <td>25,033</td> <td>2,300</td> <td>506,374</td> <td>3</td> <td>1,519,122</td> </tr> </tbody> </table>	航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	交通費	計×1,104×0.95	人員	合計	円	円	(1日) 円	(5泊) 円	円	円	円	(482,813) 円	人	(1,448,439) 円	271,760	78,160	22,800	57,000	5,760	25,033	2,300	506,374	3	1,519,122
航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	交通費	計×1,104×0.95	人員	合計																									
円	円	(1日) 円	(5泊) 円	円	円	円	(482,813) 円	人	(1,448,439) 円																									
271,760	78,160	22,800	57,000	5,760	25,033	2,300	506,374	3	1,519,122																									
					※ 国内旅費内訳 (広島基準、1等級、2泊3日) 鉄道賃 (14,400円 + 11,400円 + 12,000円) + 日当宿泊料 (37,300円) = 75,100円 $75,100 \text{ 円} \times \frac{1}{3} = 25,033 \text{ 円}$																													
					2. 現地調査費 ④ $177,033 \text{ 円} \times \frac{237}{227} \times 0.927124 = 171$																													
					現地備入費	車両等借上費	資料購入費	会議費	会場借上費	外貨交換手数料	計																							
					円	円	円	円	円	(1%) 円	円																							
					930 × 1.1 × 6日	3,490 × 5日 × 1台	1,170 × 5冊 × 54冊	920 × 5.1 × 5回	20,000 × 54回																									
					= 5,580	= 17,450	= 29,250	= 23,000	= 100,000	1,753	177,033																							

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
				3. 報告書作成費 141,230円 × 1人 = 141							
				4. 専門委員国内出張旅費(専門委員4名, 職員4名) 687							
				基準	運賃	特別旅行料金	グリーン券	日当宿泊料	計	人数	合計
				円	円	円	円	円	円	人	円
				東京～広島	14,400	11,400	12,000	37,300	75,100	4	300,400
				東京～沖縄	62,400	-	-	34,300	96,700	4	386,800
				計							687,200
				5. 国内調査費 235							
				委員謝金☆	車両備上料	資料購入費	会議費	会場借上料	報告書作成費	合計	
				円	円	円	円	円	円	円	
				15,600 × 2名 × 1回	2,940 × 5H × 3台		3,000 × 25人 × 1回	42,000 × 1回	2,630 × 10部		
				= 31,200	= 44,100	16,850	= 75,000	= 42,000	= 26,300	235,450	
				6. 研修施設の整備に関する調査費 (0)							
				5,000							
				計 1～6 (2,682)							
				7,753							

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度予算額	対前年度比較増△減額	算 算 基 礎				
5. 筑波科学技術博覧会調査費	(5,214) 5,280	11,125	5,845	(筑波科学技術博覧会アセアン特設コース実施経費) 1. 受入諸費☆ $\frac{(830,166)}{801,976} \times \frac{(5)}{12名} = \frac{(4,151)}{9,624}$				
(目) 筑波科学技術博覧会調査費	(5,214) 5,280	11,125	5,845					
	区 分	期 間	航空賃	滞 在 費	国内旅費	交通費	単価合計	
			単価(日額)	日 数	金 額			
高級研修員受入	14日間	(445,706) 417,516	27,000	14	378,000	東京～筑波 (鉄道賃) 1,480	成田～東京 5,000	(830,166) 801,976
				(注) 航空賃				
				ジャカルタ	$475,300円 \times \frac{1}{8} = 79,217円$			
				クアラルンプール	$452,600円 \times \frac{1}{8} = 75,433円$			
				マニラ	$286,800円 \times \frac{1}{8} = 47,800円$			
				シンガポール	$456,300円 \times \frac{1}{8} = 76,050円$			
				バンコック	$408,200円 \times \frac{1}{8} = 68,033円$			
				ブルネイ	$425,900円 \times \frac{1}{8} = 70,983円$			
				計		417,516円		
				2. 研修諸費				
				(1) 監視員謝金				
				$12,420円 \times 14日 \times 2名 \times 1回 = 348$				

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(2) 監理員旅費</p> <p>旅費 $(1,460円 + 1,900円 \times 14日 + 8,900円 \times 13泊)$ $\times 2名 \times 1回 = 288$</p> <p>(3) 庁費</p> <p>(1) 資料購入費 $680円 \times 2種 \times 240部$ (100) = 326 (2) 車両備上費 $15,000円 \times 10日 \times 1回$ = 150 (3) 印刷製本費 $1,300円 \times 240部$ (100) = 312 (4) 会議費(一般) $530円 \times 10人 \times 6日 \times 1回$ = 32 (5) 雑費 = 45</p> <p>(1) ~ (5) (493) 865</p> <p>小計 (1) ~ (3) (1,129) 1,501</p> <p>計 1 + 2 (5,280) 11,125</p>

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
6. 沖縄国際センター研修実施 経費	(418,814) 431,959	732,616	300,657	研修実施に係る経費
(目) 沖縄国際センター研修実施 経費	(418,814) 431,959	732,616	300,657	1. 情報処理要員養成コース (コンピューターコース) 4) コンピューター要員経費 イ. 総括責任者 (1名) $\frac{(1,012,000)}{1,043,370} \text{円/月} \times (9) \text{月} = (9,108)$ $\frac{1,043,370}{1,043,370} \text{円/月} \times 12 \text{ヶ月} = 12,520$ ロ. チーフインストラクター (4名) $\frac{(1,012,000)}{1,043,370} \text{円/月} \times (9) \text{月} \times (3) = (27,324)$ $\frac{1,043,370}{1,043,370} \text{円/月} \times 12 \text{ヶ月} \times 4 \text{名} = 50,082$ ハ. システムインストラクター (2名) $\frac{(1,012,000)}{1,043,370} \text{円/月} \times (2) \text{月} \times (1) = (2,024)$ $\frac{1,043,370}{1,043,370} \text{円/月} \times 12 \text{ヶ月} \times 2 \text{名} = 25,041$ ニ. プログラミングインストラクター (4名) $\frac{(747,500)}{770,670} \text{円/月} \times (2) \text{月} \times (3) = (4,485)$ $\frac{770,670}{770,670} \text{円/月} \times 12 \text{ヶ月} \times 4 \text{名} = 36,992$ ホ. 1/0及びファイル設計インストラクター (1名) $\frac{(745,700)}{768,820} \text{円/月} \times (2) \text{月} = (1,491)$ $\frac{768,820}{768,820} \text{円/月} \times 12 \text{ヶ月} = 9,226$ ヘ. アプリケーションインストラクター (2名) $\frac{(1,012,000)}{1,043,370} \text{円/月} \times (2) \text{月} \times (1) = (2,024)$ $\frac{1,043,370}{1,043,370} \text{円/月} \times 12 \text{ヶ月} \times 2 \text{名} = 25,041$ ト. オペレーションインストラクター (2名) $\frac{(747,500)}{770,670} \text{円/月} \times (2) \text{月} \times (1) = (1,495)$ $\frac{770,670}{770,670} \text{円/月} \times 12 \text{ヶ月} \times 2 \text{名} = 18,496$ チ. アシスタントインストラクター (4名) $\frac{(747,500)}{770,670} \text{円/月} \times (2) \text{月} \times (3) = (4,485)$ $\frac{770,670}{770,670} \text{円/月} \times 12 \text{ヶ月} \times 4 \text{名} = 36,992$ リ. オペレーター (1名) $\frac{(506,000)}{521,690} \text{円/月} \times (1) \text{月} = (506)$ $\frac{521,690}{521,690} \text{円/月} \times 12 \text{ヶ月} = 6,260$ ニ. パンチャー (1名) $\frac{(232,100)}{239,300} \text{円/月} \times (1) \text{月} = (232)$ $\frac{239,300}{239,300} \text{円/月} \times 12 \text{ヶ月} = 2,872$ ル. M/T管理 (1名) $\frac{(232,100)}{239,300} \text{円/月} \times (1) \text{月} = (232)$ $\frac{239,300}{239,300} \text{円/月} \times 12 \text{ヶ月} = 2,872$

(255)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				オ. タイピスト (1名) $\frac{(232,100)}{239,300} \text{円/月} \times (1) \text{月} = (232)$ $239,300 \text{円} \times 12 \text{ヶ月} = 2,872$ 小計 イ～オ (53,638) $229,266$ フ. 管理費 $\frac{(53,638)}{229,266} \times 40\% = (21,455)$ $91,706$ 計 イ～フ (75,093) $320,972$
				(2) 事務打合せ及び赴任旅費 イ. 沖縄→東京・往復 $\frac{(0)}{37,300} \text{円} \times 2 \text{回} \times 6 \text{名} = (0)$ 448 ロ. 東京～沖縄・片道 (新規6名及び交替3名) $\frac{(0)}{37,300} \text{円} \times 9 \text{名} = (560)$ 336 計 イ～ロ (560) 784
				(3) コンピューター運用経費 (レンタル12ヶ月分) イ. 中央処理装置他一式 $7,639,000 \text{円/月} \times (1) \text{月} = (7,639)$ $71,668$ ロ. LANシステム一式 $1,595,600 \text{円/月} \times (0) \text{月} = (0)$ $19,147$ ハ. ソフトウェア借料 $2,077,000 \text{円/月} \times (0) \text{月} = (0)$ $24,924$ 計 イ～ハ (7,639) $1,06,739$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(4) コンピューター据付け調整費
				イ. 回線使用料
				(i) $10 \frac{\text{円}}{3 \text{分}} \times 4 \text{通話} \times 22 \text{日} \times 12 \text{ヶ月} \times 20 \text{台} = 211$
				(ii) $10 \frac{\text{円}}{\text{分}} \times 10 \text{分} \times 22 \text{日} \times 12 \text{ヶ月} \times 20 \text{台} = 528$
				小計 (i) ~ (ii) 739
				ロ. 機器使用料
				$18,000 \frac{\text{円}}{\text{分}} \times 10 \text{分} \times 22 \text{日} \times 12 \text{ヶ月} = 47,520$
				ハ. ファイル使用料
				$3,540 \frac{\text{円}}{10 \text{文字}} \times 12 \text{ヶ月} \times 20 \text{台} = 850$
				ニ. 電気使用料
				(i) 動力料金 6,886
				(ii) 空調料金 5,934
				(iii) 電灯・コンセント料金 472
				小計 (i) ~ (iii) 13,292
				計 イ ~ ニ (13,827) 62,401

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(5) システム開発費等</p> <p>1. 教育用システム</p> <p>5,000,000 円 / Kシステム × 23 Kシステム = 115,000</p> <p>(6) テキスト開発費</p> <p>7種 1,320 ページ</p> <p>イ 企画料 (450) 464 円 × 1,320 = (594) 612</p> <p>ロ 編集料 (126) 130 円 × 1,320 = (166) 172</p> <p>ハ 原稿校正料 (540) 円 / 557 / 400 字 × 1,320 × 4 = (2,851) 2,941</p> <p>ニ さし検・執筆 (1,800) 1,860 円 × 100 枚 × 8 種 = (1,440) 1,488</p> <p>ホ 図版 (1,350) 1,390 円 × 100 枚 × 8 種 = (1,080) 1,112</p> <p>ヘ 翻訳料 (2,700) 円 / 2,780 / 400 字 (日→英) × 1,320 (3,564) = 3,670</p> <p>ト 印刷料 1,350 円 / A4 × 1,320 = 1,782</p> <p>計 イ ~ ト (11,477) 11,777</p> <p>(7) 定型フォーム作成費</p> <p>イ 定型フォーム出力用フォーム</p> <p>23 円 × 20,000 セット × 20 種 = 9,200</p> <p>ロ プログラムコーディング 1,260 円 / 冊 × 200 冊 = 252</p> <p>ハ システム設計シート 720 円 / 冊 × 200 冊 = 144</p> <p>ニ スペーシングチャート 360 円 / 枚 × 1,000 枚 = 360</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	種 算 基 礎
				ホ システムドキュメンテーション用紙 $1,080 \text{円/冊} \times 200 \text{冊} \times 5 \text{種} = 1,080$ 計 イ ~ ホ 11,036
				(8) 備品等 イ. 備品 (24,807) 5,412 ロ. 消耗品 11,707 (36,514) 計 イ ~ ロ 17,119
				(9) その他前年度限り (450) 0
				合計 (1) ~ (9) (271,596) 674,828
				2. 視聴覚技術コース
				(1) 視聴覚技術要員経費
				イ. 総括責任者 (1名) $\frac{(600,000) \text{円}}{618,600 \text{円/月}} \times (9) \text{月} = (5,400)$ 7,423
				ロ. プロデューサー (1名) $\frac{(600,000) \text{円}}{618,600 \text{円/月}} \times (6) \text{月} = (3,600)$ 7,423
				ハ. オペレーティングエンジニア (2名) $\frac{(400,000) \text{円}}{412,400 \text{円/月}} \times (2) \text{月} \times 2 \text{名} = (1,600)$ 9,898
				ニ. オペレーティングアシスタント (1名) $\frac{(300,000) \text{円}}{309,300 \text{円/月}} \times (2) \text{月} = (600)$ 3,712
				小計 イ ~ ニ (11,200) 28,456
				ホ. 管理費 $(11,200) \times 40\% = (4,480)$ 28,456 (15,680)
				計 イ ~ ホ 39,838

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(2) 事務打合せ及び赴任旅費(東京→沖縄往復3等級)26名
				イ 沖縄→東京・往復 $\begin{matrix} (0) \\ 37,300円 \end{matrix} \times 2回 \times 3名 = 224$
				ロ 東京→沖縄・片道 $\begin{matrix} (3) \\ 37,000円 \end{matrix} \times 6名 = 224$
				計 イ～ロ (112) 448
				(3) 教材開発費
				テキスト開発費
				(4) 5種 800ページ
				イ 企画料 $\begin{matrix} (500) \\ 516円 \end{matrix} \times 800ページ = 413$
				ロ 編集料 $\begin{matrix} (140) \\ 144円 \end{matrix} \times 800ページ = 115$
				ハ 原稿校正料 $\begin{matrix} (600) \\ 619円 \end{matrix} \times 800ページ = 480$
				ニ イラスト料 $\begin{matrix} (2,000) \\ 2,060円 \end{matrix} \times 150枚 \times 4種 = 1,236$
				ホ 図版料 $\begin{matrix} (1,500) \\ 1,550円 \end{matrix} \times 50枚 \times 4種 = 310$
				ヘ 翻訳料(日→英) $\begin{matrix} (3,000) \\ 3,090円 \end{matrix} \times 800ページ = 2,472$
				ト 印刷料 $1,500円 \times 800ページ = 1,200$
				計 イ～ト (6,092) 6,241
				(4) 資機材・消耗品費
				イ. ビデオテープ(未録画) 3/4インチ $\begin{matrix} (100) \\ 5,500円 \end{matrix} \times 200本 = 1,100$
				ロ. ビデオテープ(未録画) 1/2インチ $\begin{matrix} (100) \\ 3,100円 \end{matrix} \times 200本 = 620$
				ハ. ビデオテープ(録画済・教材用) 1/2インチ $\begin{matrix} (20) \\ 50,000円 \end{matrix} \times 30本 = 1,500$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				ニ. 写真、フィルム、現像材料等 (413) 620
				ホ. OHP制作材料 (340) 510
				ハ. 用紙 (97) 114
				計 イ ~ ハ (2,710) 4,464
				(5) 機器保守料 (0) 3,000
				(6) その他前年度限り (110,722) 0
				合計 (1) ~ (6) (135,316) 53,991
				3. 図書整備費 3,797
				4. その他前年度限り (21,250) 0
				総計 1 ~ 4 (431,959) 732,616
7. 国際研修センターネットワーク システム開発費	0	9,355	9,355	
(目) 国際研修センターネットワーク システム開発費	0	9,355	9,355	システムエンジニア謝金 (0) 584,700円 × 8月 × 2人 = (0) 9,355

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(項) アセアン青年招へい費	(1,065,127) 1,065,127	1,137,746	72,619	昭和59年度から計上
1. プロジェクトの実施計画に必要な経費	(70,118) 70,118	73,900	3,782	
(1) 運営に必要な経費	(64,813) 64,813	68,293	3,480	
(目) 実施計画費	(64,813) 64,813	68,293	3,480	
				1. プロジェクト運営費
				(1) 諸謝金
				(A) 運営委員会 $10,000円 \times 12 \times \frac{1}{2} \times 5回 = 300$
				(B) 実行委員会 $8,000円 \times 12 \times 5回 = 480$
				小計 (A) + (B) = 780
				(2) 国内旅費
				(A) 運営委員旅費(大阪基準)
				$\{23,000円 + (1,900円 \times 2日 + 9,900円 \times 1泊)\} \times 4 \times 5回 = 734$
				(B) 実行委員旅費
				$\{23,000円 + (1,900円 \times 2日 + 9,900円 \times 1泊)\} \times 4 \times 5回 = 734$
				(C) 出張旅費
				$\{23,000円 + (1,900円 \times 2日 + 9,900円 \times 1泊)\} \times 1 \times 5回 = 134$
				小計 (A) ~ (C) = 1,652

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(3) 庁費
				(1) 会議費 $500円 \times 16人 \times 10回$ = 80
				(2) 交通費 $2,000円 \times (8人 + 8人) \times 5回$ = 160
				(3) 資料作成費 $3,800円 \times 10種$ = 38
				小計 (1) ~ (3) = 278
				計 (1) ~ (3) = 2,710
				2. 国内交換体調整備費
				(1) 視聴覚等教材整備費
				(1) 諸謝金
				(i) 教材整備国内作業費
				① 直接人件費
				技師(A) $1人/月 \times \frac{(32,200)}{33,200} \times 20日 \times 1人/月$ = (644)
				技師(C) $2人/月 \times \frac{(20,600)}{21,300} \times 20日 \times 1人/月$ = (412)
				② 諸経費(直接人件費の110%相当額)
				$\frac{(1,056,000)}{1,090,000} \times \frac{110}{100}$ = (1,162)
				③ 技術費(直接人件費+諸経費の40%相当額)
				$\frac{(1,056 + 1,162)}{(1,090 + 1,199)} \times \frac{40}{100}$ = (887)
				小計 ① ~ ③ = (3,105)
				(ii) 教材翻訳料(和文 - 外国語)
				① (英語) $2,980円 \times 100枚 \times 1種$ = 298

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>② (預地誌) $500円 \times 100枚 \times 3種 = 1,500$</p> <p>① ~ ② = 1,778</p> <p>(i) ~ (ii) = (4,883) 4,983</p> <p>(Ⅶ) 国内旅費 (広島基準 2等級)</p> <p>$\{20,200円 \times 2回 + (1,900円 \times 4日 + 9,900円 \times 3回)\} \times 2人$</p> <p>= 155</p> <p>(Ⅷ) 庁 費</p> <p>(i) 教材作成費</p> <p>$701,000円 \times 2種 = 1,402$</p> <p>(ii) 会議費</p> <p>$600円 \times 10人 \times 2回 = 10$</p> <p>(i) ~ (ii) = 1,412</p> <p>小計 (i) ~ (ii) = (6,450) 6,550</p> <p>計 (6,450) 6,550 $\times 2件(共通1. 分野1) = (12,900)$ 13,100</p> <p>(2) 国内協力体制整備費</p> <p>(i) 謝 金</p> <p>$2,000円 \times 5人 \times 2分野 \times 2回 \times (3回 \times 57回 + 1回 \times 17回) = 2,400$ (2,400)</p> <p>$2,560$</p> <p>(ii) 国内旅費</p> <p>$45,700円 \times 5人 \times \frac{3}{5} \times 2分野 \times 2回 \times (3回 \times 57回 + 1回 \times 17回) = 8,226$ (8,226)</p> <p>$8,774$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(注) 広藪基準 2等級 $\{20,200円 + (1,900^{\text{坪}} \times 3日) + (9900^{\text{坪}} \times 2日)\} = 45,700円$
				(イ) 庁費 会議費 $500円 \times 7人 \times 2分野 \times 2回 \times (3^{\text{回}} \times 5^{\text{坪}} + 1^{\text{回}} \times 1^{\text{坪}}) = 224$ (210)
				資料作成費 $550円 \times 7種 \times 7部 \times 2分野 \times 2回 \times (3^{\text{回}} \times 5^{\text{坪}} + 1^{\text{回}} \times 1^{\text{坪}}) = 1,725$ (1,617)
				(イ) ~ (ハ) 13,283
				計 (1) ~ (2) = 26,383 (25,353)
				3. 協働団体謝金 $49,000円 \times 50名 \times (3^{\text{回}} \times 5^{\text{坪}} + 1^{\text{回}} \times 1^{\text{坪}}) = 39,200$ (36,750)
				合計 1 ~ 3 = 68,293 (64,813)

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(2) 業務打合せに必要な経費	(5,305) 5,305	5,607	302					
(目) 調査旅費	(3,702) 3,702	3,883	181	$(1,834)$ 1. $1,923 \times 14 = 4$ = $(1,834)$ $= 1,923$				
航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	計×1.104×0.95	人賃	合計
シヤルワ、777機、M プルネ	円	円	円	円	円	円	人	円
332,600	33,015	3,200 × 6日 = 19,200	2,800 × 5日 = 14,000	4,400	20,200	(458,415) 480,786	4	(1,834) 1,923
				$(1,868)$ 2. $1,960 \times 14 = 4$ = $(1,868)$ $= 1,960$				
航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	計×1.104×0.95	人賃	合計
円	円	円	円	円	円	円	人	円
41.65機、L-100		3,200 × 11日 = 35,200	9,800 × 10日 = 98,000	4,400	20,200	(467,115) 489,910	4	(1,868) 1,960
276,300	33,015							
(目) 現地調査費	(515) 515	615	100	全額④ 1. $103 \times \frac{(5)}{6} \times \frac{237}{238}$ = (515) $= 615$				
返訳準備上費	車輛準備上費	資料等購入費	会議費	外貨交換手数料(%)	計			
円	円	円	円	円	円			
$2,900 \times 1 \times 3$ = 8,700	$7,660 \times 3 \times 1$ = 22,980	$2,680 \times 8$ = 21,440	$2,530 \times 10 \times 2$ = 50,600	1.037	103			

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
(目) 報告書作成費		(440) 440	440	0							
原稿料	翻訳料	校閲料	国内旅費	印刷製本料	資料作成費	会議費	交通費	送料	単価計	件数	合計
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	件	円
2,200 × 10枚	1,910 × 10枚	1,080 × 10枚	45,700 × 4人 × $\frac{6}{10}$ × 1回	2,980 × 20部	550 × 3種 × 10部	800 × 10 ^人 × 2回	550 × 3 ^人 × 2回	740 × 3種	220,340	2	440
= 22,000	= 19,100	= 10,800	= 73,120	= 59,600	= 16,500	= 10,000	= 3,300	= 5,920			
(目) 所屬先給与補填経費		(648) 648	669	21	金額 ※ $(405,800)$ 1. $418,400$ 円 × 4人 × $\frac{6}{30}$ × $\frac{2}{3}$ = (216) = 223 $(405,800)$ 2. $418,400$ 円 × 4人 × $\frac{12}{30}$ × $\frac{2}{3}$ = (432) = 446 計 1 + 2 = (648) = 669						

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
2. 現地プログラムの実施に必要な経費	(66,236) 66,236	71,137	4,901							
(1) プログラム・リーダー等派遣経費	(14,927) 14,927	16,888	1,961							
(目) 派遣諸費	(11,819) 11,819	13,534	1,715	全額☆ $\frac{(787,950)}{845,864} \text{円} \times (3 \text{回} \times 57 \text{回}) = (11,819)$ $= 13,534$						
	等級	期間	航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	計×1.13×0.95	人質	合計
			円	円	円	円	円	円	人	円
	3	5日間	301,360	33,015	3,200×5日 = 16,000	9,800×4泊 = 39,200	4,400	(393,975) 422,932	2	(787,950) 845,864
(目) 資機材等購送費	(1,755) 1,755	1,866	111							
			資機材等購入費	医薬品購入	送料× $\frac{227}{238}$	小計	件数	合計		
			円	円	円	円	件	円		
			10,820	21,770	4,220×20kg (84,400) = 84,045	(116,990) 116,635	(15) 16	(1,755) 1,866		
(目) 所属支給与補填経費	(1,353) 1,353	1,488	135	全額☆ $\frac{(405,800)}{418,400} \text{円} \times 2 \text{人} \times \frac{5}{30} \text{月} \times \frac{2}{3} \times (3 \text{回} \times 57 \text{回}) = (1,353)$ $= 1,488$						

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(2) 現業プログラム経費	(51,309) 51,309	54,249	2,940	全額④
(目) 現業活動費	(2,070) 2,070	2,199	129	$138 \times \frac{(3回 \times 57回)}{(3回 \times 57回 + 1回 \times 17回)} \times \frac{237}{238} = \frac{(2,070)}{2199}$ (イ) 備人費 $2,900円 \times 3人 \times 3日 = 26,100円$ (ロ) 車両積上費 $7,660円 \times 1台 \times 3日 = 22,980円$ (ハ) 会議費 $2,630円 \times 15人 \times 2回 = 75,900円$ (ニ) 資料購入費 $2,680円 \times 5種 = 13,400円$ 小計 (イ) ~ (ニ) $138,380円$
(目) 研修対策諸費	(49,239) 49,239	52,050	2,811	1. 研修対策費 (1) 直接経費 (イ) 研修参加費 $34342円 \times 50人 \times \frac{1}{2} \times \frac{(3回 \times 57回)}{(3回 \times 57回 + 1回 \times 17回)} = \frac{(12,879)}{13,738}$ (ロ) 滞在費 (宿泊費) $7000円 \times 2泊 \times 50人 \times \frac{(3回 \times 57回)}{(3回 \times 57回 + 1回 \times 17回)} = \frac{(10,500)}{11,200}$ (食 単) (朝500, 昼700, 夜1,500) $2,700円 \times 3日 \times 50人 \times \frac{(3回 \times 57回)}{(3回 \times 57回 + 1回 \times 17回)} = \frac{(6,075)}{6,480}$ (ii) 教材費 (i) 印刷製本費 $50円 \times 50頁 \times 2種 \times 50人 \times \frac{(3回 \times 57回)}{(3回 \times 57回 + 1回 \times 17回)} = \frac{(3,750)}{4,000}$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(ii) 原稿料 $920^{\text{円}} \times (50\text{頁} \times 2\text{種}) = 92$ (i) + (ii) = 4,092 (460) = 92 (4,210) = 4,092
				(二) バス乗上費 $100,000^{\text{円}} \times 2\text{台} \times 2\text{日} \times (3^{\text{回}} \times 5^{\text{分}}) = 6,000$ (1) ~ (二) (39,664) 41,910
				(2) 研修諸費 (i) 現地講師謝金 ※ $5,000^{\text{円}} \times 3\text{時間} \times 3\text{講義} \times (3^{\text{回}} \times 5^{\text{分}}) = 720$ (475)
				(ロ) 会場借上費 $100,000^{\text{円}} \times 2\text{日} \times (3^{\text{回}} \times 5^{\text{分}}) = 3,200$ (3,000)
				(イ) 視聴覚機材等借料 $20,000^{\text{円}} \times (3^{\text{回}} \times 5^{\text{分}}) = 320$ (300)
				(ニ) 歓迎レセプション $3,000^{\text{円}} \times 100\text{名} \times (3^{\text{回}} \times 5^{\text{分}}) = 4,800$ (4,500)
				(1) ~ (ニ) (8,475) 9,040
				計 (1) + (2) (48,139) 50,950

(270)

(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				2. 広報普及促進費
				(1) 広報用資料
				$200円 \times 1,000部 \times 67冊 = 1,000$
				$= 1,200$
				(2) 通信要報費
				$\frac{(1,000,000)}{1,200,000円} \times 10\% = 100$
				$= 120$
				計 (1) + (2) = 1,320
				合計 (1 + 2) $\times \frac{237}{238} = 52,050$ (49,239)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
3. 青年受入れに必要な経費	(845,497) 845,497	902,564	57,067						
(目) 受入諸費	(631,783) 631,783	656,971	25,188	1 受入諸費 $834,490 \text{円} \times \frac{(750)}{780 \text{名}} = (625,868)$ $650,902$					
				航空賃 ☆	支度料 ☆	滞在費 ☆	国内旅費 ☆	資料送付料	単価合計
				円	円	円	(鉄道賃) 円 本高基準	円 (1~2kg)	円
				301,360	30,000	= 480,000	29,200	2,930	834,490
				(注)					
				※滞在費内訳					
						宿泊費	8,000円		
						食費	6,000円		
						雑費	2,000円		
						計	16,000円		
				2. 厚生経費					
				(1) 保険料 ☆					
						$5,140 \text{円} \times \frac{(750)}{780 \text{人}}$		=	(3,255) 4,007
				(2) 医師嘱託料 ☆					
						$70,000 \text{円} \times 8 \text{ヶ月}$		=	560

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
(目) 監理経費	(59,467) 59,467	71,721	12,254	(3) 死七等災害処理経費 1,500
				小計 (1) ~ (3) (5,915) 6,069
				計 1 + 2 (631,783) 656,971
				1. プログラム監理員等謝金
				(1) プログラム監理員
				(イ) 現地語 $\frac{(19,670)}{27,720} \times \frac{(30)}{32} \times 5 \times 3 \times 3 = (26,555)$ = 3,997
				(ロ) 英語 $\frac{(19,670)}{11,610} \times \frac{(30)}{32} \times 5 \times 3 \times 2 = (17,703)$ = 11,146
				(ハ) 現地語 $\frac{(0)}{27,720} \times \frac{(30)}{32} \times 5 \times 1 \times 1 = (0)$ (フルネイ分) = 4,435
				(2) 業務補助
				$3,580 \times 20 \times 2 \times \frac{(3 \times 5)}{(3 \times 5 + 1)} = (2,148)$ = 2,291
計 (1) + (2) (46,406) 57,789				
2. 国内研修				
(1) 分野別研修				
(イ) 盛岡 $\left\{ (21,400 \times 80 \times \frac{1}{2}) + (1,600 \times 16 + 2,400 \times 15) \right.$ $\left. \times \frac{(75)}{80} \times \frac{1}{2} \right\} = (5,925)$ 6,320				

(273)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 共通プログラム経費	(53,629) 53,629	57,480	3,851	<p>ロ. 熊本—広島 $\left\{ (17,800円 \times 80人 \times \frac{1}{4}) + (1,600円 \times 16日 + 7,400円 \times 1.5日) \right\} \times 80人 \times \frac{1}{4} = (2,895) 3,088$</p> <p>ハ. 金沢—米原 $\left\{ (2,800円 \times 80人 \times \frac{1}{4}) + (1,600円 \times 16日 + 7,400円 \times 1.5日) \right\} \times 80人 \times \frac{1}{4} = (2,726) 2,908$</p> <p>(2) 視察旅行(広島基準) $20,200円 \times 80人 = (1,515) 1,616$</p> <p>* $\frac{75}{80}人 = 5人 \times 3回 \times 5ヶ所 + 5人$</p> <p>小計 (1) + (2) = (13,061) 13,932</p> <p>計 1 + 2 = (59,467) 71,721</p>
				<p>1. 諸謝金</p> <p>(1) 講師謝金 $4,570円 \times 2H \times 6講義 \times (3回 \times 5ヶ所) \times (3回 \times 5ヶ所 + 1回 \times 1ヶ所) = (823) 877$</p> <p>(2) テキスト原稿料 $3,000円 \times 40枚 \times 6種 \times 6ヶ所 = (3,600) 4,320$</p> <p>(3) テキスト翻訳料(英語) $2,780円 \times 20枚 \times 6種 \times 2ヶ所 = 667$</p> <p>テキスト翻訳料(現地語) $4,910円 \times 20枚 \times 6種 \times 4ヶ所 = (1,768) 2,357$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(4) 通訳備上費(英語) $47,000 \text{円} \times 2.5 \text{日} \times 3 \text{回} \times 2 \text{ヶ国} = 705$
				通訳備上費(現地語) $50,000 \text{円} \times 2.5 \text{日} \times (3 \text{回} \times 3 \text{ヶ国}) = (1,125)$ $(3 \text{回} \times 3 \text{ヶ国} + 1 \text{回} \times 1 \text{ヶ国}) = 1,250$
				(5) 業務補助 $3,580 \text{円} \times 7 \text{日} \times 2 \text{人} \times (3 \text{回} \times 5 \text{ヶ国}) = (752)$ $(3 \text{回} \times 5 \text{ヶ国} + 1 \text{回} \times 1 \text{ヶ国}) = 802$
				Ⅲ 計 (1) ~ (5) (9,440) 10,978
				2. 施設借上費 $110,000 \text{円} \times 4 \text{日} \times (3 \text{回} \times 5 \text{ヶ国}) = (6,600)$ $(3 \text{回} \times 5 \text{ヶ国} + 1 \text{回} \times 1 \text{ヶ国}) = 7,040$
				3. ガス備上費 $85,000 \text{円} \times 5 \text{日} \times 2 \text{台} \times (3 \text{回} \times 5 \text{ヶ国}) = (12,750)$ $(3 \text{回} \times 5 \text{ヶ国} + 1 \text{回} \times 1 \text{ヶ国}) = 13,600$
				4. 教材等購入費
				(1) オリエンテーション用視覚教材費
				(イ) 日本紹介フィルム $130,000 \text{円} \times 4 \text{本} = 520$
				(ロ) 翻訳料(現地語吹き替え) $47,000 \text{円} \times 4 \text{本} \times 1 \text{ヶ国} = 188$ $60,000 \text{円} \times 4 \text{本} \times 3 \text{ヶ国} = 720$
				(イ) + (ロ) = 1,428

(275)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				(2) 教材費
				(イ) 日本の地図等 1,000円 × ⁽⁷⁵⁰⁾ 780人 = ⁽⁷⁵⁰⁾ 780
				(ロ) 日本経済等紹介誌 1,000円 × ⁽⁷⁵⁰⁾ 780人 = ⁽⁷⁵⁰⁾ 780
				(ハ) 日本文化紹介誌 1,000円 × ⁽⁷⁵⁰⁾ 780人 = ⁽⁷⁵⁰⁾ 780
				(イ) ~ (ハ) 2,340
				小計 (イ) + (ロ) 3,768
				5. 印刷製本費
				(1) テキスト {(170円 × 2冊) + (260円 × 6冊)} × ⁽⁷⁵⁰⁾ 780部 = ^(1,425) 1,482
				(2) 総合報告書 アセアン 第1青年 全国 地方青年 本会合計 関係機関 1,100円 × ⁽⁷⁵⁰⁾ 780 + ⁽⁷⁵⁰⁾ 780 + ⁽⁷⁵⁰⁾ 780 + ⁽⁷⁵⁰⁾ 780 + ⁽⁷⁵⁰⁾ 780 + ⁽⁷⁵⁰⁾ 780 + 475部 = ^(4,648) 4,813
				(3) ホームステイ等手引 1,100円 × 1,500部 = 1,650
				(4) アセアン各国事情案内 850円 × 2,500部 = 2,125
				小計 (イ) ~ (4) 9,848 10,070

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				6. 会議費
				(1) 講師打合せ
				500円 × 10人 × 1回 × $\frac{(3回 \times 57回)}{(3回 \times 57回 + 1回 \times 17回)}$ = (75) 80
				(2) エバリュエーション
				1,200円 × 75人 × $\frac{(3回 \times 57回)}{(3回 \times 57回 + 1回 \times 17回)}$ = (1,350) 1,440
				小計 (1) + (2) = (1,425) 1,520
				7. 開閉講式
				(1) 開講式
				4,000円 × 75人 × $\frac{(3回 \times 57回)}{(3回 \times 57回 + 1回 \times 17回)}$ = (4,500) 4,800
				(2) 閉講式
				4,000円 × 75人 × $\frac{(3回 \times 57回)}{(3回 \times 57回 + 1回 \times 17回)}$ = (4,500) 4,800
				小計 (1) + (2) = (9,000) 9,600
				8. 視聴覚教材等購入借料費(共通・分野別プログラム併用)
				(購入) オーバーヘッドプロジェクター
				179,000円 × 1台 × 2分野 = 358
				(購入) オートスライド
				145,000円 × 1台 × 2分野 = 290
				(借上) 16mm 映写機
				16,000円 × $\frac{(3回 \times 57回)}{(3回 \times 57回 + 1回 \times 17回)}$ = (240) 256
				小計 = (888) 904
				計 1 ~ 8 = (53,629) 57,480

(277)
(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 分野別研修経費	(100.618) 100.618	116.392	15.774	<p>1. 研修旅費</p> <p> $\begin{aligned} & \text{盛岡-東京} \quad (2,400\text{円} \times 780\text{名} \times \frac{1}{2}) + \text{立尾-熊本} \quad (17,800\text{円} \times 780\text{名} \times \frac{1}{4}) \\ & \text{金沢-米原} \quad (8,800\text{円} \times 780\text{名} \times \frac{1}{4}) \end{aligned}$ $= 13,013$ </p> <p>2. 諸謝金</p> <p>(1) 講師謝金(合宿) ☆</p> <p> $4,570\text{円} \times 1.5\text{日} \times 8\text{講座} \times (2\text{分野} \times 3\text{回} \times 5\text{回} + 5\text{分野} \times 1\text{回}) = 1,919$ </p> <p>(2) 通訳謝金(合宿)</p> <p> $\begin{aligned} \text{(英語)} & 47,000\text{円} \times 2\text{日} \times 2\text{分野} \times 3\text{回} \times 2\text{ヶ国} = 1,128 \\ \text{(視覚語)} & 50,000\text{円} \times 2\text{日} \times (2\text{分野} \times 3\text{回} \times 3\text{ヶ国} + 5\text{分野} \times 1\text{回}) = 2,300 \end{aligned}$ </p> <p>(3) 講師等旅費(合宿)</p> <p> $\begin{aligned} & \{ 23,000\text{円} + (1,600\text{円} \times 4\text{日} + 8,200\text{円} \times 3\text{泊}) \} \times 4\text{人} \\ & \times (2\text{分野} \times 3\text{回} \times 5\text{回} + 5\text{分野} \times 1\text{回}) = 7,560 \end{aligned}$ </p> <p>(4) 業務補助謝金</p> <p> $3,580\text{円} \times 1\text{人} \times (4\text{日} + 6\text{日}) \times (2\text{分野} \times 3\text{回} \times 5\text{回} + 5\text{分野} \times 1\text{回}) = 1,253$ </p> <p>(5) 分野別テキスト作成謝金(合宿)</p> <p>(1) 原稿謝金</p> <p> $3,000\text{円} \times 20\text{頁} \times 8\text{講座} \times \frac{1}{2} \times (2\text{分野} \times 3\text{回} \times 5\text{回} + 5\text{分野} \times 1\text{回}) = 8,400$ </p>

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(5) 翻訳謝金(英語)</p> $2,780円 \times 20頁 \times 8講義 \times \frac{1}{2} \times 2分野 \times 3回 \times 2ヶ国 = 2,669$ <p>翻訳謝金(現地語)</p> $4,910円 \times 20頁 \times 8講義 \times \frac{1}{2} \times (2分野 \times 3回 \times 3ヶ国 + 5分野 \times 1回) = 9,034$ <p>(6) 講師謝金(地方および視察) ☆</p> $4,570円 \times 2H \times (5+1)講義 \times (3回 \times 5ヶ国) = 823$ <p>(7) 通訳謝金</p> $47,000円 \times (1.5日 + 1日) \times 3回 \times 2ヶ国 = 705$ $50,000円 \times (1.5日 + 1日) \times (3回 \times 3ヶ国 + 5分野 \times 1回) = 1,750$ <p>(8) 配布資料翻訳謝金</p> $2,780円 \times 3枚 \times 5種 \times 2分野 \times 3回 \times 2ヶ国 = 500$ $4,910円 \times 3枚 \times 5種 \times (2分野 \times 3回 \times 3ヶ国 + 5分野 \times 1回) = 1,694$ <p>小計 (1) ~ (8) $33,545$ 39,789</p> <p>3. 施設借上費(台宿および地方)</p> $119,000円 \times (3日 + 2日) \times (2分野 \times 3回 \times 5ヶ国 + 5分野 \times 1回) = 20,825$ <p>4. バス借上費(台宿、地方および視察旅行)</p> $80,000円 \times (2日 + 2日 + 5日 + 5日) \times (2台 \times 3回 \times 5ヶ国 + 5台 \times 1回) = 33,600$ $39,200$

(279)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>5. 会議費</p> <p>(1) 講師打合せ $500円 \times 6人 \times 1回 \times (2分野 \times 3回 \times 57回)$ (90) $= 1,05$</p> <p>(2) 分野別全議 $500円 \times (50人 + 50人) \times (2回 \times 3回 \times 57回 + 5分野 \times 1回)$ (1,500) $= 1,750$</p> <p>小計 (1) + (2) (1,590) 1,855</p> <p>6. 印刷製本費(合宿) $170円 \times 8種 \times \frac{1}{2} \times (25人 + 25人) \times (2分野 \times 3回 \times 57回 + 5分野 \times 1回)$ (1,020) $= 1,190$</p> <p>計 1 ~ 6 (1,00,618) 116,392</p>
4. 交流に必要な経費	(77,789) 77,789	82,965	5,176	
(目) 募集選考経費	(7,979) 7,979	8,897	918	<p>1. 募集広報費</p> <p>(1) 広報費(団体機関紙) $46,320 \times 2回 \times (2分野 \times 3回 \times 57回 + 5分野 \times 1回)$ (2,779) $= 3,242$</p> <p>(2) 資料作成費</p> <p>(A) 広報用資料(ポスター) 170円 x 5,000部 - 850</p> <p>(B) 募集資料 $50円 \times 500部 \times (2分野 \times 3回 \times 57回 + 5分野 \times 1回)$ (750) $= 875$</p> <p>小計 (1) + (2) (4,379) 4,967</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 日本青年参加費	(45,840) 45,840	48,702	2,862	<p>2. 通信運搬費</p> <p>(1) 広報用資料 (2分野×3回×57回) 50円×100部×(2分野×3回×57回+5分野×1回) = (1,500) 1,750</p> <p>(2) 募集資料 (2分野×3回×57回) 50円×600部×(2分野×3回×57回+5分野×1回) = (7,500) 8,750</p> <p>小計 (1) + (2) (9,000) 10,500</p> <p>3. 選考費(都市青年、全国青年、地方青年各1回)</p> <p>(1) 交通費 (3回×57回) 1,000円×50人×3回×(3回×57回+1回×17回) = (2,250) 2,400</p> <p>(2) 会場料 (3回×57回) 10,000円×3回×(3回×57回+1回×17回) = (4,500) 4,800</p> <p>小計 (1) + (2) (2,700) 2,880</p> <p>計 1 ~ 3 (7,979) 8,897</p>
				<p>全額卒</p> <p>1. 青年参加費</p> <p>(1) 都市青年交通費 (3回×57回) 1,000円×3回×50人×(3回×57回+1回×17回) = (2,250) 2,400</p> <p>(2) 全国青年国内旅費(大阪基準 6年級 3泊4日) {15,600円×$\frac{4}{5}$ + (1,600円×4日 + 8,200円×3日)} × 780人 (32,610) 33,914</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 交 流 費	(23,970) 23,970	25,366	1,396	(3) 地方青年交通費
				$1,000円 \times 780人 \times (1日 + 3日) = 3,120$
				(4) バス備上費
				$85,000円 \times (2日 + 1日) \times (2台 \times 3回 \times 57回 + 5台) = 89,250$
				小計 (1) ~ (4) = 48,359
				2. 福利厚生費
				(1) 保 険 料
				$(330円 + 110円) \times 780人 = 343$
				計 1 + 2 = 48,702
				1. 総理シセプション
$5,000円 \times (780人 + 780人) = 7,800$				
2. 合同レクレーション及びスポーツ経費				
(アセアン青年50人および日本青年50人、計100人)				
(1) 運動施設借上費				
$20,000円 \times (3回 \times 57回 + 1回 \times 17回) = 1,280$				
(2) 運動器具借上費				
$1000円 \times 100人 \times \frac{1}{2} \times (3回 \times 57回 + 1回 \times 17回) = 800$				

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				(3) ボーリング大会費 $2,000円 \times 100人 \times \frac{1}{2} \times \frac{(3回 \times 5ヶ所)}{(3回 \times 5ヶ所 + 1回 \times 1ヶ所)} = (1,500)$ $\{ (2) + (3) \} \times 0.6 = (1,600)$ $\{ (2) + (3) \} \times 0.6 = (1,950)$ $\{ (2) + (3) \} \times 0.6 = (1,440)$ $\{ (2) + (3) \} \times 0.6 = (2,550)$ 小計 (1) ~ (3) 2,720
				3. 交流写真展経費 (1) 出展奨励費 (アセアン、日本青年各10種) $5,000円 \times 20種 \times \frac{(5)}{6} = (500)$ $5,000円 \times 20種 \times \frac{(5)}{6} = 600$ (2) 経費 (i) 写真プリント焼付 $1,000円 \times 100枚 = 100$ (ii) 写真パネルカラー $2,000円 \times (10種 + 10種) \times \frac{(5)}{6} = (300)$ $2,000円 \times (10種 + 10種) \times \frac{(5)}{6} = 360$ (3) 施設借上費 (i) 国内 $10,000円 \times 6日間 \times 1回 = 60$ (ii) 海外 $10,000円 \times 6日間 \times \frac{(5)}{6} = (300)$ $10,000円 \times 6日間 \times \frac{(5)}{6} = 360$ (i) + (ii) (360) 420 小計 (1) ~ (3) (1,260) 1,480
				4. 日本伝統文化見学経費 (1) 右共芸術等入場料 $(1,500円 \times 2回 \times \frac{(750)}{780}) + (1,500円 \times 1回 \times \frac{(750)}{780}) = (3,375)$ $(1,500円 \times 2回 \times \frac{(750)}{780}) + (1,500円 \times 1回 \times \frac{(750)}{780}) = 3,510$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(2) 博物館等入場料 $300円 \times 8ヶ所 \times \begin{matrix} \text{アヒアン館} \\ (750) \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{監理員} \\ (150) \end{matrix} = (2,160)$ $= 2,256$
				小計 (1) + (2) (5,535) 5,766
				5. 民族文化交流経費 (アヒアン、日本青年各50人) 交流の夕べ $1,500円 \times 100人 \times 2回 \times \begin{matrix} (3回 \times 5ヶ国) \\ (3回 \times 5ヶ国 + 1回 \times 17回) \end{matrix} = (4,500)$ $= 4,800$
				6. 記念写真アルバム経費 (1) 写真 $150円 \times 5枚 \times (50人 + 50人) \times \begin{matrix} (3回 \times 5ヶ国) \\ (3回 \times 5ヶ国 + 1回 \times 17回) \end{matrix} = (1,125)$ $= 1,200$
				(2) アルバム $1,000円 \times 50人 \times \begin{matrix} (3回 \times 5ヶ国) \\ (3回 \times 5ヶ国 + 1回 \times 17回) \end{matrix} = (750)$ $= 800$
				(3) 撮影技師 $10,000円 \times 5回 \times \begin{matrix} (3回 \times 5ヶ国) \\ (3回 \times 5ヶ国 + 1回 \times 17回) \end{matrix} = (750)$ $= 800$
				小計 (1) ~ (3) (2,625) 2,800
				計 1 ~ 6 (23,970) 25,366

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
5. アフターケアに必要な経費	(5,487) 5,487	7,180	1,693	
(目) 文献等供与費	(4,725) 4,725	4,818	93	
				1. 図書購入費
				日本とアセヤン関係誌
				500円 × 3種 × 780部 × 2回 = (2,250) 2,340
				2. 会報等作成費
				(1) 会報作成費
				500円 × 1,000部 × 3回 = 1,500
				(2) カレンダー作成費
				500円 × 1,000部 × 1回 = 500
				小計 2,000
				3. 通信運搬費
				(1) 図書送付料
				100円 × 780部 = (75) 78
				(2) 会報送付料
				100円 × 1,000部 × 3回 = 300
				(3) カレンダー送付料
				100円 × 1,000部 × 1回 = 100
				小計 (1) ~ (3) = (475) 478
				計 1 ~ 3 = (4,725) 4,818

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	種 算 基 礎
(目) 同窓会育成費	(762) 762	2,362	1,600	<p>全額 ⑥</p> <p>1 同窓会運営費</p> <p>(1) 総会費 $1.5\text{ドル} \times 150\text{人} = (0) 225\text{ドル}$</p> <p>(2) 会報作成費 $0.5\text{ドル} \times 150\text{人} = (0) 75\text{ドル}$</p> <p>(3) " 送料 $0.3\text{ドル} \times 150\text{人} = (0) 45\text{ドル}$</p> <p>(1) ~ (3) $(0) 345.00\text{ドル} \times 5\text{回} = 1,725\text{ドル}$</p> <p>(4) 各国同窓会交流連絡費 $(\text{航空賃 } 700\text{ドル} + \text{滞在費 } 250\text{ドル}) \times 4\text{ヶ国} \times 2\text{名} = (0) 7,600\text{ドル}$</p> <p>小計 (1) ~ (4) $9,325\text{ドル} \times 237\text{円} = (0) 2,210$</p> <p>2. 同窓会結成費</p> <p>(1) 準備委員会 $1\text{ドル} \times 10\text{人} \times 5\text{回} = 50$</p> <p>(2) 規約印刷 $0.5\text{ドル} \times 150\text{部} = 75$</p> <p>(3) " 送料 $0.3\text{ドル} \times 150\text{部} = 45\text{ドル}$</p> <p>(4) 会報作成料 $0.5\text{ドル} \times 150\text{部} = 75\text{ドル}$</p> <p>(5) " 送料 $0.3\text{ドル} \times 150\text{部} = 45\text{ドル}$</p> <p>(6) 結成総会費 $1\text{ドル} \times 150\text{部} = 150\text{ドル}$</p> <p>(7) 結成パーティ $1\text{ドル} \times 200\text{人} = 200\text{ドル}$</p> <p>小計 $640\text{ドル} \times (5) 1\text{ヶ国} \times 237\text{円} = (762) 152$</p> <p>計 1 + 2 $(762) 2,362$</p>

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
(項) 専門系派遣費		(7,317,088) 9,348,093	9,641,868	388,975	当初予算	54年度 (5,549,931) 5,540,993	55年度 (6,694,289) 6,799,142	56年度 (7,455,207) 7,471,892	57年度 (8,044,509) 8,082,587	58年度 (8,967,963) 8,996,558		
1. 一般専門系派遣に必要な 経費		(8,689,531) 8,714,395	9,238,867	524,472								
(目) 派遣諸費		(5,281,155) 5,281,155	5,589,131	307,976	全額☆							
					1. 赴滞在旅費							
					(1,188,029) 1,304,165							
					本人 (1,148) (410) 1,171人(短期 422人 長期 749人) 家族 (492) 499							
区分	等級	期間	航空賃	支度料	移転料	着払い当	国内旅費	旅行雑費	日当・宿泊料	小計×1.13×0.85	人数	合計
短期	3	4	435,700	94,330	0	0	19,489	2,500	(9,900×3)+(7,920×91日) = 1,027,620	(1,579,639) 1,695,742	(410) 422	(647,652) 715,603
長期	3	8	152,500	165,000×1/3 = 55,000	411,000×1/2×2/3 = 137,000	(3,200+9,800)×1/3 ×1/3 = 43,333	8,978	2,500×2/3 = 1,667	0	(398,478) 427,766	(738) 749	(294,077) 320,397
家族	3	8	228,750	59,000×2/3 = 36,666	411,000×1/3 ×2/3 = 178,100	43,333×(2/3+1/3) = 43,333	10,427	1,667×2 = 3,334	0	(500,610) 537,405	(492) 499	(246,300) 268,165
計												(1,188,029) 1,304,165
(注) 1. 航空賃												
ギ ッ カ 294,790 ^円 × $\frac{50}{100}$ = 147,395 ^円												
カ イ コ 524,960 ^円 × $\frac{30}{100}$ = 157,488 ^円												
リ オ 654,100 ^円 × $\frac{20}{100}$ = 130,820 ^円												
計												435,700 ^円

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p style="text-align: right;">長期</p> <p>ダツカ $154,770 \text{円} \times \frac{50}{100} = 77,385 \text{円}$</p> <p>カイロ $275,610 \text{円} \times \frac{30}{100} = 82,683 \text{円}$</p> <p>リオ $343,390 \text{円} \times \frac{20}{100} = 68,678 \text{円}$</p> <p style="text-align: center;">計 228,746円</p> <p>(本人) $228,746 \text{円} \times \frac{2}{3} = 152,500 \text{円}$</p> <p>(家族) $152,500 \text{円} \times 1.5 = 228,750 \text{円}$</p> <p>(注) 2. 国内旅費</p> <p>短期 { 鉄道賃 日当 宿泊料 $2,041 \text{円} + (918 \text{円} \times 3 \text{日}) + (4,692 \text{円} \times 2 \text{泊} + 4,182 \text{円})$ $\times 2 \text{(往復)} \times \frac{4}{10} = 19,489 \text{円}$</p> <p>長期 { $10,868 \text{円} + (1,300 \text{円} \times 3 \text{日}) + (6,500 \text{円} \times 2 \text{泊} + 5,900 \text{円})$ $\times \frac{4}{10} \times \frac{2}{3} = 8,978 \text{円}$</p> <p>家族 { $(10,868 \text{円} \times 1.5) + 22,800 \text{円} \times (\frac{2}{3} + \frac{1}{3})$ $\times \frac{4}{10} \times \frac{2}{3} = 10,427 \text{円}$</p> <p>2. 滞在費 (2,846,378) 2,888,438</p> <p>(本人) $390,900 \text{円} \times 8 \text{月} \times \frac{(738)}{100} \times 749 \text{人} = 2,307,874$ (2,307,874) 2,342,273</p> <p>(家族) $390,900 \text{円} \times \frac{35}{100} \times 8 \text{月} \times \frac{(492)}{100} \times 499 \text{家族} = 538,504$ (538,504) 546,165</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				3. 住居手当 $203,500円 \times 8月 \times \frac{(738)}{749人} \times \frac{70}{100} = \begin{matrix} (841,025) \\ 853,560 \end{matrix}$
				4. 読書手当 $\left\{ 1,027,620円 \times 1.13 \times 0.95 \times 422人 + (390,900円 \times 8月) \times 749人 \right\} \times \frac{1}{3} \times \frac{15}{100} = \begin{matrix} (136,460) \\ 140,390 \end{matrix}$
				5. 碑地手当 $\begin{matrix} (113,856) \\ 115,538 \end{matrix}$ A $390,900円 \times \frac{30}{100} \times \left(\frac{(1,968)}{2,000人月} + \frac{(3,936)}{3,992人月 \times 1.35} \right) \times \frac{10}{100} = \begin{matrix} (56,928) \\ 57,769 \end{matrix}$ B $390,900円 \times \frac{10}{100} \times \left(\frac{(1,968)}{2,000人月} + \frac{(3,936)}{3,992人月 \times 1.35} \right) \times \frac{30}{100} = \begin{matrix} (56,928) \\ 57,769 \end{matrix}$
				6. 特別技術手当 $122,344$ 長期 A級 $(9,200円 \times 244日 \times 1人) + (6,200円 \times 244日 \times 9人)$ B級 C級 $+ (3,100円 \times 244日 \times 76人) + (1,500円 \times 244日 \times 83人)$ D級 $= 103,724$ 短期 A級 $(9,200円 \times 122日 \times \frac{1}{2} \times 2人) + (6,200円 \times 122日 \times \frac{1}{2} \times 12人)$ B級 C級 $+ (3,100円 \times 122日 \times \frac{1}{2} \times 167人) = 18,620$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
(百) 博行機材費	(554.089) 567.151	629.329	62.178	7. 子女教育手当
				$18,000円 \times 8月 \times \frac{(492)}{499} \times \frac{1}{3} \times (1 + \frac{2}{5}) = 33,063$
				8. 在勤手当改善分
				(0)
				131,165
				合計 1~8
				(5,281,155)
				5,589,131
				1. 一般分
				(425,100) (1,148)
				469,700円 × 1,171人 = 550,019
				2. 理科教育分
				3,200,410円 × 8件 = 25,603
				3. 一般教育分
				4,308,000円 × 4件 = 17,232
4. 視聴覚機材購入分				
(36,301)				
36,475				
(視聴覚機材内訳)				
ウ) VTRの開発作成及び資機材購入費				
(13,131)				
13,317				
エ. 謝金				
(7,216)				
7,403				
オ) 機材整備国内作業費				
(6,016)				
6,203				
直接人件費				
主任技師 1人 17月 (37,900)				
39,113円 × 20日 × 1人月 = 782				
技師 2人 17月 (32,200)				
33,198円 × 20日 × 2人月 = 1,328				

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>諸経費(直接人件費の110%相当額)</p> $\begin{array}{r} (2,046) \\ 2,110 \times 110\% \end{array} \quad \begin{array}{r} (2,251) \\ = 2321 \end{array}$
				<p>校舎費(直接人件費+諸経費の40%相当額)</p> $\begin{array}{r} (2,046) \quad (2,251) \\ (2,110 + 2,321) \times 40\% \end{array} \quad \begin{array}{r} (1,719) \\ = 1,772 \end{array}$
				<p>(4) 教材翻訳料 (和文外国語訳)</p> $3,750 \text{円} \times 80 \text{枚} \times 4 \text{種} = 1,200$
				<p>イ. 国内旅費(広島基準 3泊4日 2等級)</p> $\left\{ \begin{array}{l} \text{飲食費} \\ (8,300 \text{円} + 6,100 \text{円}) \times 2 \text{回} + \begin{array}{l} \text{日当} \\ (1,900 \text{円} \times 4 \text{日} + 2,900 \text{円} \\ \text{宿泊料} \\ \times 3 \text{泊}) \end{array} \end{array} \right\} \times 3 \text{人} = 198$
				<p>ウ. 庁費</p> $\begin{array}{r} (5,717) \\ 5,716 \end{array}$
				<p>(ア) 教材購入費</p> <p>専門教科書等購入費</p> $4,500 \text{円} \times 20 \text{種} = 90$
				<p>(イ) 教材作成費</p> $4,600$ <p>教科書マニュアル等印刷製本費</p> $2,500 \text{円} \times 100 \text{枚} \times 4 \text{種} = 1,000$
				<p>VTR作成費</p> $1,800,000 \text{円} \times 2 \text{本} = 3,600$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>内訳 30分/1本</p> <p>製作費 720,000 円</p> <p>スタジオ指料、材料費 720,000 円</p> <p>編集・録音費 180,000 円</p> <p>プリント費 180,000 円</p> <p>単価計 1,800,000 円</p> <p>ウ) 会議費</p> <p>300円 × 15人 × 3回 = 13</p> <p>エ) 教材送料(別送料単価アラン基準) ㊦</p> <p>2,312円 × 30kg × 4種 × $\frac{237}{229}$ × 0.927124 = ⁽²⁶⁷⁾266</p> <p>オ) プロジェクタ-等購入費 747</p> <p>① ビデオコーダ- 585</p> <p>② ビデオ受像機 162</p> <p>計 ア ~ ウ (13,131) 13,317</p> <p>カ) 既製スライド(日本語)の外国語版作成 (17,833) 17,827</p> <p>及び資料の購入費</p> <p>ア) 製作費</p> <p>17,540円 × 60コマ × 5種 = 5,262</p> <p>イ) プリント代</p> <p>600円 × 60コマ × 5種 × 207所 = 3,600</p>

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				ウ. カセット代 4,500円 × 5履 × 20ヶ所 = 450
				エ. 資機材購入費 355,500円 × 20ヶ所 = 7,110
				内訳 オーバーヘッドプロジェクター 260,000円 スクリーン 35,500円 カセットケース 60,000円 単価計 355,500円
				オ. 教材送料(別送料単価テラン基準) ㊦ 2,312円 × 30kg × 20セット × $\frac{237}{217} \times 0.927124$ = (1,411) 1,405 計 ア ~ オ (17,833) 17,827
				(3) 既製の英語版VTR及び資機材購入費 (5,337) 5,331
				ア. VTRフィルム購入費 40,000円 × 5履 × 20ヶ所 = 4,000
				イ. 教材送料(別送料単価, テラン基準) ㊦ 2,312円 × 30kg × 20セット × $\frac{237}{239} \times 0.927124$ = (1,337) 1,331 計 ア ~ イ (5,337) 5,331
				合計 (1) ~ (3) (36,301) 36,475
				総計 1 ~ 4 (567,151) 629,329

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 現地業務費	(293,443) 300,360	304,194	3,954	<p>全額 ④</p> <p>1. 現地業務費 (200,123) 202,803</p> <p>① 一般分 (196,152) 198,849</p> <p>短期 $26,513 \text{円} \times 4 \text{月} \times 422 \text{人} \times \frac{237}{225} \times 0.927124$ (410) = 42,642 43,705</p> <p>長期 $26,513 \text{円} \times 8 \text{月} \times 749 \text{人} \times \frac{237}{225} \times 0.927124$ (738) (153,510) = 155,144</p> <p>② 東南アジア漁業開発センター-専門分 $112,480 \text{円} \times 12 \text{月} \times 3 \text{部局} \times \frac{237}{225} \times 0.927124$ (3,971) = 3,954</p> <p>2. エスカツプ等専門家現地経費 (22,061) 21,969</p> <p>短期 $449,899 \text{円} \times 5 \text{人} \times \frac{237}{225} \times 0.927124 =$ (2,206) 2,197</p> <p>長期 $1,124,800 \text{円} \times 18 \text{人} \times \frac{237}{225} \times 0.927124 =$ (19,855) 19,772</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
				3. 域内旅費 (8,632) 8,922								
				区 分	期 間	等 級	航 空 賃	日当・宿泊料	小計×1.088×0.85	回数	人数	合 計
				(1) 南西アジア地域調査旅費	30日	2	209,430円	(1,801 × 30日) + (5,531 × 29泊) = 214,429円	(423,859) 438,101	1	8	(3,391) 3,505
				(2) 東南アジア地域調査旅費	30	2	233,990	214,429	(448,419) 463,486	1	7	(3,139) 3,244
				(3) アフリカ地域調査旅費	30	2	476,970	(1,865 × 30日) + (5,789 × 29泊) = 223,831	(700,801) 724,348	1	3	(2,102) 2,173
				計							18	(8,632) 8,922
				4. 現地研究費 (69,544) 70,500								
				短期 94,000円 × 4月 × ⁽⁴¹⁰⁾ 422人 × $\frac{1}{10} \times \frac{237}{225} \times 0.927124$								
				= (15,118) 15,495								
				長期 94,000円 × 8月 × ⁽⁷³⁸⁾ 749人 × $\frac{1}{10} \times \frac{237}{225} \times 0.927124$								
				= (54,426) 55,005								
				合 計 1 ~ 4 (300,360) 304,194								

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎																																				
(目) 所属先給与補填経費	(2,353,558) 2,353,558	2,462,619	109,061	全額☆ 長期 $\frac{(405,800)}{418,400 \text{円}} \times \{ (8 \text{月} + 2 \text{月}) + (8 \text{月} + 1 \text{月}) + 8 \text{月} \} \times \frac{(738)}{3} \times \frac{2}{3}$ $\times \frac{2}{3} = (1,796,882)$ $1,880,290$ 短期 $\frac{(405,800)}{418,400 \text{円}} \times \{ (4 \text{月} + 1 \text{月}) \times \frac{(410)}{422} \times \frac{2}{3} \} - (418,400 \text{円} \times 4 \text{月} \times 150 \text{人}) \times \frac{1}{3} \times \frac{1}{10} = (554,593)$ $580,181$ 調査団 $\frac{(405,800)}{418,400 \text{円}} \times \frac{21 \text{日}}{30 \text{日}} \times 11 \text{人} \times \frac{2}{3} = (2,083)$ $2,148$ $(33,200 \text{円} \times 20 \text{日}) \times 2,94 \times (4 \text{月} \times 150 \text{人} \times \frac{1}{3} \times \frac{1}{10}) = (0)$ $39,043$																																				
(目) 技術費	0	39,043	39,043																																					
(目) 一時帰国旅費	(26,754) 38,799	85,034	△ 3,765	1. 一時帰国旅費 本人 120人 家族 80 家族 2. 特別一時帰国旅費 40人 計 160人 80 家族																																				
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>等級</th> <th>航空費</th> <th>国内旅費</th> <th>旅行雑費</th> <th>日当・宿泊料</th> <th>小計×1.008×0.95</th> <th>人数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本人</td> <td>3</td> <td>298,180 円</td> <td>11,851 円</td> <td>2,991 円</td> <td>(1,436 × 2日) × 2 = 5,744</td> <td>(318,766) 円 305,250</td> <td>160</td> <td>(51,003) 48,840</td> </tr> <tr> <td>家族</td> <td>3</td> <td>446,860</td> <td>13,871</td> <td>2,991 × 2 = 5,982</td> <td>5,744 × (2/3 + 1/3) = 5,744</td> <td>(472,456) 452,425</td> <td>80</td> <td>(37,796) 36,194</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>240</td> <td>(88,799) 85,034</td> </tr> </tbody> </table>	区分	等級	航空費	国内旅費	旅行雑費	日当・宿泊料	小計×1.008×0.95	人数	合計	本人	3	298,180 円	11,851 円	2,991 円	(1,436 × 2日) × 2 = 5,744	(318,766) 円 305,250	160	(51,003) 48,840	家族	3	446,860	13,871	2,991 × 2 = 5,982	5,744 × (2/3 + 1/3) = 5,744	(472,456) 452,425	80	(37,796) 36,194	計							240	(88,799) 85,034
区分	等級	航空費	国内旅費	旅行雑費	日当・宿泊料	小計×1.008×0.95	人数	合計																																
本人	3	298,180 円	11,851 円	2,991 円	(1,436 × 2日) × 2 = 5,744	(318,766) 円 305,250	160	(51,003) 48,840																																
家族	3	446,860	13,871	2,991 × 2 = 5,982	5,744 × (2/3 + 1/3) = 5,744	(472,456) 452,425	80	(37,796) 36,194																																
計							240	(88,799) 85,034																																

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
(目) 子女呼寄せ旅費	(19,414) 19,872	20,226	354	(注) 国内旅費(広島基準、往復各3泊3日、適用率 $\frac{4}{10}$) 本人 { 鉄道賃 日当 宿泊料 $5,051円 + (549円 \times 3日) + (2,807円 \times 2泊 + 2,502円)$ $\times 2往復 \times \frac{4}{10} = 11,851円$ 家族 { 鉄道賃 日当・宿泊料 $(5,051円 \times 1.5) + 9,763円 \times (\frac{2}{3} + \frac{1}{3})$ } $\times 2 \times \frac{4}{10}$ $= 13,871円$ テヘラン基準 $\{ 412,530円 \times (1 + 0.5) \times \frac{1}{2} - 20,000円 \} \times \frac{(618)}{629人} \times \frac{1}{9}$ $= (19,872)$ $20,226$						
(目) 調査指導等旅費	(4,787) 4,894	5,132	238	テヘラン基準						
	区 分	期間	等級	航空賃	支度料	日当・宿泊料	旅行雑費	小計×1,104×0.95	人数	合計
	調査指導	2)	3	283,980	39,501	(1,436 × 21日) + (4,487 × 20泊) = 119,896	1,496	(444,873) 466,583	11	(4,894) 5,132

(297)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 現地調査費	(712) 729	726	△ 3	<p>全額 ④ 調査指導費</p> $87.540 \text{円} \times 11 \text{人} \times \frac{237}{225} \times 0.927124 = \begin{matrix} (729) \\ 726 \end{matrix}$
(目) 専門家文献資料等購送費	(8,019) 8,208	8,344	136	<p>基礎的情報資料の送付 (8,208) 8,344</p> <p>(イ) 一般分 $750 \text{円} \times \left\{ \begin{matrix} (410) \\ (422 \text{人} \times 12 \text{月} \times \frac{1}{3}) + (749 \text{人} \times 6 \text{月}) \end{matrix} \right\} \times \frac{2}{3} = \begin{matrix} (3,772) \\ 3,840 \end{matrix}$</p> <p>(ロ) 技術分 $10,000 \text{円} \times \begin{matrix} (738) \\ 749 \text{人} \end{matrix} \times \frac{1}{2} = \begin{matrix} (3,690) \\ 3,745 \end{matrix}$</p> <p>(ハ) 送料 $\begin{matrix} (7,462) \\ 7,585 \end{matrix} \times 0.1 = \begin{matrix} (746) \\ 759 \end{matrix}$</p>
(目) 現地語教科書作成費	(21,324) 21,827	21,827	0	<p>1,679 × 13種 = 21,827</p> <p>(単価内訳)</p> <p>(イ) 諸謝金 1,230,000円</p> <p>(ロ) 原稿料 1,470円 × 300枚 = 441,000円</p> <p>(ハ) 翻訳料 1,910円 × 300枚 = 573,000円</p> <p>(ニ) 校正料 720円 × 300枚 = 216,000円</p> <p>(ホ) 労費 447,000円</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
(目) 報告書作成費	(53,740) 55,006	56,374	1,368	① 印刷製本費 $390円 \times 900枚 = 351,000円$
				② 送料 $490円 \times 200枚 = 98,000円$
				計 ① + ② 1,679
				1. 諸謝金 (46,420) 47,788
				① 実施設計国内作業費 (5,480) $5,651 \times 8件 = 45,208$
				(単価内訳)
				① 直接人件費
				主任技師 1人 1ヶ月 (25,038) $25,839円 \times 20日 \times 1人月 = 517$ (501)
				技師(A) 2人 1ヶ月 (21,000) $21,651円 \times 20日 \times 2人月 = 866$ (840)
				技師(B) 2人 1ヶ月 (16,644) $17,177円 \times 20日 \times 2人月 = 687$ (666)
				小計 (2,007) 2,070
				② 諸経費 (直接人件費の110%相当額) (2,007) $2,070 \times 110\% = 2,277$ (2,208)
				③ 技術指導料 (直接人件費+諸経費の30%相当額) (2,007) (2,208) $(2,070 + 2,277) \times 30\% = 1,304$ (1,265)
				単価計 ① ~ ③ (5,480) 5,651
				② 総合報告書翻訳料 $1,290円 \times 100枚 \times (35件 \times \frac{2}{3} - 1) = 2,580$
計 ① ~ ② (46,420) 47,788				

(299)
(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				<p>2. 庁費 8,586</p> <p>(1) 実施設計国内作業分報告書作成費(英文20部、図面40部) $240 \times 8 \text{件} = 1,920$</p> <p>(2) 総合報告書印刷製本費 和文 $1,410 \text{円} \times 100 \text{部} \times 24 \text{件} = 3,384$ 英文 $1,410 \text{円} \times 100 \text{部} \times (25 \text{件} \times \frac{2}{3} - 1) = 1,974$ 小計 5,358</p> <p>(3) 現地報告書印刷製本費 $790 \text{円} \times 50 \text{部} \times 24 \text{件} = 948$</p> <p>(4) 報告書送料 $500 \text{円} \times 30 \text{Kg} \times 24 \text{件} = 360$ 計 (1) ~ (4) 2,586</p> <p>合計 1 + 2 (55,006) 56,374</p>
(目) 依頼調査謝金	(2,924) 2,992	2,992	0	$74,790 \text{円} \times 40 \text{件} = 2,992$
(印) 国内業務費	(9,617) 9,844	10,080	236	(1) 国内旅費(広島基準 2等級 2泊3日) $52,100 \text{円} \times (749 \times \frac{1}{3} \times 2 \text{回} + 442 \times 2 \text{回}) \times \frac{1}{10} \times \frac{1}{5} = 9,382$ (738) (410) (9,114)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(注) 国内旅費</p> <p>鉄道賃 日当 燃料 $26,600円 + (1,900円 \times 3日) + (9,900円 \times 2泊)$ $= 52,100円$</p> <p>(2) 庁費 (730) 748</p> <p>(1) 会議費 $540円 \times (749人 \times \frac{1}{3} \times 2回 + 422人 \times 2回) \times \frac{1}{3} = 242$ (236)</p> <p>(1) 資料費 $1,130円 \times 2種 \times (749人 \times \frac{1}{3} + 422人) \times \frac{1}{3} = 506$ (494)</p> <p>計 (1) + (1) (730) 748</p> <p>合計 (1) + (2) (9,844) 10,080</p>
(目) シルバーボランティア派遣旅費	0	3,816	3,816	<p>全額 ☆ (中国分 20人) 航空賃(往復) $190,800円 \times 20人 = 3,816$ (0)</p>

(301)
(单位:千円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
2. 研究協力等専門家派遣に必要 な経費		(348,299) 354,244	403,001	48,757	全額中 1. 赴滞仕旅費 (49,168) 59,026 研究協力分 短期 3人 x 7件 = 21人 アセアン科学技術分 " " " = (11)人 " " " " " = (15)人 計 (32)人 36人					
(四) 派遣諸費		(52,798) 52,798	62,998	10,200						
区分	等級	期間	航空賃	支度料	国内旅費	旅費雑費	日当・宿泊料	小計x1.13x0.95	人数	合計
研究協力分	3	4	435,700	94,330	19,489	2,500	$(9,900 \times 3) + (7,920 \times 9)$ = 1,027,620	(1,579,639) 1,695,742	21	(33,172) 35,611
アセアン科学技術分	3	4	310,200	94,330	19,489	2,500	$(9,900 \times 3) + (7,920 \times 9)$ 1,027,620	(1,454,139) 1,561,018	(11) 15	(15,996) 23,415
計									(32) 36	(49,168) 59,026
					2. 語学手当 $1,027,620 \text{円} \times 1.13 \times 0.95 \times \frac{(32)}{36} \times \frac{1}{3} \times \frac{15}{100} = (1,644)$ 1,986					
					3. 特別技術手当 B級 $(6,200 \text{円} \times 1.22 \times \frac{1}{4} \times 7) + (3,100 \text{円} \times 1.22 \times \frac{1}{4} \times 7)$ C級 = 1,986					
					合計 1~3 (52,798) 62,998					

事項及科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(四) 携行機材費	(13,290) 13,603	16,909	3,306	研究協力分 (425,100)円 × (32) 469,700円 × 36人 = (13,603)
(目) 現地業務費	(224,947) 230,250	258,024	27,774	全額 ⊕ 一般分 (26,513)円 × 4月 × (32)人 × $\frac{237}{225}$ × 0.927124 = (3,329) 3,810 研究協力分 2,410,302円 × 3月 × (32)人 × $\frac{237}{225}$ × 0.927124 = (226,921) 264,214
(目) 所属先給与補填経費	(43,285) 43,285	50,208	6,923	全額 ☆ 研究協力分 (405,800)円 × (4月 + 1月) × (32)人 × $\frac{2}{3}$ = (43,285) 50,208
(目) 専門家文献資料等購送費	(1,046) 1,071	1,195	124	1. 一般分 $750円 \times \left[\left(\frac{32}{36} \right) \times 12月 \times \frac{1}{3} \right] + \left\{ (7^{14} \times 2冊) + 6 \times 4 \times 2冊 \right\} \times 12月 \times \frac{1}{3}$ (174) = 186 2. 技術分 25,000円 × (32)人 = (800) 900 3. 送料 (974) 1,086 × 0.1 = (97) 1,09 合計 1~3 (1,071) 1,195

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 報告書作成費	(12,241) 12,529	12,871	342	<p>1. 諸謝金</p> <p>(1) 実施設計図内作業費 $(5,480)$ $5,651 \times 2件 = (10,960)$ $11,302$</p> <p>(2) 総合報告書翻訳料 $1,290円 \times 100部 \times 2件 = 258$</p> <p>計 (1) + (2) $(11,218)$ $11,560$</p> <p>2. 庁費</p> <p>(1) 実施設計図内作業分報告書作成費 $240 \times 2件 = 480$</p> <p>(2) 総合報告書印刷製本費 和文 $1,410円 \times 100部 \times 2件 = 282$ 英文 $1,410円 \times 100部 \times 2件 = 282$ 小計 564</p> <p>(3) 現地報告書印刷製本費 $790円 \times 150部 \times 2件 = 237$</p> <p>(4) 報告書送料 $500円 \times 30部 \times 2件 = 30$</p> <p>計 (1) ~ (4) $1,311$</p> <p>合計 1 + 2 $(12,529)$ $12,871$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(甲) 国内業務費	(692) 708	796	88	1. 国内旅費 $52,100円 \times 36人 \times 3回 \times \frac{4}{70} \times \frac{1}{3} = (667)$ $= 750$ 2. 庁費 (1) 会議費 $540円 \times 36人 \times 3回 \times \frac{1}{3} = (17)$ $= 19$ (2) 資料費 $1,130円 \times 2種 \times 36人 \times \frac{1}{3} = (24)$ $= 27$ 計 (1) + (2) (41) $= 46$ 合計 1 + 2 (708) $= 796$
3. 有償派遣等特別専門家を派遣に 必要な経費	(278258) 278454	0	△ 278454	一般専門家を振替え

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																											
(項) 機材供与費	(1,474,194) 1,480,941	1,518,269	37,328	昭和39年度から計上																											
1. 機材供与に必要な経費	(1,377,149) 1,377,149	1,411,365	34,216	<table border="1"> <tr> <td>54年度</td> <td>55年度</td> <td>56年度</td> <td>57年度</td> <td>58年度</td> </tr> <tr> <td>(842,344)</td> <td>(974,699)</td> <td>(1,064,993)</td> <td>(1,332,492)</td> <td>(1,426,042)</td> </tr> <tr> <td>835,138</td> <td>976,408</td> <td>1,067,759</td> <td>1,338,807</td> <td>1,431,590</td> </tr> </table>	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	(842,344)	(974,699)	(1,064,993)	(1,332,492)	(1,426,042)	835,138	976,408	1,067,759	1,338,807	1,431,590												
54年度	55年度	56年度	57年度	58年度																											
(842,344)	(974,699)	(1,064,993)	(1,332,492)	(1,426,042)																											
835,138	976,408	1,067,759	1,338,807	1,431,590																											
(目) 機材供与費	(1,377,149) 1,377,149	1,411,365	34,216	全額 ☆ 1. 機材購送費 $(1,417,004) \times \left\{ \frac{87}{100} + \left(\frac{13}{100} \times 0.73 \times \frac{237}{225} \times 0.927124 \right) \right\} = 1,398,327$ 2. 据付・指導費 (12,478) 13,038 (1) 派遣諸費																											
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>等級</th> <th>航空賃</th> <th>日当宿泊料</th> <th>支度料</th> <th>旅行雑費</th> <th>計×1.104×0.85</th> <th>人員</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>日</td> <td>級</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>人</td> <td>円</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31</td> <td>3</td> <td>561,260</td> <td>(2,777×31日)+(2,565×30日) = 343,657</td> <td>70,150</td> <td>2,185</td> <td>(977,252) 1,024,942</td> <td>10</td> <td>(9,773) 10,249</td> </tr> </tbody> </table> (2) 所属先給与補填経費 $\frac{(405,800)}{418,400円} \times 1月 \times 10人 \times \frac{2}{3} = 2,789$ $(2,705)$ 計 1 + 2 (1,377,149) 1,411,365	期間	等級	航空賃	日当宿泊料	支度料	旅行雑費	計×1.104×0.85	人員	合計	日	級	円	円	円	円	円	人	円	31	3	561,260	(2,777×31日)+(2,565×30日) = 343,657	70,150	2,185	(977,252) 1,024,942	10	(9,773) 10,249
期間	等級	航空賃	日当宿泊料	支度料	旅行雑費	計×1.104×0.85	人員	合計																							
日	級	円	円	円	円	円	人	円																							
31	3	561,260	(2,777×31日)+(2,565×30日) = 343,657	70,150	2,185	(977,252) 1,024,942	10	(9,773) 10,249																							

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
2. 調査団等派遣に必要な経費	(85,193) 91,048	94,167	3,119	調査旅費内訳(テヘラン基準)					
(1) 調査団等派遣経費	(76,101) 81,272	84,391	3,119						
(目) 調査旅費	(28,964) 32,220	33,793	1,573						
区 分	期間	等級	航空賃	日当・宿泊料	支度料	旅行雑費	計×1104×0.95	人員	合計
1 機材供与実施計画調査	21 ^日	3 ^級	561,260 ^円	(2,797×21 ^日) + (8,565×20 ^泊) = 230,037	57,736 ^円	2,185 ^円	(851,218) 892,757 ^円	22	(18,727) 19,641
2 機材巡回修理班派遣	31	3	561,260	(2,797×31 ^日) + (8,565×30 ^泊) = 343,657	70,150	2,185	(977,252) 1,024,942	9	(8,795) 9,224
3 機材利用評価	15	3	561,260	(2,797×15 ^日) + (8,565×14 ^泊) = 161,265	57,736	2,185	(783,046) 821,259	6	(4,698) 4,928
計								37	(32,220) 33,793
(目) 現地調査費	(2,703) 2,907	2,895	A	12	全額 ⊕ 80,25円×37件× $\frac{237}{225} \times 0.927/24 = 2,907$				
(目) 資材購入費	(32,232) 34,668	35,986		1,328	機材巡回修理				
			資材費	輸送費 ⊕	諸経費	計	件数	合計	
			資材購入費	1,750×80kg× $\frac{237}{225} \times 0.927/24$ (137,297) = 136,720	15,140	(3,465,827) 3,598,583	10	(34,668) 35,986	
			修理費	$200,000 \times \frac{2}{3}$ = 133,333					
			小計	(3,313,390) 3,446,723					

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	種 算 基 礎																							
(目) 報告書作成費	(3,789) 4,074	4,074	0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>印刷製本費</th> <th>会議費</th> <th>資料費</th> <th>計</th> <th>件数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>75,770</td> <td>518×10人×6回 = 31,080</td> <td>1,090×3種 = 3,270</td> <td>110,120</td> <td>37</td> <td>4,074</td> </tr> </tbody> </table>						印刷製本費	会議費	資料費	計	件数	合計	円	円	円	円	件		75,770	518×10人×6回 = 31,080	1,090×3種 = 3,270	110,120	37	4,074
印刷製本費	会議費	資料費	計	件数	合計																						
円	円	円	円	件																							
75,770	518×10人×6回 = 31,080	1,090×3種 = 3,270	110,120	37	4,074																						
(目) 所属先給与補填経費	(7,413) 7,413	7,643	230	<p>全額 ☆</p> <p>(1) 機材供与実施計画調査 $\frac{(405,800)}{418,400円} \times \frac{21日}{30日} \times 22人 \times \frac{2}{3} = 4,296 (4,166)$</p> <p>(2) 機材巡回修理班派遣 $\frac{(405,800)}{418,400円} \times 1月 \times 9人 \times \frac{2}{3} = 2,510 (2,435)$</p> <p>(3) 機材利用評価 $\frac{(405,800)}{418,400円} \times \frac{15日}{30日} \times 6人 \times \frac{2}{3} = 837 (812)$</p> <p>計 (1) ~ (3) 7,643 (7,413)</p>																							
(2) プロジェクト実施経費	(9,092) 9,776	9,776	0	370 × 26件 = 9,776																							
(目) 実施計画費	(9,092) 9,776	9,776	0	<p>(単価内訳)</p> <p>(1) 諸謝金 132,870円 (2) 国内旅費 64,230円</p>																							

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(3) 庁費 173,75円 (1) 会議費 18,535円 (ロ) 印刷費 154,640円 小計 (1) ~ (3) 370,275円 (注) 国内旅費(広島基準 2等級 3泊3日往復) $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \quad \text{日当} \quad \text{宿泊料} \\ 7,383円 + (1,378円 \times 3日) + (7,079円 \times 2泊 + 6,380円) \end{array} \right\}$ $\times 2回 = 64,230円$
3. 文献及び技術情報供与に必要な経費	(11,852) 12,744	12,737	△ 7	
(目) 文献及び技術情報供与費	(11,852) 12,744	12,737	△ 7	(1) 外国語図書購入費 $2,100円 \times 20種 \times 5部 \times 357枚 = 7,350$ (2) 外国語雑誌購入費 $1,050円 \times 20種 \times 5部 \times 357枚 = 3,675$ (3) 送料 (外) $700円 \times \frac{1}{2} \times 100kg \times 357枚 \times \frac{237}{217} \times 0.927124 + 700円 \times$ $\frac{1}{2} \times 38kg \times 357枚 \times \frac{237}{217} \times 0.927124 + (0)$ $= 1,712$ (1,719) = 1,712 (12,744) 12,737 計 (1) ~ (3)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
				54年度 当初予算額	55年度	56年度	57年度	58年度
(項) 技術協力センター費	(5,430,951) 5,445,857	6,221,627	775,770	(2,949,336) 2,939,075	(3,429,072) 3,431,178	(3,914,003) 3,917,531	(4,579,441) 4,632,006	(5,008,396) 5,018,303
1. 調査田氷道に必要な経費	(194,557) 198,262	248,478	50,216					
(1) 調査田氷道経費	(150,301) 153,163	192,494	39,331					
(調査予定件数および所要経費)								
区分	件数	調査旅費	現地調査費	資機材購送費	報告書作成費	調査業務実施費	合計	
1) 事前調査	(7) 8	(17,853) 21,402	(1,159) 1,318	(235) 269	(3,282) 3,750	(27,717) 32,709	(50,246) 59,448	
2) 実施協議	(5) 7	(14,010) 20,573	(1,035) 1,442	(210) 294	(2,930) 4,102	0	(18,185) 26,411	
3) 計画打合	(9) 13	(23,814) 36,075	(1,863) 2,678	(378) 546	(5,274) 7,618	0	(31,329) 46,917	
4) 巡回指導	(10) 8	(22,420) 18,808	(720) 548	(420) 336	(2,090) 1,672	0	(25,650) 21,384	
5) 機材修理	(2) 4	(3,826) 8,024	(116) 232	(2,856) 4,712	0	0	(6,298) 12,968	
6) エバリュエ ーション	(3) 4	(6,726) 9,404	(462) 612	(126) 168	(1,758) 2,344	0	(9,072) 12,528	
7) 基礎調査	1	(2,864) 3,004	198	34	469	(4,362) 4,503	(7,927) 8,208	
8) 事後調査	1	(3,580) 3,755	(248) 247	42	586	0	(4,456) 4,630	
合計	(38) 46	(95,093) 121,045	(5,801) 7,295	(3,801) 6,401	(16,389) 20,541	(32,079) 37,212	(53,163) 192,494	

事項又は科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎									
(目) 調査旅費		(93,315) 95,093	121,045	25,952	※印は調査業務実施費への組替による減									
区分	級	期	航空賃	支度料	日当	宿泊料	国内旅費	旅行雑費	計	人員	小計×1/100 ×0.95	件数	構成比	合計
1) 事前調査	2	35	338,320	50,904	1,675×35日 = 58,625	5,145×3泊 = 174,930	13,367	1,496	637,642	5	(3,188) 3,344	(7) 8	4/5 1/5	(17,853) 21,402 4,463 5,350
2) 実施協議	2	25	338,320	41,918	1,675×25日 = 41,875	5,145×2泊 = 123,480	13,367	1,496	560,456	5	(2,802) 2,939	(5) 7	5/5 0/5	(14,010) 20,573 0
3) 計画打合	2	25	384,200	41,918	2,273×25日 = 56,825	6,820×2泊 = 163,680	13,367	1,496	661,486	4	(2,646) 2,775	(9) 13	4/4 0/4	(23,814) 36,075 0
4) 巡回指導	2	25	338,320	41,918	41,875	123,480	13,367	1,496	560,456	4	(2,242) 2,351	(10) 8	4/4 0/4	(22,420) 18,808 0
5) 機材修理	2	35	338,320	50,904	58,625	174,930	13,367	1,496	637,642	3	(1,913) 2,006	(2) 4	3/3 0	(3,826) 8,024 0
6) エバリュエ ーション	2	25	338,320	41,918	41,875	123,480	13,367	1,496	560,456	4	(2,242) 2,351	(3) 4	4/4 0	(6,726) 9,404 0
7) 基礎調査	2	30	384,200	50,904	2,273×30日 = 68,190	6,820×2泊 = 197,780	13,367	1,496	715,937	5	(3,580) 3,755	1	4/5 1/5	(2,864) 3,004 716 751
8) 事後調査	2	30	384,200	50,904	68,190	197,780	13,367	1,496	715,937	5	(3,580) 3,755	1	5/5 0	3,580 3,755 0
合計					(注) 国内旅費(広島基準2等級3泊3日往復) { 4810 ^円 + (67 ^円 × 3日) + (3417 ^円 × 2泊) + (305 ^円 × 1泊) }						(38) 46		(95,093) 121,045 (5,179) 6,101	
														$2 \times \frac{4}{70} = 13,367^{\text{円}}$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(目) 資機材購送費	(3,730) 3,801	6,401	2,600					
区分	機材購送費	事務用品	医薬品	小計	件数	構成比	合計	
1) 事前調査	円	円	円		(7)	4/5	(235) 269	
		2,140	2,140	42	8	1/5	(59) 67	
2) 実施協議					(5)	5/5	(210) 294	
		2,140	2,140	42	7	1/5	0	
3) 計画打合					(9)	4/4	(378) 546	
		2,140	2,140	42	13	1/4	0	
4) 巡回指導					(10)	4/4	(420) 336	
		2,140	2,140	42	8	1/4	0	
5) 機材修理	(送料のみ) (1,136.006) 1,135.544				(2)	3/3	(2,356) 4,712	
		2,140	2,140	1,178	4	1/3	0	
エバリュエ ーション					(3)	4/4	(126) 168	
		2,140	2,140	42	4	1/4	0	
7) 基礎調査						4/5	34	
		2,140	2,140	42	1	1/5	8	
8) 事後調査						5/5	42	
		2,140	2,140	42	1	1/5	0	
合計					(38)		(3,801) 6,401	
					46		(67) 75	

(注) 機材購送費

$$393,190円 \times 3^{\wedge} \times \left(\frac{87}{100} + \frac{13}{100} \times 0.73 \times \frac{237}{225} \times 0.927124 \right) = 1,136.006円$$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(目) 報告書作成費	(16,083) 16,389	20,541	4,152	※印は調査業務実施への阻害による減				
区分	原稿料	翻訳料	印刷製本費	国内旅費	小計	件数	構成比	合計
1) 事前調査	1,460 × 100 ^枚 = 146,000	1,910 × 100 ^枚 = 191,000	100部/種 1,890 × 60部 × 2種 = 226,800	円	586	7	4/5	(3,282) 3,750
				22,337		8	1/5	(820) 938
2) 実地協議	146,000	191,000	226,800	22,337	586	5	5/5	(2,930) 4,102
						7	0/5	0
3) 計画打合	146,000	191,000	226,800	22,337	586	9	4/4	(5,274) 7,618
						13	0/4	0
4) 巡回指導	1,460 × 50枚 = 73,000	0	1,890 × 60部 × 1種 = 113,400	22,337	209	8	4/4	(2,090) 1,672
						8	0/4	0
5) エバリュエーション	146,000	191,000	226,800	22,337	586	3	4/4	(1,759) 2,344
						4	0/4	0
6) 基礎調査	146,000	191,000	226,800	22,337	586	1	4/5	469
						1	1/5	117
7) 事後調査	146,000	191,000	226,800	22,337	586	1	5/5	586
						1	0/5	0
合計	(注) 国内旅費(広島基準2等級4泊5日往復) $\{5,111. \times 2 + (713 \times 5日) + (3,637 \times 3泊) + 3,242\} \times 2回 \times \frac{4}{10} = 22,337$							(16,389) 20,541 (937) ※ 1,055

事項及科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(目) 調査業務実施費	(31,480) 32,079	37,212	5,133					
	区分	件数	調査旅費	現地調査費④	資機材購送費	報告書作成費	技術費	合計
1) 事前調査	(7) 8	(4,463) 5,350	(290) 330	(59) 67	(820) 938	(22,085) 26,024	(27,717) 32,709	
2) 基礎調査	/	(716) 751	(50) 49	8	117	(3,471) 3,578	(4,362) 4,503	
合計	(8) 9	(5,179) 6,101	(340) 379	(67) 75	(937) 1,055	(25,556) 29,602	(32,079) 37,212	
(技術費内訳)								
区分	期間	直接人件費	諸経費	技術費	小計	件数	金額	
1) 事前調査	25日	技師A $(443,900) \times \frac{10+25+15}{30} \times 1$ $663,860 \times \frac{10+25+15}{30} \times 1$ = 1,106,430 (1,073,170)	$(1,073,170) \times \frac{110}{700}$ $1,106,430 \times \frac{110}{700}$ = 1,217,000 (1,180,490)	$(1,073,170) \times \frac{(1,180,490)}{(1,106,430 + 1,217,070)} \times 0.4$ = 929,400 (901,460)	(3,155) 3,253	(7) 8	(22,085) 26,024	
2) 基礎調査	30日	技師A $663,860 \times \frac{10+30+15}{30} \times 1$ = 1,217,080 (1,180,480)	$(1,180,480) \times \frac{110}{700}$ $1,217,080 \times \frac{110}{700}$ = 1,338,790 (1,298,530)	$(1,180,480) \times \frac{(1,298,530)}{(1,217,080 + 1,338,790)} \times 0.4$ = 1,022,350 (991,600)	(3,471) 3,578	/	(3,471) 3,578	
合計					(8) 9		(25,556) 29,620	

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																																									
(2) プロジェクト実施経費	(44,256) 45,099	55,984	10,885	1. プロジェクト運営費(実施計画費) (1) 諸謝金 101,380円 × 45件 = 4,562 (2) 国内旅費 (鉄道賃 29,220円 + 日当宿泊料 2,800円 × 45件 = 2,575) (3) 庁費 会議費 14,870円 × 45件 = 669 資料作成費 119,500円 × 45件 = 5,378 (1) ~ (3) 13,184 (13,183)																																									
(目) 実施計画費	(44,256) 45,099	55,984	10,885																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">1. プロジェクト 運営費</th> <th colspan="3">2. 国内支援体制整備費</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>(1) 特殊案件 実施計画費</th> <th>(2) 視聴覚教材 等整備費</th> <th>(3) 国内協力 体制整備費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(13,183)</td> <td>(4,198)</td> <td>(20,635)</td> <td>(7,083)</td> <td>(45,099)</td> </tr> <tr> <td>13,184</td> <td>6,297</td> <td>41,994</td> <td>7,589</td> <td>69,356</td> </tr> </tbody> </table>				1. プロジェクト 運営費	2. 国内支援体制整備費			合計	(1) 特殊案件 実施計画費	(2) 視聴覚教材 等整備費	(3) 国内協力 体制整備費	(13,183)	(4,198)	(20,635)	(7,083)	(45,099)	13,184	6,297	41,994	7,589	69,356	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作業部会謝金</th> <th>委員国内旅費</th> <th>部会資料作成費</th> <th>仕様書作成費 (原稿料)</th> <th>仕様書翻訳料</th> <th>仕様書印刷製本費</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>円 5,150 × 6 × 5日</td> <td>円 25,670 × 3 × 2回</td> <td>円 21,770 × 4種</td> <td>円 3,060 × 250枚</td> <td>円 2,650 × 250枚</td> <td>円 5,410 × 50部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>= 155,000</td> <td>= 158,000</td> <td>= 87,000</td> <td>= 765,000</td> <td>= 663,000</td> <td>= 271,000</td> <td>2,099</td> </tr> </tbody> </table>			作業部会謝金	委員国内旅費	部会資料作成費	仕様書作成費 (原稿料)	仕様書翻訳料	仕様書印刷製本費	計	円 5,150 × 6 × 5日	円 25,670 × 3 × 2回	円 21,770 × 4種	円 3,060 × 250枚	円 2,650 × 250枚	円 5,410 × 50部		= 155,000	= 158,000	= 87,000	= 765,000	= 663,000	= 271,000	2,099
1. プロジェクト 運営費	2. 国内支援体制整備費				合計																																								
	(1) 特殊案件 実施計画費	(2) 視聴覚教材 等整備費	(3) 国内協力 体制整備費																																										
(13,183)	(4,198)	(20,635)	(7,083)	(45,099)																																									
13,184	6,297	41,994	7,589	69,356																																									
作業部会謝金	委員国内旅費	部会資料作成費	仕様書作成費 (原稿料)	仕様書翻訳料	仕様書印刷製本費	計																																							
円 5,150 × 6 × 5日	円 25,670 × 3 × 2回	円 21,770 × 4種	円 3,060 × 250枚	円 2,650 × 250枚	円 5,410 × 50部																																								
= 155,000	= 158,000	= 87,000	= 765,000	= 663,000	= 271,000	2,099																																							
				(注) 国内旅費 (広帯基準 2等級 2泊3日) $\{7,379 + (1,398 \times 3日) + (7,079 \times 2泊) + 6,357\} \times 2 \times \frac{4}{10} = 25,670円$																																									

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(2) 視聴覚教材等整備費</p> <p>① 諸謝金 20,178 (13,072)</p> <p>イ. 教材整備国内作業費</p> <p>イ) 直接人件費</p> <p style="margin-left: 2em;">主任技師 1人/月 $\frac{(37,820)}{39,030} \times 20 \times 1 \text{月} = 781 (756)$</p> <p style="margin-left: 2em;">技師(A) 2人/月 $\frac{(32,170)}{33,170} \times 20 \times 2 \text{月} = 1,327 (1,287)$</p> <p>ロ) 諸経費(直接人件費の110%相当額)</p> <p style="margin-left: 2em;">$\frac{(2,043)}{2,108} \times \frac{110}{100} = 2,318 (2,247)$</p> <p>ハ) 技術費(直接人件費+諸経費)の40%相当額</p> <p style="margin-left: 2em;">$\frac{(2,043)}{(2,108 + 2,318)} \times \frac{40}{100} = 1,770 (1,716)$</p> <p style="margin-left: 2em;">小計(イ)~(ハ) $\frac{(6,006)}{6,196} \times 3 \text{件} = 18,588 (12,012)$</p> <p>ロ. 教材翻訳料</p> <p style="margin-left: 2em;">$2,650 \text{円} \times 100 \text{枚} \times 2 \text{種} \times 3 \text{件} = 1,590 (1,060)$</p> <p>計 イ + ロ 20,178 (13,072)</p> <p>② 国内旅費(広島基準2等級3泊4日)</p> <p style="margin-left: 2em;">$\left\{ (7,600^{\text{円}} + 5,700^{\text{円}}) \times 2 + (1,900^{\text{円}} \times 4 \text{日} + 9,900^{\text{円}} \times 3 \text{泊}) \right\}$ $\times 2 \text{人} \times 3 \text{件} = 383 (255)$</p>

(317)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>③ 庁費</p> <p>(イ) 教材購入費</p> <p>教科書専門書等購入費</p> $4,200円 \times 10種 \times 3件^{(2)} = 126(84)$ <p>(ロ) 教材作成費</p> <p>① 教科書マニュアル等印刷製本費</p> $2,780円 \times 100部 \times 2種 \times 3件^{(2)} = 1,668(1,112)$ <p>② スライド作成費(100枚)</p> $840,000円 \times 3種 \times 3件^{(2)} = 7,560(5,040)$ <p>(ハ) 会議費 $500円 \times 20人 \times 2回 \times 3件 = 60(40)$</p> <p>(ニ) 教材送料(テヘラン基準) ④</p> $2,312円 \times 30kg \times 4種 \times \frac{287}{217} \times 0.927124 \times 3件^{(2)} = 843(564)$ <p>(ホ) プロジェクター等購入費</p> $234,000円 \times 3件^{(2)} = 702(468)$ <p>小計 (イ) ~ (ホ) $10,959(7,308)$</p> <p>計 ① ~ ③ $31,520(20,635)$</p> <p>(3) 国内協力体制整備費</p> <p>① 諸謝金 $106,380円 \times 14件 = 1,489(1,489)$</p> <p>② 国内旅費 $66,100円 \times 4人 \times 14件 = 3,702(3,702)$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>③ 庁 費</p> <p>会議費 $14,882円 \times 14件 = 208 (209)$</p> <p>資料作成費 $120,238円 \times 14件 = 1,683 (1,683)$</p> <p>計 ①～③ $2,082 (2,083)$</p> <p>合計 (1)～(3) $42,800 (41,916)$</p> <p>(注) 国内旅費(広島基準2等級3泊4日)</p> <p>$\{ (14,400円 \times 2) + (1,900円 \times 4日) + (9,900円 \times 3泊) \}$</p> <p>$= 66,100円$</p>

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
2. 専門家族遣に必要な経費 (目) 派遣諸費		(2810.814) 2818.284 (1,700,360) 1,700.360	3,202,660 1,992,644	384,376 292,284	全額 卒 1. 専門家赴任旅費 専門家 (328) 348人 家族 (230) 261人 長期調査員 (10) 12人							
区分	等級	期間	航空賃	支度料	移転料	着後手当	旅行雑費	国内旅費	日当宿泊料	小計x1.13x0.95	人数	合計
1) 継続	3	12	0	0	0	0	0	0	0	0	(75) 95	0
2) 帰国	3	5	730,790	0	$262,840 \times \frac{115}{100} = 308,020$	0	$3,168 \times 3 = 9,500$	21,499	0	(1,069,809) 1,148,440	(60) 75	(64,189) 86,133
3) 交替・新規	3	7	730,790	$207,055 \times (1 + \frac{2}{3}) = 348,425$	308,020	$11,023 \times 10 \times (1 + \frac{2}{3} + \frac{2}{3}) = 220,460$	9,500	21,499	0	(1,638,694) 1,759,138	(95) 91	(155,676) 160,082
4) 短期	3	3	461,380	94,330	0	0	2,500	19,810	$9,900 \times 31 + 7,920 \times 60 = 782,100$	(1,360,120) 1,460,089	(98) 87	(133,292) 127,028
5) 長期調査員	3	6	271,500	165,000	205,500	130,000	5,000	10,076	0	(787,076) 844,926	(10) 12	(7,871) 10,139
合計											(338) 360	(361,028) 383,382

(注) 国内旅費 (広島基準 3等級 3泊 3日 短期往復、長期片道)

短期 { 鉄道賃 日当 宿泊料
 $8,443円 + (918円 \times 3日) + (4,692円 \times 2泊 + 4,182円 \times 1泊) \times 2 \times \frac{4}{10} = 19,810円$

長期(本人) { $8,443円 + (918円 \times 3日) + (4,692円 \times 2泊 + 4,182円 \times 1泊) \times 1 \times \frac{4}{10} = 9,905円$

長期(家族) { $12,664円 + 16,320円 \times (\frac{2}{3} + \frac{2}{3}) \times 1 \times \frac{4}{10} = 11,594円$

長期調査員 { $8,870円 + (918円 \times 3日) + (4,692円 \times 2泊 + 4,182円 \times 1泊) \times 1 \times \frac{4}{10} = 10,076円$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				2. 滞在費 1,163,788 (1,007,642)
				(1) 長期調査員 $390,900 \text{円} \times 72 \text{人月} \times \frac{(60)}{100} = 28,145 (23,454)$
				(2) 長期専門家 $390,900 \text{円} \times 2,152 \text{人月} \times \frac{(1,865)}{100} \times \frac{135}{100} = 1,135,643 (984,188)$
				3. 住居手当 271,550 (235,043)
				(1) 長期調査員 $203,500 \text{円} \times 72 \text{人月} \times \frac{(60)}{100} = 8,791 (7,326)$
				(2) 長期専門家 $203,500 \text{円} \times 2,152 \text{人月} \times \frac{(1,865)}{100} \times \frac{60}{100} = 262,759 (227,717)$
				4. 給学手当 47,120 (41,613)
				(1) 長期調査員 $390,900 \text{円} \times 72 \text{人月} \times \frac{(60)}{3} \times \frac{15}{100} = 1,407 (1,173)$
				(2) 長期専門家 $390,900 \text{円} \times 2,152 \text{人月} \times \frac{(1,865)}{3} \times \frac{15}{100} = 42,061 (36,451)$
				(3) 短期専門家 $782,000 \text{円} \times 1.13 \times 0.95 \times 87 \text{人} \times \frac{(98)}{3} \times \frac{15}{100} = 3652 (3,989)$
				5. 僻地手当 45,426 (39,368)
				(1) $390,900 \text{円} \times \frac{135}{100} \times 2,152 \text{人月} \times \frac{(1,865)}{100} \times \frac{20}{100} \times \frac{10}{100} = 22,713 (19,684)$
				(2) $390,900 \text{円} \times \frac{135}{100} \times 2,152 \text{人月} \times \frac{(1,865)}{100} \times \frac{10}{100} \times \frac{20}{100} = 22,713 (19,684)$
				6. 子女教育手当 18,077 (15,666)
				定額分 $18,000 \text{円} \times 2,152 \text{人月} \times \frac{(1,865)}{3} \times \frac{1}{3} \times (1 + \frac{2}{5}) = 18,077 (15,666)$

(321)
(单位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 携行機材費	(76.497) 77.954	72.828	△ 5.126	7. 在勤手当改善分 63.301 (0) 計 1 ~ 7 1.992,644 (1,700,360) 1. 専門家(短期、新規、交替) $341,730円 \times \left(\frac{198}{87人} + \frac{659}{36人} + \frac{36}{55人} \right) = 60.828 (65,954)$ 2. 長期調査員 $3,000 \times 4人 = 12,000$ 計 i) ~ ii) 72.828 (77,954)
(目) 現地業務費	(79.255) 80.764	94.561	13.797	全額外 1. 現地業務費 $126,946円 \times \frac{(305)}{351700\text{日}} \times \frac{237}{225} \times 0.927124 = 43.514 (37,971)$ 2. 貧困国対策費 $149,310円 \times \frac{(120)}{154700\text{日}} \times \frac{237}{225} \times 0.927124 = 22.455 (17,571)$ 3. 現地研究費 $128,700円 \times \frac{(103)}{130700\text{日}} \times \frac{237}{225} \times 0.927124 = 16.339 (13,000)$ 4. 長期調査員調査費 $94,000円 \times \frac{247000\text{日}}{225} \times 0.927124 = 2,203 (2,212)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				<p>5. 技術普及広報費 $500,000円 \times 10件 \times \frac{237}{247} = 4,798 (4,818)$</p> <p>6. 技術交換費 $\frac{(1,345)}{1,386}円 \times 2件 \times \frac{237}{238} = 2,760 (2,690)$</p> <p>(1) 航空賃 $232,300円 \times 2人 = 464,600円$ (2) 日当 $3,200円 \times 30日 \times 2人 = 192,000円$ (3) 宿泊料 $9,800円 \times 29日 \times 2人 = 568,400円$ (1) ~ (3) $1,225,000円 \times 1.088 \times 0.95 = 1,266 (1,225)$</p> <p>(4) 現地活動費 $48,500円 \times 2人 = 97$</p> <p>(5) 送料 $2,300円 \times 10kg = 23$</p> <p>小計 (1)~(5) $1,386 (1,345)$</p> <p>7. 応急対策費 $104,270円 \times 12月 \times 2件 \times \frac{237}{238} = 2,492 (2,502)$</p> <p>計 1~7 $94,561 (80,764)$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎															
(B) 所属先給与補填経費	(710.353) 710.353	820.901	110.548	<p>全額 ☆</p> <p>1. 給与補填経費</p> $\frac{(405.800)}{418.400} \times \frac{(2.291)}{2.616} = 729.690 (579.753)$ <p>(人月内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>調査員</td> <td>総務</td> <td>簿記</td> <td>交際</td> <td>短期</td> </tr> <tr> <td>(155)人月</td> <td>(900)人月</td> <td>(300)人月</td> <td>(252)人月</td> <td>(302)人月</td> </tr> <tr> <td>183</td> <td>1,140</td> <td>375</td> <td>385</td> <td>261</td> </tr> </table> $(.75 \times 1月 + 5.5 \times 2月 + 87 \times 1月) = 2.616 (2291)$ <p>2. 新規及び長期調査員</p> $\frac{(405.800)}{418.400} \times \left\{ \frac{(413)}{252} \times 1月 + \frac{(60)}{72} \times 2月 + \frac{(59)}{36} \times 2月 + \frac{(10)}{12} \times 1月 \right\} \times \frac{(458)}{8} = 91.211 (130.600)$ <p>計 1 + 2 820.901 (710.353)</p>	調査員	総務	簿記	交際	短期	(155)人月	(900)人月	(300)人月	(252)人月	(302)人月	183	1,140	375	385	261
調査員	総務	簿記	交際	短期															
(155)人月	(900)人月	(300)人月	(252)人月	(302)人月															
183	1,140	375	385	261															
(B) 技術費	(137.950) 140.577	102.527	△ 38.050	<p>技師(A)相当</p> $\frac{(31.320)}{32.290} \times 20 \times 2.94 \times \frac{(458)}{324} \times \frac{1}{6} = 102.527 (140.577)$ <p>※ 新規 (59) (36人 × 7月) + 長期調査員 (10) (12人 × 6月) = 324人月</p>															

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎												
(目)連絡会議旅費	(17.431) 17.763	18.417	654	<p>1. 外国旅費 (1等級テヘラン基準) 開催地：東京</p> <table border="1" data-bbox="1558 640 2359 850"> <thead> <tr> <th>航空賃</th> <th>日当・宿泊料</th> <th>旅行雑費</th> <th>計×1,000×0.95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(26) 円 504,430 × 28人</td> <td>{ (3,231 + 7,964) × 2 + (1,398 + 7,077) × 8 } (26) 円 × 28人</td> <td>(26) 円 2,185 × 28人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(13,115,180) = 14,124,040</td> <td>(2,449,356) = 2,637,768</td> <td>(56,810) = 61,180</td> <td>(15,621) 16,110</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 業務諸費 1) 会議費 2,960円 × (28 × 4人) × 10回 = 2,307 (2,142)</p> <p>計 1 + 2 18.417 (17.763)</p>	航空賃	日当・宿泊料	旅行雑費	計×1,000×0.95	(26) 円 504,430 × 28人	{ (3,231 + 7,964) × 2 + (1,398 + 7,077) × 8 } (26) 円 × 28人	(26) 円 2,185 × 28人		(13,115,180) = 14,124,040	(2,449,356) = 2,637,768	(56,810) = 61,180	(15,621) 16,110
航空賃	日当・宿泊料	旅行雑費	計×1,000×0.95													
(26) 円 504,430 × 28人	{ (3,231 + 7,964) × 2 + (1,398 + 7,077) × 8 } (26) 円 × 28人	(26) 円 2,185 × 28人														
(13,115,180) = 14,124,040	(2,449,356) = 2,637,768	(56,810) = 61,180	(15,621) 16,110													
(目)中堅技術者養成対策費	(19.255) 19.472	15.512	△ 3.960	<p>全額 ⑥</p> <p>対象プロジェクト名： インドネシア火山砂防技術センター</p> <p>1. 直接経費 (1) 研修参加旅費 ☆ 集合解散旅費 34,347円 × 25人 × 3回 × $\frac{7}{5}$ = 1,932</p>												

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(2) 教材費</p> <p>(1) 印刷製本費 $52 \text{円/頁} \times 60 \text{頁} \times 25 \text{人} \times 10 \text{種} \times 3 \text{回} = 2,340$</p> <p>(ロ) 翻訳料 $990 \text{円/頁} \times 60 \text{頁} \times 10 \text{種} = 594$</p> <p>(3) 実習旅費 ☆ $16,658 \text{円} \times 25 \text{人} \times 3 \text{月} \times 3 \text{回} = 3,748$</p> <p>2. 研修諸費 10,858</p> <p>(1) 研修資料費 $880.150 \text{円/月} \times 3 \text{月} \times 3 \text{回} = 7,921$</p> <p>(2) 指導同伴旅費 $16,658 \text{円} \times 5 \text{人} \times 3 \text{月} \times 3 \text{回} = 750$</p> <p>(3) 特別講師謝金 ☆ $2,430 \text{円/時間} \times 4 \text{時間} \times 25 \text{日} \times 1 \text{人} \times 3 \text{月} \times 3 \text{回} = 2,187$</p> <p>計 1 + 2 19,472</p> <p style="text-align: right;">$(19,472 \times 1 \text{年} \times 0.8) \times \frac{237}{238} = 15,512$ (19,472)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
(目) 一時帰国旅費	(63,221) 64,425	78,185	13,760	本人 (75) 95人 家族 (75) 95人							
				区分	航空賃	日当・宿泊料	国内旅費	旅行雑費	小計×1,000 ×0.95	人数	合計
				本人	(千円) 円 338,530	(円) 1,446×2日 ×2 = 5,784	円 11,851	円 1,506×2 = 3,012	(359) 344	(75) 95	(26,925) 32,680
				家族	474,120	5,784	13,871	6,024	(500) 479	(75) 95	(37,500) 45,505
計				(注) 国内旅費(広島基準3等級3泊3日往復)			(64,425)				
				本人 { 2,443円 + (918円×3日) + (4,692円×2泊 + 4,182円) } × 2 × $\frac{4}{10}$ × 0.93 × 0.643264 = 11,851円							
				家族 { 12,664円 + (16,320円 × $\frac{2+1}{3}$) } × $\frac{4}{10}$ × 2 × 0.93 × 0.643264 = 13,871円							
(目) 子女呼寄旅費	(6,472) 6,616	7,085	469	538,840円 × (1 - $\frac{25}{100}$) - 20,000円 = 384,130円 384,130円 × ($\frac{230}{261}$ - 95人) × $\frac{1}{9}$ = 7,085 (6,616)							

(327)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
3. 機材供与に必要経費	(1,453,800) 1,453,885	1,481,735	27,850	
(目) 機材供与費	(1,449,331) 1,449,331	1,477,099	27,768	<p>全額★ 送料⑥</p> $(1,505,019) \times \left(\frac{87}{100} + \frac{13}{100} \times 0.73 \times \frac{287}{225} \times 0.927124 \right) = 1,477,099$ <p>1. 新規 254,348 (240,000)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ インドネシア電話線路メンテナンスセンター 5,000 ○ マレーシアコンピューター研修所 50,000 ○ パルー地震防災対策センター 70,000 ○ 日韓機械技術訓練院 72,348 ○ アルゼンチン国鉄中央研修センター 50,000 <p>2. 継続 1,280,019 (1,265,019)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 北京郵電センター 5,000 ○ パキスタン建設機械技術訓練センター 5,000 ○ フィリピン国立航海技術訓練所 5,000 ○ タイ水道技術訓練センター 100,000 ○ サウジアラビア海水淡水化訓練センター 50,000 ○ サンアンドレス大学鉱床学研究所 20,019 ○ ブラジルSENAI エスプリットサント支部拡充 50,000 ○ メキシコ水理模型実験センター 50,000 ○ 中国企業管理センター 60,000 ○ スマトラ化学工業研修商売センター 30,000 ○ タイ労災リハビリテーションセンター 10,000 ○ 日暹技術教育センター 70,000 ○ フィリピン電気通信訓練センター 30,000 ○ エジプト繊維研究所拡充センター 90,000 ○ マレーシア国立計量研究所 50,000 ○ フィリピン金属鑄造技術センター 10,000 ○ インドネシア火山防衛技術センター 50,000 ○ フィリピン工科大学総合訓練センター 60,000 ○ ジョルダン電力訓練センター 50,000

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎											
(目) 機械設計試作改良費	(4,469) 4,554	4,636	82	○ ジョモケニヤツ農工大 70,000 ○ ベル-SENATI 職業訓練センター 100,000 ○ パナマ職業訓練センター 50,000 ○ エジプトCTA電機訓練センター 20,000 ○ インドネシアラジオ・テレビ放送訓練センター 100,000 ○ パナマ国書教育テレビ放送計画 20,000 ○ 日ソ技術学院 30,000 ○ ヒルマ橋梁技術訓練センター 10,000 ○ セネガル職業訓練センター 35,000 (4,554) 4,636 × 1件 = 4,636											
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>人件費</th> <th>諸経費</th> <th>技術研究費</th> <th>材料費</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 技師C 円 (20,600) 21,300 × 20日 × $\frac{60}{30}$日 </td> <td> 円 人件費 × 1.1 (824,000) 852,000 × 1.1 </td> <td> (人件費 + 諸経費) 円 × 0.4 (824,000) (906,400) (852,000 + 937,200) × 0.4 </td> <td>円</td> <td> (4,554) 4,636 </td> </tr> <tr> <td>= 852,000</td> <td>= 937,200</td> <td>= 715,680</td> <td>213,350</td> <td>4,636</td> </tr> </tbody> </table>	人件費	諸経費	技術研究費	材料費	合計	技師C 円 (20,600) 21,300 × 20日 × $\frac{60}{30}$ 日	円 人件費 × 1.1 (824,000) 852,000 × 1.1	(人件費 + 諸経費) 円 × 0.4 (824,000) (906,400) (852,000 + 937,200) × 0.4	円	(4,554) 4,636	= 852,000
人件費	諸経費	技術研究費	材料費	合計											
技師C 円 (20,600) 21,300 × 20日 × $\frac{60}{30}$ 日	円 人件費 × 1.1 (824,000) 852,000 × 1.1	(人件費 + 諸経費) 円 × 0.4 (824,000) (906,400) (852,000 + 937,200) × 0.4	円	(4,554) 4,636											
= 852,000	= 937,200	= 715,680	213,350	4,636											
対象プロジェクト名： ジョモケニヤツ農工大															

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																								
4. アフターケアに必要な経費	(63,135)	93,890	30,574	対象プロジェクト名：ジョルダン電子工学センター ：マレインア船舶機師士養成計画 ：イランカラジ小規模工業技術訓練センター																								
(1) 調査出張経費	63,306 (6,583) 6,708	10,416	3,708																									
(目) 調査旅費	(4,773) 4,864	7,653	2,789																									
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>期間</th> <th>航空賃</th> <th>支度料</th> <th>日当・宿泊料</th> <th>旅行雑費</th> <th>国内旅費</th> <th>単価計</th> <th>人数</th> <th>小計×1044x0.95</th> <th>件数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>10日</td> <td>テヘラン基準 543,000</td> <td>33,015</td> <td>3,200×10日 + 2,800×9泊 = 120,200</td> <td>2,500</td> <td>112,000</td> <td>810,715</td> <td>3</td> <td>(2,432) 2,551</td> <td>(2) 3</td> <td>(4,864) 7,653</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 国内旅費(広島基準3等級3泊3日) (13,300円×2 + 1600円×3日 + 8,200円×3泊) × 2 = 112,000円</p>	等級	期間	航空賃	支度料	日当・宿泊料	旅行雑費	国内旅費	単価計	人数	小計×1044x0.95	件数	合計	3	10日	テヘラン基準 543,000	33,015	3,200×10日 + 2,800×9泊 = 120,200	2,500	112,000	810,715	3	(2,432) 2,551	(2) 3	(4,864) 7,653
等級	期間	航空賃	支度料	日当・宿泊料	旅行雑費	国内旅費	単価計	人数	小計×1044x0.95	件数	合計																	
3	10日	テヘラン基準 543,000	33,015	3,200×10日 + 2,800×9泊 = 120,200	2,500	112,000	810,715	3	(2,432) 2,551	(2) 3	(4,864) 7,653																	
(目) 現地調査費	(381) 388	579	191	全額(外)																								
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>車輛等備上費</th> <th>資料等購入費</th> <th>会議費</th> <th>単価計</th> <th>外貨交換 手数料(1%)</th> <th>小計×$\frac{237}{225}$ × 0.927724</th> <th>件数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,440×8日×1台 = 59,520</td> <td>260×5種 = 1,300</td> <td>2,460×25人×2回 = 123,000</td> <td>195,520</td> <td>1,955</td> <td>(194) 193</td> <td>(2) 3</td> <td>(388) 579</td> </tr> </tbody> </table>	車輛等備上費	資料等購入費	会議費	単価計	外貨交換 手数料(1%)	小計× $\frac{237}{225}$ × 0.927724	件数	合計	7,440×8日×1台 = 59,520	260×5種 = 1,300	2,460×25人×2回 = 123,000	195,520	1,955	(194) 193	(2) 3	(388) 579								
車輛等備上費	資料等購入費	会議費	単価計	外貨交換 手数料(1%)	小計× $\frac{237}{225}$ × 0.927724	件数	合計																					
7,440×8日×1台 = 59,520	260×5種 = 1,300	2,460×25人×2回 = 123,000	195,520	1,955	(194) 193	(2) 3	(388) 579																					
(目) 資機材購送費	(41) 42	63	21	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資機材借料購入費</th> <th>医薬品</th> <th>小計</th> <th>件数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,500</td> <td>10,500</td> <td>21</td> <td>(2) 3</td> <td>(42) 63</td> </tr> </tbody> </table>	資機材借料購入費	医薬品	小計	件数	合計	10,500	10,500	21	(2) 3	(42) 63														
資機材借料購入費	医薬品	小計	件数	合計																								
10,500	10,500	21	(2) 3	(42) 63																								

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	種 算 基 礎					
				原稿料	印刷製本費	国内旅費	小計	件数	合計
(目) 報告書作成費	(1,064) 1,084	1,626	542	円 2,400 × 100枚 = 240,000	円 2,980 × 50部 × 1種 = 149,000	円 153,360	542	(2) 3	(1,084) 1,626
(目) 実地計画費	(324) 330	495	165	<p>(注) 国内旅費(広島基準3等級3泊4日)</p> $(13,300^{\text{円}} \times 2 + 1,900^{\text{円}} \times 4日 + 9,900^{\text{円}} \times 3泊) \times 3人 \times \frac{2}{10} \times 2$ $= 153,360^{\text{円}}$ <p>165 × (2) 3件 = 495 (330)</p> <p>1. 謝金 6,020円 × 2人 × 2回 = 24</p> <p>2. 国内旅費 63,900円 × 2人 × 2回 × $\frac{1}{5}$ = 51 内訳(広島基準3等級3泊4日) $13,300^{\text{円}} \times 2 + 1,900^{\text{円}} \times 4日 + 9,900^{\text{円}} \times 3泊 = 63,900^{\text{円}}$</p> <p>3. 庁費</p> <p>(1) 会議費 590円 × 15人 × 2回 = 18</p> <p>(2) 印刷費 2,980円 × 20部 × 1種 = 60</p> <p>(3) 送料 4,020円 × 242 = 8</p> <p>(4) 資料購入費 2,100円 × 2種 = 4</p> <p>計 (1) ~ (4) 90</p> <p>合計 1 ~ 3 165</p>					

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
(2) 専門家派遣経費		(14,488)	22,815	8,281							
(目) 派遣諸費		14,534 (7,176) 7,766	11,556	4,380							
区分	等級	期間	航空賃	支度料	日当・宿泊料	旅行雑費	国内旅費	語学手当	小計(1)×3×0.95	人数	合計
短期	3	3	円	円	3,200×31日+9,800×30日 +(3,200+9,800)×30日×0.9 +(3,200+9,800)×30日×0.8 = 1,056,200	円	円	円 1,056,200× $\frac{15}{100}$ × $\frac{1}{3}$	円 (1,794) 1,926	人 (4) 6	(7,176) 11,556
			543,000	94,330		2,500	44,800	=52,810			
							国内旅費内訳 $\{13,300円 \times 2 + (1,600円 + 8,200円) \times 3\} \times 2 \times \frac{4}{10} = 44,800円$				
(目) 携行機材費		(1,963) 2,000	3,000	1,000	500,000円 × 2人 × 3件 ⁽²⁾ = 3,000 (2,000)						
(目) 現地業務費		(479) 488	729	241	全額 ⑥ $40,000円 \times 3ヶ月 \times 2人 \times 3件 \times \frac{237}{217} \times 0.927124$ = 729 (488)						
(目) 所属先給与補填経費		(4,870) 4,870	7,530	2,660	全額 ⑦ 1. 調査団 $\frac{405,800}{418,400円} \times \frac{10}{30} \times 3人 \times \frac{2}{3} = 279 (271)$ 2. 専門家 $\frac{405,800}{418,400円} \times (3+1)月 \times 2人 \times \frac{2}{3} = 2,231 (2,164)$ 計 1 + 2 = 2,510 (2,435) $2,510 \times 3件 \times \frac{1}{3} = 7,530 (4,870)$						

(332)

(單位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(3) 機材供与経費 (目) 機材供与費	(42.064) 42.064 (42.064) 42.064	60.649 60.649	18.585 18.585	全額 送料 ② $\frac{(21,840)}{21,000} \times \left(\frac{82}{100} + \frac{13}{100} \times 0.73 \times \frac{257}{225} \times 0.927124 \right) \times 2 \text{件}^{(2)}$ $= 60.649 (42.064)$

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
5. 人造りセンター協力に必要な経費	(699.141) 701.957	915.314	213.357									
(1) 調査団派遣に必要な経費	(54.765) 55.810	30.362	△ 25.448									
(イ) 調査団派遣経費	(17.271) 17.601	18.160	559									
(ロ) 調査旅費	(11.443) 11.661	12.230	569									
区分	等級	期間	航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	単価×1.104 ×0.95	人数	件数	合計
計画打合	3	15日	円 291,760	円 66,030	円 3,200×15日 = 48,000	円 2,800×14泊 = 137,200	円 5,000	円 35,040	円 (583.030) 611,482	人 4	件 5	(11,661) 12,230
			(注) 国内旅費(広島基準3等級3泊3日往復)									
			$\{ 14,400円 + (8,200円 \times 3泊 + 1,600円 \times 3日) \} \times 2 \times \frac{4}{70}$ $= 35,040円$									
(ロ) 現地調査費			(1842) 1,878		1,870	△	8	全額 ⑥				
通訳備上費	車輦等備上費	通信運搬費	資料購入費	会議費	単価計	外貨交換 手数料(1%)	小計× $\frac{237}{229}$ ×0.927124	件数	合計			
円 2,760×13日×1人	円 7,440×13日×2台	円 70×30話×3回	円 2,600×20種	円 2,460×20人×2回	円 386.020	円 3,860	円 (375.673) 374,095	件 5	(1,878) 1,870			
= 35,880	= 193,440	= 6,300	= 52,000	= 78,400								

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
(目) 資機材購送費	(546) 546	544	△ 2	資機材購入費	医薬品購入費	②送料 × $\frac{237}{229}$ × 0.927124	小計	件数	合計		
				円	円	円	円	件			
				10,500	21,140	4,020 × 20% (97,470) = 77,145	(109,110) 108,785	5	(546) 544		
(目) 報告書作成費	(3450) 3,516	3,516	0								
原稿料	翻訳料	校閲料	国内旅費	印刷製本費	資料作成費	会議費	交通費	送料	単価計	件数	合計
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	件	
2,200 × 80枚	1,910 × 50枚	1,080 × 50枚	50,000 × 5人 × $\frac{4}{70}$ × 1日	2,980 × 60部	550 × 5種 × 20部	500 × 10人 × 3回	550 × 4人 × 3回	740 × 30枚			
= 176,000	= 95,500	= 54,000	= 100,000	= 178,800	= 55,000	= 15,000	= 6,600	= 22,200	703,100	5	3,516
(口) プロジェクト実施経費	(37,494) 38,209	12,202	△ 26,007								
(目) 実施計画費	(37,494) 38,209	12,202	△ 26,007								
				(注) 国内旅費内訳(広島基準3等級2泊3日) $\{ 14,400円 \times 2 + (8,200円 \times 2泊 + 1,600円 \times 3日) \} = 50,000円$ 1 ~ 3 = 12,202 (38,209) 1. プロジェクト運営費 953 × 5 ⁷⁰²²⁷ = 4765 (1) 諸謝金 委員会謝金 5750円 × 8人 × 5回 = 206							

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	種 算 基 礎
				<p>仕様書作成謝金 $3060円 \times 100枚 = 306$</p> <p>(2) 国内旅費 (広島基準 3等級 2泊3日)</p> $\{14,400円 \times 2回 + (8,200円 \times 2泊 + 1,600円 \times 3日)\} \times 2 \times 3回$ <p style="text-align: right;">= 300</p> <p>(3) 庁 費</p> <p>会議費 $500円 \times 10人 \times 6回 = 30$</p> <p>資料作成購入費 $3,600円 \times 30種 = 111$</p> <p>計 (1)~(3) 953</p> <p>2. 国内支援体制整備費 2,526 (33,444)</p> <p>(1) 国内協力体制整備費</p> $505,152円 \times 570227 = 2,526$ <p>イ. 謝 謝 金 106,380円</p> <p>ロ. 国内旅費 $66,100円 \times 4人 = 264,400円$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				八月費 134,372円 (イ) 会議費 14,882円 (ロ) 資料作成費 119,490円 計 1～ハ 505,152円 (注) 国内旅費 (広島基準 2等級 3泊4日) $\{14,400円 \times 2日 + (9,900円 \times 3日 + 1,900円 \times 4日)\} = 66,100円$
				3. 沖縄センター打合せ会議費 4,911(0) (1) プロジェクト責任者受入経費 3,888(0) イ 航空費 $428,400円 \times 5人 = 2,142(0)$ ロ 滞在費 $28,000円 \times 10日 \times 5人 = 1,400(0)$ ハ 国内旅費 $69,200円 \times 5人 = 346(0)$ (2) 国内支援機関参加経費 592(0) $118,300円 \times 5人 = 592(0)$ (注) 国内旅費 $69,200円 + (9,900円 \times 4日 + 1,900円 \times 5日) = 118,300円$
				(3) 庁費 431(0) イ 資料作成購入費 $3,770円 \times 1種 \times 20部 = 75(0)$ ロ 車輦借上費 $15,300円 \times 3台 \times 5日 = 230(0)$ ハ 会議費 $2,100円 \times 10人 \times 6回 = 126(0)$ 計 (1)～(3) 4,911(0)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎									
(2) 専門家派遣に必要な経費		(567.183)	825.268	256.314	全額 ☆ 1. 赴帰任旅費内訳 専門家122人 家族72家族									
(目) 派遣諸費		(328.825) 328.825	509.237	180.412										
区分	等級	期間	航空賃	支度料	移転料	着後手当	旅行雑費	国内旅費	日当・宿泊料	小計(30日)	人数	合計		
専 門 家	継続	3	12	0	0	0	0	0	0	0	(25) 14	0		
	帰国	3	5	(0) 372.750	0	(0) 433.550	0	(0) 15.000	(0) 37.920	(0) 922.373	(0) 25	(0) 23.059		
	新交 規管	3	(1) 7	372.750	275.000	433.550	260.000	15.000	37.920	(1,394,220) 1,496.695	(14) 33	(1,951,919) 49.391		
	短期	3	(2) 3	291.760	80.180	0	0	5.000	35.040	(3,200×31 ^日 +9,800×30 ^日) + (3,200+9,800)×0.9×30 ^日 + (3,200+9,800)×0.8×30 ^日 = (744,200) 1,056,200	(1,156,180) 1,576,091	(57) 50	(65,902) 78.805	
合計											(96) 122	(85,421) 151,255		

(注) 国内旅費(広島基準3等級3泊3日)

短期 $\{14,400円 + (8,200円 \times 3泊 + 1,600円 \times 3日)\} \times 2回 \times \frac{4}{10} = 35,040円$

長期(本人) $\{14,400円 + (8,200円 \times 3泊 + 1,600円 \times 3日)\} \times \frac{4}{10} = 17,520円$

長期(家族) $\{14,400円 \times \frac{2+1}{2} + (8,200円 \times 3泊 + 1,600円 \times 3日)\} \times \frac{4}{10} = 20,400円$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				2. 滞在費
				長期専門家 $390,900円 \times \left(\overset{(25)}{14人} \times 12月 + \overset{(0)}{25人} \times 5月 + \overset{(4)}{33人} \times \overset{(4)}{7月} \right) \times \frac{135}{100} = 276,523 (187,867)$
				3. 住居手当 長期専門家 $203,500円 \times \left(\overset{(25)}{14人} \times 12月 + \overset{(0)}{25人} \times 5月 + \overset{(4)}{33人} \times \overset{(4)}{7月} \right) \times \frac{60}{100} = 63,980 (43,468)$
				4. 語学手当 長期専門家 $390,900円 \times \overset{(356)}{524人} \times \frac{1}{3} \times \frac{15}{100} = 6,958$ 短期専門家 $\overset{(744,200)}{1,056,200円} \times 1.13 \times 0.95 \times \overset{(57)}{50人} \times \frac{1}{3} \times \frac{15}{100} = 2,835$
				5. 子女教育手当 (1) 定期分 $18,000円 \times \overset{(356)}{524人} \times \frac{1}{3} \times \left(1 + \frac{2}{5}\right) = 4,402$ 計 1 ~ 5 $\overset{(328,825)}{509,237}$
(目) 携行機材費	$\overset{(23,810)}{24,263}$	28,364	4,101	$341,730円 \times \left(\overset{(14)}{8人} + \overset{(0)}{25人} + \overset{(37)}{50人} \right) = 28,364$

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 現地プロジェクト運営費	(14,643) 14,922	16,223	1,301	全額 ㊦ 1. 現地業務費 $126,946円 \times 60\% \text{ (27ヶ月)} = 7,617$ 2. 貧困国対策費 $125,530円 \times 36\% \text{ (12ヶ月)} = 4,519$ (1,506) 3. 現地研究費 $132,560円 \times 36\% \text{ (48ヶ月)} = 4,772$ (6,363) 1) ~ 3) の合計 $\times \frac{237}{229} \times 0.927124 = 16,223$ (14,922)
(目) 技術者養成対策費	(22,318) 22,743	22,635	△ 108	全額 ㊦ $\frac{(23,607)}{23,590} \times 170\% \times \frac{237}{229} \times 0.927124 = 22,635$ (22,743) 1. 国内研修対策費 20,349 a 直接経費 19,324 (1) 研修参加費 $34,344円 \times 30人 \times \frac{3}{4} \times 3回 = 2,318$ (2) 教材費 ㊦ 印刷製本費 $50円 \times 50\% \times 7種 \times 30人 \times 3回 = 1,575$ $50円 \times 60\% \times 20種 \times 30人 \times 3回 = 5,400$ ㊦ 翻訳料 $(50\% \times 7種 + 60\% \times 20種) \times 920$ $= 1,426$ (3) 実習旅費 $20,609円 \times 30人 \times 3回 = 1,855$ (4) 滞在費 $3,000円 \times 25日 \times 30人 \times 3回 = 6,750$ b 研修経費 1,025 (1) 特別講師謝金 $2,250円 \times 3人 \times 6人 \times 3回 = 122$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
				(2) 指導同行旅費 $20,625円 \times 4人 \times 3回 = 248$ (3) 研修資材費 $7,280円 \times 30人 \times 3回 = 655$ 2. 域外研修対策費 a 域内研修費 $1,915 (1,923)$							
				航空賃	滞在費	支度料	書籍費	研修諸費	小計	件数	合計
				円	円	円	円	円	円	件	円
				$399円 \times 237 \times 0.927124$ $\times 8人$ $(704,332)$ $= 701,373$	$22円 \times 15日 \times$ 237×0.927124 $\times 8人$ $(582,531)$ $= 580,083$	$63円 \times 237 \times$ $0.927124 \times 8人$ $(111,210)$ $= 110,743$	$42円 \times 237 \times$ $0.927124 \times 8人$ $(74,140)$ $= 73,829$	$(450,799)$ $448,705$	$(1,923,012)$ $1,914,933$	1	$(1,923)$ $1,915$
				研修経費内訳 外部講師 $9円 \times 4人 \times 7日 \times \frac{1}{2} \times 237 \times 0.927124 = 27,686円 (27,803)$ 現地備上費 $459円 \times 2人 \times 0.5月 \times 237 \times 0.927124 = 100,855円 (101,281)$ 現地交通費 $84円 \times 8人 \times 0.5月 \times 237 \times 0.927124 = 73,829円 (74,140)$ 資材費 $18円 \times 8人 \times 0.5月 \times 237 \times 0.927124 = 15,820円 (15,887)$							

(341)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
				テキスト作成費 $35\text{冊} \times 30\text{部} \times 237\text{円} \times 0.927/24 = 230,715\text{円} (231,688)$ b 城内講師招へい費 1,326 (1,331)							
				航空賃	滞在費	支度料	書籍費	研修諸費	小計	件数	合計
				円	円	円	円	円	円	件	
				$399\text{冊} \times 237 \times 0.927/24 \times 4人$ = 350,687	$44\text{冊} \times 15日 \times 237 \times 0.927/24 \times 4人$ = 580,083	$73\text{冊} \times 237 \times 0.927/24 \times 4人$ = 64,161	$42\text{冊} \times 237 \times 0.927/24 \times 4人$ = 36,914	293,997	1,325,842	1	1,326
(目) 所属先給与補填経費	(145,277) 145,277	226,215	80,938	研修諸費内訳 現地交通費 $110\text{冊} \times 4人 \times 0.5月 \times 237\text{円} \times 0.927/24 = 48,340\text{円} (48,544\text{円})$ 資料費 $34\text{冊} \times 4人 \times 0.5月 \times 237\text{円} \times 0.927/24 = 14,942\text{円} (15,005\text{円})$ テキスト作成費 $35\text{冊} \times 30\text{部} \times 237\text{円} \times 0.927/24 = 230,715\text{円} (231,688\text{円})$ 給与補填経費 全額 ☆ 1. 調査団・継続、短期専門家 $(405,800) (274)$ $418,400\text{円} \times 753\text{人月} \times \frac{2}{3} = 210,037 (128,233)$							

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 技 術 費	(25,301) 25,783	17,721	△ 8,062	<p>(人月内訳)</p> <p>調査員 (5) 10人月 + 総務 (300) 168人月 + 簿記 (0) 25人月 + 文書 (0) 175人月 + 印刷 (112) 150人月</p> <p>+ ((0) 25人 × 1月 + (0) 25人 × 2月 + (57) 50人 × 1月) = 753人月 (474)</p> <p>2. 新規専門家分</p> <p>$\frac{(20,580)}{418,400} \text{円} \times \{ (56\text{人月} + 16\text{人月}) \times \frac{2}{3} - 56 \times \frac{1}{6} \} = \frac{(17,044)}{16,178}$</p> <p>計 1 + 2 226,215 (145,277)</p> <p>$\frac{(31,320)}{32,290} \text{円} \times 20\text{日} \times 2.2\% \times 56\text{人月} \times \frac{1}{6} = 17,721 (25,783)$</p> <p>技師A相当</p> <p>*新規分 $\frac{(14)}{8} \times \frac{(6)}{7} \text{人月} = \frac{(84)}{56} \text{人月}$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																								
(目) 一時帰国旅費	(6,344) 6,464	3,467	△ 2,997	$\frac{(775,726) \times (25)}{742,835 \text{円} \times 14 \text{家族} \times \frac{1}{3}} = 3,467 (6,464)$ <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>航空賃</th> <th>日当・宿泊料</th> <th>国内旅費</th> <th>旅行雑費</th> <th>合計×1.08×0.95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本人</td> <td>291,760 円</td> <td>5,784 円</td> <td>11,851 円</td> <td>3,012 円</td> <td>(312,407)円 299,161</td> </tr> <tr> <td>家族</td> <td>437,640</td> <td>5,784</td> <td>13,871</td> <td>6,024</td> <td>(443,319) 443,674</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(775,726) 742,835</td> </tr> </tbody> </table>	区分	航空賃	日当・宿泊料	国内旅費	旅行雑費	合計×1.08×0.95	本人	291,760 円	5,784 円	11,851 円	3,012 円	(312,407)円 299,161	家族	437,640	5,784	13,871	6,024	(443,319) 443,674	合計					(775,726) 742,835
区分	航空賃	日当・宿泊料	国内旅費	旅行雑費	合計×1.08×0.95																							
本人	291,760 円	5,784 円	11,851 円	3,012 円	(312,407)円 299,161																							
家族	437,640	5,784	13,871	6,024	(443,319) 443,674																							
合計					(775,726) 742,835																							
(目) 子女呼寄旅費	(665) 677	1,406	729	$291,760 \text{円} \times (1 - \frac{25}{100}) - 20,000 \text{円} = 198,820 \text{円}$ $198,820 \text{円} \times \{ (\frac{37}{72} - 25\% \times \frac{1}{3}) \times \frac{1}{9} \} = 1,406 (677)$																								
(3) 機材供与に必要な経費 (目) 機材供与費	(77,193) 77,193 (77,193) 77,193	59,684 59,684	△ 17,509 △ 17,509	全額 ☆ 送料 ㊟ $\frac{(15,512)}{12,000} \times (\frac{87}{100} + \frac{13}{100} \times \frac{237}{229} \times 0.927124) \times 570 \text{円} = 59,684 (77,193)$																								

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎										
6. アセアン科学技術協力に必要な経費	(209,504) 210,163	277,560	67,977											
(1) 調査団派遣に必要な経費	(16,384) 16,697	121,689	104,972											
(イ) 調査団派遣経費	(3,415) 3,481	96,525	93,044											
(ロ) 調査旅費	(2,597) 2,646	21,148	18,502	* 印は、調査業務実施費への組替による減										
区 分	等級	期間	航空賃	支度料	日 当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	単価計	人数	乗成比	計	件数	合計
事前調査	3	30	291,760	80,180	3,200 × 30日 = 96,000	9,800 × 29泊 = 284,200	5,000	35,040	792,180	5	3/5	2,377	5	11,885
実施協議	3	15	291,760	66,030	3,200 × 15日 = 48,000	9,800 × 14泊 = 137,200	5,000	35,040	583,030	5	3/5	1,747	3	5,247
計画打合せ														(2,646) 0
機材修理	2	35	291,760	50,904	1,675 × 35日 = 58,625	5,145 × 34泊 = 174,930	1,496	13,367	619,927	3	3/3	1,860	1	1,860
エバリュエーション	2	25	291,760	41,918	1,675 × 25日 = 41,875	5,145 × 24泊 = 123,480	1,496	13,367	538,975	4	4/4	2,156	1	2,156
合 計														(2,646) 21,148 * 11,423
														(注) 国内旅費(広島基準3等級3泊3日往復) $\{14,400円 + (8,200円 \times 3泊 + 1,600円 \times 3日)\} \times 2 \times \frac{4}{10}$ = 35,040円

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎							
(日) 現地調査費	(202) 207	2,947	2,740	(注) 国内旅費(広島基準2等級2泊3日往復) $\{4,810^{\text{円}} + (671^{\text{円}} \times 3\text{日}) + (3,417^{\text{円}} \times 2\text{泊}) + (3,057^{\text{円}} \times 1\text{泊})\} \times 2 \times \frac{4}{10}$ $= 13,367^{\text{円}}$ (注) 小計 $\times 1.104 \times 0.95$ 全額⑥							
区分	通訳係上費	車輦係上費	通信連絡費	資料等購入費	会議費	単価計	外貨(1%) 換手数料	単価計	件数	構成比	合計
事前調査	2,760 × 26日 × 1人 = 71,760	2,440 × 26日 × 2台 = 386,880	70 × 30回 × 6回 = 12,600	2,600 × 20種 = 52,000	2,460 × 20人 × 3回 = 147,600	67,0840	6,709	678	5	3/5	2,034
実施協議	2,760 × 13日 × 1人 = 35,880	2,440 × 13日 × 2台 = 193,440	70 × 30回 × 3回 = 6,300	2,600 × 20種 = 52,000	2,460 × 20人 × 2回 = 98,400	386,020	3,861	390	3	3/5	702
計画打合せ											(207) 0
機材修理	2,760 × 5日 × 1人 = 13,800	2,440 × 5日 × 1台 = 17,200	70 × 30回 × 2回 = 4,200	0	1,160 × 20人 × 1回 = 23,200	58,400	584	58	1	3/3	58
インタビュー	2,760 × 15日 × 1人 = 41,400	2,440 × 15日 × 1台 = 51,600	70 × 30回 × 2回 = 4,200	1,160 × 10種 = 11,600	1,160 × 20人 × 2回 = 46,400	155,200	1,552	153	1	4/4	153
合計											(207) 2,947 * 1,824
(注) 小計 $\times \frac{237}{225} \times 0.927124$											

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
				区分	機材購送費 円	事務用品 円	医薬品 円	小計	件数	構成比	合計	
(目) 資機材購送費	(41) 42	1,427	1,385									
				事前調査		21,140	21,140	43	5	3/5 2/5	129 * 86	
				実施協議		21,140	21,140	43	3	3/5 2/5	77 * 52	
				計画打合せ							(42) 0	
				機材修理	(送料のみ②) 1,135,544	21,140	21,140	1,178	1	3/3 0	1,178 * 0	
				エバリュエーション		21,140	21,140	43	1	4/4 0	43 * 0	
				合計							(42) 1,427 * 1,385	
(目) 報告書作成費	(575) 586	3,996	3,380	(注) 機材購送費 $393,190円 \times 3人 \times \left(\frac{82}{100} + \frac{13}{100} \times 0.73 \times \frac{337}{225} \times 0.927124 \right)$ $= 1,135,544円$								

(347)
(単位：千円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎									
区分	原稿料	録記料	印刷製本費	国内旅費	校題料	資料作成費	会議費	交通費	送料	単価計	件数	構成比	合計	
事前調査	2,200×80枚 =176,000	1,910×50枚 =95,500	2,980×60部 =178,800	50,000×5人 × $\frac{4}{10}$ ×1回 =100,000	1,080×5枚 =54,000	550×5種 ×20部 =55,000	500×10人 ×3回 =15,000	550×4人 ×3回 =6,600	740×30kg =22,200	704	5	$\frac{3}{5}$	2,112 * 1,408	
実施協議	2,200×80枚 =176,000	1,910×50枚 =95,500	2,980×60部 =178,800	50,000×5人 × $\frac{4}{10}$ ×1回 =100,000	1,080×5枚 =54,000	550×5種 ×20部 =55,000	500×10人 ×3回 =15,000	550×4人 ×3回 =6,600	740×30kg =22,200	704	3	$\frac{2}{5}$	1,268 * 844	
計画打合せ													(586) 0	
エバリュエ ーション	1,460×100枚 =146,000	1,910×100枚 =191,000	1,890×60部 ×2種 =226,800	22,337						586	1	$\frac{4}{4}$	586 * 0	
合計													(586) *3,966 2,252	

(日) 調査業務実施費	0	67,037	67,037
-------------	---	--------	--------

区分	件数	調査旅費	現地調査費④	資機材購送費	報告書作成費	技術費	合計
事前調査	5	7,925	1,356	86	1,408	35,785	46,560
実施協議	3	3,498	468	52	844	15,615	20,477
合計	8	11,423	1,824	138	2,252	51,400	67,037

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
				区分	期間	直接人件費	諸経費	技術費	小計	件数	合計	
				日	技師A 円	円	円					
				事前調査	30	$663860 \times (\frac{1013014}{90})$ × 2人 = 2,434,160	$2434160 \times \frac{110}{100}$ = 2,677,580	$(2434160 + 2677580)$ × 0.4 = 2,044,700	7,157	5	35,785	
				実施協議	15	$663860 \times (\frac{1013014}{90})$ × 2人 = 1,770,300	$1770300 \times \frac{110}{100}$ = 1,947,330	$(1770300 + 1947330)$ × 0.4 = 1,487,060	5,205	3	15,615	
				合計							51,400	
(ロ) プロジェクト実施経費	(12,969) 13,216	25,164	11,948									
(目) 実施計画費	(12,969) 13,216	25,164	11,948				1 + 2				25,164 (13,216)	
							1. プロジェクト運営費	(293) (1) 953. × 6 プロジェクト = 5,718 (293)				
							(1) 諸謝金					
							委員会謝金	5,150 ^円 × 8人 × 5回 = 206				
							仕様書作成謝金	3,060 ^円 × 100枚 = 306				

(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎														
				(2) 国内旅費 (広島基準3等級2泊3日) $\{14,400円 \times 2回 + (8,200円 \times 2泊 + 1,600円 \times 3日)\}$ $\times 2 \times 3回 = 300$ (3) 庁費 会議費 $500円 \times 10人 \times 6回 = 30$ 資料作成購入費 $3,688円 \times 30種 = 111$ 計 (1) ~ (3) 959 (293) 2. 国内支援体制整備費 (1) ~ (4) 18,446 (12,923) (1) 特殊条件実施計画費 $2,099 \times 1件 = 2,099 (2,099)$														
				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業部会謝金</th> <th>本員国内旅費</th> <th>部会資料作成費</th> <th>仕様書作成費 (原稿料)</th> <th>仕様書刷込料</th> <th>仕様書印刷製本費</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>$5,150 \times 6人$ $\times 5日$ $= 155,000$</td> <td>$25,670 \times 9人$ $\times 2回$ $= 158,000$</td> <td>$21,770 \times 4種$ $= 87,000$</td> <td>$3,260 \times 250枚$ $= 765,000$</td> <td>$2,650 \times 250枚$ $= 663,000$</td> <td>$5,410 \times 50部$ $= 271,000$</td> <td style="text-align:right">2,099</td> </tr> </tbody> </table>	作業部会謝金	本員国内旅費	部会資料作成費	仕様書作成費 (原稿料)	仕様書刷込料	仕様書印刷製本費	合計	$5,150 \times 6人$ $\times 5日$ $= 155,000$	$25,670 \times 9人$ $\times 2回$ $= 158,000$	$21,770 \times 4種$ $= 87,000$	$3,260 \times 250枚$ $= 765,000$	$2,650 \times 250枚$ $= 663,000$	$5,410 \times 50部$ $= 271,000$	2,099
作業部会謝金	本員国内旅費	部会資料作成費	仕様書作成費 (原稿料)	仕様書刷込料	仕様書印刷製本費	合計												
$5,150 \times 6人$ $\times 5日$ $= 155,000$	$25,670 \times 9人$ $\times 2回$ $= 158,000$	$21,770 \times 4種$ $= 87,000$	$3,260 \times 250枚$ $= 765,000$	$2,650 \times 250枚$ $= 663,000$	$5,410 \times 50部$ $= 271,000$	2,099												
				(2) 国内協力体制整備費 (1) $505,900円 \times 670シート = 3,036 (506)$ 1. 諸謝金 106,380円 2. 国内旅費 $66,100円 \times 4人 = 264,400円$														

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																												
				<p>ハ、庁費 135,120円</p> <p>(1) 会議費 14,882円</p> <p>(ロ) 資料作成費 120,238円</p> <p>計 1~ハ 505,900円</p> <p>(注) 国内旅費 (広島基準 2等級3泊4日)</p> $\{14,400円 \times 2回 + (9,900円 \times 3泊 + 1,900円 \times 4日)\}$ <p style="text-align: right;">= 66,100円</p> <p>(3) 技術研究開発費</p> <p>1902 × 2件 = 3,804 (0)</p> <p>内訳</p> <table border="1" data-bbox="1516 1144 2368 1386"> <thead> <tr> <th rowspan="2">サンプル</th> <th colspan="3">研究費</th> <th rowspan="2">印刷製本費</th> <th rowspan="2">単価計</th> </tr> <tr> <th>消耗品費</th> <th>光熱水料</th> <th>人件費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1590 × 70部</td> <td></td> <td></td> <td>12,270 × 20部</td> <td>2,990 × 60部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>= 111,300</td> <td>791,600</td> <td>75,390</td> <td>= 385,400</td> <td>× 3種</td> <td>1,902</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>= 538,200</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	サンプル	研究費			印刷製本費	単価計	消耗品費	光熱水料	人件費	1590 × 70部			12,270 × 20部	2,990 × 60部		= 111,300	791,600	75,390	= 385,400	× 3種	1,902					= 538,200		
サンプル	研究費			印刷製本費		単価計																										
	消耗品費	光熱水料	人件費																													
1590 × 70部			12,270 × 20部	2,990 × 60部																												
= 111,300	791,600	75,390	= 385,400	× 3種	1,902																											
				= 538,200																												
				<p>(4) 視聴覚教材等整備費</p> <p>① 諸謝金</p> <p>(i) 教材整備国内作業費</p>	<p>10,507 (10,318)</p>																											

(351)
(单位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(1) 直接人件費</p> <p style="margin-left: 20px;">(37,820) 主人技師 1人/月 $39,030 \text{円} \times 20 \text{日} \times 1 \text{人} = 781 (756)$</p> <p style="margin-left: 20px;">(32,170) 技師(A) 2人2月 $32,170 \text{円} \times 20 \text{日} \times 2 \text{人} = 1,327 (1,287)$</p> <p>(ロ) 諸経費 (直接人件費の110%相当額)</p> <p style="margin-left: 20px;">(2,043) $2,108 \times \frac{110}{100} = 2,318 (2,247)$</p> <p>(ハ) 技術費(直接人件費+諸経費)の40%相当額]</p> <p style="margin-left: 20px;">(2,043) (2,247) $(2,108 + 2,318) \times \frac{40}{100} = 1,770 (1,716)$</p> <p style="margin-left: 20px;">(6,006) 小計 (1)~(ハ) $6,196 \times 1 \text{件} = 6,196 (6,006)$</p> <p>(ii) 教材翻訳料</p> <p style="margin-left: 20px;">$2,650 \text{円} \times 100 \text{枚} \times 2 \text{棟} \times 1 \text{件} = 530$</p> <p style="margin-left: 20px;">計 (i) + (ii) $= 6,726 (6,536)$</p> <p>② 国内旅費 (広島基準 2等級 3泊4日)</p> <p style="margin-left: 20px;">$\{(7,600 + 5,700) \times 2 + (1,900 \times 4 \text{日} + 8,900 \times 3 \text{泊})\}$ $\times 2 \text{人} \times 1 \text{件} = 128$</p> <p>③ 方費</p> <p>(i) 教材購入費</p>

(単位：十円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				教科書専門書等購入費 $4,200 \text{円} \times 10 \text{種} \times 1 \text{件} = 42$
				(ii) 教材作成費 (A) 教科書マニュアル等印刷製本費 $2,780 \text{円} \times 100 \text{部} \times 2 \text{種} \times 1 \text{件} = 556$
				(B) スライド作成費 $840,000 \text{円} \times 3 \text{種} \times 1 \text{件} = 2,520$
				(iii) 会議費 $500 \text{円} \times 20 \text{人} \times 2 \text{回} \times 1 \text{件} = 20$
				(iv) 教材送料 ㊶ $2,312 \text{円} \times 30 \text{kg} \times 4 \text{種} \times \frac{237}{217} \times 0.927124 \times 1 \text{件}$ $= 281 (282)$
				(v) プロジェクター等購入費 $234,000 \text{円} \times 1 \text{件} = 234$
				小計 (i) ~ (v) $3,653 (3,654)$
				計 ㊴ ~ ㊶ $10,507 (10,318)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
(2) 専門家派遣に必要経費	(164,228) 164,574	143,650	△ 20,924	※印はプロジェクト業務実施経費への組替えによる減 全額☆ 1. 赴帰任旅費内訳 専門家 3人, 家族12人, 長期研究員 2人								
(目) 派遣諸費	(106,078) 106,078	67,893	△ 38,185									
区 分	等級	期間	航空賃	支度料	移転料	着検手当	旅行雑費	国内旅費	日当宿泊料	単価計	人数	合計
1) 継 続	3	12	0	0	0	0	0	0	0	0	(12)	0
2) 帰 国	3	5	372,750	0	433,550	0	15,000	37,920	0	(注) 922,373	(0)	11,069
3) 交替及び新規	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)	0
4) 短 期	3	(3) 1	(461,380) 271,760	(94,330) 80,180	0	0	(2,500) 5,000	(19,810) 35,040	(3200×30日+ 2800×29日) (782,100) = 380,200	(注) (1,960,120) 850,406	(4) 19	(5,440) 16,158
5) 長期研究員	3	3	145,880	165,000	205,500	130,000	5,000	17,520	0	668,900	(0)	* 1,338
合 計												(5,440) 27,227 * 1,338
				(注) 小計 × 1.13 × 0.95 (注) 国内旅費 (広島基準3等級3泊3日) 短期 { 14,400円 + (8,200円 × 3泊 + 1,600円 × 3日) } $\times 2 \times \frac{4}{10} = 35,040$								

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>長期 {14,400円 + (8,200円 × 3泊 + 1,600円 × 3日)} × (本人) $\frac{4}{10} = 17,520$</p> <p>長期 {14,400円 × $\frac{2+1}{2}$ + (8,200円 × 3泊 + 1,600円 × 3日) (家族) × $\frac{2+1}{3}$} × $\frac{4}{10} = 20,400$</p> <p>2. 滞在費</p> <p>(1) 長期専門家 390,900円^(12月) × 12人 × 5月 × $\frac{125}{100}$ = 3,663(75991)</p> <p>(2) 長期研究員 390,900円 × 2人 × 3ヶ月 = * 2,345</p> <p>3. 住居手当</p> <p>(1) 長期専門家 203,500円⁽¹⁴⁴⁾ × 60人月 × $\frac{60}{100} = 7,326(17,582)$</p> <p>(2) 長期研究員 203,500円 × 6人月 × $\frac{60}{100} = * 733$</p> <p>4. 語学手当</p> <p>(1) 長期専門家 390,900円 × 60人月 × $\frac{1}{3} × \frac{15}{100}$ = 1,173(2,815)</p> <p>(2) 長期研究員 390,900円 × 6人月 × $\frac{1}{3} × \frac{15}{100}$ = * 117</p>

(355)
(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(目) 携行機材費	(1341) 1367	6493	5126	5. 併地手当 0(3040) 6. 子女教育手当 長期専門家 $18,000円 \times 60人月 \times \frac{1}{3} \times (1 + \frac{2}{3})$ = 504(1210) 計 1 ~ 6 67893(106.078) * 4533
(目) 現地プロジェクト運営費	(1466) 1494	1882	388	1. 専門家(短期) $341,730円 \times 1人$ (4) = 6,493(1,367) 2. 長期研究員 $341,730円 \times 2人$ = * 684 全額 ⑨ 1. 現地業務費 $126,946円 \times (37プロジェクト月 + 9プロジェクト月 \times \frac{232}{225})$ (12) $\times 0.927124 = 1,497(1,494)$ 2. 貧困国対策費 $128,290円 \times 3プロジェクト月 = 385$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎										
(目) 所属先給与補填経費	(40,039) 40,039	28,395	△11,644	<p>3. 研究開発費</p> <p>2,410,302円 × 2プロジェクト × 3ヶ月 = 14,462</p> <p>計 1 ~ 3 1,882 (1,494)</p> <p>※14,462</p> <p>全額 ☆</p> <p>(405,800) (144+4)</p> <p>418,400円 × (60人月+15人月+15人月+5人月+3.5月+3.2月)</p> <p>× $\frac{2}{5}$ = 28,395 (40,039)</p> <p>(注) 調査団 (i) (5人-2人) × $\frac{30}{30}$ × 5件 = 15人月</p> <p>(ii) (5人-2人) × $\frac{15}{30}$ × 3件 = 5人月</p> <p>(iii) 3人 × $\frac{35}{30}$ × 1件 = 3.5人月</p> <p>(iv) 4人 × $\frac{25}{30}$ × 1件 = 3.3人月</p>										
(目) プロジェクト業務実施経費	(4,517) 4,604	38,987	34,383	<table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣諸費</th> <th>携行機材費</th> <th>現地プロジェクト 運営費</th> <th>技術費</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,533</td> <td>684</td> <td>14,462</td> <td>(4,604) 19,308</td> <td>(4,604) 38,987</td> </tr> </tbody> </table> <p>(技術費内訳) (1) + (2) = 19,308</p> <p>(1) 33,200円 × 20日 × 2.2% × 6人月 = 11,713</p> <p>(2) $\frac{(31,920)}{72,290}$ × 20日 × 2.2% × 16人月 × $\frac{(7)}{4}$ = $\frac{(4,604)}{7,595}$ (日・シ)</p>	派遣諸費	携行機材費	現地プロジェクト 運営費	技術費	合計	4,533	684	14,462	(4,604) 19,308	(4,604) 38,987
派遣諸費	携行機材費	現地プロジェクト 運営費	技術費	合計										
4,533	684	14,462	(4,604) 19,308	(4,604) 38,987										

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(目)連絡会議旅費	(672) 684	0	△ 684	
(目)一時帰国旅費	(10,115) 10,308	0	10,308	
(3) 機材供与費	(28,892) 28,892	14,221	14,671	金額 ☆
(目)機材供与費	(28,892) 28,892	14,221	14,671	1. $4,800 \times \left(\frac{87}{100} + \frac{12}{100} \times 0.73 \times \frac{237}{225} \times 0.927124 \right) \times$ 1プロジェクト $= 4,626 (28,892)$ 2. $4,800 \times 2$ プロジェクト $9,600$ 計 1 + 2 $14,221 (28,892)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
(項) 保健医療協力費	(3,723,850) 3,927,045	4,134,332	207,287	昭和41年度から計上					
1. 調査用収遺に必要な経費	(206,373) 208,392	218,286	994	当初予算額	54年度 (2,267,326)	55年度 (3,173,868)	56年度 (3,437,363)	57年度 (3,410,082)	58年度 (3,592,220)
(1) 調査用収遺経費	(157,967) 160,278	170,082	2804						
(調査予定件数および所要経費)									
区分	件数	調査旅費	現地調査費	資材購送費	報告書作成費	調査業務実施費	計		
(1) 事前調査	6	(18,248) 19,134	(1,512) 1,506	594	2730		(23,082) 23,964		
(2) 実施協議	5	(10,480) 10,995	(840) 835	495	2,275		(14,090) 14,600		
(3) 実施設計	1	(2,527) 2,651	(466) 464	(976) 975	440	(26,369) 27,183	(30,778) 31,713		
(4) 計画打合せ	(5) 6	(6,910) 8,694	(345) 414	(60) 72	(1,570) 1,884		(8,885) 11,064		
(5) 巡回指導	(3) 4	(6,288) 8,796	(435) 576	(60) 80	(942) 1,256		(7,725) 10,708		
(6) 機材修理	6	(12,072) 12,660	(870) 864	1,002	1,968	0	(24,912) 25,494		
(7) エバリュ-ション	7	(13,279) 13,930	(1,617) 1,610	168	1,351	0	(16,415) 17,056		
(8) 基礎調査	1	(2,527) 2,651	(466) 464	(976) 975	440	(26,369) 27,183	(30,778) 31,713		
(9) 事後調査	1	(3,162) 3,317	(230) 229	24	197		(3,613) 3,767		
合計	(35) 37	(75,491) 82,828	(6,781) 6,962	(13,355) 13,395	(11,913) 12,541	(52,738) 54,366	(160,278) 170,082		

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎									
(目) 調査旅費		(74,403) 75,491	82,828	7,337										
区分	等級	期間	航空賃	支度料	日当・宿泊料	旅行雑費	国内旅費	小計	人員	構成比	計	件数	合計	
(1) 事前調査	2	31	(782)基準 338,320	50,903	1,675×31日+5,144 ×30泊 =206,225	1,495	11,140	(608,103) 637,778	人 5	5/5 0/5	(3041) 3,189 0	1件 6	(18,246) 18,134 0	
(2) 実施協議	2	20	338,320	41,918	1,675×20+5,144 ×19 =131,236	1,495	11,140	(524,109) 549,686	4	4/4 0/4	(2096) 2,199 0	5	(10,480) 10,795 0	
(3) 実施設計	2	60	536,800	79,134	2,604×60+7,998 ×59 =628,122	2,325	17,317	(1,263,698) 1,325,366	5	3/5 3/5	(2,527) 2,651 (3,791) 3,976	1	(2,527) 2,651 (3,791) 3,976	
(4) 計画打合せ	2	15	308,990	41,918	1,675×15+5,144 ×14 =97,141	1,495	11,140	(460,684) 483,165	3	3/3 0/3	(1,382) 1,249 0	(5) 6	(6,910) 8,694 0	
(5) 巡回指導	2	20	338,320	41,918	131,236	1,495	11,140	(524,109) 549,686	4	4/4 0/4	(2,096) 2,199 0	(3) 4	(6,288) 8,796 0	
(6) 機材修理	3	20	338,320	39,501	1,436×20+4,489 ×19 =114,011	1,495	9,715	(503,042) 527,570	4	4/4 0/4	(2,012) 2,110 0	6	(12,072) 12,460 0	
(7) インタビュー	2	35	338,320	47,967	1,675×35+5,144 ×34 =233,521	1,495	11,140	(632,443) 663,306	3	3/3 0/3	(1,897) 1,990 0	7	(13,279) 13,930 0	
(8) 基礎調査	2	60	536,800	79,134	628,122	2,325	17,317	(1,263,698) 1,325,366	5	3/5 3/5	(2,527) 2,651 (3,791) 3,976	1	(2,527) 2,651 (3,791) 3,976	
(9) 事後調査	2	35	338,320	47,967	233,521	1,495	11,140	(632,443) 663,306	5	5/5 0/5	(3,162) 3,317 0	1	(3,162) 3,317 0	
合計												(35) 37	(75,491) 82,828 (7,582) 7,952	

事項及科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
(目) 現地調査費	(6,683) 6,781	6,962	181	(注) 国内旅費内訳 (1) 広島基準 2等級 3泊3日往復 $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \quad \text{日当} \quad \text{宿泊料} \quad \text{宿泊料} \\ 4,810円 + (671円 \times 3日 + 3,417円 \times 2泊 + 3,051円) \end{array} \right\} \times 2$ $\times \frac{1}{3} = 11,140円$ (2) 広島基準 3等級 3泊3日往復 $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \quad \text{日当} \quad \text{宿泊料} \quad \text{宿泊料} \\ 4,810円 + (549円 \times 3日 + 2,807円 \times 2泊 + 2,502円) \end{array} \right\} \times 2$ $\times \frac{1}{3} = 9,715円$ (3) 広島基準 2等級 3泊3日往復 $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \quad \text{日当} \quad \text{推泊料} \quad \text{宿泊料} \\ 7,480円 + (1,043円 \times 3日 + 5,312円 \times 2泊 + 4,743円) \end{array} \right\} \times 2 \times \frac{1}{3} = 17,317円$ 全額 ⑦							
区分	通訳備上費	車輛等借上費	資料等購入費	通信連絡費	会議費	小計	外貨交換 手数料(1%)	計(X $\frac{222}{222}$ ×0.92222)	件数	構成比	合計
(1) 事前調査	2,760 × 1人 × 25日 = 69,000	3,440 × 1台 × 25日 = 86,000	1,160 × 40種 = 46,400	70 × 30語 × 3回 = 6,300	1,160 × 20 × 2回 = 46,400	254,100	2,541	(252) 251	4件 6	5/5 9/5	(1,512) 1,506 ※ 0
(2) 実施協議	2,760 × 1 × 17 = 46,920	3,440 × 1 × 17 = 58,480	1,160 × 30 = 34,800	6,300	1,160 × 20 × 1 = 23,200	169,700	1,697	(169) 167	5	4/4 9/4	(840) 835 ※ 0
(3) 実施設計	4,740 × 2 × 50 = 474,000	5,730 × 2 × 50 = 573,000	1,970 × 20 = 39,400	120 × 30 × 3 = 10,800	1,970 × 15 × 2 = 59,100	1,176,300	11,763	(1,165) 1,160	1	3/5 3/5	(466) 464 (699) 696 ※ 0
(4) 計画打合せ	0	3,440 × 1 × 10 = 34,400	1,160 × 10 = 11,600	6,300	1,160 × 15 × 1 = 17,400	69,700	697	69	(5) 6	3/3 9/3	(345) 414 ※ 0

(361)
(单位: 千円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎						
区 分	通訳備上費	車輜等借上費	資料等購入費	通信連絡費	会議費	小 計	外貨交換 手数料(%)	計(注) 492/124	件数	構成比	合 計
(5) 巡回指導	円 46,920	円 58,480	円 11,600	円 6,300	円 23,200	円 146,500	円 1.465	(145) 144	(3) 4	4/4 9/4	(475) 576 * 0
(6) 機材修理	46,920	58,480	11,600	6,300	23,200	146,500	1.465	(145) 144	6	4/4 0/4	(870) 864 * 0
(7) エバリエー ション	2760×1×30 = 82,800	3,440×1×30 = 103,200	11,600	6,300	1,160×25×1 = 29,000	232,900	2.329	(231) 230	7	3/3 0/3	(1,617) 1,610 * 0
(8) 基礎調査	474,000	593,000	39,400	10,800	59,100	1,176,300	11.763	(1,165) 1,160	1	7/5 3/5	(466) 464 (899) * 696
(9) 事後調査	2890×1×30 = 86,700	103,200	11,600	6,300	29,000	236,800	2.368	(230) 注229	1	5/5 0/5	(230) 229 * 0
合 計										(35) 37	(6,781) 6,662 * (1,398) 1,392

(注) X 237
247

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(目) 資機材購送費	(13,162) 13,355	13,385	30					
区分	医療機材	事務用品	医薬品	送料①(× $\frac{227}{225}$) (×0.927(24))	計	件数	構成比	合計
(1) 事前調査	78,650	7,860	11,790	(876)	99	6	5/5	594
(2) 実施協議	78,650	7,860	11,790	(876)	99	5	4/4	495
(3) 実施設計	2,301,310	11,510	17,260	(108,833)	(2,439)	1	2/5	(876) 975
(4) 計画打合せ	0	7,860	3,940	0	12	(5)	3/3	(60) 72
(5) 巡回指導	0	7,860	11,790	0	20	(3)	4/4	(60) 30
(6) 機材修理	1,572,870	7,860	11,790	(74382)	(1,667)	6	4/4	10,002
(7) エバリエーション	0	11,790	11,790	0	24	7	3/3	168
(8) 基礎調査	2,301,310	11,510	17,260	(108,833)	(2,439)	1	2/5	(876) 975
(9) 事後調査	0	11,790	11,790	0	24	1	5/5	24
合計	6,332,790	85,900	109,200	292,567	6,821	37	0/5	(13,355) 13,385 *(2,926) 2,926

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(目) 報告書作成費	(11,741) 11,913	12,541	628					
区分	原稿料	印刷製本費	作成諸費	国内旅費	計	件数	構成比	合計
(1) 事前調査	1,460 × 100枚 = 146,000	2,360 × 100部 = 236,000		73,216	455	6	5/5 %	2,730 0
(2) 実施協議	146,000	236,000		73,216	455	5	4/4 %	2,275 0
(3) 実施設計	2,220 × 200 = 444,000	5,480 × 100 = 548,000		107,128	1,099	1	7/5 %	440 659
(4) 計画打合せ	146,000	1,190 × 50 = 94,500		73,216	314	(5) 6	3/3 %	(1,570) 1,884 0
(5) 巡回指導	146,000	94,500		73,216	314	(3) 4	4/4 %	(942) 1,256 0
(6) 機材修理	146,000	2,360 × 50 = 118,000		63,752	328	6	4/4 %	1,968 0
(7) エリイオン	1,460 × 100 × 2/3 = 97,333	1,890 × 50 × 2/3 = 63,000	23,210 × 2/3 = 15,473	16,942	193	7	2/3 %	1,351 0
(8) 基礎調査	444,000	548,000		107,128	1,099	1	7/5 %	440 659
(9) 事後調査	1,530 × 100 × 2/3 = 102,000	63,000	15,473	16,942	197	1	5/5 %	197 0
合計								(11,913) 12,541 (1,318) *

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(注) 国内旅費内訳</p> <p>(1) 広島基準 2等級 6泊7日</p> $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \\ 5,110 \text{円} \times 2 \text{回} \end{array} \right. + \left(\begin{array}{l} \text{日当} \\ 713 \text{円} \times 7 \text{日} \end{array} + \begin{array}{l} \text{宿泊料} \\ 3,631 \text{円} \times 5 \text{泊} \end{array} + \begin{array}{l} \text{宿泊料} \\ 3,242 \text{円} \end{array} \right)$ $\times 2 \text{人} = 73,216 \text{円}$ <p>(2) 広島基準 2等級 6泊7日</p> $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \\ 2,480 \text{円} \times 2 \text{回} \end{array} \right. + \left(\begin{array}{l} \text{日当} \\ 1,043 \text{円} \times 7 \text{日} \end{array} + \begin{array}{l} \text{宿泊料} \\ 5,312 \text{円} \times 5 \text{泊} \end{array} + \begin{array}{l} \text{宿泊料} \\ 4,743 \text{円} \end{array} \right)$ $\times 2 \text{人} = 107,128 \text{円}$ <p>(3) 広島基準 3等級 6泊7日</p> $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \\ 5,110 \text{円} \times 2 \text{回} \end{array} \right. + \left(\begin{array}{l} \text{日当} \\ 584 \text{円} \times 7 \text{日} \end{array} + \begin{array}{l} \text{宿泊料} \\ 2,982 \text{円} \times 5 \text{泊} \end{array} + \begin{array}{l} \text{宿泊料} \\ 2,658 \text{円} \end{array} \right)$ $\times 2 \text{人} = 63,752 \text{円}$ <p>(4) 広島基準 2等級 3泊4日</p> $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \\ 5,110 \text{円} \times 2 \text{回} \end{array} \right. + \left(\begin{array}{l} \text{日当} \\ 584 \text{円} \times 4 \text{日} \end{array} + \begin{array}{l} \text{宿泊料} \\ 2,982 \text{円} \times 2 \text{泊} \end{array} + \begin{array}{l} \text{宿泊料} \\ 2,658 \text{円} \end{array} \right)$ $\times 3 \text{人} \times \frac{4}{10} \times \frac{2}{3} = 16,942 \text{円}$
(目) 調査業務実施費	(51,978) 52,738	54,366	1,628	

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
				区分	調査旅費	現地調査費 ^①	資機材購送費 (送料のみ ^②)	報告書作成費	技術費	合計	
				実施設計	(3,771) 3,976	(699) 696		1,463	659	(19,757) 20,389	(26,369) 27,183
				基礎調査	(3,771) 3,976	(699) 696		1,463	659	(19,757) 20,389	(26,369) 27,183
				計	(7,542) 7,952	(1,398) 1,392		2,926	1,318	(39,514) 40,778	(52,738) 54,366

(技術費内訳)

区分	等級	作業期間		直接人件費	諸経費	技術経費	計	件数	合計
		現地	国内						
実施設計	2級	60 30	1	(746,660) 円 770,550 × (60/30 × 31 + 1 × 31) (6,719,940) = 6,934,950	(6,719,940) 円 6,934,950 × 1.1 (7,391,934) = 7,628,445	(14,111,874) 円 14,563,995 × 0.4 (5,644,750) = 5,825,358	(19,757) 20,389	1	(19,757) 20,389
基礎調査	2	60 30	1	(6,719,940) 6,934,950	(7,391,934) 7,628,445	(5,644,750) 5,825,358	(19,757) 20,389	1	(19,757) 20,389

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(2) プロジェクト実施経費	(48,406) 49,114	49,204	90	
(目) 実施計画費	(48,406) 49,114	49,204	90	<p>1. プロジェクト運営費(実施計画費) 12,860(13,152)</p> <p>(1) 諸謝金 $101,380 \text{円} \times 44 \text{件} = 4,460,720 \text{円} (4,562,100)$ <small>(45)</small></p> <p>(2) 国内旅費 $57,225 \text{円} \times 44 \text{件} = 2,517,900 \text{円} (2,575,125)$ <small>(45)</small></p> <p>(3) 方費</p> <p>会議費 $14,170 \text{円} \times 44 \text{件} = 623,480 \text{円} (637,650)$ <small>(45)</small></p> <p>資料作成費 $118,490 \text{円} \times 44 \text{件} = 5,257,560 \text{円} (5,377,050)$ <small>(45)</small></p> <p>小計 5,281,040(6,014,700)</p> <p>(44件の内訳)</p> <p>事前調査 6件 実施協議 5件</p> <p>基礎調査 1件 事後調査 1件</p> <p>プロジェクト $31 \text{件} (32)$</p>

(367)
(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				2. 国内支援体制整備費 36,344 (35,962) (1) 適正技術開発研究費 7,737 イ 謝金 $3,368,040 \text{円} \times 2 \text{件} = 6,738,080 \text{円}$ ロ 国内旅費 広島基準 2等級 2泊3日 $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \quad \text{日当} \quad \text{宿泊料} \\ 12,700 \text{円} \times 2 \text{回} + (1,600 \text{円} \times 3 \text{日} + 8,100 \text{円} \times 2 \text{泊}) \end{array} \right\} \times 1 \text{人}$ $\times 2 \text{件} = 92,800 \text{円}$ ハ 庁費 会議費 $19,220 \text{円} \times 2 \text{件} = 38,440 \text{円}$ 印刷製本費 $169,180 \text{円} \times 2 \text{件} = 338,360 \text{円}$ 消耗品費 $33,930 \text{円} \times 2 \text{月} \times 2 \text{件} = 135,720 \text{円}$ 交通費 $640 \text{円} \times 25 \text{回} \times 2 \text{件} = 32,000 \text{円}$ 計 906,400 \text{円} (2) 視聴覚等教材整備費 21,018 (20,636) イ 謝金 13,456 (13,072) (1) 教材整備国内作業費 12,396 (12,012) a 直接人件費 主任技師 1人/月 $(37,820) \quad (756)$ $39,030 \text{円} \times 20 \text{日} \times 1 \text{人月} = 781$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				技師(A) 2人/月 $\frac{(32,170)}{33,170 \text{円} \times 20 \text{日} \times 2 \text{人/月}} (1,287) = 1,327$ b 諸経費(直接人件費の110%相当額) $\frac{(2,043)}{2,108} \times \frac{110}{100} (2,247) = 2,319$ c 技術経費(直接人件費+諸経費の40%相当額) $\frac{(2,043) (2,247)}{(2,108 + 2,319)} \times 40\% (1,716) = 1,771$ $\text{計 a~c } (6,006) \times 2 \text{件} = 12,396$ (ロ) 教材翻訳料(和文、外国語訳) $2,650 \text{円} \times 100 \text{枚} \times 2 \text{種} \times 2 \text{件} = 1,060$ 国内旅費(広島基準 2等級 3泊4日) $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \\ (7,600 \text{円} + 5,700 \text{円}) \times 2 \text{回} + \text{日当} \\ (1,900 \text{円} \times 4 \text{日} + \text{宿泊料} \\ 2,900 \text{円}) \times 3 \text{泊} \end{array} \right\} \times 2 \text{人} \times 2 \text{件} = 256$ ハ 庁費 7,306 (7,308) (イ) 教材購入費 教科書専門書等購入費 $4,200 \text{円} \times 10 \text{種} \times 2 \text{件} = 84$ (ロ) 教材作成費 a 教科書、マニュアル等印刷製本費 $2,780 \text{円} \times 100 \text{部} \times 2 \text{冊} \times 2 \text{件} = 1,112$ b スライド作成費(100枚)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				$840,000円 \times 3種 \times 2件 = 5,040$ (イ) 会議費 $500円 \times 20人 \times 2回 \times 2件 = 40$ (ニ) 教材送料(テヘラン基準) ㊦ $2312円 \times 30kg \times 4種 \times 2件 \times \frac{237}{217}$ $\times 0.927124 = 562$ (ホ) プロジェクター等購入費 $234,000円 \times 2件 = 468$ (3) 国内協力体制整備費 7,589 イ 諸謝金 $106,380円 \times 15件 = 1,595,700円$ ロ 国内旅費 $66,100円 \times 4人 \times 15件 = 3,966,000円$ ハ 庁費 (i) 会議費 $14,882円 \times 15件 = 223,230円$ (ii) 資料作成費 $120,238円 \times 15件 = 1,803,570円$ 計 イ～ハ 7,588,500円 (注) 国内旅費内訳(広島基準 3等級 3泊4日) $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \quad \text{日当} \quad \text{宿泊料} \\ 14,400円 \times 2回 + 1,900円 \times 4日 + 2,900円 \times 3泊 \end{array} \right\} = 66,100円$ 合計 イ + ロ = 49,204 (49,114)

(370)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
2. 専門家派遣に必要な経費 (目) 派遣諸費	(1,831,629) 1,838,450 (201,334) 701,334	2,065,528 1,019,818	227,078 118,484	全額 ☆ (353,521) 417,641 1. 赴任旅費 (1) 派遣専門家 (1) 本人 (240) 262人 短期 (147) (74) (73) 164人 (医療専門家 84人 一般専門家 80人) 長期 (93) (48) (45) 98人 (医療専門家 51人 一般専門家 47人) (ロ) 家族 (65) 69家族 医療専門家 (33) 36家族、一般専門家 (32) 33家族 (2) 長期調査員 (1) 2人 (3) 大学教授の医療講演等派遣 (37) 40人

(371)
(单位: 千円)

事項及び科目			前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
区分	等級	期間	航空賃	支度料	移転料	着後手当	国内旅費	旅行雑費	日当・宿泊料	計 ×1.13×0.95	人数	合計
(1) 派遣専門家 本人	短期	3	4	461,340	94,330	0	0	19,488	2,500	9,700×3日 +7,920×9日 =102,620	(147) 164	(235,976) 282,616
	長期	3	8	194,870	$209,055 \times \frac{1}{3}$ = 69,685	$348,172 \times \frac{50}{100}$ $\times \frac{2}{3} = 116,057$	$125,440 \times \frac{1}{3}$ = 41,813	6,496	1,062	0	(93) 98	(39,988) 45,236
				家族	8	292,310	$69,685 \times \frac{2}{3}$ = 46,457	$348,172 \times \frac{65}{100}$ $\times \frac{2}{3} = 150,875$	$41,813 \times (\frac{2}{3} + \frac{1}{3})$ = 41,813	2,568	2,124	0
(2) 長期調査員 新規	3	6	324,100	165,000	$411,000 \times \frac{50}{100}$ - 205,500	162,500	17,560	5,000	0	(847,160) 909,426	1	(847) 909
			帰国	3	6	(0) 324,100	0	(0) $411,000 \times \frac{50}{100}$ - 205,500	(0) 17,560	(0) 5,000	0	(0) 592,744
(3) 大学教授等 医療講演等 派遣	特	1	588,110	104,720	0	0	25,036	2,500	13,300×30日 +3,200 -402,200	(1,122,566) 1,205,075	(37) 40	(41,535) 48,203
合計												(353,521) 417,641

(注) 国内旅費内訳

(イ) 短期 広島基準 3等級 3泊3日 往復適用率 $\frac{4}{10}$

鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料
 $(8,040円 + 9,18円 \times 3日 + 4,692円 \times 2泊 + 4,182円 \times 1泊)$
 $\times 2回 \times \frac{4}{10} = 19,488円$

(ロ) 長期 広島基準 3等級 3泊3日 片道適用率 $\frac{4}{10}$

鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料
 本人 $(8,040円 + 9,18円 \times 3日 + 4,692円 \times 2泊 + 4,182円 \times 1泊) \times \frac{4}{10} \times \frac{2}{3}$
 $= 6,496円$

事項及科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>家族 { 鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料 $8,040円 \times 1.5 + (918円 \times 3日 + 4,692円 \times 2泊 + 4,182円$ $\times 1泊) \times (\frac{2}{3} + \frac{1}{3}) \} \times \frac{4}{10} \times \frac{2}{3} = 7,568円$</p> <p>(一) 長期調査員 広島基準 3等級 3泊3日 片道適用率 $\frac{4}{10}$ $\{$ 鉄道賃 日当 宿泊料 $(8,900円 + 6,400円) + 1,600円 \times 3日 + 4,200円 \times 2泊$ $+ 2,400円 \times 1泊 \} \times \frac{4}{10} = 17,560円$</p> <p>(二) 大学教授 広島基準 特級 3泊3日 往復適用率 $\frac{4}{10}$ $\{$ 鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料 $(8,040円 + 1,326円 \times 3日 + 4,630円 \times 2泊 + 4,018円$ $\times 1泊) \times 2回 \times \frac{4}{10} = 25,036円$</p> <p>2. 滞在費 (411,305) 437,404</p> <p>(1) 医療協力専門家</p> <p>本人 488,300円 \times 8月 \times 51人 \times $\frac{48}{100}$ (48) (187,507) = 197,226</p> <p>家族 488,300円 \times $\frac{35}{100}$ \times 8月 \times 36家族 (33) (45,119) = 49,221</p> <p>(2) 一般専門家</p> <p>本人 370,900円 \times 8月 \times 47人 (45) (140,724) = 146,978</p> <p>家族 370,900円 \times $\frac{35}{100}$ \times 8月 \times 33家族 (32) (35,025) = 36,119</p> <p>(3) 長期調査員</p> <p>本人 488,300円 \times 6月 \times 2人 (1) (2,930) = 5,860</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>3. 住居手当 (91,575) 97,191</p> <p>(1) 派遣専門家 $203,500 \text{円} \times 8 \text{月} \times 98 \text{人} \times \frac{60}{100} = 90,342$ $= 75,726$ </p> <p>(2) 長期調査員 $203,500 \text{円} \times 6 \text{月} \times 2 \text{人} \times \frac{60}{100} = 733$ $= 1,465$ </p> <p>※ 講学手当</p> <p>短期 (147) 長期医療 (48) $1,027,620 \text{円} \times 11^3 \times 0.95 \times 164 \text{人} + 488,300 \text{円} \times 8 \text{月} \times 51 \text{人}$ </p> <p>長期一報 (45) 長期調査員 (1) $+ 370,900 \text{円} \times 8 \text{月} \times 47 \text{人} + 488,300 \text{円} \times 6 \text{月} \times 2 \text{人}$ </p> <p>$\times \frac{1}{3} \times \frac{15}{100} = 24,111$ $= 26,649$ </p> <p>5. 僻地手当 (16,454) 17,496</p> <p>(A) 医療 $488,300 \text{円} \times \frac{20}{100} \times \left\{ \frac{(264)}{288 \text{人月} \times \frac{35}{100} + 120 \text{人月}} \right\}$ $\times \frac{10}{100} = 4,653$ $= 4,969$ </p> <p>一報 $370,900 \text{円} \times \frac{20}{100} \times \left\{ \frac{(256)}{264 \text{人月} \times \frac{35}{100} + 112 \text{人月}} \right\}$ $\times \frac{10}{100} = 3,515$ $= 3,662$ </p>

(374)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 携行機材費	(96,341) 97,750	106,293	8,543	<p>長期調査員 $488,300円 \times \frac{20}{100} \times 12人月 \times \frac{10}{100} = 117$ (59)</p> <p>(B) 医療 $488,300円 \times \frac{10}{100} \times \left\{ \frac{(264)}{288人月} \times 1 \frac{35}{100} + 120人月 \right\} \times \frac{20}{100} = 4,653$ (4,653) 4,969</p> <p>一般 $390,900円 \times \frac{10}{100} \times \left\{ \frac{(256)}{264人月} \times 1 \frac{35}{100} + 112人月 \right\} \times \frac{20}{100} = 3,515$ (3,515) 3,662</p> <p>長期調査員 $488,300円 \times \frac{10}{100} \times 12人月 \times \frac{20}{100} = 117$ (59)</p> <p>6. 子女教育手当 定額分 $18,000円 \times 69家族 \times 8月 \times \frac{1}{2} \times (1 + \frac{2}{5}) = 4,637$ (65)</p> <p>7. 左勤手当改善分 (0) 18,800</p> <p>合計 1 ~ 7 (90,134) = 1,019,818</p> <p>1. 専門家 $341,734円 \times \frac{(240)}{262人} = 89,534$ (82,016)</p> <p>2. 長期調査員 $3,090,000円 \times 17-4 = 3,090$</p> <p>3. 大学教授 $341,734円 \times \frac{(37)}{40人} = 13,669$ (12,644)</p> <p>計 (97,750) 106,293</p>

(375)
(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 現地業務費	(191,851) 194,658	203,977	9,319	全額 ④ 1. 現地業務費 (1) 専門家分 $24,400円 \times (147)^{(147)} \times (93)^{(93)} \times \frac{237}{225}$ $\times 0.927124 = 34313$ $(31,873)$ (2) 大学教授分 $24,400円 \times 40人 \times 1月 \times \frac{237}{225} \times 0.927124$ (885) $= 953$ 計 $(32,758)$ $35,266$ 2. 現地研究費 $94,000円 \times (103)^{(103)} \times (84)^{(84)} \times \frac{237}{225}$ $\times 0.927124 = 106,852$ $(99,929)$ 3. 貧困対策費 $149,910円 \times 2470527 \times 12月 \times \frac{237}{225} \times 0.927124$ $(43,928)$ $= 41,994$

(376)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				4. 技術普及対策費 (1) プロジェクト業績発表検討評価普及会議 5764 イ 会場借料 主会議場 56,540円 × 1室 × 2日 = 113 7-7会議場 13,580円 × 2室 × 3日 = 81 事務局室 9,050円 × 1室 × 7日 = 63 ロ 備品使用料 視聴覚設備等 22,620円 × 5日 = 113 ハ 翻訳料 報告書 1,100円 × 300頁 × 4枚 = 1,320 会議資料 1,100円 × 10頁 × 4枚 × 10種 = 440 ニ 印刷製本費 報告書 1,130円 × 300頁 × 2種 = 678 会議資料 60円 × 30頁 × 10種 × 100部 = 1,800 ホ 話謝金 ラポラトウル 2,610円 × 8時間 × 6日 × 3人 = 376 同時通訳 (英語 ↔ 現地公用語) 2,610円 × 1.5 × 8時間 × 5日 × 2人 = 313

(377)
(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				<p>臨時委員 $870円 \times 8時間 \times 7日 \times 4人 = 195$</p> <p>ハ 現地視察車輛借上料</p> <p>$45,230円 \times 5台 \times 1日 = 226$</p> <p>ト 通信運搬費 $230円 \times 300部 \times 2種 \times \frac{1}{3} = 46$</p> <p>(2) 普及活動費 $5,757$</p> <p>イ 印刷製本費</p> <p>ポスター $170円 \times 10,000枚 = 1,700$</p> <p>パンフレット $30円 \times 5頁 \times 20,000枚 = 3,000$</p> <p>ロ 資料作成費</p> <p>地区指導者衛生教育講習会資料</p> <p>$30円 \times 15頁 \times 2種 \times 20人 \times 24回 = 432$</p> <p>スライド $1130円 \times 36枚 + \overset{(1,560)}{1,590円} \times 2本 \times 2種 = 88$</p> <p>プリント $120円 \times 20枚 \times 20種 \times 2種 = 96$</p> <p>紙芝居 $900円 \times 20枚 \times 20種 = 360$</p> <p>ハ 会場借料</p> <p>地区指導者講習会々場借料</p> <p>$3,390円 \times 24ヶ所 = 81$</p> <p>小計 $\{(1) + (2)\} \times 1ヶ所 = 11,521$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				$11,521 \times \frac{237}{225} \times 0.927124 = 11,251 \quad (11,297)$
				<p>5. 技術普及広報費</p> $500,000円 \times 1070 \text{シート} \times \frac{237}{247} = 4,798 \quad (4,818)$
				<p>6. 長期調査員調査費</p> $76,820円 \times 670 \text{シート月} \times 2人 \times \frac{237}{238} = 1,157 \quad (1,587)$
				<p>7. 技術交換費</p> $1,386円 \times 170 \text{シート} \times \frac{237}{238} = 1,380 \quad (1,345)$
				<p>(1) 航空賃 $232,300円 \times 2人 = 464,600円$</p>
				<p>(2) 日当 $3,200円 \times 30日 \times 2人 = 192,000円$</p>
				<p>(3) 宿泊料 $2,800円 \times 29泊 \times 2人 = 568,400円$</p>
				<p>小計 (1)~(3) $1,225 \times 1.088 \times 0.85 = 1,266 \quad (1,225)$</p>
				<p>(4) 現地活動費 $48,500円 \times 2人 = 97$</p>
				<p>(5) 送料 $2,300円 \times 10冊 = 23$</p>
				<p>8. 応急対策費 $106,560円 \times 12月 \times 1件 = 1,279 \quad (0)$</p>
				<p>合計 1~8 $\quad (194,658)$ 203,977</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 中堅技術者養成対策費	(29,064) 29,350	36,534	7,184	全額 ④ 1. 直接経費 17,281 (1) 研修参加費★ $34,344円 \times 32人 \times \frac{3}{4} \times 4回 = 3,297$ (2) 教材費 (イ) 印刷製本費 $50円 \times 50頁 \times 7種 \times 32人 \times 4回 = 2,240$ $50円 \times 60頁 \times 20種 \times 32人 \times 4回 = 7,680$ (ロ) 翻訳料 $920円 \times (50頁 \times 7種 + 60頁 \times 20種) = 1,426$ (3) 実習旅費★ $20,609円 \times 32人 \times 4回 = 2,638$ 2. 研修諸費 1,424 (1) 特別講師謝金★ $2,250円 \times 3時間 \times 6人 \times 4回 = 162$ (2) 指導同行旅費 $20,625円 \times 4人 \times 4回 = 330$ (3) 研修資材費 $7,280円 \times 32人 \times 4回 = 932$ 小計 1 + 2 = 18,705

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 技術費	(90,766) 92,094	127,231	35,137	$\begin{aligned} \text{合計} & \left\{ 18.705 \times \frac{(10)}{100} \times 17\text{プロジェクト} + 18.075 \times \frac{(10.8)}{100} \times 17\text{プロジェクト} \right. \\ & \left. + 18.705 \times \frac{(7.0)}{100} \times 17\text{プロジェクト} \right\} \times \frac{237}{225} \times 0.927/24 \\ & = 36.534 \end{aligned}$ $\begin{aligned} (626,490) \\ 645,910 \text{円} \times 2.94 \times \left\{ 7 \times (4+1) \text{月} + 2 \times (8+1) \text{月} + 2 \times (6+1) \text{月} \right\} \\ (92,094) \\ = 127,231 \end{aligned}$
(目) プロジェクト基盤整備費	(28,997) 29,421	29,297	△ 124	$\begin{aligned} \text{全額 } \textcircled{\oplus} \\ 30,000 \times 1 \text{件} \times \frac{237}{225} \times 0.927/24 = 29,297 \end{aligned}$
(目) 所属先給与補填経費	(454,496) 454,496	504,033	49,537	$\begin{aligned} \text{全額 } \star \\ (465,800) \\ 418,400 \text{円} \times \frac{(1.630)}{1.807} \times \frac{2}{3} = 504,033 \end{aligned}$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																																				
				<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1650 583 1863 630">区分</th> <th data-bbox="1863 583 2347 630">積算内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1650 638 2347 684">(調査団)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 709 1863 751">事前調査</td> <td data-bbox="1863 709 2347 751">31日 × 5人 × 6件 = 930人日</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 758 1863 800">実施協議</td> <td data-bbox="1863 758 2347 800">20日 × 4人 × 5件 = 400</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 806 1863 848">実施設計</td> <td data-bbox="1863 806 2347 848">60日 × 5人 × 1件 × 2/5 = 120</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 875 1863 917">計画打合せ</td> <td data-bbox="1863 875 2347 917">15日 × 3人 × 6件⁽⁵⁾ = 270⁽²²⁵⁾</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 945 1863 987">巡回指導</td> <td data-bbox="1863 945 2347 987">20日 × 4人 × 4件⁽³⁾ = 320⁽²⁴⁰⁾</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 993 1863 1035">機材修理</td> <td data-bbox="1863 993 2347 1035">20日 × 4人 × 6件 × 1/4 = 480</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 1062 1863 1104">エバリュエーション</td> <td data-bbox="1863 1062 2347 1104">35日 × 2人 × 7件 × 3/5 = 735</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 1110 1863 1152">基礎調査</td> <td data-bbox="1863 1110 2347 1152">60日 × 5人 × 1件 × 2/5 = 120</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 1159 1863 1201">事後調査</td> <td data-bbox="1863 1159 2347 1201">35日 × 5人 × 1件 = 175</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 1228 1863 1270">小計</td> <td data-bbox="1863 1228 2347 1270">(3,425) 2,550人日 × 1/30月 = 118人月</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1650 1278 2347 1325">(専門家)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 1352 1863 1394">短期</td> <td data-bbox="1863 1352 2347 1394">(147-5)⁽⁷¹⁰⁾ (4+1)月 × (164-7)人 = 785人月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 1421 1863 1463">長期</td> <td data-bbox="1863 1421 2347 1463">(93-2)⁽⁸¹⁹⁾ (8+1)月 × (98-2)人 = 864</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 1491 1863 1533">大学教授</td> <td data-bbox="1863 1491 2347 1533">(37)⁽³⁷⁾ 1月 × 40人 = 40</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 1541 1863 1583">小計</td> <td data-bbox="1863 1541 2347 1583">(710)⁽⁸¹⁹⁾ (37)^(1,566) 785 + 864 + 40 = 1,689人月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1650 1591 1863 1633">合計</td> <td data-bbox="1863 1591 2347 1633">(114)^(1,689) 118 + 1,689 = 1,807人月</td> </tr> </tbody> </table>	区分	積算内訳	(調査団)		事前調査	31日 × 5人 × 6件 = 930人日	実施協議	20日 × 4人 × 5件 = 400	実施設計	60日 × 5人 × 1件 × 2/5 = 120	計画打合せ	15日 × 3人 × 6件 ⁽⁵⁾ = 270 ⁽²²⁵⁾	巡回指導	20日 × 4人 × 4件 ⁽³⁾ = 320 ⁽²⁴⁰⁾	機材修理	20日 × 4人 × 6件 × 1/4 = 480	エバリュエーション	35日 × 2人 × 7件 × 3/5 = 735	基礎調査	60日 × 5人 × 1件 × 2/5 = 120	事後調査	35日 × 5人 × 1件 = 175	小計	(3,425) 2,550人日 × 1/30月 = 118人月	(専門家)		短期	(147-5) ⁽⁷¹⁰⁾ (4+1)月 × (164-7)人 = 785人月	長期	(93-2) ⁽⁸¹⁹⁾ (8+1)月 × (98-2)人 = 864	大学教授	(37) ⁽³⁷⁾ 1月 × 40人 = 40	小計	(710) ⁽⁸¹⁹⁾ (37) ^(1,566) 785 + 864 + 40 = 1,689人月	合計	(114) ^(1,689) 118 + 1,689 = 1,807人月
区分	積算内訳																																							
(調査団)																																								
事前調査	31日 × 5人 × 6件 = 930人日																																							
実施協議	20日 × 4人 × 5件 = 400																																							
実施設計	60日 × 5人 × 1件 × 2/5 = 120																																							
計画打合せ	15日 × 3人 × 6件 ⁽⁵⁾ = 270 ⁽²²⁵⁾																																							
巡回指導	20日 × 4人 × 4件 ⁽³⁾ = 320 ⁽²⁴⁰⁾																																							
機材修理	20日 × 4人 × 6件 × 1/4 = 480																																							
エバリュエーション	35日 × 2人 × 7件 × 3/5 = 735																																							
基礎調査	60日 × 5人 × 1件 × 2/5 = 120																																							
事後調査	35日 × 5人 × 1件 = 175																																							
小計	(3,425) 2,550人日 × 1/30月 = 118人月																																							
(専門家)																																								
短期	(147-5) ⁽⁷¹⁰⁾ (4+1)月 × (164-7)人 = 785人月																																							
長期	(93-2) ⁽⁸¹⁹⁾ (8+1)月 × (98-2)人 = 864																																							
大学教授	(37) ⁽³⁷⁾ 1月 × 40人 = 40																																							
小計	(710) ⁽⁸¹⁹⁾ (37) ^(1,566) 785 + 864 + 40 = 1,689人月																																							
合計	(114) ^(1,689) 118 + 1,689 = 1,807人月																																							

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
(目)連絡会議旅費	(12,109) 12,195	11,688	△ 507	1. プロジェクト・リーダー-連絡会議 東京開催 / 等級20人 (12,195) 11,688								
				航空賃	日当・宿泊料	小計 ×1.008×0.95	会議費	計				
				504,430 円 × 20人 = 10,088,600	{(2,321+9,964) × 2日 円 +(1,398+7,079) × 8日 } × 20人 = 1,887,720	(11,976,320) 11,468,524	1,460 × 5日 円 × 30人 = 219,000	円 (12,195,320) 11,687,524				
(目)一時帰国旅費	(14,859) 15,076	14,443	△ 633	テヘラン基準								
				区分	等級	航空賃	国内旅費	日当・宿泊料	旅行雑費	計 ×1.008×0.95	人数	合計
				本人	3	340,680 円	11,658 円	1,436 × 2日 = 2,872 円	1,496 円	(356,706 円) 341,582	17人	(6,064) 5,807
				家族	3	511,020	13,582	1,436 × (2/3 + 1/3) × 2日 = 2,872	1,496 × 2 = 2,992	(530,104) 507,974	17	(9,012) 8,636
				合計								(15,076) 14,443
				<p>国内旅費内訳</p> <p>(イ) 本人 広島基準 3等級 3泊3日 往復適用率 2/10</p> <p>鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料 (4,810 円 + 549 円 × 3日 + 2,807 円 × 2泊 + 2,502 円 × 1泊) × 2往復 × 2/10 = 11,658 円</p> <p>(ロ) 家族</p> <p>鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料 (4,810 円 × 1.5 + 549 円 × 3日 + 2,807 円 × 2泊 + 2,502 円 × 1泊) × (2/3 + 1/3) × 2往復 × 2/10 = 13,582 円</p>								

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 子女呼寄せ旅費	(2,063) 2,084	2,232	138	$357,270 \text{ 円} \times \left(1 - \frac{25}{100}\right) - 20,000 \text{ 円} = 247,953 \text{ 円}$ $247,953 \text{ 円} \times \left(\frac{93}{98} - 17\right) \times \frac{1}{7} = \frac{(2,084)}{2,232}$
(目) 学術情報資料提供費	(9,938) 9,982	9,982	0	<p style="text-align: right;">9,982</p> <p>1. 学術論文(文献リスト, 要約)</p> $334,010 \text{ 円} \times 2470 \text{ シェット} = 8,016,240 \text{ 円}$ <p>2. 保健医療情報誌</p> $\left\{ \begin{array}{l} \text{送料} \\ (470 \text{ 円} + 910 \text{ 円}) + (630 \text{ 円} + 400 \text{ 円}) \end{array} \right\} \times 12 \text{ 月} \times 2470 \text{ シェット}$ $= 694,080 \text{ 円}$ <p>3. 資料翻訳料</p> $2,650 \text{ 円} \times 10 \text{ 頁} \times 2 \text{ 件} \times 2470 \text{ シェット} = 1,292,000 \text{ 円}$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
3. 機材供与に必要な経費	(1438,101)			
	1,438,101	1,386,559	△51,542	
(目) 機材供与費	(1438,101)			
	1,438,101	1,386,559	△51,542	全額 *
				(1) 一般機材 送料 ㊦
				$(1,158,600)$
				$1,108,793 \times \left(\frac{82}{100} + \frac{13}{100} \times 0.73 \times \frac{237}{225} \times 0.927124 \right)$
				(1,115,811)
				= 1,067,409
				イ. 新規プロジェクト
				ビルマ 消化器系伝染病研究 20,000
				ラオス 製薬技術開発センター 20,000
				フィリピン 食品薬品検定センター 10,000
				エクアドル 消化器病研究対策 10,000
				中南地域 新規案件 13,793
				小計 73,793
				ロ. 継続プロジェクト
				バングラデシュ 循環器病対策 20,000
				ビルマ 製薬研究開発センター 25,000
				ビルマ 消化器病診断技術向上 35,000
				中国 中日友好病院 40,000
				インド ワクチン製造 25,000
				インドネシア 北スマトラ地域保健対策 20,000
				インドネシア 看護教育 20,000

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				インドネシア 薬品品質管理 45,000
				韓 国 母子保健 50,000
				ネパール トリブバン大学医学部 30,000
				フィリピン 熱帯医学研究所 30,000
				スリランカ スリジャマワラダナプラ病院 40,000
				タ イ 看護教育 20,000
				タ イ 国立衛生研究所 40,000
				エジプト カイロ大学小児病院 40,000
				スーダン ハルツーム教育病院 40,000
				イエメン 結核対策 20,000
				ケニア 中央医学研究所 40,000
				ナイジェリア ショス大学医学部 30,000
				アルゼンティン 消化器病対策 60,000
				ブラジル ペルナンブコ大学免疫病理学センター 65,000
				コロンビア 中央医学研究所 40,000
				パラグアイ 厚生省中央研究所 20,000
				ペルー 地域精神衛生向上 30,000
				ウルグアイ 消化器病総合研究センター 50,000
				ヴェネズエラ がん対策 40,000
				トンガ 保健衛生検査所 20,000
				ユーゴスラビア 医療従事者生涯教育センター 50,000
				小 計 990,000

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				ハ. フォローアップ
				ネパール 西部地域公衆衛生対策 20,000
				カーナ カーナ大学医学部 10,000
				ガンビア ザンビア大学医学部 15,000
				小計 45,000
				(2) 特別機材 送料④
				$271,523 \times \left(\frac{87}{100} + \frac{13}{100} \times 0.73 \times \frac{237}{225} \times 0.927124 \right)$
				(264,506)
				= 261,389
				(3) 資材費 送料④
				$20,000 \times 3カ所 \times \left(\frac{87}{100} + \frac{13}{100} \times 0.73 \times \frac{237}{225} \times 0.927124 \right)$
				(57,784)
				= 57,761
				ビルマ 消化器伝染病対策 20,000
				ラオス 製薬技術開発センター 20,000
				パラグアイ 厚生省中央研究所 20,000

(387)
(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎												
4. アフターケアに必要な経費	(41,003) 41,102	62,959	21,857													
(1) 調査団派遣経費	(5,833) 5,918	9,192	3,274													
(目) 調査旅費	(4,264) 4,326	6,807	2,481	6,807 (4,326)												
				等級	期間	航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	単価計	人員	小計	件数	合計
				級	日	テラン基準 円	円	円	円	円	円	円	人	円	件	円
				3	10	543,000	33,815	3,200 × 10日 = 32,000	9,800 × 9泊 = 88,200	2,500	22,344	(72,059) 756,247	3	(2,163) 2,269	(2) 3	(4,326) 6,807
(目) 現地調査費	(394) 402	600	198	注) 国内旅費 { 航空賃 日当 宿泊料 食料 } × 2 × 10 = 22,344円 全額 ⊕ 400 (402)												
				車種	期間	資料等購入費	会議費	単価計	外貨交換手数料(1%)	計(x232/277 × 0.927124)	件数	合計				
				種	日	円	円	円	円	円	件	円				
				7,440	8日 × 1台	2,600 × 5種 = 13,000	2,460 × 2.5人 × 2回 = 123,000	195,520	1,955	(201) 200	(2) 3	(402) 600				
(目) 資機材購送費	(41) 42	63	21	63 (42)												
				機械等借料購入費	医薬品	小計	件数	合計								
				円	円	円	件	円								
				10,500	10,500	21	(2) 3	(42) 63								
(目) 報告書作成費	(820) 832	1,248	416	1,248 (832)												
				原稿料	国内旅費	印刷製本費	小計	件数	合計							
				円	円	円	円	件	円							
				2,380 × 100枚 = 238,000	29,360	2,982 × 50部 × 1種 = 149,100	416	(2) 3	(832) 1,248							

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 実施計画費	(312) 316	474	158	474(316)
				1. 諸謝金 6020円 × 2人 × 2回 = 24 2. 国内旅費 55,000円 × 2人 × 2回 × $\frac{1}{5}$ = 44 3. 庁費 (1) 会議費 590円 × 15人 × 2回 = 18 (2) 印刷費 2,980円 × 20部 × 1種 = 60 (3) 送料 4,220円 × 2kg = 8 (4) 資料購入費 2,100円 × 2種 = 4 計 1~3 158 158 × $\frac{(2)}{3}$ 件 = 474
(2) 専門家派遣経費	(12,923) 12,937	20,410	7,473	
(目) 派遣諸費	(7,084) 7,084	11,406	4,322	全額 ☆ 11,406(7,084)

区分	等級	期間	航空賃	支度料	日当・宿泊料	旅行雑費	国内旅費	語学手当	計 (X1.13X0.85)	人頁	合計
短期	3	3	543,000	94,330	$3,200 \times 3 \text{日} + 9,800 \times 30 \text{泊}$ $+ (3,200 + 9,800) \times 30 \text{日}$ $\times 0.9 + (3,200 + 9,800) \times$ $30 \text{日} \times 0.8 = 1,056,200$	2,500	22,344	$1056,200 \times \frac{15}{100}$ $\times \frac{1}{3}$ = 52,810	(1,771) 1,901	(4) 6	(7,084) 11,406

注) 国内旅費
 { 鉄道賃 日当 宿泊料
 $8040 \text{円} + (1,122 \times 3 \text{日}) + (5,712 \text{円} \times 2 \text{泊}) + 5,100 \text{円}$
 $\times 2 \times \frac{4}{10} = 22,344 \text{円}$ }

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 携行機材費	(674) 684	1,026	342	$17,000 \text{円} \times 2 \text{人} \times 3 \text{件}^{(2)}$ = (684) = 1,026
(目) 現地業務費	(295) 299	447	149	全額④ $24,500 \text{円} \times 3 \text{月} \times 2 \text{人} \times 3 \text{件} \times \frac{237}{217} \times 0.927124^{(2)}$ = (299) = 447
(目) 所属先給与補償経費	(4870) 4870	7,531	2,661	全額☆ 給与補償経費 7,531 (4870) (1) 調査団 $418,400 \text{円} \times (10 \text{日} \times 3 \text{人} \times \frac{1}{30}) \times \frac{2}{3} \times 3 \text{件}^{(2)}$ = (541) 837 (2) 専門家 $418,400 \text{円} \times 4 \text{ヶ月} \times 2 \text{人} \times \frac{2}{3} \times 3 \text{件}^{(2)}$ = (4329) 6,694
(目) 機材供与経費	(22,247) 22,247	33,357	11,110	
(目) 機材供与費	(22,247) 22,247	33,357	11,110	全額☆ $11,550 \times (\frac{87}{100} + \frac{13}{100} \times 0.73 \times \frac{237}{225} \times 0.927124) \times 3 \text{件}^{(2)}$ = (22,247) = 33,357

(390)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
5. 難民救済等緊急医療協力等に必要経費	(206,745) 400,000	400,000	0	
(目) 難民救済等緊急医療協力等に必要経費	(206,745) 400,000	400,000	0	

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
(項) 人口家族計画協力費	(812.995) 814.360	829.013	14.653	昭和55年度から計上 (但し、54年度までは(項)保健医療協力事業費に計上)							
1. 調査団派遣に必要な経費	(67.776) 68.461	69.614	1.153	54年度 (413.755) 当初予算額 408.819	55年度 (460,000) 460,000	56年度 (519,197) 519,197	57年度 (658,234) 660,847	58年度 (773,328) 774,893			
(1) 調査団派遣経費	(51.150) 51.672	53.433	1.761								
				区分	件数	調査旅費	現地調査費	資機材購送費	報告書作成費	調査業務実施費	計
				事前調査	2	(6,082) 6,378	(504) 502				(7,694) 7,988
				実施協議	1	(2,076) 2,199	(168) 167				(2,818) 2,920
				計画打合せ	1	(1,382) 1,449					(1,777) 1,844
				巡回指導	2	(4,192) 4,398	(290) 288				(5,150) 5,354
				機材修理	1	(3,995) 4,190	(691) 688				(6,849) 7,041
				エバリュエーション	1	(1,879) 1,971	(227) 226				(2,323) 2,414
				基礎調査	1	(1,594) 1,672	(266) 265			(22,939) 23,673	(25,061) 25,872
				合計	9	(21,220) 22,257	(2,215) 2,205			(22,939) 23,673	(51,672) 53,433

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎									
(B) 調査旅費	(21,008) 21,220	22,257	1,037										
区分	等級	期間	航空賃	支度料	日当・宿泊料	旅行雑費	国内旅費	小計 (前年度)	人員	構成比	計	件数	合計
事前調査	2	31	745基準 338,320	50,903	1,675×31+5,144×30泊 = 206,245	1,495	11,140	(608,103) 637,778	5 5	5/5 0	(3,041) 3,189 0	2 *	(6,082) 6,378 0
実施協議	2	20	338,320	41,918	1,675×20+5,144×19 = 131,236	1,495	11,140	(524,109) 549,686	4 4	4/4 0	(2,096) 2,199 0	1 *	(2,096) 2,199 0
計画打合せ	2	15	308,990	41,918	1,675×15+5,144×14 = 97,141	1,495	11,140	(460,684) 483,165	3 3	3/3 0	(1,382) 1,449 0	1 *	(1,382) 1,449 0
巡回指導	2	20	338,320	41,918	131,236	1,495	11,140	(524,109) 549,686	4 4	4/4 0	(2,096) 2,199 0	2 *	(4,192) 4,398 0
機材修理	3	20	648,200	66,030	3,200×20+9,800×19 = 250,200	5,000	29,267	(998,697) 1,047,433	4 4	4/4 0	(3,995) 4,190 0	1 *	(3,995) 4,190 0
インタビュー	2	35	338,320	41,918	1,675×35+5,144×34 = 235,521	1,495	11,140	(626,394) 656,962	3 3	3/3 0	(1,879) 1,971 0	1 *	(1,879) 1,971 0
基礎調査	2	60	338,320	41,918	1,675×60+5,144×59 = 403,996	1,495	11,140	(796,869) 835,756	5 5	2/5 3/5	(1,594) 1,672 (2,391) 2,507	1 *	(1,594) 1,672 (2,391) 2,507
計												9	(21,220) 22,257 (2,391) 2,507

(注) 国内旅費内訳
 (1) 広島基準 2等級 3泊3日 往復
 鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料
 { 4,810円 + (871円×3日 + 3,417円×2泊 + 3,057円) } × 2 × 5
 = 11,140円

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎							
(目) 現地調査費	(2,193) 2,215	2,205	△ 10	(2) 広島基準 3等級 3泊3日 往復 鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料 $\{8,900円 + 6,400円 + (1,600円 \times 3日 + 8,200円 \times 2泊 + 7,400円)\}$ $\times 2 \times \frac{1}{5} = 29,267円$ 全額(外)							
区分	通訳備上費	車輦等借上費	資料等購入費	通信連絡費	会議費	小計	外貨交換手数料(1%)	計	件数	構成比	合計
事前調査	$2,760 \times 11 \times 25 = 69,000$	$3,440 \times 16 \times 25 = 86,000$	$1,160 \times 40 = 46,400$	$70 \times 30 \times 3 = 6,300$	$1,160 \times 20 \times 2 = 46,400$	254,100	2,541	(252) 251	2	5/5 0/5	(504) 502 * 0
実施協議	$2,760 \times 17 = 46,920$	$3,440 \times 17 = 58,480$	$1,160 \times 30 = 34,800$	6,300	$1,160 \times 20 \times 1 = 23,200$	169,700	1,697	(168) 167	1	4/4 0/4	(168) 167 * 0
計画打合せ	0	$3,440 \times 10 = 34,400$	$1,160 \times 10 = 11,600$	6,300	$1,160 \times 15 \times 1 = 17,400$	69,700	697	69	1	3/3 0/3	69 * 0
巡回指導	46,920	58,480	11,600	6,300	23,200	146,500	1,465	(145) 144	2	4/4 0/4	(290) 288 * 0
機材修理	$20,000 \times 1 \times 17 = 340,000$	$15,000 \times 1 \times 17 = 255,000$	$2,000 \times 10 = 20,000$	$100 \times 30 \times 3 = 9,000$	$3,000 \times 20 \times 1 = 60,000$	684,000	6,840	(691) 688	1	4/4 0/4	(691) 688 * 0
エバリュエーション	$2,760 \times 1 \times 30 = 82,800$	$3,440 \times 1 \times 30 = 103,200$	11,600	6,300	$1,160 \times 25 \times 1 = 29,000$	292,900	2,929	(227) 226	1	3/3 0/3	(227) 226 * 0
基礎調査	$2,760 \times 2 \times 50 = 276,000$	$3,440 \times 2 \times 50 = 344,000$	$1,160 \times 20 = 23,200$	6,300	$1,160 \times 15 \times 2 = 34,800$	684,300	6,843	(666) 663	1	2/5 3/5	(266) 265 (400) * 398
計									9		(2,215) 2,205 (400) * 398

注1 $\times \frac{237}{229} \times 0.927/24$
 注2 $\times \frac{237}{229}$

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(目) 資機材購送費	(2,134) 2,134	2,134	0					
区分	医療機材 円	事務用品 円	医薬品 円	送料① ($\times \frac{237}{229} \times 0.927124$) 円	計	件数 件	構成比	合計
事前調査	78,650	7,860	11,790	(945) 941	99	2	5/5	198
実施協議	78,650	7,860	11,790	(945) 941	99	1	0/5	* 0
計画打合せ	0	7,860	3,940	0	12	1	4/4	* 0
巡回指導	0	7,860	11,790	0	20	1	0/3	* 0
機材修理	1,620,060	8,100	12,140	注2 (81,055) 80,714	1,721	2	0/4	4/4 1,721
エバリュエーション	0	11,790	11,790	0	24	1	0/4	* 0
基礎調査	78,650	7,860	11,790	注1 (945) 941	99	1	3/3	2/5 40
計						9	3/5	* 59 2,134
								* 59

注1 $\times \frac{237}{229} \times 0.927124$
 注2 $\times \frac{237}{239}$

(395)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(目) 報告書作成費	(3,132) 3,164	3,164	0					
区分	原稿料	印刷製本費	作成諸費	国内旅費	計	件数	構成比	合計
事前調査	円 1,460×100枚=146,000	円 2360×100部=236,000	円	円 73,216	455	2	5/5 0/5	910 0
実施協議	146,000	236,000		73,216	455	1	4/4 0/4	455 0
計画打合せ	146,000	1,890×50=94,500		73,216	314	1	0/3 0/3	314 0
巡回指導	146,000	94,500		73,216	314	2	4/4 0/4	628 0
機材修理	2200×100=220,000	3,000×50=150,000		72,160	442	1	4/4 0/4	442 0
エバリュエーション	1,460×100× $\frac{2}{3}$ =97,333	1,890×50× $\frac{2}{3}$ =63,000	23,210× $\frac{2}{3}$ =15,473	16,942	193	1	3/3 0/3	193 0
基礎調査	1,460×200=292,000	1,890×100=189,000		73,216	554	1	2/5 5/5	222 332
計						9		3,164 332

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(注) 国内旅費内訳</p> <p>(1) 広島基準 2等級 6泊7日 鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料 $\{5,110円 \times 2回 + (713円 \times 7日 + 3,631円 \times 5泊 + 3,242円)\}$ $\times 2人 = 73,216円$</p> <p>(2) 広島基準 2等級 3泊4日 鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料 $\{5,110円 \times 2回 + (584円 \times 4日 + 2,982円 \times 2泊 + 2,658円)\}$ $\times 3人 \times \frac{4}{10} \times \frac{2}{3} = 16,942円$</p> <p>(3) 広島基準 3等級 6泊7日 鉄道賃 日当 $\{(8,900円 + 6,400円) \times 2回 + (1,600円 \times 7日 +$ 宿泊料 宿泊料 $8,200円 \times 5泊 + 7,400円)\} \times 3人 + \frac{4}{10} \times \frac{2}{3}$ $= 72,160円$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	種 算 基 礎						
(目) 調査業務実施費	(22,709) 22,939	23,673	734							
				区 分	調査旅費	現地調査費①	資機材購置費 送料のみ②	報告書作成費	技術費	合計
				基礎調査	(2,391) 2,507	(400) 386	59	332	(1,9757) 20,389	(22,939) 23,673
技術費内訳										
区 分	等級	作業期間	直接人件費	諸経費(直接人件費) ×110%	技術経費 (直接人件費+諸経費)×40%	小 計	件数	合計		
基礎調査	2	60 30 /	(746,160) $770.550 \times (\frac{40}{30} \times 3人 + 1 \times 3人)$ (6,719,740) = 6,934,950	(6,719,740) $6,934,950 \times 1.1$ (7,371,934) = 7,628,445	(14,111,874) $14,563,375 \times 0.4$ (5,844,750) = 5,825,358	(1,9757) 20,389	1	(1,9757) 20,389		

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎	硬
(2) プロジェクト実施経費	(16,621) 16,789	16,181	△ 608		
(目) 実施計画費	(16,621) 16,789	16,181	△ 608	1. プロジェクト運営費(実施計画費)	(2,930) 2,637
				(1) 諸謝金 101,380円 × ⁽¹⁰⁾ 9件	= (1,013,800) 912,420円
				(2) 国内旅費 57,225円 × ⁽¹⁰⁾ 9件	= (572,250) 515,025円
				(3) 方 費	
				会議費 14,880円 × ⁽¹⁰⁾ 9件	- (148,800) 133,920円
				資料作成費 119,490円 × ⁽¹⁰⁾ 9件	- (1,194,900) 1,075,410円
				小 計	(2,929,750) 2,636,775円
				⁽¹⁰⁾ (9件の内訳)	
				事前調査 2件	
				実施協議 1件	
				基礎調査 1件	
				プロジェクト ⁽⁶⁾ 5件	
				2. 国内支援体制整備費	13,544(13,859)
				(1) 視聴覚専教材整備費	10,509(10,318)
				1. 諸謝金	6,728(6,536)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				<p>(イ) 教材整備国内作業費</p> <p>a. 直接人件費</p> <p>主任技師 1人/月 $\frac{(37,820)}{37,030 \text{円} \times 20 \text{日} \times 1 \text{人月}}$ = 781 (756)</p> <p>技師(A) 2人/月 $\frac{(32,170)}{33,170 \text{円} \times 20 \text{日} \times 2 \text{人月}}$ = 1,327 $(1,287)$</p> <p>b. 諸経費(直接人件費の110%相当額)</p> <p>$\frac{(2,043)}{2,108 \times 1.1}$ = 2,319 $(2,247)$</p> <p>c. 技術経費(直接人件費+諸経費の40%相当額)</p> <p>$\frac{(2,043) (2,247)}{(2,108 + 2,319) \times 0.4}$ = 1,771 $(1,716)$</p> <p>計 a~c 6,198 $(6,006)$</p> <p>(ロ) 教材翻訳料(和文・外国語訳)</p> <p>$2,650 \text{円} \times 100 \text{枚} \times 2 \text{種} \times 1 \text{件}$ = 530</p> <p>口. 国内旅費(広島基準 2等級 3泊4日) 128</p> <p>鉄道賃 日当 宿泊料</p> <p>$\{(7,600 \text{円} + 5,700 \text{円}) \times 2 \text{回} + (1,900 \text{円} \times 4 \text{日} + 9,900 \text{円} \times 3 \text{泊})\}$ $\times 2 \text{人} \times 1 \text{件} = 128$</p>

(400)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				ハ. 庁費 3,653 (3,654)
				(イ) 教材購入費
				教科書専門書購入費 4,200円×10種×1件 = 42
				(ロ) 教材作成費
				ア. 教科書マニュアル等印刷製本費
				2,780円×100部×2種×1件 = 556
				イ. スライド作成費 (100枚)
				840,000円×3種×1件 = 2,520
				(ウ) 会議費
				500円×20人×2回×1件 = 20
				(エ) 教材送料 (テラン基準) ㊦
				2,312円×30kg×4種×1件× $\frac{237}{217}$ ×0.927124
				(282)
				= 281
				(ホ) プロジェクター等購入費
				234,000円×1件 = 234
				計 (イ)～(ホ) 3,653 (3,654)
				(2) 国内協力体制整備費 3,035 (3,541)
				イ. 謝礼金
				(7) (744,660)
				106,380円×6件 = 638,280円
				ロ. 国内旅費
				(7) (1,850,800)
				66,100円×4人×6件 = 1,586,400円

(401)
(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>八. 行 費</p> <p>(1) 会議費 $14,882 \text{円} \times 6 \text{件}^{(7)}$ = $89,292 \text{円}$ $(104,174)$</p> <p>(2) 資料作成費 $120,238 \text{円} \times 6 \text{件}^{(7)}$ = $721,368 \text{円}$ $(841,666)$</p> <p>計 1~ 8 $3,035,340 \text{円} (3,541,300)$</p> <p>(注) 国内旅費 (広島基準 3等級 3泊4日)</p> <p>鉄道賃 日当 宿泊料</p> <p>$14,400 \text{円} \times 2 \text{回} + 1,900 \text{円} \times 4 \text{日} + 9,900 \text{円} \times 3 \text{泊}$</p> <p>= $66,100 \text{円}$</p> <p>合 計 1 + 2 = $16,181 (16,789)$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
2. 専門家派遣に必要な経費 (目) 派遣諸費	(235,034) 235,714 (94,217) 94,217	232,479 102,511	△ 2,235 8,294	全額☆ 1. 赴帰任(出張)旅費 45,313 (39,001) (1) 派遣専門家 (31) 本人 33人 短期 (20) 22人 (医療専門家8人, 一般専門家14人) (12) 長期 11人 (医療専門家1人, 一般専門家10人) (4) 家族 4家族 (医療専門家1家族, 一般専門家3家族)								
区分	等級	期間	航空賃	支度料	移転料	着後手当	国内旅費	旅行雑費	日当・宿泊料	計 (×1.13×0.85)	人数	合計
(1) 派遣専門家			円	円	円	円	円	円	円	円	人	円
本人短期	3	4	461,340	94,330	0	0	19,488	2,500	(9900×3 ^日) + (7920×9 ^日) = 1,027,620	(1,605,278)	(20)	(32,106)
長期	3	8	194,870	209,055 × 1/3 = 69,685	398,172 × 50/700 × 2/3 = 116,057	125,440 × 1/3 = 41,813	6,496	1,062	0	(429,983) 461,587	11	(4,730) 5,077
家族		8	292,310	69,685 × 2/3 = 46,457	398,172 × 65/700 × 2/3 = 150,875	41,813 × (2/3 + 1/3) = 41,813	7,568	2,124	0	(541,147) 580,921	4	(2,165) 2,324
計											(35)	(39,001)
											37	45,313
(注) 国内旅費内訳 (4) 短期 広島基準 3等級 3泊3日 往復適用率 4/70												

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料 $(8,040円 + 918円 \times 3日 + 4,692円 \times 2泊 + 4,182円 \times 1泊)$ $\times 2回 \times \frac{4}{10} = 19,488円$</p> <p>(ロ) 長期 広島基準 3等級 3泊3日 片道運賃率 $\frac{4}{10}$</p> <p>鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料 本人 $(8,040円 + 918円 \times 3日 + 4,692円 \times 2泊 + 4,182円 \times 1泊)$ $\times \frac{4}{10} \times \frac{2}{3} = 6,496円$</p> <p>鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料 家族 $(8,040円 \times 1.5 + 918円 \times 3日 + 4,692円 \times 2泊 + 4,182円 \times 1泊)$ $\times (\frac{2}{3} + \frac{1}{3}) \times \frac{4}{10} \times \frac{2}{3} = 2,568円$</p> <p>2. 滞在費</p> <p>(1) 医療専門家</p> <p>本人 $488,300円 \times 8月 \times 1人 = 3,906$</p> <p>家族 $488,300円 \times \frac{35}{100} \times 8月 \times 1家族 = 1,367$</p> <p>(2) 一般専門家</p> <p>本人 $370,900円 \times 8月 \times 10人 = 31,272$</p> <p>家族 $370,900円 \times \frac{35}{100} \times 8月 \times 3家族 = 3,284$</p> <p>小計 3,2829</p>

(404)

(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>3. 住居手当</p> <p>(1) 派遣専門家</p> $203,500 \text{円} \times 8 \text{月} \times 11 \text{人} \times \frac{60}{100} = 10,745$ <p>4. 語学手当</p> <p>短期 (20) 長期医療</p> $(1,027,620 \text{円} \times 1.13 \times 0.95 \times 22 \text{人} + 488,300 \text{円} \times 8 \text{月} \times 1 \text{人}$ <p>長期一般</p> $+ 390,900 \text{円} \times 8 \text{月} \times 10 \text{人}) \times \frac{1}{3} \times \frac{15}{100} = (2,787)$ <p>5. 僻地手当</p> <p>(A) 医療</p> $488,300 \text{円} \times \frac{20}{100} \times 8 \text{人月} \times \frac{35}{100} \times \frac{10}{100} = 105$ <p>一般</p> $390,900 \text{円} \times \frac{20}{100} \times \left\{ (24 \text{人月} \times \frac{35}{100}) + 56 \text{人月} \right\} \times \frac{10}{100}$ $= (688)$

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 携行機材費	(10,486) 10,594	11,277	683	(B) 医療 $488,300円 \times \frac{10}{100} \times 8人月 \times \frac{35}{100} \times \frac{20}{100} = 105$ 一般 $390,900円 \times \frac{10}{100} \times (24人月 \times \frac{35}{100}) + 56人月 \times \frac{20}{100} = \frac{688}{691}$ 小計 (1586) 1,592 6. 子女教育手当 (1) 定額分 $18,000円 \times 4家族 \times 8月 \times \frac{1}{3} \times (1 + \frac{2}{5}) = 267$ 7. 在勤手当改善分 1,791 合計 1~7 (94,217) 102,511 専門家分 $341,734円 \times \frac{(31)}{33人} = (10,594)$ = 11,277
(目) 現地業務費	(31,023) 31,336	30,048	△ 1,288	全額④ 1. 現地業務費 $24,400円 \times \frac{(20)}{(22人 \times 4月 + 11人 \times 8月)} \times \frac{237}{225} \times 0.927/24$ (4020) = 4,194

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				2. 現地研究費
				$94,000 \text{円} \times \frac{(14)}{15} \times (4 \text{月} + 10 \text{人} \times 8 \text{月}) \times \frac{237}{225} \times 0.927124$
				(12,537)
				- 12,852
				3. 食困対策費
				$149,310 \text{円} \times 5 \text{件} \times 12 \text{月} \times \frac{(6)}{225} \times \frac{237}{225} \times 0.927124 = 8,749$
				(10,543)
				4. 技術普及本報費
				$500,000 \text{円} \times 67 \text{プロジェクト} \times \frac{(5)}{247} \times \frac{237}{247}$
				(2,891)
				2,879
				5. 技術交換費
				$1,386 \times 17 \text{プロジェクト} \times \frac{(1,345)}{238} \times \frac{237}{238}$
				(1,345)
				1,374
				(1) 航空賃 $232,300 \text{円} \times 2 \text{人}$
				= 464,600 円
				(2) 日当 $3,200 \text{円} \times 30 \text{日} \times 2 \text{人}$
				= 192,000 円
				(3) 宿泊料 $9,800 \text{円} \times 29 \text{泊} \times 2 \text{人}$
				= 568,400 円
				小計 {(1)~(3)} $\times 1.088 \times 0.95$
				= (1,225)
				1,266
				(4) 現地活動費 $48,500 \text{円} \times 2 \text{人}$
				= 97
				(5) 送料 $2,300 \text{円} \times 10 \text{部}$
				= 23
				合計 1~5
				(31,336)
				30,048

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 中堅技術者養成対策費	(34,702) 34,935	23,192	△ 11,743	<p>金額 ⑧</p> <p>1. 直接経費</p> <p>(1) 研修参加費 ⑧ 36,060円 × 32人 × $\frac{3}{4}$ × 4回 = 3,462</p> <p>(2) 教材費</p> <p>イ 印刷製本費</p> <p>50円 × 50頁 × 7種 × 32人 × 4回 = 2,240</p> <p>50円 × 60頁 × 20種 × 32人 × 4回 = 7,680</p> <p>ロ 翻訳料</p> <p>960円 × (50頁 × 7種 + 60頁 × 20種) = 1,488</p> <p>(3) 実習旅費 ⑨ 21,640円 × 32人 × 4回 = 2,770</p> <p>小計 (1) ~ (3) 17,640</p> <p>2. 研修諸費</p> <p>(1) 特別講師謝金 ⑩ 2,700円 × 3時間 × 6人 × 4回 = 166</p> <p>(2) 指導同行旅費 21,660円 × 4人 × 4回 = 347</p> <p>(3) 研修資料費 7,300円 × 32人 × 4回 = 934</p> <p>小計 (1) ~ (3) 1,447</p> <p>計 1 + 2 19,087</p> <p>合計 $(19,087 \times \frac{80}{100} \times 17$プロジェクト + $19,087 \times \frac{60}{100} \times 17$プロジェクト + $19,087$</p> <p>$\times \frac{40}{100} \times 17$プロジェクト)</p> <p>$\times \frac{232}{217} \times 0.927124$ = 23,192 (34,935)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																														
(目) 所属先給与補填経費	(61,952) 61,952	63,876	1,924	全額 ☆ $(405,800) \times 229 \text{人月} \times \frac{2}{3} - (61,952) = 63,876$ <table border="1" data-bbox="1558 693 2285 1596"> <thead> <tr> <th data-bbox="1558 693 1869 745">区 分</th> <th data-bbox="1869 693 2285 745">積算内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1558 745 1869 787">(調査員)</td> <td data-bbox="1869 745 2285 787">(日) (人) (件) (対前比) (人日)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1558 787 1869 829">事前調査</td> <td data-bbox="1869 787 2285 829">31 × 5 × 2 = 310</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1558 829 1869 871">実施協議</td> <td data-bbox="1869 829 2285 871">20 × 4 × 1 = 80</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1558 871 1869 913">計画打合せ</td> <td data-bbox="1869 871 2285 913">15 × 3 × 1 = 45</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1558 913 1869 955">巡回指導</td> <td data-bbox="1869 913 2285 955">20 × 4 × 2 = 160</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1558 955 1869 997">機材修理</td> <td data-bbox="1869 955 2285 997">20 × 4 × 1 × 1/4 = 80</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1558 997 1869 1039">エバリュエーション</td> <td data-bbox="1869 997 2285 1039">35 × 3 × 1 × 2/3 = 105</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1558 1039 1869 1081">基礎調査</td> <td data-bbox="1869 1039 2285 1081">60 × 5 × 1 × 2/5 = 120</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1558 1081 1869 1123">小 計</td> <td data-bbox="1869 1081 2285 1123">900 × 1/30月 = 30人月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1558 1123 1869 1165">(専門家)</td> <td data-bbox="1869 1123 2285 1165">(月) (人) (人月)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1558 1165 1869 1207">短期専門家</td> <td data-bbox="1869 1165 2285 1207">(4+1) × (20) (22-2) = 100</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1558 1207 1869 1249">長期専門家</td> <td data-bbox="1869 1207 2285 1249">(8+1) × (11-0) = 99</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1558 1249 1869 1291">小 計</td> <td data-bbox="1869 1249 2285 1291">100 + 99 = 199人月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1558 1291 1869 1333">合 計</td> <td data-bbox="1869 1291 2285 1333">30 + 199 = 229人月</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	積算内訳	(調査員)	(日) (人) (件) (対前比) (人日)	事前調査	31 × 5 × 2 = 310	実施協議	20 × 4 × 1 = 80	計画打合せ	15 × 3 × 1 = 45	巡回指導	20 × 4 × 2 = 160	機材修理	20 × 4 × 1 × 1/4 = 80	エバリュエーション	35 × 3 × 1 × 2/3 = 105	基礎調査	60 × 5 × 1 × 2/5 = 120	小 計	900 × 1/30月 = 30人月	(専門家)	(月) (人) (人月)	短期専門家	(4+1) × (20) (22-2) = 100	長期専門家	(8+1) × (11-0) = 99	小 計	100 + 99 = 199人月	合 計	30 + 199 = 229人月
				区 分	積算内訳																													
				(調査員)	(日) (人) (件) (対前比) (人日)																													
				事前調査	31 × 5 × 2 = 310																													
実施協議	20 × 4 × 1 = 80																																	
計画打合せ	15 × 3 × 1 = 45																																	
巡回指導	20 × 4 × 2 = 160																																	
機材修理	20 × 4 × 1 × 1/4 = 80																																	
エバリュエーション	35 × 3 × 1 × 2/3 = 105																																	
基礎調査	60 × 5 × 1 × 2/5 = 120																																	
小 計	900 × 1/30月 = 30人月																																	
(専門家)	(月) (人) (人月)																																	
短期専門家	(4+1) × (20) (22-2) = 100																																	
長期専門家	(8+1) × (11-0) = 99																																	
小 計	100 + 99 = 199人月																																	
合 計	30 + 199 = 229人月																																	

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																																								
(目) 一時帰国旅費	(2,462) 2,487	2,382	△ 105	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>等級</th> <th>航空賃 円</th> <th>国内旅費 円</th> <th>日当・宿泊料 円</th> <th>旅行雑費 円</th> <th>計 円</th> <th>人数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本人</td> <td>3</td> <td>340,680</td> <td>11,658</td> <td>1,436 × 2日 = 2,872</td> <td>1,496</td> <td>(356,706) 341,582</td> <td>4</td> <td>(1,427) 1,386</td> </tr> <tr> <td>家族</td> <td>3</td> <td>511,020</td> <td>13,582</td> <td>1,436 × (2/3 + 1/3) × 2 = 2,872</td> <td>1,496 × 2 = 2,992</td> <td>(530,104) 507,974</td> <td>2</td> <td>(1,060) 1,016</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(2,487) 2,382</td> </tr> </tbody> </table>					区分	等級	航空賃 円	国内旅費 円	日当・宿泊料 円	旅行雑費 円	計 円	人数	合計	本人	3	340,680	11,658	1,436 × 2日 = 2,872	1,496	(356,706) 341,582	4	(1,427) 1,386	家族	3	511,020	13,582	1,436 × (2/3 + 1/3) × 2 = 2,872	1,496 × 2 = 2,992	(530,104) 507,974	2	(1,060) 1,016	合計								(2,487) 2,382
区分	等級	航空賃 円	国内旅費 円	日当・宿泊料 円	旅行雑費 円	計 円	人数	合計																																				
本人	3	340,680	11,658	1,436 × 2日 = 2,872	1,496	(356,706) 341,582	4	(1,427) 1,386																																				
家族	3	511,020	13,582	1,436 × (2/3 + 1/3) × 2 = 2,872	1,496 × 2 = 2,992	(530,104) 507,974	2	(1,060) 1,016																																				
合計								(2,487) 2,382																																				
(目) 子女呼寄せ旅費	(192) 193	193	0	<p>国内旅費内訳</p> <p>(イ) 本人 広島基準 3等級 3泊3日 往復適用率 $\frac{4}{10}$</p> <p>鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料</p> <p>(4,810円 + 549円 × 3日 + 2,807円 × 2泊 + 2,502円 × 1泊) × 2 × $\frac{4}{10}$ = 11,658円</p> <p>(ロ) 家族</p> <p>鉄道賃 日当 宿泊料 宿泊料</p> <p>{ 4,810円 × 1.5 + (549円 × 3日 + 2,807円 × 2泊 + 2,502円 × 1泊) × (2/3 + 1/3) } × 2 × $\frac{4}{10}$ = 13,582円</p> <p>航空賃</p> <p>357,270円 × (1 - $\frac{25}{100}$) - 20,000円 = 247,953円</p> <p>247,953円 × (11 - 4) × $\frac{1}{7}$ = 193</p>																																								

(410)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	(単位:千円)	
				積	算 基 礎
3. 機材供与に必要な経費	(510.185) 510.185	525,920	15,735		
(目) 機材供与費	(295,813) 295,813	525,920	230,107	全額 ☆	
				送料⑦	
				一般機材 $(307,157)$ $546,310 \times \left(\frac{87}{100} + \frac{13}{100} \times 0.73 \times \frac{237}{225} \times 0.927124 \right)$	
					(295,813) = 525,920
				イ 新規プロジェクト	
				ネパール	家族計画 83,310
				ロ. 継続プロジェクト	
				中 国	家族計画 160,000
				フィリピン	家族計画 75,000
				タ イ	家族計画 75,000
				コロンビア	家族計画 78,000
				メキシコ	人口活動促進 75,000
				小 計	546,310
(目) 特別機材供与委託費	(214,372) 214,372	0	△ 214,372	全額 ☆	

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(項) 森林業協力費	(7,018,176) 7,048,755	7,397,027	349,272	昭和42年度から計上				
1. 調査田水灌漑に必要な経費	(591,333) 603,501	622,173	18,672	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度
(1) 調査田水灌漑経費	(527,465) 538,319	556,116	17,797	当初予算額 (4,397,207) 4,364,811	(5,220,508) 5,235,807	(5,743,293) 5,755,867	(6,178,420) 6,210,957	(6,710,749) 6,734,458
(調査予定案件数及び所要経費)								
区 分	件 数	調査旅費	現地調査費	資機材購置費	報告書作成費	調査業務実施費	合 計	
事前調査	9	(16,263) 17,055	(2,192) 2,182	541	2,597	(122,313) 126,179	(143,906) 148,554	
実施協議	7	(7,602) 7,973	(840) 837	626	1,642	(57,148) 58,955	(67,858) 70,033	
実施設計	4	(15,008) 15,740	(2,768) 2,756	778	2,880	(115,091) 118,713	(136,525) 140,867	
計画打合せ	10	(12,780) 13,400	(910) 900	0	1,940	0	(15,630) 16,240	
巡回指導	14	(33,726) 35,364	(4,256) 4,242	330	3,122	0	(41,434) 43,058	
機材維持管理	3	(7,227) 7,578	(912) 909	71	669	0	(8,879) 9,227	
エバリュエーション	8	(4,816) 5,056	(603) 600	63	515	(7,308) 73,613	(7,305) 79,847	
基礎調査								
計画基準作成調査	1	(3,398) 3,564	(634) 632	(240) 239	463	(16,890) 17,424	(21,625) 22,322	
関係基礎調査	1	(1,558) 1,634	(292) 290	153	276	(17,465) 18,014	(19,744) 20,367	
教育研究開発	1	(3,895) 4,086	(729) 726	100	689	0	(5,413) 5,601	
合 計	58	(106,273) 111,450	(14,136) 14,074	(2,902) 2,901	(14,793)	(400,215) 412,898	(538,319) 556,116	

事項及び科目		前年度予算額		昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																
(目)調査旅費		(104,131) 106,273		111,450	5,177	区	分	期	間	航空賃	支度料	日	当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	単価計 ×(1)×(2)×(3)	人員	構成比	小計	件数	合計
事前調査		3	35	338,320	47,966	1435×35日 = 50,225	4486×34泊 = 152,524										(602,188) 631,575	5	3/5	(1,807) 1,895	9	(16,263) 17,055
																			2/5	(1,204) 1,263		(19,836) * 11,867
実施協議		3	25	338,320	47,966	1436×25日 = 35,900	4487×24泊 = 107,688										(543,027) 569,527	4	2/4	(1,086) 1,132	7	(7,602) 7,973
																			2/4	(1,086) 1,132		(7,602) * 7,973
実施設計		3	60	338,320	47,966	1436×60日 = 86,160	4487×59泊 = 264,733										(750,332) 786,948	10	5/10	(3,752) 3,935	4	(15,008) 15,740
																			5/10	(3,752) 3,935		(15,008) * 15,740
計画打合せ		3	10	338,320	19,751	1436×10日 = 14,360	4487×9泊 = 40,383										(425,967) 446,754	3	3/3	(1,278) 1,348	10	(12,780) 13,400
																			0/3	0		* 0
巡回指導		3	35	338,320	47,966	1435×35日 = 50,225	4486×34泊 = 152,524										(602,188) 631,575	4	4/4	(2,409) 2,526	14	(33,726) 35,364
																			0/4	0		* 0
機材維持管理		3	35	338,320	47,966	1435×35日 = 50,225	4486×34泊 = 152,524										(602,188) 631,575	4	4/4	(2,409) 2,526	3	(7,227) 7,578
																			0/4	0		* 0
エバリュエーション		3	35	338,320	47,966	1435×35日 = 50,225	4486×34泊 = 152,524										(602,188) 631,575	3	1/3	(602) 632	8	(4,816) 5,056
																			2/3	(1,204) 1,263		(9,632) * 10,104
基礎調査 1) 計画基準		3	60	267,670	47,966	1436×60日 = 86,160	4487×59泊 = 264,733										(677,682) 712,850	8	5/8	(3,398) 3,564	1	(3,398) 3,564
																			3/8	(2,037) 2,132		(2,037) * 2,132
ロ) 開発基礎		3	60	367,070	47,966	1436×60日 = 86,160	4487×59泊 = 264,733										(779,082) 817,101	5	2/5	(1,558) 1,634	1	(1,558) 1,634
																			3/5	(2,337) 2,451		(2,337) * 2,451
ハ) 教育研究開発		3	60	367,070	47,966	1436×60日 = 86,160	4487×59泊 = 264,733										(779,082) 817,101	5	5/5	(3,895) 4,086	1	(3,895) 4,086
																			0/5	0		* 0
合計																					58	(106,273) 111,450 * 49,774

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎									
(目) 現地調査費	13,850 14,136	14,074	△ 62	国内旅費(3等級 広島基準 3泊3日往復) 鉄道賃 日当 宿泊料 $4,810円 + 549円 \times 3日 + (2,502円 \times 1泊 + 2,807円 \times 2泊) = 14,573円$ $14,573円 \times 2回 \times \frac{4}{70} = 11,658円$ 全額 ④									
区 介	通訳備上費	労働者備上費	車両等借上費	通信連絡費	資料返送費	資料購入費	会議費	単価計	外貨交換率	小計	件数	比率	合計
事前調査	2,760 × 30日 × 1人 = 82,800	0	3,440 × 30日 × 2日 = 206,400	70 × 30 × 3 = 6,300	370 × 50円 = 18,500	1,200 × 20種 = 24,000	1,440 × 25人 × 2日 = 72,000	410,000	4.100	(406) 404	9	3/5	(2,192) 2,182
実施協議	2,760 × 20日 × 1人 = 55,200	0	3,440 × 20日 × 1日 = 68,800	70 × 30 × 2 = 4,200	18,500	24,000	72,000	242,700	2.427	(240) 239	7	2/4	(840) 837
実施設計	2,760 × 50日 × 2人 = 276,000	380 × 50日 × 2人 = 380,000	3,440 × 50日 × 3日 = 516,000	6,300	370 × 19人 = 7,040	1,200 × 75種 = 90,000	1,160 × 25人 × 2日 = 58,000	1,397,340	13.973	(1,384) 1,378	4	5/10	(2,768) 2,756
計画打合せ	0	0	3,440 × 8日 × 1日 = 27,520	0	0	1,200 × 5種 = 6,000	58,000	91,520	9.15	(91) 90	10	1/3	(910) 900
巡回指導	82,800	0	3,440 × 30日 × 1日 = 103,200	6,300	18,500	24,000	72,000	306,800	3.068	(304) 303	14	4/4	(4,256) 4,242
機材維持管理	82,800	0	103,200	6,300	18,500	24,000	72,000	306,800	3.068	(304) 303	3	4/4	(912) 909
インタビュー	82,800	0	103,200	6,300	0	0	1,440 × 25人 × 1日 = 36,000	228,300	2.283	(226) 225	8	1/3	(603) 600
													(1,205) 1,200

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(目)資機材購送費	(2,843) 2,902	2,701	△ /					
区分	資材等借料購入費	医薬品	送料	計	件数	構成比	合計	
事前調査	66,840	11,790	$440 \times 30^{\text{kg}} \times \frac{237}{225} \times 0.927124$ (21,575) = 21,485	(100,205) 100,115	9	3/5	541 (361) 360	
実施協議	145,490	11,790	(21,575) 21,485	(178,855) 178,765	7	3/4	626 * 626	
実施設計	334,230	11,790	$440 \times 100^{\text{kg}} \times \frac{237}{225} \times 0.927124$ (42,150) = 42,969	(382,170) 388,989	4	5/10	778 * 778	
巡回指導	11,790	11,790	0	23,580	14	4/4	330 * 0	
機材維持管理	11,790	11,790	0	23,580	3	4/4	71 * 0	
エバリュエーション	11,790	11,790	0	23,580	8	1/3	63 * 126	
基礎調査 1) 計画基準	285,470	11,790	$440 \times 200^{\text{kg}} \times \frac{237}{225} \times 0.927124$ (86,301) = 85,938	(383,561) 382,198	1	5/8	(240) 239 * 144	
ロ) 開発基礎	285,470	11,790	(86,301) 85,938	(383,561) 383,198	1	3/5	153 * 230	
ハ) 教育研究開発	66,840	11,790	(21,575) 21,485	(100,205) 100,115	1	5/5	100 * 0	
計					48		(2,902) 2,901 (2,265) * 2,264	

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎											
(目)報告書作成費		(14,494) 14,793	14,793	0												
区分	原稿料	翻訳料	校閲料	委員会謝金	国内旅費	印刷製本費	資料作成費	会議費	交通費	送料	単価	適用率	小計	件数	構成比	合計
事前調査	1,460,000 ^枚 =146,000	1,910,100 ^枚 =191,000	740,100 ^枚 =74,000	0	21,178 ^人 × $\frac{2}{75}$ ×2回 =84,712	1,890,500 ^部 ×2種 =189,000	400×20部 ×1種 =8,000	380×10 ^人 ×3回 =11,400	400×5 ^人 ×3回 =6,000	510×20 ^{kg} =10,200	720,312	$\frac{2}{3}$	481	9	$\frac{2}{5}$	2,577 ※1,732
実施協議	146,000	191,000	74,000	0	21,178 ^人 × $\frac{2}{75}$ ×2回 =67,770	189,000	8,000	11,400	6,000	10,200	703,370	$\frac{2}{3}$	469	7	$\frac{2}{4}$	1,642 ※1,642
実施設計	1,460,000 ^枚 ×3 =389,333	1,910,000 ^枚 =764,000	0	0	21,178 ^人 × $\frac{2}{75}$ ×2回 =169,424	3770×100 ^部 ×2種 =754,000	0	0	0	510×16 ^{kg} =8,160	2,160,397	$\frac{2}{3}$	1,440	4	$\frac{5}{10}$	2,880 ※2,880
計画打合せ	146,000	0	0	0	21,178 ^人 × $\frac{2}{75}$ ×2回 =50,827	1,890 ^部 ×1種 =94,500	0	0	0	0	291,327	$\frac{2}{3}$	194	10	$\frac{0}{3}$	1,940 ※0
巡回指導	146,000	0	0	0	67,770	94,500	8,000	11,400	6,000	0	333,670	$\frac{2}{3}$	223	14	$\frac{4}{4}$	3,122 ※0
機材維持管理	146,000	0	0	0	67,770	94,500	8,000	11,400	6,000	0	333,670	$\frac{2}{3}$	223	3	$\frac{4}{4}$	669 ※0
インタビュー	146,000	0	0	0	21,178 ^人 × $\frac{2}{75}$ ×1回 =25,414	94,500	8,000	11,400	400×3 ^人 ×3回 =3,600	0	288,914	$\frac{2}{3}$	193	8	$\frac{1}{3}$	515 ※1,029
基礎調査 1) 計画基準	1,460,000 ^枚 =584,000	0	0	3,740 ^人 ×3回 =8,760	21,178 ^人 × $\frac{2}{75}$ ×3回 =203,309	189,000	8,000	380×20 ^人 ×3回 =22,800	400×10 ^人 ×3回 =12,000	0	1,108,869	$\frac{2}{3}$	740	1	$\frac{3}{3}$	463 ※278

(417)
(単位：千円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎											
区分	原稿料	翻訳料	校閲料	委員会謝金	国内旅費	印刷製本費	資料作成費	会議費	交通費	送料	単価計	適用率	小計	件数	構成比	合計
ロ) 開発基礎	584000	0	0	89760	$2178 \times 5 \times \frac{1}{10} \times 3回 = 127,068$	189,000	8,000	22,800	12,000	0	1,032,628	$\frac{2}{3}$	689	1	$\frac{2}{5}$	276
ハ) 教育研究開発	584000	0	0	89760	$2178 \times 5 \times \frac{1}{10} \times 3回 = 127,068$	189,000	8,000	22,800	12,000	0	1,032,628	$\frac{2}{3}$	689	1	$\frac{5}{5}$	689
計																14793
<p>国内旅費(3等級 広島基準 3泊4日往復)</p> <p>鉄道賃 日当 宿泊料</p> <p>$5,110円 \times 2回 + 584円 \times 4日 + (2,658円 \times 1泊 + 2,982円 \times 2泊)$</p> <p style="text-align: right;">= 21,178円</p>																

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
				区分	件数	調査旅費	現地調査費④	資機材購送費 (送料分④)	技術費	報告書作成費	合計
(四) 調査業務実施費	(392,147)	412,898	12,683								
	400,215										
	事前調査			9	(10,836) 11,367	(1,462) 1,454	(361) 360	(107,922) 111,266		1,732	(122,313) 126,179
	実施協議			7	(7,602) 7,973	(840) 837		(46,438) 47,877		1,642	(57,148) 58,955
	実施設計			4	(15,008) 15,740	(2,768) 2,756		(93,657) 96,559		2,880	(115,091) 118,713
	エバリュエーション			8	(8,632) 10,104	(1,205) 1,200		(58,316) 61,154		1,029	(71,308) 73,613
	基礎調査										
	イ) 計画基準			1	(2,037) 2,139	(381) 379		(14,048) 14,484		278	(16,890) 17,424
	ロ) 開発基準			1	(2,337) 2,451	(437) 436		(14,048) 14,484		413	(17,465) 18,014
	計				(47,454) 48,774	(7,093) 7,062	(2,265) 2,264	(335,429) 345,824		7,974	(400,215) 412,898

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
区分	等級	作業期間		直接人件費	諸経費 (直接人件費)×110%	技術費 (直接人件費+諸経費)×40%	小計	件数	合計	
		現地	国内							
事前調査	3級	35/30	2月	(644,000) 663,760 × (35/30 × 2 + 2 × 2) (4,078,667) = 4,205,080	(4,078,667) 4,205,080 × 1.1 (4,486,534) = 4,625,589	(4,078,667) (4,486,534) (4,205,080 + 4,625,589) × 0.4 (3,426,080) = 3,532,267	(11,991,281) 12,362,935	9	(1,079,222) 111,266	
実施協議	3	25/30	2	(398,200) 410,540 × (25/30 × 2 + 2 × 2) (2,256,467) = 2,326,393	(2,256,467) 2,326,393 × 1.1 (2,482,114) = 2,559,032	(2,256,467) (2,482,114) (2,326,393 + 2,559,032) × 0.4 (1,895,492) = 1,954,170	(6,634,013) 6,837,595	7	(46,438) 47,877	
実施設計	3	60/30	2	(398,200) 410,540 × (60/30 × 5 + 2 × 5) (7,964,000) = 8,210,800	(7,964,000) 8,210,800 × 1.1 (8,760,400) = 9,031,880	(7,964,000) (8,760,400) (8,210,800 + 9,031,880) × 0.4 (6,689,760) = 6,897,072	(23,414,180) 24,139,752	4	(93,657) 96,559	
エバリュエーション	3	35/30	2	(398,200) 410,540 × (35/30 × 2 + 2 × 2) (2,521,933) = 2,600,087	(2,521,933) 2,600,087 × 1.1 (2,774,126) = 2,860,096	(2,521,933) (2,774,126) (2,600,087 + 2,860,096) × 0.4 (2,118,424) = 2,184,073	(7,414,483) 7,644,256	8	(593,16) 61,154	
基礎調査 1) 計画基準	3	60/30	2	(398,200) 410,540 × (60/30 × 3 + 2 × 3) (4,778,400) = 4,926,480	(4,778,400) 4,926,480 × 1.1 (5,256,240) = 5,419,128	(4,778,400) (5,256,240) 4,926,480 + 5,419,128 × 0.4 (4,013,856) = 4,138,243	(14,048,496) 14,483,851	1	(14,048) 14,484	
2) 開発基礎	3	60/30	2	(398,200) 410,540 × (60/30 × 3 + 2 × 3) (4,778,400) = 4,926,480	(4,778,400) 4,926,480 × 1.1 (5,256,240) = 5,419,128	(4,778,400) (5,256,240) 4,926,480 + 5,419,128 × 0.4 (4,013,856) = 4,138,243	(14,048,496) 14,483,851	1	(14,048) 14,484	
計										(335,429) 345,824

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(2) プロジェクト実施経費	(63,868) 65,182	66,057	875	
(目) 実施計画費	(63,868) 65,182	66,057	875	<p>1. プロジェクト運営費 (14,649) 14,942</p> <p>(継続及びフォローアップ (43) 44件, 新規 7件)</p> <p>(1) 諸謝金 $101,380円 \times 51件 = 5,170$ (50) (5,067)</p> <p>(2) 国内旅費 $57,226円 \times 51件 = 2,919$ (50) (2,861)</p> <p>(3) 庁費</p> <p>1) 会議費 $14,880円 \times 51件 = 759$ (50) (744)</p> <p>2) 資料作成費 $119,480円 \times 51件 = 6,094$ (50) (5,975)</p> <p>2. 事前調査等準備計画費 2,452</p> <p>(1) 諸謝金 $35,840円 \times 9件 = 323$</p> <p>(2) 国内旅費 $154,689円 \times 9件 = 1,392$</p> <p>(3) 庁費</p> <p>1) 会議費 $18,390円 \times 9件 = 166$</p> <p>2) 資料作成費 $63,420円 \times 9件 = 571$</p> <p>3. 農林業協力基礎調査準備計画費 1,348</p> <p>(1) 諸謝金 $59,440円 \times 3件 = 178$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	種 算 基 礎
				(2) 国内旅費 $161,284円 \times 3件 = 484$
				(3) 庁 費
				イ) 会議費 $14,010円 \times 3件 = 42$
				ロ) 資料作成費 $214,820円 \times 3件 = 644$
				ハ) 国内支援体制整備費 (46,733) 47,915
				(1) 通正技術開発研究費 (16,412) 16,612
				イ 研究開発費 (6,382) 6,482
				(イ) 設計、計画費(技師A)
				(626,490) $645,910円 \times \frac{7}{30} \times 2.94 \times 2人 = 886$ (860)
				(ロ) 設計、試験
				(626,490) (技師A) $645,910円 \times \frac{10}{30} \times 2.94 \times 1人 = 633$ (614)
				(412,750) (技師C) $426,780円 \times \frac{20}{30} \times 2.94 \times 2人 = 1,673$ (1,618)
				(ハ) 資機材購入費
				材料費 1701
				借損料(研究施設等借用料) 1,134
				送料 $300kg \times 810円 = 243$
				(ニ) 研究調査国内旅費(友島基準 2泊3日 2等級)
				{ 鉄道賃 特急 円 日当 宿泊料 円 } $(8,060 + 5,700) \times 2回 + 1,900円 \times 3日 + 2,900 \times 2泊 \times 4回 \times 1人 = 212$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				□ 報告書作成費 1,030
				(1) 原稿料 $2,300円 \times 80枚 = 184$
				(ロ) 翻訳料 $3,000円 \times 80枚 = 240$
				(ハ) 印刷製本費 $2,970円 \times 100部 \times 2種 = 594$
				(ニ) 送料 $810円 \times 15kg = 12$
				ハ 庁費 794
				(1) 諸謝金 $5,990円 \times 5人 \times 5回 = 147$
				(ロ) 国内旅費(広島基準 2泊3日 1等級)
				{ 鉄道費 特急 日当 宿泊料 (8,060円 + 5,700円) × 2回 + 2,200円 × 3日 + 11,300円 × 2泊 } × 3回 × 3人 = 510
				(ハ) 資料作成費 $620円 \times 30部 \times 5種 = 93$
				(ニ) 会議費 $590円 \times 15人 \times 5回 = 44$
				計 1 ~ ハ (8,206) 8,306
				(8,206) 8,306 × 2件 = (16,412) 16,612
				(2) 特殊案件実施計画費 2,075
				イ 作業部会謝金 $5,160円 \times 6人 \times 5回 = 155$
				ロ 委員国内旅費(広島基準 2泊3日 2等級) 154
				ハ 部会資料作成費 $21,770円 \times 4種 = 87$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				= 仕様書等作成費(原稿料) $3,060円 \times 250枚 = 765$ 木 仕様書等翻訳料 $2,650円 \times 250枚 = 663$ へ 仕様書等印刷製本費 $5,410円 \times 50部 = 271$ 計 1 ~ へ 2,095 (3) 視聴覚等教材整備費 (20,637) 21,019 イ 諸謝金 (13,072) 13,456 (1) 教材整備国内作家費 a 直接人件費 主任技師(1人/月) $\frac{(37,820)}{37,820円 \times 20日 \times 1月} = 781$ (756) 技師(A)(2人/月) $\frac{(32,170)}{32,170円 \times 20日 \times 2月} = 1,327$ (1,287) b 諸経費(直接人件費の110%相当額) $\frac{(2,043)}{2,108} \times \frac{110}{100} = 2,319$ (2,247) c 技術費(直接人件費+諸経費の40%相当額) $\frac{(2,043)(2,247)}{(2,108 + 2,319)} \times \frac{40}{100} = 1,771$ (1,716) 計 a ~ c $\frac{(4,006)}{6,198} \times 2件 = 12,396$ (12,012) (ロ) 教材翻訳料 $2,650円 \times 100枚 \times 2種 \times 2件 = 1,060$

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				口 国内旅費(広島基準3泊4日2等級) $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \quad \text{特急} \quad \text{日当} \quad \text{宿泊料} \\ (2,600円 + 5,700円) \times 2回 + (1,900円 \times 4日 + 2,900円 \times 3泊) \end{array} \right\}$ $\times 2人 \times 2件 = 256$
				八 庁 費 (7,309) 7,307
				(イ) 教材購入費(教科書、専門書購入費)
				$4,200円 \times 10種 \times 2件 = 84$
				(ロ) 教材作成費
				a 教科書マニアル等印刷製本費 $2,780円 \times 100部 \times 2種 \times 2件 = 1,112$
				b スライド作成費 $840,000円 \times 3種 \times 2件 = 5,040$
				(ハ) 会議費 $500円 \times 20人 \times 2回 \times 2件 = 40$
				(ニ) 教材送料(テヘラン基準) ㊦
				$2,317円 \times 30kg \times 4種 \times 2件 \times \frac{237}{277} \times 0.227124 = 563$ (565)
				(ホ) プロジェクター等購入費
				$23,4150円 \times 2件 = 468$
				合 計 1～ハ (20,637) 21,019
				(4) 国内協力体制整備費
				(イ) 諸謝金 $106,380円 \times 15件 = 1,595,700円$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(ロ) 国内旅費 $66,100円 \times 4人 \times 15件 = 3,966,000円$ (広島基準3泊4日3等級) { 鉄道費 日当 宿泊料 } $\{ (14,400円 \times 2回) + (1,900円 \times 4日) + (2,900円 \times 3泊) \}$ $= 66,100円$</p> <p>(ハ) 庁費 a 会議費 $14,882円 \times 15件 = 223,230円$ b 資料作成費 $120,238円 \times 15件 = 1,803,570円$</p> <p>小計 (1) ~ (ハ) $2,588,500円$</p>

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
2. 専門家派遣に必要な経費 (目) 派遣諸費		(3,984,987) 4,004,257 (2,102,256) 2,102,256	4,423,979 2,347,304	418,720 245,048	全額 ☆ 1. 赴任旅費 (335,159) 388,842 (1) 専門家本人 (339) (132) 364人 (継続 141人、帰国 56人、新規及び 交替 72人、短期 90人) (2) 長期調査員本人 (35) (14) 42人 (新規 21人、帰国 21人)							
区分	等級	期間	航空賃	支度料	移転料	着換手当	旅行雑費	国内旅費	日当・宿泊料	計 (X1.13X0.85)	人員	合計
1. 専門家			千円基準	円	円	円	円	円	円		人	
帰国	3	6	242,290 × 2.5 = 605,725	0	411,000 × (1 + $\frac{15}{100}$) = 472,650	0	2,500 × 3人 = 7,500	13,467 + 15,640 = 29,107	0	(1,115) 1,197	(50) 61	(62,440) 73,017
新規及び交替	3	6	605,725	165,000 × (1 + $\frac{2}{3}$) = 275,000	472,650	130,000 × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{5}{3}$) = 260,000	7,500	29,107	0	(1,650) 1,771	(70) 72	(115,500) 127,512
短期	3	3	484,440	74,330	0	0	2,500	13,467 × 2 = 26,934	3,200 × 31 + 2,800 × 30 + (3,200 + 2,800) × 30 × 2 + (3,200 + 2,800) × 30 × 2	(1,664) 1,786	(81) 90	(174,784) 160,740
小計											(207) 223	(312,724) 361,269
2. 長期調査員												
帰国	3	6	242,290	0	411,000 × $\frac{1}{2}$ = 205,500	0	2,500	13,467	0	(464) 498	(14) 21	(6,496) 10,458
新規	3	6	242,290	165,000	205,500	130,000	2,500	13,467	0	(759) 815	21	(15,939) 17,115
小計											(35) 42	(22,435) 27,573
合計											(242) 265	(335,159) 388,842

(427)
(單位：千円)

事項及科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				国内旅費 広島基準 3泊3日 (鉄道賃片道) 適用率 4/10 本人 { (鉄道賃 10868円 + 日当 1300円 × 3日 + 宿泊 5900円 × 1泊 + 6500円 × 2泊) } × 4/10 = 13467円 家族 { (鉄道賃 10868円 × (1 + 1/2) + 日当 22800円 × (2/3 + 1/3) } × 4/10 = 15640円 2. 滞在費 (1316.942) 1412.517 (1) 専門家 (2340) (1234853) 390,900円 × (1 + 0.35) × 2.490人月 = 1314010 (2) 長期調査員 (210) (82.089) 390,900円 × 252人月 = 98,507 3. 住居手当 (311.355) 334,798 (1) 専門家 (2340) (285.714) 203,500円 × 2.490人月 × 60/100 = 304,029 (2) 長期調査員 (210) (25,641) 203,500円 × 252人月 × 60/100 = 30,769 4. 給付手当 (54,117) 58,694 (1) 専門家 (81) (2340) (1056,200円 × 1.13 × 0.95 × 90人 + 390,900円 × 2.490人月) × 15/100 × 1/3 = (50,013) = 53,769 (2) 長期調査員 (210) 390,900円 × 252人月 × 15/100 × 1/3 = (4,104) 4,925

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>5. 併他手当 (65,027)</p> <p>69,640</p> <p>(1) 専門家</p> <p>A. $390,900円 \times 1.35 \times \frac{20}{100} \times 2.490人月 \times \frac{15}{100} = (37,046)$ 39,420</p> <p>B. $390,900円 \times 1.35 \times \frac{10}{100} \times 2.490人月 \times \frac{20}{100} = (24,697)$ 26,280</p> <p>(2) 長期調査員</p> <p>A. $390,900円 \times \frac{20}{100} \times 2.52人月 \times \frac{10}{100} = (1,642)$ 1,970</p> <p>B. $390,900円 \times \frac{10}{100} \times 2.52人月 \times \frac{20}{100} = (1,642)$ 1,970</p> <p>6. 子女教育手当</p> <p>$18,000円 \times 2.490人月 \times \frac{1}{3} \times (1 + \frac{8}{5}) = (19,656)$ 20,916</p> <p>7. 在勤手当改善分 (0)</p> <p>61,897</p> <p>計 1 ~ 6 (2,102,256)</p> <p>2,347,304</p>
(目) 携行機材費	(44,624) 65,954	69,713	3,759	<p>(65,954)</p> <p>69,713</p> <p>1. 専門家 $341,730円 \times (70 + 81)人 = (51,601)$ 55,360</p> <p>2. 長期調査員 $2,050,400円 \times 74人 = 143,533$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 現地業務費	(318,748) 325,306	322,820	△ 2,486	<p>全額 ⑥</p> <p>1. 現地業務費 (127,612) 118,473</p> <p>(1) 継続プロジェクト 126,940円 × 12月 × 70ヶ所 ⁽⁷⁶⁾ (115,769) = 106,630</p> <p>(2) 新規プロジェクト 126,940円 × 8月 × 7ヶ所 = 7,109</p> <p>(3) フォロ-アップ 29,220円 × (6人×12月+15人×6月) = 4,734</p> <p>2. 現地研究費</p> <p>94,000円 × (50人×12月+42人×6月+27人×3月) ⁽³³⁾ (82,626) = 87,702</p> <p>3. 食困国対策費</p> <p>LDC 149,310円 × (12ヶ月×287プロジェクト+8ヶ月×27プロジェクト) = 52,557</p> <p>4. 応急対策費 (56,284) 59,118</p> <p>(1) 継続プロジェクト 101,230円 × 12ヶ月 × 44プロジェクト ⁽⁴³⁾ (52,235) = 53,449</p> <p>(2) 新規プロジェクト 101,230円 × 8ヶ月 × 7プロジェクト ⁽⁵⁾ (4,049) = 5,669</p>

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				5. 長期調査員調査費 4,976
				(1) 帰国 $59,240 \text{円} \times 6 \text{月} \times 7 \text{人} - 4 = 2,488$
				(2) 新規 $59,240 \text{円} \times 6 \text{月} \times 7 \text{人} - 4 = 2,488$
				6. 技術普及広報費 $500,000 \text{円} \times 10 \text{7} \text{日} \times 2 \text{人} = 5,000$
				7. 技術交換費 $(1,345) \times 2 \text{件} = (2,690)$ $1,386 \times 2 \text{件} = 2,772$
				(1) 航空賃 $232,300 \text{円} \times 2 \text{人} = 464,600 \text{円}$
				(2) 日当 $2,200 \text{円} \times 30 \text{日} \times 2 \text{人} = 192,000 \text{円}$
				(3) 宿泊料 $9,800 \text{円} \times 29 \text{泊} \times 2 \text{人} = 568,400 \text{円}$
				小計 (1) ~ (3) $1,225,000 \text{円}$ $1,225 \times 1,088 \times 0.95 = (1,225)$ $1,266$
				(4) 現地活動費 $48,500 \text{円} \times 2 \text{人} = 97$
				(5) 送料 $2,300 \text{円} \times 10 \text{kg} = 23$
				計 $(324,055)$ $322,826$
				6 $5,000$
				7 $(2,690)$ $2,772$
				$(324,055)$ $322,826 \times \frac{237}{225} + 5,000 \times \frac{237}{247} + (2,690) \times \frac{237}{238} = 322,820$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 中堅技術者養成対策費	(98,483) 100,692	100,273	△ 421	<p>全額 ④</p> <p>1. 直接経費 8,494</p> <p>(1) 研修参加旅費 ☆ 1,932</p> <p style="padding-left: 20px;">$34,347円 \times 25人 \times 3回 \times \frac{3}{4} = 1,932$</p> <p>(2) 教材費 2,814</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 印刷製本費 $50円/頁 \times 60頁 \times 25人 \times 10種 \times 3回 = 2,250$</p> <p style="padding-left: 20px;">ロ 翻訳料 $940円/頁 \times 60頁 \times 10種 = 564$</p> <p>(3) 実習旅費 ☆ 3,748</p> <p style="padding-left: 20px;">$16,658円 \times 25人 \times 3月 \times 3回 = 3,748$</p> <p>2. 研修諸費 10,520</p> <p>(1) 研修資材費 $854,510円/月 \times 3月 \times 3回 = 7,691$</p> <p>(2) 指導同行旅費 $16,658円 \times 5人 \times 3月 \times 3回 = 750$</p> <p>(3) 特別講師謝金 ☆ $2,310円/時間 \times 4時間 \times 25日 \times 1人 \times 3月 \times 3回 = 2,079$</p> <p style="padding-left: 40px;">計 19,014</p> <p style="padding-left: 40px;">$19,014 \times \frac{237}{255} \times 0.927124 = \frac{(18,647)}{18,569}$</p> <p style="padding-left: 20px;">(継続4年1件(日本側負担率2割)、継続3年1件(日本側負担率4割) 継続2年2件(日本側負担率6割)、継続1年2件(日本側負担率8割) 新規2件)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎 (単位：千円)
(甲) 連絡会議旅費	(18,872) 19,260	20,372	1,112	$2. 418,400円 \times \left\{ \begin{array}{l} \text{新規・交替} \\ (728) \\ (744人月 + 360) \end{array} \right. - \begin{array}{l} \text{短期} \\ (324) \\ (828人月 \times \frac{1}{6}) \end{array} \left. \right\} \times \frac{2}{3} = 269,450$ $(405,800) \times \frac{1}{3} = 135,267$ $(172,330) - 269,450 = -100,120$ 1. プロジェクト・リーダー会議 (1等級基準) (10,933) 11,545 (1) 現地参加者分 1. 航空賃 152,780円 ロ. 日当 1,914円 × 10日 = 19,140円 ハ. 宿泊料 6,171円 × 9泊 = 55,539円 小計 イ～ハ. 227,459円 $227,459円 \times 1.088 \times 0.95 \times \frac{(43)}{44人} = 978,737$ $10,344,471円$ (2) 東京からの参加者分 1. 航空賃 105,030円 ロ. 日当 1,914円 × 10日 = 19,140円 ハ. 宿泊料 6,171円 × 9泊 = 55,539円 小計 イ～ハ. 179,709円 $179,709円 \times 1.104 \times 0.95 \times 5人 = 898,545$ $942,994円$ (3) 会議費 (外) $1,080円 \times 5回 \times 49人 \times \frac{(48)}{225} \times 0.927/24 = 254,195$ $258,401円$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				計 (1) ~ (3) (10,933) 11,545
				2. プロジェクト技術者会議 (3等級基準) (8,327) 8,327
				(1) 現地参加者分
				イ. 航空賃 152,780円
				ロ. 日当 1,436円 × 10日 = 14,360円
				ハ. 宿泊料 4,487円 × 9泊 = 40,383円
				小計 イ~ハ 207,523円
				207,523円 × 1.088 × 0.95 × 38人 (37) = (7,678,351) 8,150,839円
				(2) 東京からの参加者分
				イ. 航空賃 105,030円
				ロ. 日当 1,436円 × 10日 = 14,360円
				ハ. 宿泊料 4,487円 × 9泊 = 40,383円
				小計 イ~ハ 159,773円
				159,773円 × 1.104 × 0.95 × 3人 = (477,319) 502,710円
				(3) 会議費 (外)
				(40) 1,080円 × 4回 × 41人 × $\frac{237}{225}$ × 0.927124 = (168,463) 172,970円
				計 (1) ~ (3) (8,327) 8,327

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(目) 一時帰国旅費	(38,500) 39,292	40,232	940	$\begin{aligned} & (132) \quad (44) \\ & \text{総額 } 141人 \times \frac{1}{3} = 47人 \\ & \text{本人(3等級基準)} \quad (44) \quad \text{家族(妻・子1人)} \quad (44) \\ & \text{47人, 47家族} \end{aligned}$				
	区分	航空賃	日当	旅行雑費	国内旅費	人員	合計	
	本人	338,310	$1,436 \times 2^{\text{回}} \times 2^{\text{回}}$ = 5,744	$1,496 \times 2^{\text{回}}$ = 2,992	$(5,051 + 9,572) \times 2^{\text{回}} \times \frac{4}{10}$ = 11,698	(359) 344	(44) 47	(15,796) 16,168
	家族	$338,290 \times 1.5$ = 507,435	$5,744 \times (\frac{2}{3} + \frac{1}{3})$ = 5,744	$1,496 \times 2.1 \times 2^{\text{回}}$ = 5,984	$5,051 \times 1.5 + 9,572 \times (\frac{2}{3} + \frac{1}{3})$ $\times \frac{4}{10} = 14,994$	(534) 512	(44) 47	(23,498) 24,064
計					(88) 94		(39,292) 40,232	
(目) 子女帰省旅費	(3,044) 3,106	3,295	189	$\left\{ 200,840 \text{円} \times \left(1 - \frac{25}{100}\right) - 20,000^{\text{円}} \right\} \times (274人 - 47人) \times \frac{1}{9} = 3,295$				

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
S. 機材供与に必要な経費	(2,400,894) 2,400,894	2,289,918	△ 110,976	
(目) 機材供与費	(2,400,894) 2,400,894	2,289,918	△ 110,976	全額☆ 送料⊕ $1. \frac{(2,492,837)}{2,378,577} \times \left(\frac{87}{100} + \frac{13}{100} \times 0.73039 \times \frac{237}{225} \times 0.927124 \right)$
				$(2,400,894) - 2,289,918$
				(繰 続) (1) バングラデシュ農業大学 50,000 (2) ヒルマ中央農業開発訓練センター 60,000 (3) インドネシア農業中堅技術者養成 20,000 (4) インドネシア農業開発リモートセンシング 10,000 (5) インドネシア作物保護 19,577 (6) インドネシアかんがい排水センター 10,000 (7) 韓国農業気象災害研究 50,000 (8) フィリピンホ・ホル農業開発 70,000 (9) タイかんがい技術センター 80,000 (10) タイ東北農業開発研究 80,000 (11) タイ農協振興 80,000 (12) エジプト米作機械化 60,000 (13) タンザニアキリマンジャロ農業開発 20,000 (14) ブラジル農業研究 15,000 (15) フィジー稲作研究開発 90,000

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(16) ホンジュラス農業開発研修センター 90,000
				(17) パラグアイ農業開発 20,000
				(18) パラグアイ家畜繁殖 90,000
				(19) インドネシア動物医薬品検定 70,000
				(20) メキシコ家畜衛生センター 50,000
				(21) ザンビアザンビア大学獣医学部 70,000
				(22) タイカセサート大学(普及・機械) 40,000
				(23) 中国黒龍江省木材総合利用研究所 90,000
				(24) インドネシア熱帯降雨林研究 90,000
				(25) インドネシア南スマトラ森林造成 50,000
				(26) フィリピンパンタバンガン林業開発 80,000
				(27) タイ造林研究訓練 50,000
				(28) タイ木材生産技術訓練 70,000
				(29) ブラジルサンパウロ林業研究 10,000
				(30) ブルネイ林業研究 60,000
				(31) パラグアイ林業開発 25,000
				(32) アルゼンチン国立漁業学校 70,000
				(33) 今里水産養殖 90,000
				(34) 今里沿岸漁業訓練普及 70,000
				(35) フィジー水産養殖 59,000
				(36) マレーシア農科大学海洋水産学部 70,000
				(37) タイ沿岸養殖 20,000

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(38) スリランカマハヴェリ農業開発 30.000
				(新規)
				(1) マレーシアアヒアン家禽病研究及び訓練 30.000
				(2) 中国水産加工研究 30.000
				(3) ネパール園芸農業開発 30.000
				(4) ケニア園芸研究 30.000
				(5) ブラジル野菜栽培研究 30.000
				(6) アジア農林水産業協カ 30.000
				(7) 中南米・アフリカ農林水産業協カ 30.000
				(フォローアップ)
				(1) インドネシア農業研究 15.000
				(2) マレーシア水管理訓練 15.000
				(3) タイ家畜衛生 15.000
				(4) タイかんがい農業開発 15.000
				(5) タイ国立雑草科学研究所 15.000
				(6) インドネシア浅海養殖 15.000
				計 (2,492,837) 2,378,577

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎														
4. アフターケアに必要な経費	(40,962) 41,101	62,957	21,856															
(1) 調査団派遣経費	(5,777) 5,918	9,192	3,274															
(2) 調査旅費	(4,239) 4,326	6,807	2,481															
				等級	期間	航空賃	支度料	日	当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	単価計 (X1,104X0.95)	人員	小計	件数	合計	
				級	日	アワン基準	円	円	円	円	円	円	円	人		件		
				3	10	543,000	33,015	= 32,000		9,800 X 9泊 = 88,200	2,500	22,344	(721,057) 756,247	3	(2,163) 2,269	(2) 3	(4,326) 6,807	
(目) 現地調査費	(394) 402	600	198	全額④														
				車両等購入費	資料等購入費	会議費	単価計	外貨交換 手数料	小計 X 2/3 X 0.727124	件数	合計							
				円	円	円	円	円	円	件								
				7,000 X 8 X 1台 = 57,520	2,600 X 5種 = 13,000	2,460 X 25 X 2回 = 123,000	195,520	1,965	(201) 200	(2) 3	(402) 600							
(目) 資機材購入費	(41) 42	63	21															
				機材等指料購入費	医薬品	小計	件数	合計										
				円	円		件											
				10,500	10,500	21	(2) 3	(42) 63										

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
(目) 報告書作成費	(815) 832	1,248	416	原稿料	国内旅費	印刷製本費	小計	件数	合計
				円	円	円		件	
				2,380 × 100枚		2,980 × 60部 × 1種			
				= 238,000	29,360	= 149,000	416	(2) 3	(832) 1,248
(目) 実施計画費	(310) 316	474	158	1. 謝金	6020円 × 2人 × 2回 =				24
				2. 国内旅費					44
				3. 庁費					
				(1) 会議費	590円 × 15人 × 2回 =				18
				(2) 印刷製本費	2,980円 × 20部 × 1種 =				60
				(3) 送料	4,020円 × 2kg				8
				(4) 資料購入	2,100円 × 2種				4
				計 1~3	158 × (2) 3件				(316) 474
(2) 専門系派遣経費	(12,916) 12,936	20,408	7,472						
(目) 派遣諸費	(7,084) 7,084	11,406	4,322	全額 ☆					

(442)

事項及科目				前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
区分	等級	期間	航空費	支度料	日当・宿泊料		旅行雑費	国内旅費	語学手当	計 (X1.13X0.95)	入員	合計
	級	月	円 円/基準	円	円	円	円	円	円		人	
短期	3	3	543,000	94,330	$3,200 \times 31日 + 9,800 \times 30日 + (3,200 + 9,800) \times 30日 \times 0.9 + (3,200 + 9,800) \times 30日 \times 0.8 = 1,056,200$		2,500	22,344	$1,056,200 \times \frac{15}{100} \times \frac{1}{3} = 52,810$	(1,771) 1,901	(4) 6	(7,084) 11,406
(目) 携行機材費				(670) 684	1,026	342	$171,000円 \times 2人 \times 3件^{(2)}$					(684) 1,026
(目) 現地業務費				(292) 298	445	147	全額 ⊕ $244,400円 \times 3ヶ月 \times 2人 \times 3件^{(2)} \times \frac{237}{217} \times 0.927124 = 445$					(298) 445
(目) 所属先給与補償経費				(4,870) 4,870	7,531	2,661	全額 ☆ 1. 調査員 $\frac{(405,800)}{418,400円} \times (10日 \times 9人 \times \frac{1}{30}) \times \frac{2}{3} = 837$ 2. 専門家 $\frac{(405,800)}{418,400円} \times 4ヶ月 \times 6人 \times \frac{2}{3} = 6,694$					(541) 837 (4,329) 6,694
(3) 機材供与経費				(22,247) 22,247	33,357	11,110						
(目) 機材供与費				(22,247) 22,247	33,357	11,110	全額 ☆ $11,550 \times 3件 \times (\frac{87}{100} + \frac{13}{100} \times 0.73 \times \frac{237}{225} \times 0.927124)$					(22,247) 33,357

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
(項) 産業開発協力費	(1,512,887) 1,515,700	1,603,772	88,092	昭和53年度から組替計上(但し、52年度までは(項)技術協力センター事業及び(項)研究技術協力事業費に各々計上)							
1. 調査団派遣に必要な経費	(107,750) 109,023	142,060	33,037	当初予算額	54年度 (782,584) 778,775	55年度 (1,027,729) 1,028,993	56年度 (1,193,940) 1,175,847	57年度 (1,283,374) 1,295,873	58年度 (1,420,556) 1,424,286		
(1) 調査団派遣経費	(79,925) 80,869	116,569	35,700								
				区分	件数	調査旅費	現地調査費	資機材搬送費	報告書作成費	調査業務実施費	計
				事前調査	3	(9,567) 10,035	(1,170) 1,164	300	2,343	0	(13,380) 13,842
				実施協議	(2) 3	(2,242) 3,528	(236) 352	(80) 120	(464) 697	(24,437) 37,825	(27,459) 42,522
				計画打合せ	2	(5,294) 5,552	(454) 452	78	698	0	(6,524) 6,780
				巡回指導	(7) 4	(15,694) 9,408	(1,589) 904	(273) 156	(2,576) 1,472	0	(20,132) 11,940
				機材修理	1	(4,223) 4,429	(1,039) 1,015	154	1,272	0	(6,688) 6,870
				エバリュエーション	(1) 5	(4,899) 25,690	(500) 2,490	(146) 730	(1,741) 5,705	0	(6,686) 34,615
				合計	(16) 18	(41,919) 58,642	(4,988) 6,377	(1,031) 1,538	(8,494) 12,187	(24,437) 37,825	(80,869) 116,569

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎									
(目) 調査旅費		(41,429) 41,919	58,642	16,723										
区分	等級	日数	航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	単価計	人員	機材 比	小計	件数	合計
事前調査	2	25	338,310	50,904	1,675 × 25日 = 58,625	5,144 × 24泊 = 174,896	1,496	13,557	(637,788) 668,712	5	2/5 9/5	(3,189) 3,745 0	3	(9,567) 10,035 0
実施協議	2	25	338,310	41,918	1,675 × 25日 = 41,875	5,144 × 24泊 = 123,456	1,496	13,557	(560,612) 587,970	5	2/5 3/5	(1,121) 1,176 (1,682) 1,764	(2) 3	(2,242) 3,528 (3,363) 5,292
計画打合せ	2	25	338,200	41,918	2,273 × 25日 = 56,825	6,820 × 24泊 = 163,680	1,496	13,557	(661,676) 693,966	4	4/4 0/4	(2,647) 2,776 0	2	(5,294) 5,552 0
巡回指導	2	25	338,310	41,918	1,675 × 25日 = 41,875	5,144 × 24泊 = 123,456	1,496	13,557	(560,612) 587,970	4	4/4 0/4	(2,242) 2,352 0	(7) 4	(15,694) 9,408 0
機材修理	2	20	648,200	70,070	3,500 × 20日 = 70,000	11,400 × 19泊 = 216,600	5,000	39,760	(1,055,630) 1,107,145	4	4/4 0/4	(4,223) 4,429 0	1	(4,223) 4,429 0
インタビュー	2	30	462,720	77,134	2,574 × 30日 = 106,020	10,602 × 29泊 = 307,458	2,325	21,078	(979,735) 1,027,546	5	5/5 0/5	(4,899) 5,138 0	(1) 5	(4,899) 25,690 0
計													(16) 18	(41,919) 58,642 (3,363) 5,292

国内旅費(九島基準 2等級 泊3日 往復通率4/10)

$$\left\{ 5,050 + (671 \times 3) + (3,471 \times 2) + 3,050 \right\} \times 2 \times \frac{4}{10} = 13,557$$

(九島基準 2等級 泊3日 往復通率4/10)

$$\left\{ 7,852 + (1,043 \times 3) + (5,312 \times 2) + 4,743 \right\} \times 2 \times \frac{4}{10} = 21,078$$

(九島基準 2等級 泊3日 往復通率4/10)

$$\left\{ 15,300 + (1,900 \times 3) + (9,900 \times 2) + 8,900 \right\} \times 2 \times \frac{4}{10} = 39,760$$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
(目) 現地調査費	(4930) 4988	6377	1389	全額⑤								
区分	通訳係上費	車輦借上費	通信連絡費	資機材等 購入費	資機材等 返送費	会議費	単価計	外貨交換 手数料%	$\frac{257}{225} \times$ 111 x 0.9724	件 数	備 考	合計
事前調査	2,740 x 1 x 30日 = 82,200	3,440 x 20 x 30日 = 206,400	60 x 30日 x 3回 = 5,400	1,160 x 20種 = 23,200	370 x 50kg = 18,500	1,160 x 25 x 2回 = 58,000	393,700	0.937	(390) 388	3	5/5 0/5 *	(1,170) 1,164 0
奥座協議	2,740 x 1 x 20日 = 54,800	3,440 x 20 x 20日 = 137,600	5,400	23,200	18,500	58,000	297,500	2.975	(295) 293	(2) 3	3/5 3/5 *	(234) 352 527
計画打合せ	54,800	3,440 x 10 x 20日 = 68,800	5,400	23,200	18,500	58,000	228,700	2.287	(227) 226	2	4/4 0/4 *	(454) 452 0
巡回指導	54,800	68,800	5,400	23,200	18,500	58,000	228,700	2.287	(227) 226	(7) 4	4/4 0/4 *	(1,589) 904 0
機材修理	10,000 x 1 x 20日 = 200,000	15,000 x 20 x 20日 = 600,000	100 x 30日 x 3回 = 9,000	2,000 x 20種 = 40,000	600 x 50kg = 30,000	5,000 x 25 x 2回 = 150,000	1,029,000	10.290	(1,039) 1,015	1	4/4 0/4 *	(1,039) 1,015 0
印刷工-33)	3,990 x 1 x 25日 = 99,750	5,050 x 20 x 25日 = 252,500	90 x 30日 x 3回 = 8,100	1,680 x 20種 = 33,600	540 x 50kg = 27,000	1,680 x 25 x 2回 = 84,000	504,950	5.050	(500) 498	(1) 5	5/5 0/5 *	(500) 2,490 0
計										(16) 18		(4,988) 6,377 *(354) 527

(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎									
				区分	機材購入費	事務用品	医薬品	送料②	単価計	件数	構成比	合計	
(目) 資機材購送費	(1,019) 1,031	1,538	507										
事前調査	39,320	19,660	19,660		440 × 50kg (21,575) = 21,485	100	3	5/5 0/5	300 0	*			
実施協議	39,320	19,660	19,660		(21,575) 21,485	100	(2) 3	2/5 3/5	(80) 120 (120) 180	*			
計画打合せ	0	19,660	19,660		0	39	2	4/4 0/4	78 0	*			
巡回指導	0	19,660	19,660		0	39	(7) 4	4/4 0/4	(273) 156 0	*			
機材修理	60,420	30,200	30,200		670 × 50kg (33,500) = 32,715	154	1	4/4 0/4	154 0	*			
I/A"bI-33>	57,640	28,760	28,760		640 × 50kg (31,382) = 31,260	146	(1) 5	5/5 0/5	(146) 730 0	*			
計							(16) 18		(1,031) 1,538 (120) 180	*			

(447)
(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎									
(目) 報告書作成費	(8,395) 8,494	12,187	3,693										
区分	原棉料	翻訳料	校閲料	印刷製本費	資料作成費	国内旅費	会議費	交通費	送料	単価計	件数	構成比	合計
事前調査	1,460 × 100枚 = 146,000	190 × 100枚 = 19,000	77 × 100枚 = 7,700	1,870 × 60冊 × 2冊 = 226,800	400 × 20冊 × 1冊 = 8,000	22,338 × 5人 = 111,690	380 × 10人 × 2回 = 7,600	380 × 5人 × 2回 = 3,800	206 × 20冊 = 10,120	781	3	5/5 0/5*	2,343 0
実施協議	146,000	190,000	0	1,870 × 60冊 × 1冊 = 113,400	8,000	111,690	7,600	3,800	0	581	(2) 3	3/5 3/5	(464) 697 *(698) 1,046
計画打合せ	146,000	0	0	113,400	0	22,338 × 4人 = 89,352	0	0	0	349	2	4/4	698
巡回指導	146,000	0	0	113,400	8,000	89,352	7,600	3,800	0	368	(7) 4	9/4 */4	(2,576) 1,472
機材修理	2,250 × 100枚 = 225,000	2,920 × 100枚 = 292,000	1,176 × 100枚 = 117,600	2,840 × 60冊 × 2冊 = 340,800	600 × 20冊 × 1冊 = 12,000	62,960 × 4人 = 251,840	570 × 10人 × 2回 = 11,400	570 × 5人 × 2回 = 5,700	780 × 20冊 = 15,600	1,272	1	4/4 */4	1,272 0
インタビュー	2,140 × 100枚 = 214,000	2,780 × 100枚 = 278,000	1,120 × 100枚 = 112,000	2,760 × 60冊 × 2冊 = 331,200	680 × 20冊 × 1冊 = 13,600	32,678 × 5人 = 163,390	650 × 10人 × 2回 = 13,000	550 × 5人 × 2回 = 5,500	740 × 20冊 = 14,800	1,141	(1) 5	5/5 */5	(1,141) 5,705
計											(16) 18		(8,494) 12,187 *(698) 1,046

(单位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																											
(日) 調査業務実施費	(24,152) 24,437	37,825	13,388	国内旅費(元島基準 4泊5日往復 2等級 適用率 4/10) $\left\{ \begin{array}{l} \text{日当} \\ 5,111円 \times 2 + 17,13円 \times 5日 \end{array} \right\} + \left\{ \begin{array}{l} \text{燃油料} \\ (2,671円 \times 3泊) + 2,242円 \end{array} \right\} \times 2 \times \frac{4}{10} = 22,338円$																											
				(元島基準 4泊5日往復 2等級 適用率 4/10) $\left\{ 2,477円 \times 2 + (1,043円 \times 5日) + (5,312円 \times 3泊) + 4,742円 \right\} \times 2 \times \frac{4}{10} = 22,178円$																											
				(元島基準 4泊5日往復 2等級 適用率 4/10) $\left\{ 5,300円 \times 2 + (1,700円 \times 5日) + (9,700円 \times 3泊) + 8,900円 \right\} \times 2 \times \frac{4}{10} = 62,960円$																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>調査旅費</th> <th>現地調査費^②</th> <th>資料採集送費 送料^②</th> <th>報告書作成費</th> <th>技術費</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施協議</td> <td>(2)</td> <td>(3,363)</td> <td>(354)</td> <td>(120)</td> <td>(698)</td> <td>(19,902)</td> <td>(24,437)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> <td>5,292</td> <td>527</td> <td>180</td> <td>1,046</td> <td>30,780</td> <td>37,825</td> </tr> </tbody> </table>								区分	件数	調査旅費	現地調査費 ^②	資料採集送費 送料 ^②	報告書作成費	技術費	合計	実施協議	(2)	(3,363)	(354)	(120)	(698)	(19,902)	(24,437)		3	5,292	527	180	1,046	30,780	37,825
区分	件数	調査旅費	現地調査費 ^②	資料採集送費 送料 ^②	報告書作成費	技術費	合計																								
実施協議	(2)	(3,363)	(354)	(120)	(698)	(19,902)	(24,437)																								
	3	5,292	527	180	1,046	30,780	37,825																								
(技術費内訳)																															
区分	等級	作業期間		直接人件費	諸経費 直接人件費×110%	技術費 (直接人件費+諸経費)×40%	単価計	件数	合計																						
		現地	国内																												
実施協議	技師A	25 30	2	(378,210) 419,555 × (25/30 + 2) ^③ ×3人 (3,384,780) = 3,482,718	(3723,258) 3,838,690	(2,843,215) 2,731,363	(9,951) 10,260	(2) 3	(19,902) 30,780																						

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
(2) プロジェクト実施経費	(27,825) 28,154	25,491	△ 2,663	
(目) 実施計画費	(27,825) 28,154	25,491	△ 2,663	<p>1. プロジェクト運営費 5,493 (5,817)</p> <p>(1) 諸謝金 $106,380 \text{円} \times 17 \text{件}^{(18)}$ = 1,808 (1,915)</p> <p>(2) 国内旅費 $27,465 \text{円} \times 3 \text{人} \times 17 \text{件}^{(18)}$ = 1,401 (1,483)</p> <p>(3) 方 費 2,284 (2,419)</p> <p> 1. 会議費 $14,882 \text{円} \times 17 \text{件}^{(18)}$ = 253 (268)</p> <p> 2. 資料作成費 $118,490 \text{円} \times 17 \text{件}^{(18)}$ = 2,031 (2,151)</p> <p> 計 (1) ~ (3) 5,493 (5,817)</p> <p>2. 事前調査等準備計画費 626</p> <p>(1) 諸謝金 $28,480 \text{円} \times 3 \text{件}$ = 85</p> <p>(2) 国内旅費 $19,735 \text{円} \times 5 \text{人} \times 3 \text{件}$ = 296</p> <p>(3) 方 費 245</p> <p> 1. 会議費 $18,390 \text{円} \times 3 \text{件}$ = 55</p> <p> 2. 資料作成費 $63,420 \text{円} \times 3 \text{件}$ = 190</p> <p> 計 (1) ~ (3) 626</p> <p>注) 国内旅費 $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \\ 4,272 \text{円} \times 2 + (682 \text{円} \times 3 \text{日}) + (3,486 \text{円} \times 2 \text{泊}) + 3,107 \text{円} \end{array} \right\}$ $\times 2 \times \frac{4}{10} = 19,735 \text{円}$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																			
				<p>3. 国内支援体制整備費 19,372(21,711)</p> <p>(1) 技術研究開発費 $1,902 \times 2件 = 3,804$</p> <p style="text-align:center">(インドネシア、バイオマスエネルギー) ペル-酸化鉍</p> <p>(内訳)</p> <table border="1" data-bbox="1546 835 2365 1052"> <thead> <tr> <th rowspan="2">サンプル 輸送費</th> <th colspan="3">研究費</th> <th rowspan="2">印刷製本費</th> <th rowspan="2">単価計</th> </tr> <tr> <th>消耗品費</th> <th>光熱水料</th> <th>人件費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>円 1,570 × 70日 = 111,700</td> <td>円 791,600</td> <td>円 25,770</td> <td>円 19,270 × 20日 = 385,400</td> <td>円 2,770 × 60部 × 3冊 = 538,200</td> <td>1,902</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 視聴覚号教材整備費 (韓国釜山災害予防) 10,509(10,318)</p> <p>① 謝礼金 6,728(6,536)</p> <p>イ. 教材整備国内作業費 6,198(6,006)</p> <p>(1) 直接人件費 2,108(2,043)</p> <p style="margin-left: 40px;">主任技師 1人/月 $\frac{37820}{39,030円} \times 20日 \times 1人 \times 1件 = 781(756)$</p> <p style="margin-left: 40px;">技師(A) 2人/月 $\frac{32,170}{33,170円} \times 20日 \times 2人 \times 1件 = 1,327(1,287)$</p> <p>(ロ) 経費 (直接人件費の110%相当額)</p> <p style="margin-left: 40px;">$\frac{2,043}{2,108} \times 1件 \times 110\% = 2,319(2,247)$</p>					サンプル 輸送費	研究費			印刷製本費	単価計	消耗品費	光熱水料	人件費	円 1,570 × 70日 = 111,700	円 791,600	円 25,770	円 19,270 × 20日 = 385,400	円 2,770 × 60部 × 3冊 = 538,200	1,902
サンプル 輸送費	研究費			印刷製本費	単価計																		
	消耗品費	光熱水料	人件費																				
円 1,570 × 70日 = 111,700	円 791,600	円 25,770	円 19,270 × 20日 = 385,400	円 2,770 × 60部 × 3冊 = 538,200	1,902																		

(451)
(単位：千円)

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(ハ) 技術費(直接人件費+諸経費の40%相当額) $\frac{(2,043)(2,247)}{(2,108 + 2,319) \times 100} = 1771 (1716)$ 計 (イ) ~ (ヒ) 6,198 (6,006)
				□ 教材翻訳料 $2,650円 \times 100枚 \times 2種 \times 1件 = 530$
				② 国内旅費(元島基準 3泊4日 2等級) 128 $\{(7,600円 + 5,700円) \times 2回 + (1,900円 \times 4日 + 9,900円 \times 3泊)\} \times 2人 \times 1件 = 128$
				③ 庁費 3,653 (3,654)
				イ 教材購入費 教科書・専門書等購入費 $4,200円 \times 10種 \times 1件 = 42$
				□ 教材作成費 3,076
				(イ) 教科書・マニュアル等印刷製本費 $2,780円 \times 100頁 \times 2種 \times 1件 = 556$
				(ロ) スライド作成費(100枚) $840 \times 3種 \times 1件 = 2,520$
				ハ、会議費 $500円 \times 20人 \times 2回 \times 1件 = 20$
				ニ、教材送料(テハラ基準)⊕ $2,312円 \times 30円 \times 4種 \times 1件 \times \frac{137}{217} \times 0.927124 = 281 (282)$

(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				ホ プロシエフター-号購入費 234 x 1件 = 234
				計 1 ~ ホ 2653 (2,654)
				(2) 国内協力体制整備費 5,059 (7,589)
				① 謝金 106,380円 x ⁽¹⁵⁾ 10件 = 1,064 (1,396)
				② 国内旅費 66,100円 x 4人 x ⁽¹⁵⁾ 10件 = 2,644 (3,966)
				③ 方費 1,351 (2,027)
				1. 会議費 14,882円 x ⁽¹⁵⁾ 10件 = 149 (223)
				ロ. 資料作成費 120,238円 x ⁽¹⁵⁾ 10件 = 1,202 (1,804)
				計 ① ~ ③ 5,059 (7,589)
				注) 国内旅費(尤島基準 泊4日 3等級) $\left\{ (14,400円 \times 2回) + (1,900円 \times 4日) + (7,700円 \times 3泊) \right\} = 66,100円$
				合計 1 ~ 3 25,491 (28,154)

(单位: 千円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
2. 専門家派遣に必要経費 (四) 派遣経費		(930,142) 931,578 (565,149) 565,149	932,090 563,404	512 △ 1,745	全額立 1. 赴場任(出張)旅費 150,236 (129,044) 長期調査員 6人 (新規 4人 帰国 2人) 専門家 108人 (継続 27人 新規及び交替 21人) (帰国 22人 短期 37人)								
区分	等期 級間	航空賃 (円ベース)	支度料	日当宿泊料	移転料	着払い当	旅行雑費	国内旅費	単価計 ×1.13×0.95	人数		合計	
										人	月		
長期調査員	新規	3 6	46,380	165,000	0	40,000 × $\frac{56}{100}$ = 205,500	(3,200 + 9,800) × 10日 = 130,000	2,500 × 1人 = 2,500	9,905	(974,290) 1,045,900	(2)	(12)	(1,949)
											4	24	4,184
専門家	継続	3 6	46,380	0	0	205,500	0	2,500	9,905	(679,290) 729,220	2	12	(1,359)
											2	12	1,458
長期調査員	新規及び交替	3 7	730,790	165,000 × $\frac{2}{3}$ = 275,000	0	40,000 × $\frac{115}{100}$ = 472,650	(3,200 + 9,800) × 10日 × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{3}$) = 260,000	2,500 × 3人 = 7,500	9,905 + 11,593 = 21,498	(1,767,440) 1,897,350	21	147	(37,116)
											21	147	39,844
専門家	短期	3 5	730,790	0	0	40,000 × $\frac{115}{100}$ × 1.1 = 519,920	0	7,500	21,498	(1,279,710) 1,393,770	(22)	(110)	(28,154)
											27	145	39,839
長期調査員	短期	3 3	46,380	94,330	1,056,200	0	0	2,500	19,810	(1,634,220) 1,754,340	37	111	(60,466)
											37	111	64,911
計				注 (3,200 × 31日 + 9,800 × 30日) + (3,200 + 9,800) × 30 × 0.9 + (3,200 + 9,800) × 30 × 0.8 = 1,056,200							(113)	(770)	(129,044)
											114	691	150,236

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(注) 国内旅費 短期 $\left\{ \begin{array}{l} \text{鉄道賃} \\ 8,443 \text{円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{日当} \\ (718 \text{円} \times 3 \text{日}) \end{array} + \begin{array}{l} \text{宿泊料} \\ (4,672 \text{円} \times 2 \text{泊}) + 4,182 \text{円} \end{array} \right\} \times 2 \times \frac{4}{10}$ $= 12,810 \text{円}$ 長期(本人) $24,762 \text{円} \times \frac{4}{10} = 9,905 \text{円}$ (家族) $\left\{ (8,443 \text{円} \times 1.5 \text{人}) + (16,320 \text{円} \times (\frac{2}{3} + \frac{1}{3})) \right\} \times \frac{4}{10}$ $= 11,573 \text{円}$ 2. 滞在費 301,149 (328,650) (1) 長期調査員 $390,900 \text{円} \times 6 \text{人} \times 6 \text{月} = 14,072 (23,82)$ (2) 専門家 $\left\{ 390,900 \text{円} \times 544 \text{人月} \right\} \times 1.35 = 287,077 (312,268)$ 計 (1) + (2) 301,149 (328,650) 3. 住居手当 $203,500 \text{円} \times 580 \text{人月} \times \frac{60}{100} = 70,818 (76,801)$ 4. 給食手当(長期・長期) $390,900 \text{円} \times 580 \text{人月} \times \frac{1}{3} \times \frac{15}{100} = 11,336 (12,294)$ 5. 僻地手当 12,242 (13,278) (1) $390,900 \text{円} \times \frac{20}{100} \times 580 \text{人月} \times 1.35 \times \frac{10}{100} = 6,121 (6,637)$ (2) $390,900 \text{円} \times \frac{10}{100} \times 580 \text{人月} \times 1.35 \times \frac{20}{100} = 6,121 (6,637)$ 計 (1) + (2) 12,242 (13,278)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				6. 子女教育手当 (1) 定額分 $18,000円 \times 544人月 \times \frac{1}{3} \times (1 + \frac{2}{5}) = 4,570 (5,082)$
				7. 在勤手当改善分 13,053 (0)
				合計 (1~7) (565,443) 563,404
(目) 携行機材費	(21,616) 21,872	23,923	2,051	1. 長期調査員 $2,051 \times 24 = 4,102 (2,051)$ 2. 専門家 $341,735円 \times 58人 = 19,821$ 合計 (1+2) 23,923 (21,872)
(目) 現地業務費	(77,578) 78,496	75,708	△ 2,788	全額 ④ 1. 現地業務費 22,673 (23,308) (1) $126,940円 \times (12月 \times 13プロジェクト + 7月 \times 3プロジェクト) = 22,468 (23,103)$ (継続) タンザニア(中小工業), スリランカ(矯正技術), パキスタン(機械加工) ブラジル(鉱山公害), ウルグアイ(紙パルプ), インドネシア(バイオマス) ブラジル(中小工業), ベルギー(酸化鉄), タイ(貿易研修) 韓国(鉱山公害), パナマ(鉱物冶金), 中国(肉類食品) ハンガリー(食品市場)

(456)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(新規) 4リ(銅製線), フィリピン(ワニ養殖), メキシコ(未利用資源)
				(2) $29,220 \times 1 \text{件} \times 7 \text{月} = 205$
				(フォローアップ) ネパール(家内工業)
				2. 現地研究費
				$94,000 \text{円} \times 184 \text{プロジェクト月} = 17,296(17,766)$
				3. 貧困国対策
				LDC $149,310 \text{円} \times (12 \text{月} \times 5 \text{プロジェクト} + 7 \text{月} \times 2 \text{プロジェクト}) = 11,049(12,841)$
				4. 応急対策費
				$101,230 \text{円} \times (12 \text{月} \times 13 \text{プロジェクト} + 7 \text{月} \times 4 \text{プロジェクト}) = 18,626(17,132)$
				5. 長期調査員調査費
				$59,130 \text{円/月} \times 6 \text{月} \times 3 \text{プロジェクト} = 1,064(710)$
				小計(1~5) $70,708 \times \frac{237}{225} \times 0.927124 = 69,051(72,333)$
				6. 技術普及広報費
				$500 \times 11 \text{件} \times \frac{237}{247} = 5,277(4,818)$

(457)
(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(E) 技術費	(4807) 4866	10,043	5,177	<p>7. 技術交換費</p> <p>(1345) 1,386 × 1件 × $\frac{237}{238}$ = 1,380 (1,345)</p> <p>(1) 航空賃 232,300円 × 2人 = 465</p> <p>(2) 日当 2,200円 × 30日 × 2人 = 192</p> <p>(3) 宿泊料 9,800円 × 2泊 × 2人 = 568</p> <p>小計 (1)~(3) 1,225 × 1.088 × 0.95 = 1,266 (1,225)</p> <p>(4) 現地活動費 48,500円 × 2人 = 97</p> <p>(5) 送料 2,300円 × 10kg = 23</p> <p>計 (1)~(5) 1,386 (1,345)</p> <p>合計 (1~7) 75,708 (78,496)</p> <p>主任技師</p> <p>(709,330) (2) 長期調査費 (1) 732,030円 × 4人 × (6+1)月 × $\frac{1}{6}$ × 2.94 = 10,043 (4866)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 所屬先給与補填経費	(243.751) 243.751	242.672	△ 1.079	<p>全額 ☆</p> $418,400 \text{円} \times \left\{ \frac{(58)}{30} \text{人月} + \frac{(26)}{30} \text{人月} + \frac{(667)}{30} \text{人月} + \frac{148 \text{人月}}{30} \right\} \times \frac{3}{3}$ $= 242.672 (243.751)$ <p>人月内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査 事前調査 $\left\{ \frac{25}{30} \text{月} \times 5 \text{人} \times 3 \text{件} \right\} + \text{実施協議} \left\{ \frac{25}{30} \text{月} \times (5-3) \text{人} \times 3 \text{件} \right\} +$ 計画打合 $\left\{ \frac{25}{30} \text{月} \times 4 \text{人} \times 2 \text{件} \right\} + \text{巡回指導} \left\{ \frac{25}{30} \text{月} \times 4 \text{人} \times 4 \text{件} \right\} +$ 機材修理 $\left\{ \frac{20}{30} \text{月} \times 4 \text{人} \times 1 \text{件} \right\} + \text{エバリュエ-ション} \left\{ \frac{30}{30} \text{月} \times 5 \text{人} \times 5 \text{件} \right\}$ $= 70 \text{人月}$ <ul style="list-style-type: none"> ・長期調査員 $(6+1) \text{月} \times 6 \text{人} - (6+1) \text{月} \times 4 \text{人} \times \frac{1}{6} = 37 \text{人月}$ ・専門家 (長期) $21 \text{人} \times 12 \text{月} + 21 \text{人} \times (7+2) \text{月} + 29 \text{人} \times (5+1) \text{月}$ $= 615 \text{人月}$ (短期) $37 \text{人} \times (3+1) \text{月} = 148 \text{人月}$
(目) 一時帰国旅費	(8.915) 8.920	5.980	△ 2,940	<p>本人 $21 \text{人} \times \frac{1}{3} = 7 \text{人}$</p> <p>家族 $21 \text{人} \times \frac{1}{3} = 7 \text{人}$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																
				区分	航空賃 (テヘラン基準) 円	日当 円	旅行雑費 円	国内旅費 円	単価計 X1,008X0.95 円	人数 人	合計									
				本人	338,320	1,446 X 2回 X 2日 = 5,784	1,495 X 2回 X 1人 = 2,990	5,926 X 2回 = 11,852	(358,940) 343,721	(10) 7	(358,940) 2,406									
				家族	507,480	1,446 X 2回 X 2日 X (2/3 + 1/3) = 5,784	1,495 X 2回 X 2人 = 5,980	6,935 X 2回 = 13,870	(533,110) 510,506	(10) 7	(533,110) 3,574									
				計						(20) 14	(8,920) 5,980									
(目) 子女呼寄せ旅費	(1,768) 1,789	1,888	99	$350,280 \text{円} \times (1 - \frac{25}{100}) - 20,000 \text{円} = 242,710 \text{円}$ $242,710 \text{円} \times \left\{ \frac{(76)}{77} - \frac{(29)}{21} \times \frac{1}{3} \right\} \times \frac{1}{7} = 1,882,744 \text{円} (1,788,863 \text{円})$																
(目) 連絡会議旅費	(6,656) 6,735	8,472	1,737	1. 外国旅費 8,436 (6,703)																
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>航空賃 テヘラン基準 円</th> <th>日当・宿泊料 円</th> <th>旅行雑費 円</th> <th>単価計 X1,104 X 0.95 円</th> <th>人数 人</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>543,000</td> <td>(注) (3,800 + 11,400) X 2日 + (1,900 + 8,900) X 8日 = 124,800</td> <td>2,500</td> <td>(670,300) 703,010</td> <td>(10) 12</td> <td>(6,703) 8,436</td> </tr> </tbody> </table>					航空賃 テヘラン基準 円	日当・宿泊料 円	旅行雑費 円	単価計 X1,104 X 0.95 円	人数 人	計	543,000	(注) (3,800 + 11,400) X 2日 + (1,900 + 8,900) X 8日 = 124,800	2,500	(670,300) 703,010	(10) 12	(6,703) 8,436
航空賃 テヘラン基準 円	日当・宿泊料 円	旅行雑費 円	単価計 X1,104 X 0.95 円	人数 人	計															
543,000	(注) (3,800 + 11,400) X 2日 + (1,900 + 8,900) X 8日 = 124,800	2,500	(670,300) 703,010	(10) 12	(6,703) 8,436															
				(注) 2号俵基準 滞在日数 8日 往復日数 2日																

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				2. 業務諸費
				(1) 会議費 $500円 \times 18人 \times 4回$ ⁽¹⁶⁾ = 36 (32)
				計 (1+2) 8,472 (6,735)
3. 機材供与に必要な経費	(474,975) 475,079	529,642	54,543	
(目) 機材供与費	(466,199) 466,199	525,065	58,866	全額 ☆
				$545,422 \times \left(\frac{87}{100} + \frac{13}{100} \times 0.73 \times \frac{237}{225} \times 0.927124 \right)$ ^{送料①}
				= 525,065 (466,199)
				継続
				(1) タンザニア (中小工業) 30,000
				(2) スリ・ランカ (適正技術) 30,000
				(3) パキスタン (機械加工) 35,422
				(4) ウルグアイ (紙パルプ) 10,000
				(5) インドネシア (バイオマス) 30,000
				(6) ブラジル (中小工業) 50,000
				(7) ペルー (酸化鉍) 110,000
				(8) タイ (貿易研修) 10,000
				(9) 韓国 (鉍山災害) 70,000
				(10) パナマ (鉍物冶金) 60,000
				(11) パラグアイ (食品市場) 40,000

(461)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎															
(B) 機械設計試作改良費	(8,796) 8,900	4,577	△ 4,323	(2) 中国 (肉類食品) 50,000 計 525,422															
				新規 (1) 子リ (銅製鍊) 10,000 (2) フィリピン (ワニ養殖) 10,000 計 20,000 合計 545,422															
				(4,450) (2) 4,577 × / 件 = 4,577 (8,900) (インドネシア・バイオマス)															
				(単価内訳)															
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>人件費</th> <th>諸経費</th> <th>技術研究費</th> <th>材料費</th> <th>単価計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技師C 月</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(20,630) 21,330 × 20日 × $\frac{60}{30}$ (825,200) = 853,200</td> <td>人件費 × 1.1 (907,720) = 938,520</td> <td>(人件費 + 諸経費) × 44 (693,168) = 716,688</td> <td>(2,024,222) 2,068,750</td> <td>(4,450) 4,577</td> </tr> </tbody> </table>	人件費	諸経費	技術研究費	材料費	単価計	技師C 月	円	円	円		(20,630) 21,330 × 20日 × $\frac{60}{30}$ (825,200) = 853,200	人件費 × 1.1 (907,720) = 938,520	(人件費 + 諸経費) × 44 (693,168) = 716,688	(2,024,222) 2,068,750	(4,450) 4,577
人件費	諸経費	技術研究費	材料費	単価計															
技師C 月	円	円	円																
(20,630) 21,330 × 20日 × $\frac{60}{30}$ (825,200) = 853,200	人件費 × 1.1 (907,720) = 938,520	(人件費 + 諸経費) × 44 (693,168) = 716,688	(2,024,222) 2,068,750	(4,450) 4,577															

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(項) 青年海外協力隊派遣費	(6,215,091) 6,248,213	7,764,687	1,516,474	昭和40年度から計上 54年度 当初予算額 (3,239,870) (3,708,031) (4,069,485) (4,567,660) (5,362,290) 3,249,829 3,720,862 4,083,074 4,592,252 5,433,087
Ⅰ. 国内事業に必要な経費	(858,349) 870,981	1,180,118	307,137	
(1) 募集選考経費	(181,271) 186,910	190,438	3,528	
(目) 諸謝金	(11,476) 11,832	12,201	369	1. 募集広報行事講師謝金 (3,765) 3,880円 × 2人 × 47県 × 2回 = 729 (708)
				2. 第1次選考謝金 (341,850) 352,450円 × 6件 × 2回 = 4,229 (4,102)
				3. 第2次選考謝金 (2,652) 2,730円 × 30人 × 6日 × 2回 = 983 (955)
				4. シニア選考試験 (15,030) 15,500円 × 7人 × 4回 = 434 (421)
				5. 兼程別顧問 (7,700) 7,940円 × 87程 × $\frac{1}{10}$ × 12月 = 829 (804)
				6. 短期緊急派遣選考経費 (10,400) 10,720円 × 4人 = 43 (42)
				7. ブロック募集強化経費 (5,000) 5,160円 × 5県 × 2回 × 8地区 × 12月 = 4,954 (4,800)
				諸謝金計(1)~(7) 12,201 (11,832)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																														
(目) 国内旅費	(28,687) 28,682	31,656	2,074	<p>1. 募集活動広報旅費(広島基準 4等級 5泊 6日超特往復)</p> $31,280円 \times 47系 \times 2回 = 2,940 (2,940)$ <p>2. 北方選考職員出張旅費(広島基準 3等級 3泊 4日超特往復)</p> $18,400円 \times 47系 \times 2回 \times \frac{1}{2} = 912 (912)$ <p>3. 第2次選考受験者旅費(広島基準 6等級 1泊 2日特急往復)</p> $10,020円 \times \frac{(1,300)}{1,600人} \times \frac{1}{5} = 9,619 (9,616)$ <p>4. 身分調整旅費(広島基準 3等級 2泊 3日超特往復)</p> $25,760円 \times \frac{(650)}{800人} \times \frac{35}{100} \times \frac{1}{5} = 1,443 (1,172)$ <p>5. フロック募集強化旅費</p> <p>(1) $32,700円 \times 4ヶ所 \times 8地区 = 1,046 (1,046)$</p> <p>(2) $32,700円 \times 5ヶ所 \times 8地区 \times 12月 = 15,696 (15,696)$</p> <p>小計 (1) ~ (2) = 16,742 (16,742)</p> <p>国内旅費計 1 ~ 5 = 31,656 (29,582)</p> <p>(単価内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>鉄道賃等</th> <th>日当</th> <th>宿泊料</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>10,970</td> <td>$760円 \times 6日 = 4,560円$</td> <td>$3,150円 \times 6泊 = 18,750円$</td> <td>31,280</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>6,910</td> <td>$760 \times 4 = 3,040$</td> <td>$3,150 \times 3 = 9,450$</td> <td>19,400</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>6,480</td> <td>$510 \times 2 = 1,020$</td> <td>$2,520 \times 1 = 2,520$</td> <td>10,020</td> </tr> <tr> <td>(4)</td> <td>16,500</td> <td>$820 \times 3 = 2,460$</td> <td>$3,400 \times 2 = 6,800$</td> <td>25,760</td> </tr> <tr> <td>(5)</td> <td>9,200</td> <td>$1,900 \times 3 = 5,700$</td> <td>$8,900 \times 2 = 17,800$</td> <td>32,700</td> </tr> </tbody> </table>	区分	鉄道賃等	日当	宿泊料	計	(1)	10,970	$760円 \times 6日 = 4,560円$	$3,150円 \times 6泊 = 18,750円$	31,280	(2)	6,910	$760 \times 4 = 3,040$	$3,150 \times 3 = 9,450$	19,400	(3)	6,480	$510 \times 2 = 1,020$	$2,520 \times 1 = 2,520$	10,020	(4)	16,500	$820 \times 3 = 2,460$	$3,400 \times 2 = 6,800$	25,760	(5)	9,200	$1,900 \times 3 = 5,700$	$8,900 \times 2 = 17,800$	32,700
区分	鉄道賃等	日当	宿泊料	計																														
(1)	10,970	$760円 \times 6日 = 4,560円$	$3,150円 \times 6泊 = 18,750円$	31,280																														
(2)	6,910	$760 \times 4 = 3,040$	$3,150 \times 3 = 9,450$	19,400																														
(3)	6,480	$510 \times 2 = 1,020$	$2,520 \times 1 = 2,520$	10,020																														
(4)	16,500	$820 \times 3 = 2,460$	$3,400 \times 2 = 6,800$	25,760																														
(5)	9,200	$1,900 \times 3 = 5,700$	$8,900 \times 2 = 17,800$	32,700																														

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(目) 庁 費	(141,106) 145,496	146,581	1,085	
				1. 資料作成費 56,849 (56,849)
				(1) 広報用資料
				74.5円 × 20,000部 × 12月 = 22,680 (22,680)
				(2) 募集用資料
				24.15円 × 30,000部 × 7種 × 2回 = 10,143 (10,143)
				(3) 選考用資料
				54.6円 × 1,500部 × 9種 × 2回 = 1,474 (1,474)
				(4) 視聴覚資料
				82,394円 × 4種 × 47架 = 15,490 (15,490)
				(5) 業務用資料
				290円 × 600部 × 8種 × 2回 = 2,784 (2,784)
				(6) 海外資料
				210円 × 1,000部 × 3種 × 2件 × 2回 = 2,520 (2,520)
				(7) 短期緊急隊員派遣募集用資料
				105円 × 1,500部 = 158 (158)
				(8) プロッツ募集強化用資料
				20円 × 5,000部 × 2回 × 8地区 = 1,600 (1,600)
				2. 通信運搬費 17,763 (17,763)
				(1) 広報用資料
				35.7円 × 18,000部 × 12月 = 7,711 (7,711)
				(2) 募集資料
				12.6円 × 30,000部 × 7種 × 2回 = 5,292 (5,292)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(3) 選考用資料 1,785円 × 1,500部 × 9種 × 2回 = 482 (482)
				(4) 視聴覚資料 1,540円 × 4種 × 47課 = 290 (290)
				(5) 業務用資料 100円 × 500部 × 8種 × 2回 = 800 (800)
				(6) 海外資料 260円 × 1,000部 × 3種 × 2冊 × 2回 = 3,120 (3,120)
				(7) 短期緊急隊員派遣用 52 ⁵ 円 × 1,300部 = 68 (68)
				3. 会議費 2,398 (2,262)
				(1) 募集広域行事打合 800円 × 5人 × 47課 × 2回 = 376 (376)
				(2) 地方選考打合 750円 × 5人 × 47課 × 2回 = 353 (353)
				(3) 第2次選考昼食代 290円 × $\left\{ \begin{matrix} (1,300) \\ 1,600人 + (30人 × 6日 × 2回) \end{matrix} \right\} = 568 (481)$
				(4) 身分調整 940円 × $\frac{(650)}{800} × \frac{35}{100} × \frac{1}{8} × 5人 = 263 (214)$
				(5) シニア試験 270円 × 35人 × 4回 = 38 (38)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(6) ブロック募集強化経費 $1,000円 \times 5人 \times 5果 \times 8地区 \times 4回 = 800 (800)$
				4. 備品費 ソータープリンター(リコーモデル5050) 1,507 (0) 前年度限り 0 (1,107)
				5. 会場借料 11,622 (11,622)
				(1) 募集広報行事会場借上 $11,886円 \times 47果 \times 2回 = 1,117 (1,117)$
				(2) 地方選考試験会場 $7,928円 \times 47果 \times 2回 = 745 (745)$
				(3) 第2次試験実技試験会場 $15,980円 \times 5人 \times 2回 = 160 (160)$
				(4) ブロック募集強化経費 $20,000円 \times 5人 \times 8地区 \times 12月 = 9,600 (9,600)$
				6. 厚生費 受験者健康診断 $1,832円 \times 1,600人^{(1,300)}$ = 2,931 (2,382)
				7. 雑費 (1) 募集広報行事会場運営費 $7,870円 \times 47果 \times 2回 = 740 (740)$ (2) 募集広報費 35,411 (35,411)

(467)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				④ 全 国 紙 $1,995,240 \text{円} \times 3 \text{紙} \times 2 \text{冊} = 11,971 (11,971)$
				⑤ 地 方 紙 $1,053,300 \text{円} \times 47 \text{県} \times 2 \text{冊} = 9,898 (9,898)$
				⑥ 週 刊 誌 $475,490 \text{円} \times 1 \text{誌} \times 3 \text{冊} = 1,426 (1,426)$
				⑦ 業界団体機関誌(紙)掲載 $46,320 \text{円} \times 45 \text{団体} \times \frac{2}{3} = 1,390 (1,390)$
				⑧ テレビラジオスポット $56,200 \text{円} \times 2 \text{社} \times 2 \text{種} \times 10 \text{冊} = 2,248 (2,248)$
				⑨ 電 卓 中 断 $4,238,970 \text{円} \times 2 \text{冊} = 8,478 (8,478)$
				(3) プロット募集強化経費 $108,500 \text{円} \times 5 \text{冊} \times 8 \text{地区} \times 4 \text{冊} = 17,360 (17,360)$
				計 算 計 1~7 146,581 (145,496)
(2) 事業強化費	(83,577) 86,178	101,031	14,853	
(目) 諸 謝 金	(38,148) 39,334	49,554	1220	1. ルポライター $1,660 \text{円} \times 500 \text{枚} \times 2 \text{人} = 1,660 (1,610)$
				(2) 報告会講師 $2,500 \text{円} \times 2 \text{人} \times 3 \text{冊} \times 2 \text{人} = 30 (29)$
				2. 地方関係団体 32,421 (31,446)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(1) 地方関係団体 $(124,040)$ $127,870 \text{円} \times 27 \text{県} = 3,453 (3,349)$ (2) 協力団体 (職能別青少年団体) $(45,070)$ $46,470 \text{円} \times 100 \text{団体} = 4,647 (4,509)$ (3) 隊員OB等応募相談委員 $(26,700)$ $29,530 \text{円} \times 47 \text{県} \times 2 \text{回} = 2,588 (2,510)$ (4) 国内ボランティア業務委員 $(117,100)$ $120,730 \text{円} \times 30 \text{人} \times 6 \text{日} = 21,731 (21,078)$ 3. 派遣前技術補充研修先謝金 $(11,230)$ $11,580 \text{円} \times 50 \text{人} \times 6 \text{日} = 3,474 (3,369)$ 4. 業種別検討委員会 $(10,000)$ $10,310 \text{円} \times 3 \text{人} \times 2 \text{回} \times 12 \text{業種} \times 4 \text{日} = 2,967 (2,880)$ 諸謝金計 1~4 $40,554 (39,334)$
(目) 国内旅費	(5,148) 5,309	5,309	0	1. ルポライター旅費 $145 (145)$ (1) 報告会講師派遣 (広島基準 2等級 2泊 3日 超特往復) $26,690 \text{円} \times 1 \text{人} \times 3 \text{回} = 80 (80)$ (2) 報告会同行者旅費 (広島基準 4等級 2泊 3日 超特往復) $21,700 \text{円} \times 1 \text{人} \times 3 \text{回} = 65 (65)$ 2. 地方関係団体等旅費 $1,794 (1,794)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																																								
				(1) 地方関係団体連絡上京旅費(広島基準4等級3泊4日超特往復) $26,650円 \times 27 \text{ 県} \times 1 \text{ 人} = 720 (720)$ (2) 各種団体開催行事講師旅費(広島基準4等級3泊4日超特往復) $26,840円 \times 20 \text{ 団体} \times 2 \text{ 人} = 1,074 (1,074)$ 3. 業種別検討委員会 委員上京旅費(静岡基準2等級2泊3日超特往復) $35,100円 \times 2 \text{ 回} \times 12 \text{ 業種} \times 4 \text{ 人} = 3,370 (3,370)$ 団内旅費計 1~3 5,309 (5,309)																																								
			(取極内訳)																																									
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>鉄道賃 円</th> <th>日当 円</th> <th>宿泊料 円</th> <th>計 円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 広報旅費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-(1)</td> <td>17,600</td> <td>$750 \times 3 = 2,250$</td> <td>$3,420 \times 2 = 6,840$</td> <td>26,690</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>13,170</td> <td>2,250</td> <td>$3,140 \times 2 = 6,280$</td> <td>21,700</td> </tr> <tr> <td>2. 地方関係団体</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2-(1)</td> <td>13,210</td> <td>$750 \times 4 = 3,000$</td> <td>$3,480 \times 3 = 10,440$</td> <td>26,650</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>14,420</td> <td>3,000</td> <td>$3,140 \times 3 = 9,420$</td> <td>26,840</td> </tr> <tr> <td>3. 業種別検討委員会</td> <td>8,600</td> <td>$1,900 \times 3 = 5,700$</td> <td>$8,900 \times 2 = 17,800$</td> <td>35,100</td> </tr> </tbody> </table>	区分	鉄道賃 円	日当 円	宿泊料 円	計 円	1. 広報旅費					1-(1)	17,600	$750 \times 3 = 2,250$	$3,420 \times 2 = 6,840$	26,690	(2)	13,170	2,250	$3,140 \times 2 = 6,280$	21,700	2. 地方関係団体					2-(1)	13,210	$750 \times 4 = 3,000$	$3,480 \times 3 = 10,440$	26,650	(2)	14,420	3,000	$3,140 \times 3 = 9,420$	26,840	3. 業種別検討委員会	8,600	$1,900 \times 3 = 5,700$	$8,900 \times 2 = 17,800$	35,100
区分	鉄道賃 円	日当 円	宿泊料 円	計 円																																								
1. 広報旅費																																												
1-(1)	17,600	$750 \times 3 = 2,250$	$3,420 \times 2 = 6,840$	26,690																																								
(2)	13,170	2,250	$3,140 \times 2 = 6,280$	21,700																																								
2. 地方関係団体																																												
2-(1)	13,210	$750 \times 4 = 3,000$	$3,480 \times 3 = 10,440$	26,650																																								
(2)	14,420	3,000	$3,140 \times 3 = 9,420$	26,840																																								
3. 業種別検討委員会	8,600	$1,900 \times 3 = 5,700$	$8,900 \times 2 = 17,800$	35,100																																								

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
(目) 外国旅費	(1,844) 1,901	1,934	33	1. ルポライター ルポライター (1102.706) 円 × 1人 = 1120 (1,103) カメラマン (798.038) 円 × 1人 = 814 (798)

(単価内訳)

区分	基準地	等級	日数	航空賃	食費料	現地取材費①	日当宿泊料	旅行雑費	計
			日	円	円	円	円	円	円
ルポライター	ラバト	2	50	418,440	58,134	(240,750) 239,738	日 宿 {(1914 × 50) + (5877 × 49)} × 1104 × 0.95 = (388,673) = 402,596	1709	(1,102,706) 1,120,417
カメラマン	"	4	50	418,440	44,715		{(1,640 × 50) + (5,126 × 49)} × 1104 × 0.95 = (333,174) = 348,432	1,709	(798,038) 814,296

(ルポライター-現地取材費内訳)

1. 通訳備上費

$$2,887.84 \text{ 円} \times 5 \text{ 日} \times 5 \text{ 回} = 72,196 (72,196)$$

2. 車賃借上費

$$3469.62 \text{ 円} \times 5 \text{ 日} \times 5 \text{ 回} = 86,741 (86,741)$$

3. 会議費

$$1,446.88 \text{ 円} \times 10 \text{ 日} \times 5 \text{ 回} = 72,327 (72,327)$$

4. 電報料 78.63 円 × 30 通 × 5 日

$$= 11,795 (11,795)$$

5. 外貨交換手数料 2430.59 円 × 0.01

$$= 2,431 (2,431)$$

$$\text{計 } 245,490 \text{ 円} \times \frac{237}{225} \times 0.927/24 = 239,738 (240,750)$$

(471)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
(目) 庁 費	(38,437) 39,634	53,234	13,600	
				1. 会議費 930 (930)
				(1) 地方関係団体連絡会議
				1,490円 × 27県 × 7人 = 282 (282)
				(2) 協力団体会議
				447円 × 100団体 × 4回 = 180 (180)
				(3) 庶務相談会
				750円 × 27県 × 16人 = 324 (324)
				(4) 業種別検討委員会
				1,500円 × 12業種 × 2回 × 4回 = 144 (144)
				2. 会場借料 575 (575)
				(1) ルポライター報告会
				127,810円 × 3ヶ所 = 383 (383)
				(2) 地方関係団体連絡会議
				84,820円 × 1ヶ所 = 85 (85)
				(3) 庶務相談会
				3,970円 × 27県 = 107 (107)
				3. 派遣前技術補充研修 28,674 (28,674)
				(1) 研修手当
				83,800円 × 6月 × 50人 = 25,140 (25,140)
				(2) 教材費
				11,780円 × 6月 × 50人 = 3,534 (3,534)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				4. 資料作成費 2455 (2455)
				(1) 隊員レポート作成 1,171円 × 500部 × 10ヶ団 = 5855 (5855)
				(2) 業務別検討委員会報告書作成 1,500円 × 200部 × 12職種 = 3600 (3600)
				5. 雑役務費 (新規)
				国際青年年(IYY) 協賛事業経費 (青年海外協力隊設立20周年記念行事等) 庁費計 1~5 53,234 (39,634)
(3) 派遣前訓練費	(552,392) 555,507	820,164	264,657	
(目) 諸謝金	(210,939) 210,939	267,252	56,313	全額 卒
				1. 諸謝講師 (434,353) (34) 445,080円 × 42人 × 12月 = 224,320 (177,216)
				(差額内訳)
				イ. 基本給 297,220 (288,280)
				ロ. 家族手当 (14,500)円 × 1/2 = 7,250 (7,250)
				ハ. 住居手当 59,680 (54,850)
				ニ. 寒冷地手当 5,080 (11,003)
				$\left\{ \frac{(297,220) + (7,250)}{2} + 80,950 + 10,800 \right\} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{12}$
				ホ. 特別手当 (288,280) 297,220円 × 1/12 = 24,770 (24,023)
				ヘ. 法定福利費 (385,406) 400,370円 × 12/1000 = 50,850 (48,947)
				計 1~ハ 445,080 (434,353)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 国内旅費	(67,976) 67,976	83,285	15,309	<p>2. 一般講師謝金 $\frac{(4,140円)}{25日} \times 135日 \times (650)$ 800人 = 18,446 (14,545)</p> <p>3. 技術研修先謝金 $\frac{(11,510円)}{1,870日} \times (650)$ 800人 = 9,496 (7,482)</p> <p>4. 健康管理医師謝金 $\frac{(1,770円)}{1,320日} \times (650)$ 800人 = 1,456 (1,151)</p> <p>5. 短期緊急隊員派遣前訓練 $\frac{(5,200円)}{5,360日} \times 42日$ = 225 (218)</p> <p>6. 訓練協力員 $\frac{(215,150円)}{22,182日} \times (4)$ 5人 × 12月 = 13,309 (10,927)</p> <p>諸謝金計 1~6 267,252 (210,939)</p> <p>全額 ☆</p> <p>1. 入院及帰省旅費 (広島基準 6等級 1泊 2日特急) $\{3,929円 + (612円 \times 2日) + 2,692円\} \times (650)$ 人 × $\frac{2}{3}$ × 2日 = 8,368 (4,779)</p> <p>2. 国内研修旅費 (広島福井基準 6等級 9泊 10日特急) $\{21,211円 + (900円 \times 10日) + (3,960円 \times 5泊) + (4,400円 \times 4泊)\} \times (650)$ 人 = 54,089 (43,947)</p> <p>3. 駒ヶ根移動旅費 (駒ヶ根-東京 6等級 1日特急) $(3,760 + 1,100)円 \times 1日 \times 390人$ = 1,995 (1,995)</p>

(474)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				4. 技術研修旅費(名古屋基準1日) $(8940+1100)円 \times 2 \times \frac{(650)}{800}人 \times \frac{1}{2} = 2,893 (2,350)$ 5. 講師等研修旅行引本旅費(広島福井基準3等級9泊10日) $\{19,018円 + (1,398円 \times 10日) + (6,380円 \times 9泊)\} \times \frac{(34)}{42}人 \times 3回$ $= 11,393 (9,223)$ 6. 講師連絡旅費 $\{15,880円 + (1,600円 \times 3日) + (8,100円 \times 2泊)\} \times \frac{(34)}{42}人 \times 3回$ $= 4,647 (3,762)$ 国内旅費計 1~6 $23,285 (67,976)$
(目) 外国旅費	(38,687) 38,687	48,541	9,854	全額 ☆ 1. 講師赴任旅費(テハラン基準3等級) $33,048 (27,076)$ (1) 本人 $\frac{(686,840)}{672,700}円 \times \left\{ \frac{(26)}{34} \times \frac{1}{2} + 8人 \right\} = 17,498 (14,321)$ (2) 家族 $\frac{(121,473)}{1,243,790}円 \times \left\{ \frac{(26)}{34} \times \frac{1}{2} + 8人 \right\} \times \frac{1}{2} = 15,550 (12,755)$ 2. 講師帰任旅費(テハラン基準3等級) $15,493 (11,611)$ (1) 本人 $\frac{(424,840)}{435,040}円 \times \frac{(26)}{34} \times \frac{1}{2} = 7,396 (5,524)$ (2) 家族 $\frac{(936,870)}{952,530}円 \times \frac{(26)}{34} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} = 8,097 (6,087)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎			
				外国旅費計 1~2 48,541 (38,687)			
(単価内訳)							
区 分	航 空 賃	支 度 料	移 転 料	着 後 手 当	交 通 賃	旅 行 雑 費	計
	円	円	円	円	円	円	円
赴任本人	282,740	150,000	$274,800 \times \frac{1}{2} \times 1.13 \times 0.95$ (137,400) = 147,500	$(2600+8,100) \times 10 \times 1.13 \times 0.95$ (107,000) = 114,860	2,300	2,500	(681,940) 699,900
赴任家族	$282,740 \times 2.5人$ = 706,850	$150,000 \times \frac{2}{3}$ = 100,000	$274,800 \times \frac{30}{100} \times 1.13 \times 0.95$ (219,840) = 236,000	$(107,000) \times \frac{5}{3}$ $114,860 \times \frac{5}{3}$ (178,333) = 191,430	$2,300 \times \frac{3}{2}$ = 3,450	$2,500 \times 2.5$ = 6,250	(1,214,723) 1,243,980
帰任本人	282,740		(137,400) 147,500		2,300	2,500	(424,940) 435,040
帰任家族	706,850		(219,840) 236,000		3,450	6,250	(936,390) 952,550
(目) 訓練諸費	(157,164) 157,864	196,126	38,262	1. 教材費 $8,450円 \times 800人 = 6,760 (5,493)$ 2. 食費☆ $1,080円 \times 92日 \times 800人 = 79,488 (64,584)$ 3. 訓練手当☆ $(670) \times 92日 \times 800人 = 50,784 (40,066)$ 4. 被服費 $(16,740 + 7,420) \times 800人 = 19,328 (15,704)$ 5. 医療厚生費 $3,090円 \times 800人 = 2,472 (2,009)$ 6. 研修交通費☆ $31,500円 \times 800人 = 25,200 (20,475)$			

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
(目) 庁 費	(77,626) 80,041	224,960	144,919	7. 技術研修手当 ☆
				$\frac{(7,310)}{7,540\text{円}} \times 10\text{月} \times \frac{(650)}{800\text{人}} \times \frac{1}{5} = 12.064 (2,503)$
				8. 短期緊急隊員食費 ☆ $1,080\text{円} \times 7\text{日} \times 4\text{人} = 30$
				訓練諸費 計 1 ~ 8 = 196,126 (157,844)
				1. 備 品 費 78,998 (2,433)
				移転に伴う整備備品 78,998 (0)
				前年度限り 0 (2,433)
				2. 会 議 費 1,080 (936)
				(1) 入所終了式
				$240\text{円} \times \frac{(1250)}{300\text{人}} \times 2\text{区} \times 3\text{区} \times 2\text{所} = 864 (720)$
(2) 訓練打合せ				
$240\text{円} \times 15\text{人} \times 10\text{区} \times 3\text{区} \times 2\text{所} = 216 (216)$				
3. 消耗品費 1,103 (1,103)				
(1) 印字新聞				
$1,607\text{円} \times 4\text{部} \times 2\text{部} \times 12\text{月} = 617 (617)$				

(477)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(2) 英字新聞 $2020円 \times 2紙 \times 5部 \times 12月 = 242 (242)$
				(3) その他 $20,300円 \times 12月 = 244 (244)$
				4. 修理費 806 (806)
				(1) 訓練機器修理 $16,220円 \times 12月 = 195 (195)$
				(2) 体育用品補修 $50,890円 \times 12月 = 611 (611)$
				5. 借料・賃料 129,113 (74,763)
				(1) グラウンド借料 $440円 \times 4人 \times 15回 \times 3回 \times 1ヶ所 = 79 (106)$
				(2) 短期緊急隊員訓練 $680円 \times 4人 = 3 (3)$
				(3) 訓練所移転に伴う借料等 129,031 (74,654)
				(イ) 訓練所借料 117,231 (74,654)
				(ロ) 倉庫借料 11,800 (0)
				6. 雑役費
				訓練所移転経費 13,860 (0)
				方 費 計 1~6 224,960 (80,441)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(4) 帰国隊員対策費	(41,107) 42,386	69,485	26,099	
(甲) 謝金	(1,708) 1,761	5,245	3,484	1. 各種研修会 $\frac{(47,820)}{51,360} \text{円} \times 3 \text{種} \times 4 \text{回} = 616 \text{ (598)}$ 2. シニア隊員等養成研修 $\frac{(96,930)}{99,930} \text{円} \times 12 \text{人} = 1,199 \text{ (1,163)}$ 3. 進路相談カウンセラー $285,800 \text{円} \times 1 \text{人} \times 12 \text{月} = 3,430 \text{ (0)}$ 謝金計 1~3 5,245 (1,716)
(目) 国内旅費	(5,682) 5,857	7,210	1,351	1. 就職幹旅費 (広島基準 3等級 3泊4日超特往復) $\left\{ 11,310 \text{円} + (750 \text{円} \times 4 \text{日}) + (3,140 \text{円} \times 3 \text{泊}) \right\} \times \frac{(477)}{60 \text{人}} \times \frac{65}{100} \times \frac{1}{4}$ $= 2,318 \text{ (1,924)}$ 2. 各種研修会参加旅費 $2,567 \text{円} \times \frac{(504)}{611 \text{人}} \times 3 \text{種} = 4,705 \text{ (3,881)}$ 3. シニア隊員等養成研修 $4,500 \text{円} \times 12 \text{人} = 54 \text{ (54)}$ 4. 進路相談カウンセラー旅費 (広島基準 2等級 3泊4日超特往復) $\left\{ (6,100 \text{円} \times 2 \text{回}) + (1,700 \text{円} \times 4 \text{日}) + (890 \text{円} \times 3 \text{泊}) \right\} \times 2 \text{回} \times 1 \text{人} = 133 \text{ (0)}$
(ロ) 庁費	(33,717) 34,766	56,030	21,264	1. 会議費 1,981 (1,601) (1) 就職幹旅 $470 \text{円} \times 20 \text{人} \times 40 \text{回} = 376 \text{ (376)}$ (2) 各種研修会 $810 \text{円} \times \frac{(504)}{611 \text{人}} \times 3 \text{種} = 1,485 \text{ (1,225)}$ (3) カウンセラー $10,000 \text{円} \times 12 \text{月} = 120 \text{ (0)}$ 2. 会場借料 帰国隊員研修会 $95,260 \text{円} \times 1 \text{回} = 95 \text{ (95)}$

(479)
(单位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>3. 厚生費</p> <p>帰国隊員健康診断料 $\left\{ 7430円 + (11,000円 \times \frac{2}{5}) \right\} \times \frac{(500)}{611}人 = 7,228 (5,762)$</p> <p>4. 技術協力要員育成費 9,558 (9,288)</p> <p>(1) 研修手当 $\frac{(120,560)}{124,300円} \times 6円 \times 12人 = 8,950 (8,480)$</p> <p>(2) 教材費 $8,450円 \times 6円 \times 12人 = 608 (608)$</p> <p>5. 資料作成費 13,803 (12,780)</p> <p>(1) 帰国隊員名簿作成 $560円 \times \frac{(3,103)}{4,930部} = 2,761 (1,738)$</p> <p>(2) 帰国隊員就職用名簿 $570円 \times 2,000部 = 1,140 (1,140)$</p> <p>(3) 帰国隊員特別進路対策費 9,902 (9,902)</p> <p>(イ) オリエンテーション用ビデオテープ作成費(1本) 2,500 (2,500)</p> <p>(ロ) 購入費 $71,500円 \times 28本 = 2,002 (2,002)$</p> <p>(ハ) 企業向けDM制作費 $270円 \times 20,000部 = 5,400 (5,400)$</p> <p>小計 (1)～(ハ) 9,902 (9,900)</p> <p>6. 雑役務費 23,365 (5,040)</p> <p>(1) 帰国隊員特別進路対策費 情報提供委託契約 $20,000円 \times \frac{(500)}{611人} \times \frac{1}{2} = 6,110 (5,040)$</p> <p>(2) 帰国隊員表彰(新規) 3,500円 × 4,930名 = 17,255 (0)</p> <p>庁費計 1～6 56,030 (34,766)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎												
2. 海外事業に必要な経費	(5356.742) 5377.232	6584.569	1207.337													
(1) 調査指導に必要な経費	(42,426) 43,746	44,323	577													
(目) 調査指導旅費	(42,426) 43,746	44,323	577	1. 調査指導旅費	36,948 (36,553)											
(並価内訳)																
区分	基準地	等級	期間	航空賃	支度料	日当宿泊費	国内旅費	旅行雑費	現地調査費②	技術費	報告書作成費	会議費	増行旅費	小計	件数	計
				円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
氷道前調査	千4	3	7	253,430	45,125	$(1140 \times 7) + (5125 \times 7) \times 1.10 \times 0.75$ $(42,230)$ = 44,290	34344	1709	(75,625) 75,307	$14860 \times (7+5) \times 2.1$	1370×50	$720 \times 5 \times 4$	-	(808,235) 809,977	5	(4,041) 4,050
実施調査	千1	3	29	253,430	45,125	$(1800 \times 29) + (5125 \times 29) \times 1.10 \times 0.75$ $(191,060)$ = 200,380	34344	1709	(107,430) 106,978	$14860 (29+10) \times 2.1 \times \frac{7}{8}$	78,500	$720 \times 5 \times 2$	-	(1274,694) 1,283,562	16	(2,075) 2,057
巡回指導	千1	3	28	268,170	45,125	$(2697 \times 28) + (7771 \times 27) \times 1.10 \times 0.75$ $(292,823)$ = 292,823	-	1,700	(64,510) 64,239	-	1,650	-	8,930	(673,158) 696,704	18	(12,117) 12,361
															計	(36,553) 36,948

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎			
(現地調査費単価内訳)							
区分	(A) 通訳確保費 円	(B) 車輦借上費 円	(C) 会議費 円	(D) 資料購入費 円	(E) 通信運搬費 円	(F) = (A)-(B) × 2.01 外貨交換手数料 円	計 円
派遣前調査	$3110 \times 5 = 15550$	$3740 \times 6 = 22440$	$1550 \times 8 \times 2 = 24800$	$1250 \times 10 = 12500$	$80 \times 30 \times 2 = 4800$	$74350 \times 0.01 = 744$	$77114 \times \frac{237}{225} = 7927124$ $= 75,307 (75,625)$
実地調査	—	$3740 \times 29 = 108,460$	—	—	—	$108460 \times 0.01 = 1,085$	$108460 \times \frac{237}{225} = 10927124$ $= 108,978 (108,430)$
巡回指導	—	$2570 \times 2 = 5,140$	$1130 \times 5 \times 2 = 11,300$	—	$17 \times 30 = 510$	—	$6570 \times \frac{237}{225} = 6927124$ $= 64,239 (64,510)$
(国内旅費単価内訳)							
大阪基準 { $5043円 + (627円 \times 2) + (2207円 \times 3) $ } × 2 = 34344 (34344)							
				2. 海外事情調査費 2375 (2,193)			
				(i) 諸謝金 (隊員活動分析プロジェクト) 6,087 (5,905)			
				(1) 委員謝金 (主任専門委員 1名 専門委員 1名 の1組編成) (20,310) (13,620) (20,940円 + 14,040円) × 6 × 4 × 3件 × 2組 = 5,087 (4,886)			
				(ii) 専門機関研究委託謝金 (344,540) (357,280 円 × $\frac{1}{2}$) × 294 × 3件 = 1,050 (1,019)			
				② 資料費 1,288 (1,288)			
				(i) 資料購入費 $2000円 \times 15枚 \times 10回 = 300 (300)$			
				(ii) 資料整備費 $70円 \times 10冊 \times 10冊 \times 100枚 = 700 (700)$			
				(iii) 資料作成費 $160円 \times 60冊 \times 3冊 \times 10冊 = 288 (288)$			
				調査指導旅費 計 1~2 44,323 (43,746)			

(単位：十円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
(2) 旅費減償に必要な経費	(4,309,074) 4,311,395	5,252,387	940,992						
(目) 派遣旅費	(2,148,271) 2,148,768	2,119,545	470,777	1. 赴帰任旅費 ☆					
				935,215 (761,592)					
				(1) 新規 (696,473) (650) 711,073円 × 800人 = 568,858 (452,707)					
				(2) 再派遣 (338,973) 340,033円 × 100人 = 34,003 (33,997)					
				(3) 帰国 (507,473) (499) 516,753円 × 601人 = 310,569 (253,229)					
				(4) 特別帰国 505,080円 × 15人 = 7,576 (7,576)					
				(5) 療養一時帰国 (567,300) (568,360) 568,360円 × 25人 = 14,209 (14,183)					
(旅費単価内訳)									
基準地	派遣別	航空賃	支度料	移動料	国内旅費	日当宿泊料	着後手当	旅行雑費	計
		円	円	円	円	円	円	円	円
アヘラン	新規	296,840	80,000	168,500 × 1104 × 0.95 (168,500) = 176,720	17,833	(2,700 × 2) + (8,200 × 2) × 1.104 × 0.95 = (21,800) 22,860	(2,700 + 8,200) × 10 × 1.104 × 0.95 (10,900) = 114,320	2,500	(696,473) 711,073
	再派遣	296,840	—	—	17,833	(21,800) 22,860	—	2,500	(338,973) 340,033
	帰国	296,840	—	(168,500) 176,720	17,833	(21,800) 22,860	—	2,500	(507,473) 516,753
	特別帰国	505,080	—	—	—	—	—	—	505,080
	療養一時帰国	567,300	—	—	—	(21,800) 22,860	—	2,500	(567,300) 568,360
				(旅費内訳) I. 国内旅費 { 2150円 + (1000円 × 3日) + (8,200円 × 3日) } × 2 II. 特別帰国 (265040円 × 2) - (50,000円 × 1/2) = 17,833 (17,833) = 505,080 (505,080)					

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				2. 現地語学訓練費 ⑥
				21,045 (16,475)
				(1) 現地語学訓練費
				(71) (477) 74千円 × 15月 × 574人 × 237円 = 15,100 (12,141)
				(2) 語学特別訓練費
				(71) (171) 74千円 × 15月 × 226人 × 237円 = 5,945 (4,334)
				3. 海外手当及び調整資金 ⑥ ☆
				1,615,375 (1,334,406)
				(1) 海外手当
				(726) (1,4052) 332千円 × 16,788人 × 237円 = 1,320,947 (1,070,267)
				(2) 調整資金
				(73) (1,4052) 74千円 × 16,788人 × 237円 = 294,428 (244,139)
				4. 健康管理手当
				(305) (500) 311千円 × 650人 × 237円 = 47,910 (36,295)
				派遣諸費計 1~4
				2,618,545

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 所属先補填経費	(964,171) 964,171	1,190,980	226,809	<p>全額 ☆ $\frac{(16,821)}{168,840} \times 20,154 \times \frac{35}{100} = 1,190,980 (964,171)$</p> <p>単価内訳</p> <p>① 直接人件費 $\frac{(188,150)}{193,980} \times \frac{1}{2} +$ 間接人件費 $\frac{(188,150)}{193,980} \times \frac{190}{1000}$ = 133,924 (127,900)</p> <p>② 雑経費 $\frac{(188,150)}{193,980} \times \frac{60}{100} \times \frac{30}{100} = 34,916 (33,870)$</p> <p>計 168,840 (163,770)</p>
(目) 国内積立金	(1,012,893) 1,012,893	1,213,593	200,700	<p>全額 ☆ $92,640 \times \frac{(16,821)}{20,154} \times \frac{65}{100} = 1,213,593 (1,012,893)$</p>
(目) 福利厚生費	(183,739) 185,563	228,269	42,706	<p>1. 業務上災害補償費 ☆ 67,193 (51,577)</p> <p>(1) 海外所収保険掛金</p> <p>$\frac{(2,555)}{2,737.5} \times \frac{11}{1,000} \times \frac{(1,749)}{2,151} = 44,772 (43,156)$</p> <p>(2) 国内及延滞在災害補償費 2,421 (2,421)</p> <p>① 療養補償 $4,783 \times \frac{1}{5} = 957 (957)$</p> <p>② 休業補償 $1,240 \times \frac{1}{5} = 248 (248)$</p> <p>③ 遺族補償 $5,737 \times \frac{1}{5} = 1,147 (1,147)$</p> <p>④ 葬祭補償 $344 \times \frac{1}{5} = 69 (69)$</p> <p>2. 生命保険共済制負担金 ☆</p> <p>$4,370 \times \frac{(16,821)}{20,154} = 88,073 (73,508)$</p>

(485)
(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
				3. 医療厚生費 $(44,310円 \times 900人)^{(750)} + (39,190円 \times 650人)^{(500)} = 65,353 (52,828)$ (単価円賦)						
				増 減 別 新規及再演進 継 続	医薬品 円 10,230 5,110	予防注射 円 9,240 9,240	現地健康診断費 検査料 円 4,280 × 2回 8,560		交通費 円 2,140 × 2回 4,280 16,280	計 円 44,310 39,190
				4. 医療対策費 5,965 (5,965)						
				5. 死亡に係る経費 1,685 (1,685)						
				福利厚生費計 1~5 228,269 (185,563)						

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(3) 隊員支援に必要な経費	(498,400) 513,905	601,106	82,201	
(目) 現地業務費	(204,483) 210,844	250,838	39,994	全額(外) $68^{\text{円}} \times 16.788^{\text{円}} \times 237^{\text{円}} \times 0.927124 = 250,838 (210,844)$
(目) 通行機材費	(234,402) 241,694	288,754	47,060	$17,200^{\text{円}} \times 16.788^{\text{円}} \times \frac{(14,052)}{100} = 288,754 (241,694)$
(目) 特別機材費	(59,515) 61,367	61,514	147	1. $58,822^{\text{円}} \times \left\{ \frac{97}{100} + \left(\frac{13}{100} \times \frac{237}{225} \right) \right\} = 59,230 (59,264)$ 2. 機材供与特別分 2,284 (2,103) 特別機材費 計 1~2 61,514 (61,367)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎			
(隊員派遣人員内訳表)							
区分	派遣期間 派遣数	4月	8月	12月	3月	4月	計
新規	海外 (650) 800人	130人×11.5=1495	(220) 270人×8 (1760) =2160	(220) 270人×4 (880) =1080	(80) (40) 130人×0.5=65		(4175) 4800
	国内	130人×0.5=65	(220) (770) 270×3.5=945	(220) (770) 270人×3.5=945	(80) (280) 130人×3.5=455	130人×3.5=455	(2340) 2865
	小計	(1560) 1560	(2530) 9105	(1650) 2025	(320) 520	(455) 455	(6515) 7665
継続	(500) 650人			(500) 650人×12月=7800	(6000)		(6000) 7800
帰国	海外 (429) 501人	(77) (37) 119人×0.5=60	(104) (520) 123人×5=615	(102) (714) 134人×7=938	(144) (458) 125×11=1375		(2857) 2988
	国内	(77) (77) 119人×1=119	(104) (104) 123人×1=123	(102) (102) 134人×1=134	(144) (144) 125人×1=125		(429) 501
	小計	(118) 177	(624) 738	(816) 1072	(1728) 1500		(3286) 3487
再派遣	赴任 100 帰国 (70) 100			100人×6月=600 (70) 100人×6月=600	(420)		600 (420) 600
	計 (1749) 2151					人員 総数 海外 人員	(16821) 20154 (14052) 16788
				60年帰国隊員数 (429) (70) (499) 501人 + 100人 = 601人			

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
(4) シニア・グループ派遣に必要な経費 (目) 派遣諸費	(458,707) 458,781	622,186	163,405	
	(269,939) 269,939	352,476	82,537	全額☆
				1. 赴任旅費 79,706 (67,098)
				(1) 新規及び管赴任 56,661 (41,925)
				① 本 人 (699,650) (30) 721,040 ^円 × 40人 = 28,942 (20,990)
				② 家 族 (872,273) (24) 897,383 ^円 × 31人 = 27,819 (20,935)
				(2) 帰 国 22,476 (24,604)
				① 本 人 (532,150) (20) 547,850 ^円 × 19人 = 10,409 (10,643)
				② 家 族 (734,773) (19) 754,193 ^円 × 16人 = 12,067 (13,961)
				(3) 特別帰国 568,680 ^円 × 1人 = 569 (569)
				2. 滞在費 215,061 (166,292)
				(1) 調整員 79,601 (89,041)
				① 本 人 233,060 ^円 × 253人 ⁽²⁸⁹⁾ = 58,964 (65,956)
				② 家 族 233,060 ^円 × 253人 ⁽²⁸³⁾ × ⁹⁵ / ₁₀₀ = 20,637 (23,085)
				(2) シニア隊員 135,460 (77,251)
				① 本 人 213,340 ^円 × 510人 ⁽²⁹⁰⁾ = 108,803 (61,869)

(489)
(单位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>⑤ 家族</p> <p>$219,340 \text{円} \times \frac{(206)}{357} \times \frac{35}{100} = 26,657 (15,382)$</p> <p>3. 住居手当 41,942 (31,956)</p> <p>(1) 調整員 $233,060 \text{円} \times \frac{(283)}{253} \times \frac{25}{100} = 14,741 (14,489)$</p> <p>(2) シニア隊員 $219,340 \text{円} \times \frac{(290)}{510} \times \frac{25}{100} = 27,201 (15,467)$</p> <p>4. 子女教育手当</p> <p>定額分 $18,000 \text{円} \times \frac{(573)}{763} \times \frac{1}{20} = 697 (514)$</p> <p>5. 健康管理手当⑥ 6,330 (4,077)</p> <p>(1) 調整員 $233,060 \text{円} \times \frac{(9)}{10} \times \frac{237}{247} = 2,236 (2,021)$</p> <p>(2) シニア隊員 $219,340 \text{円} \times \frac{(10)}{20} \times \frac{237}{247} = 4,094 (2,056)$</p> <p>派遣諸費計 1～5 = 343,726 (269,939)</p> <p>△ 在勤手当改善分 8,750 (0)</p> <p>派遣諸費計 1～6 352,476 (269,939)</p>

(单位: 十円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(目) 所属先補填経費	(182,867) 182,867	261,399	78,532	<p>全額 ☆</p> <p>1. 調整員 $\frac{(262,740)}{270,880^{\text{円}} \times 263^{\text{人}}}$ (293) = 71,241 (76,983)</p> <p>2. シニア隊員 190,158 (105,884)</p> <p>(1) 直接人件費 $\frac{(262,740)}{270,880^{\text{円}} \times 540^{\text{人}}}$ (310) = 146,275 (81,449)</p> <p>(2) 間接人件費 $\frac{(262,740)}{270,880^{\text{円}} \times 540^{\text{人}} \times \frac{60}{100} \times \frac{60}{100}}$ (310) = 43,883 (24,435)</p> <p>所属先補填経費計 1 ~ 2 261,399 (182,867)</p>
(目) 福利厚生費	(5,901) 5,975	8,311	2,336	<p>1. 業務上災害補償費 ☆ 3,081 (2,240)</p> <p>(1) 海外労災掛金 $\frac{(2,555)}{2,737.5^{\text{円}} \times \frac{11}{1000} \times 89^{\text{人}}}$ (69) = 2,680 (1,939)</p> <p>(2) 赴任災害補償費 $4990^{\text{円}} \times \frac{(403)}{803^{\text{円}} \times \frac{1}{70}}$ = 401 (301)</p> <p>2. 共済制度負担金 ☆ 1,668 (1,270)</p> <p>(1) 調整員 $233,060^{\text{円}} \times \frac{135}{100} \times \frac{(293)}{263^{\text{人}}} \times \frac{7}{1000}$ = 579 (645)</p> <p>(2) シニア隊員 $213,340^{\text{円}} \times \frac{135}{100} \times \frac{(310)}{540^{\text{人}}} \times \frac{7}{1000}$ = 1,089 (625)</p> <p>(3) 医療厚生費 $(52,190^{\text{円}} \times \frac{(30)}{40^{\text{人}}}) + (47,320^{\text{円}} \times \frac{(19)}{30^{\text{人}}}) = 3,507 (2,465)$</p> <p>(4) 在勤手当改善分 55 (0)</p> <p>福利厚生費計 (1) ~ (4) 8,311 (5,975)</p>

事項及び科目			前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(旅費単価内訳)										
派遣別	基準地	区分	航空賃	務料	支度料	着後手当	日当宿泊料	国内旅費	旅行雑費	計
交 替	テヘラン	本人	296,840	$337,000 \times \frac{1}{2} \times 1.13 \times 0.95 = 168,500$	90,000	$(2,700 + 8,200) \times 10 \times 1.13 \times 0.95 = 117,010$	$(2,700 \times 2) + 8,200 \times 1.13 \times 0.95 = 14,600$	19,210	2,600	(698,650) 721,040
		家族	$296,840 \times 1.5 = 445,260$	$337,000 \times \frac{66}{100} \times 1.13 \times 0.95 = 235,150$	$90,000 \times \frac{2}{3} = 60,000$	$(109,000) = 117,010$	$13,600 \times \frac{3}{5} \times 1.13 \times 0.95 = 14,600$	21,613	$2,600 \times 1.5 = 3,900$	(872,293) 897,383
帰 国		本人	296,840	$168,500 \times 1.13 \times 0.95 = 180,880$	-	$(1,100 + 5,200) \times 5 \times 1.13 \times 0.95 = 33,820$	14,600	19,210	2,600	(532,150) 547,850
		家族	445,260	$219,050 \times 1.13 \times 0.95 = 235,150$	-	$(31,500) = 33,820$	14,600	21,613	3,760	(734,773) 754,193
特別帰国	テヘラン	本人	568,680	-	-	-	-	-	-	568,680
						(単価内訳)				
						① 特別帰国 $(296,840 \times 2) - (30,000 \times \frac{1}{2}) = 568,680$ (568,680)				
						② 国内旅費 (広島基準 超特 1泊2日)				
						本人 $13,110 + (1,100 + 5,000) = 19,210$ (19,210)				
						家族 $10,342 \times 1.5 + (1,100 + 5,000) \times \frac{2}{3} = 21,613$ (21,613)				

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(5) シニア・グループ支援に必要な経費	(37,204) 38,362	53,441	15,079	
(目) 現地業務費	(12,894) 13,295	17,630	4,735	全額④ $23,460 \text{人} \times 763 \text{人月} \times \frac{237}{228} \times 0.927/24$
(目) 携行機材費	(24,310) 25,067	35,811	10,744	$511,520 \text{人} \times 70 \text{人} \times \frac{49}{100}$

(シニア・グループ派遣人員内訳表)

(本人)

派遣別	区分	調整員	シニア隊員	計
新規及び交替 40人	海外	(10) (70) $10 \text{人} \times 7 \text{月} = 70$	(20) (40) $30 \text{人} \times 7 \text{月} = 210$	280 (210)
	国内	(10) (10) $10 \text{人} \times 1 \text{月} = 10$	(20) (20) $30 \text{人} \times 1 \text{月} = 30$	40 (30)
	小計	(80) (80) 80	(60) (240) 240	320 (240)
継続	(19) (108) 30人 $10 \text{人} \times 12 \text{月} = 120$	(10) (120) $20 \text{人} \times 12 \text{月} = 240$	360 (228)	
帰国	(20) (105) 19人 $9 \text{人} \times 7 \text{月} = 63$	(5) (30) $10 \text{人} \times 6 \text{月} = 60$	123 (135)	
計	(69) (293) 89人 人月計 29人 263	(35) (310) 70人 540	803 (603)	
	海外人月	(283) (253) 253	(290) (510) 510	763 (573)

(家族)

派遣別	区分	調整員	シニア隊員	計
新規及び交替 31人(24)	海外	(10) (70) $10 \text{人} \times 7 \text{月} = 70$	(14) (98) $21 \text{人} \times 7 \text{月} = 147$	217 (168)
	継続	(9) (108) 24(16) $10 \text{人} \times 12 \text{月} = 120$	(7) (84) $14 \text{人} \times 12 \text{月} = 168$	288 (192)
帰国	(15) (105) 16(19) $9 \text{人} \times 7 \text{月} = 63$	(8) (24) $7 \text{人} \times 6 \text{月} = 42$	105 (129)	
計	(59) (283) 71人 人月計 29	(25) (206) 42人 357	610 (489)	

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(6) 短期緊急隊員派遣に必要経費	(10,931) 11,043	11,124	83	
(目) 派遣諸費	(6,007) 6,007	6,065	58	<p>全額★</p> <p>1. 赴任旅費 $569,600円 \times 6人 = 3,418 (3,418)$ (単価内訳)</p> <p>イ. 航空賃(テヘラン基準) $271,500円 \times 2 = 543,000 (543,000)$</p> <p>ロ 国内旅費(広島基準鉄道賃超時) $13300円 \times 2 = 26,600 (26,600)$</p> <p>小計 1-ロ $569,600 (569,600)$</p> <p>2. 海外手当及調整資金 $2,647 (2,689)$</p> <p>(1) 隊員外 $(\frac{326}{392} + \frac{73}{74})円 \times 5人 \times 3月 \times 237月 = 1,443 (1,424)$</p> <p>(2) 調整員滞在費 $968 (932)$ $233,060円 \times 1人 \times 4月 = 932 (932)$ 在勤手当改善分 $31 (0)$</p> <p>(3) 調整員住居手当 $241 (233)$ $233,060円 \times 1人 \times 4月 \times \frac{25}{100} = 233 (233)$ 在勤手当改善分 $8 (0)$</p> <p>派遣諸費計 1-2 $6,065 (6,007)$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 所属先補填経費	(1,051) 1,051	1,084	33	全額☆ 調整員直接人件費 $\frac{(262,740)}{270,880} \text{円} \times 1人 \times 4月 = 1,084 (1,051)$
(目) 福利厚生費	(350) 352	352	0	1. 業務上災害補償費☆ $5,250 \text{円} \times 19人月 = 100 (100)$ 人月内訳 (5人×3月)+(1人×4月) = 19人月 2. 携行医薬品 $9770 \text{円} \times 6人 = 59 (59)$ 3. 海外旅行傷害保険 ☆ $193 (193)$ 隊員 $30,940 \text{円} \times 5人 = 155 (155)$ 調整員 $38,250 \text{円} \times 1人 = 38 (38)$ 福利厚生費 計 1~3 352 (352)
(目) 現地業務費	(1,776) 1,852	1,844	△ 8	全額⑨ 1. 隊員 $6844 \times 5人 \times 3月 \times \frac{237}{277} \times 0.927/24 = 224 (225)$ 2. 調整員 $40000 \text{円} \times 1人 \times 4月 \times \frac{237}{277} \times 0.927/24 = 1,620 (1,627)$ 現地業務費 計 1~2) 1,844 (1,852)
(目) 携行機材費	(1,727) 1,781	1,781	0	1. 隊員 $17,200 \text{円} \times 5人 \times 3月 = 258 (258)$ 2. 緊急時準備用機材 $1,522,800 \text{円} \times 1台 = 1,523 (1,523)$ 携行機材費 計 1~2 1,781 (1,781)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎															
(項) 専門家庭福利厚生費	(406,777) 416,478	459,798	43,320	昭和41年度から計上(但し43年度まではコロシホ計画一般専門家派遣費として計上) 当初予算額 <table border="1"> <tr> <td>54年度</td> <td>55年度</td> <td>56年度</td> <td>57年度</td> <td>58年度</td> </tr> <tr> <td>(159,627)</td> <td>(246,708)</td> <td>(296,481)</td> <td>(323,259)</td> <td>(367,723)</td> </tr> <tr> <td>159,775</td> <td>248,660</td> <td>298,887</td> <td>337,916</td> <td>376,461</td> </tr> </table>	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	(159,627)	(246,708)	(296,481)	(323,259)	(367,723)	159,775	248,660	298,887	337,916	376,461
54年度	55年度	56年度	57年度	58年度															
(159,627)	(246,708)	(296,481)	(323,259)	(367,723)															
159,775	248,660	298,887	337,916	376,461															
(目) 災害補償費	(212,872) 213,111	241,540	28,429	1. 業務上災害補償費 ☆ (1) 労災保険(特別加入)掛金 $\frac{(2,737,500)}{2,920,000円} \times \frac{11}{1,000} \times (1,585 + 978 + 2,040) = 106,596$ (2) 赴帰任 療養補償 200,000円 × 1件 = 200 休業補償 6,600円 × $\frac{60}{100}$ × 180日 × 1人 = 713 遺族補償 6,600円 × 1,500日 × 1人 = 9,900 葬祭補償 6,600円 × 60日 × 1人 = 396 小計 11,209 計 (1) ~ (2) (103,976) 117,805 2. 共济給付制度負担金 ☆ (1) 短期専門医(含調査員) $\frac{(13,000)}{19,100円} \times 30日 \times \frac{80}{100} \times \frac{(5,411)円}{5,724} \times \frac{12.3}{1,000} = 28,994(28,545)$															

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎	
(目) 専門家生活環境整備費	(5,376) 5,781	10,281	4,500	(2) 長期専門家 $\frac{(390,900) \text{円}}{403,800} \times \frac{135}{100} \times \frac{(13,088) \text{円}}{13,635} \times \frac{12.3}{1.00}$ <p style="text-align: right;">= 91,424 (84,953)</p>	
				小計 (1) ~ (2)	120,318 (105,718)
				3. 死亡に伴う経費	
				$683,400 \text{円} \times 5 \text{件} =$	3,417
				計 1 ~ 3	241,540 (213,111)
				1. 生活環境整備 (外)	
				$1,048 \text{ドル} \times 237 \text{円} \times 0.927124 \times 20 \text{件}$ (25)	= 4,606 (5,781)
				2. 安全対策 (外)	
				$841.56 \text{ドル} \times 237 \text{円} \times 20 \text{件}$ (0)	= 3,989 (0)
				3. 生活環境実態調査 (1) + (2)	= 1,686 (0)
(1) 調査旅費 $1,425,712 \text{円} \times 1 \text{人} = 1,426$					

航空賃	支度料	日当・宿泊料	旅行雑費	小計	人数	合計
東京 - 円 486,921	円 35,035	$(5,000 \text{円} \times 10 \text{日}) + (15,100 \text{円} \times 9 \text{泊}) = 185,900 \text{円}$	5,000 円	712,856 円	2人	1,425,712 円

(497)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
(目) 専門家健康管理費	(75,732) 38,421	42,444	4023	<p>(2) 現地調査費^①</p> $260,000 \text{円} \times 1 + -4 = 260$ <p>計 1 ~ 3 10,281 (5,781)</p> <p>全額^②</p> <p><特定不健康地在勤専門家健康管理旅行補助></p> $\frac{(484,863)}{499,049 \text{円}} \times \frac{(1,583)}{1.7011} \times \frac{1}{4} \times \frac{1}{5} = 42,444 (38,421)$ <p>単価内訳</p> <p>(1) 航空賃 (ラゴス — マドリッド基準エコノミー往復)</p> $599.27 \text{ドル} \times 237 \text{円} \times 0.927/24 \times 2.5 \text{人} = 329,192 (330,581)$ <p>(2) 宿泊料 (ホテル代)</p> $\{ 20,98 \text{ドル} + (6.99 \text{ドル} \times 2 \text{人}) \} \times 20 \text{日} \times 237 \text{円} \times 0.927/24 = 153,634 (154,282)$ <p>小計 (1) ~ (2) $\times 1.088 \times 0.95 = 499,049 (484,863)$</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
(目) 富地対策費	(9,397) 10,104	10,400	△ 296	<p>全額 ⊕</p> <p>(93,558) 96,295 円 × 3 回 × 36人 = 10,400 (10,104)</p> <p>(単価内訳)</p> <p>(1) 航空費 (ラパス-サンタクルス基準エコノミー仕様) 89.6ドル × 237円 × 0.927124 × 2.5人 = 49,219 円 (48,427)</p> <p>(2) 宿泊料 (ホテル代) { 30ドル + (10ドル × 2人) } × 4日 × 237円 × 0.927124 = 43,946 円 (44,191)</p> <p>小計 (1) ~ (2) × 1.088 × 0.95 = 96,295 円 (93,558)</p>
(目) 専門家等健康診断費	(34,067) 36,631	38,924	2,293	<p>1. 一般健康診断</p> <p>(1) 長短専門家 $16,000 \text{ 円} \times \left(\frac{1,583}{1,701} + \frac{998}{1,024} \right) \times \left(\frac{1}{3} + \frac{1}{2} \right)$ = 21,800 (20,648)</p> <p>(2) 調査員 $5,000 \text{ 円} \times 2,253 \times \frac{1}{2} = 5,633 (5,100)$</p> <p>小計 (1) ~ (2) 27,433 (25,748)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>2. 肝炎対策減廉診断</p> <p>(1) 血液検査料</p> <p>長短専門家 $8,500円 \times \frac{(1,583) - (998)}{(1,701^{\wedge} + 1,024^{\wedge})} \times \frac{1}{2}$</p> <p style="text-align: right;">= 2,721 (7,313)</p> <p>(2) 予防注射接種料</p> <p>長短専門家 $8,300円 \times \frac{(1,583) - (998)}{(1,701^{\wedge} + 1,024^{\wedge})} \times \frac{1}{3} \times \frac{1}{2}$</p> <p style="text-align: right;">= 3,770 (3,570)</p> <p>小計 (1) ~ (2) 11,471 (10,883)</p> <p>計 1 ~ 2 38,924 (36,631)</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(目) 専門家健康相談巡回指導費	(27,077) 28,326	29,182	856	1. 巡回指導旅費 (14,583) 15,295				
	地域	航空賃	食費料	日当・宿泊料	旅費雑費	計	人数	合計
		円	円	円	円	($1,104 \times 0.95$)	人	円
	中近東地域	東京—テヘラン 474,682	74,369	(3,321 × 45日) + (9,964 × 44泊) = 587,861	4,370	(1,141,182) 1,196,872	3	(3,423,546) 3,590,616
	アフリカ地域	東京—ラゴス 1,072,540	74,369	(3,331 × 45日) + (9,964 × 44泊) = 587,861	4,370	(1,739,140) 1,824,010	3	(5,217,420) 5,472,030
	アジア地域	東京—カトマンズ 343,970	74,369	(3,321 × 45日) + (9,964 × 44泊) = 587,861	4,370	(1,010,570) 1,059,986	3	(3,031,710) 3,179,658
	南太平洋地域	東京—ポートモレスビー 303,628	74,369	(3,321 × 45日) + (9,964 × 44泊) = 587,861	4,370	(970,229) 1,017,575	3	(2,910,684) 3,052,725
						12	(14,583,360) 15,295,029	
				2. 現地活動費 (注) $417,956円 \times 4人 \times \frac{237}{225} \times 0.927124 = 1,633 (1,640)$				

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				内訳
				(1) 車両借上費 $5,880円 \times 40日 \times 1台 = 235,200円$
				(2) 運転手借上費 $2,480円 \times 40日 \times 1人 = 99,200円$
				(3) 通信経費 $151円 \times 56話 \times 5回 = 42,280円$
				(4) その他雑費 41,276円
				小計 (1) ~ (4) 417,956円
				3. 携行医薬品等購入費
				$32,420円 \times 10種 \times 47-ム = 1,297$
				4. 所属光給与補てん経費 ☆
				$(405,800)$ $418,400円 \times 18人月 \times \frac{2}{3} = 5,021(4,870)$
				5. 謝金 ☆
				$10,400円 \times 45日 \times 18人月 \times \frac{2}{3} = 5,616$
				6. 資料作成費
				$800円 \times 47-ム \times 100部 = 320$
				計 1 ~ 6 29,192(28,926)
(目) 総引帰回旅費	(17,713) 21,197	22,778	1,581	アハラン基準
				$(552,150円 - 50,000円) \times 1,701^{\wedge} \times \frac{40}{1,000} \times \frac{2}{3} = 22,778(21,197)$ (1583)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
(目) 専門救済費	(4,936) 5,200	5,200	0	742,900円 × 7人 = 5,200							
(目) 帰国専門救身分保障経費	(51,682) 51,682	53,280	1,598	全額 ☆ (388,000) 400,000円 × $\frac{60}{100}$ × 6月 × 37人 = 53,280 (51,682)							
(目) 避難一時帰国旅費	(6,025) 6,025	5,769	△ 256	全額 ☆							
				区分	等級	航空賃	国内旅費	旅行雑費	日当・宿泊料	人数	計 (×1,000 × 0.95)
				本人	3	円 278,180	円 11,851	円 1,495 × 2履 = 2,990	円 (1,435 × 2日) × 2履 = 5,740	10人	(3,187,610円) 3,052,455
				家族		447,270	13,873	1,495 × 2履 × 2件 = 5,980	(1,435 × 2日) × 2履 × ($\frac{2}{3} + \frac{1}{3}$) = 5,740	68族	(2,837,178) 2,716,882
				合計							(6,024,788) 5,769,337

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																
(項) 専門家養成確保費	(831,623) 831,787	988,185	148,398	昭和49年度から計上(但し、48年度まで専門家派遣事業費として計上) 54年度 (466,048) 55年度 (536,071) 56年度 (630,183) 57年度 (676,190) 58年度 (771,078) 当初予算額 467,186 528,630 633,020 682,640 777,721																
1. 募集登録に必要な経費	(3,731) 4,012	4,012	0	1. 登録費：開発途上国等からの派遣要請に迅速かつ的確に対応するための海外において専門家として技術協力業務に従事する(原則として6ヶ月以上)ことを希望する者を登録する。																
(目) 募集登録諸費	(3,731) 4,012	4,012	0																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>職員旅費</th> <th>交通費</th> <th>会議費</th> <th>資料作成費</th> <th>賃金</th> <th>通信運搬費</th> <th>借料及び損料</th> <th>合計(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(大阪基準3泊4日3等級) 円 {12,360円+(1,080円×4日)+ (5,520円×3泊)}×12日 = 458,880</td> <td>円 150円×8回×12月 = 14,400</td> <td>円 220円×25人×2回 ×12月 = 132,000</td> <td>円 70円×1,450部 ×4種 = 406,000</td> <td>円 4,400円×36日×1人 ×2日 = 316,800</td> <td>円 60円×1,500部 = 90,000</td> <td>円 1,850円×3日×2回 ×2ヶ所 = 22,200</td> <td>1,440</td> </tr> </tbody> </table>					職員旅費	交通費	会議費	資料作成費	賃金	通信運搬費	借料及び損料	合計(千円)	(大阪基準3泊4日3等級) 円 {12,360円+(1,080円×4日)+ (5,520円×3泊)}×12日 = 458,880	円 150円×8回×12月 = 14,400	円 220円×25人×2回 ×12月 = 132,000	円 70円×1,450部 ×4種 = 406,000	円 4,400円×36日×1人 ×2日 = 316,800	円 60円×1,500部 = 90,000	円 1,850円×3日×2回 ×2ヶ所 = 22,200	1,440
職員旅費	交通費	会議費	資料作成費	賃金	通信運搬費	借料及び損料	合計(千円)													
(大阪基準3泊4日3等級) 円 {12,360円+(1,080円×4日)+ (5,520円×3泊)}×12日 = 458,880	円 150円×8回×12月 = 14,400	円 220円×25人×2回 ×12月 = 132,000	円 70円×1,450部 ×4種 = 406,000	円 4,400円×36日×1人 ×2日 = 316,800	円 60円×1,500部 = 90,000	円 1,850円×3日×2回 ×2ヶ所 = 22,200	1,440													
2. 公募費 開発途上国等からの派遣要請に対して、現行の関係省庁による推せん及び事業団の国際協力専門員・特別嘱託制度及び派遣専門家登録制度により適格な人材を適時に確保できない場合に、新聞等を利用して公募を実施する。																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>諸謝金</th> <th>国内旅費</th> <th>会議費</th> <th>資料作成費</th> <th>通信運搬費</th> <th>広報費</th> <th>合計(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>円 16,860円×5分野×2人×1回 = 168,600</td> <td>(大阪基準,3泊4日,2等級) 円 {12,360円+(1,080円×4日)+ (5,520円×3泊)}×1人×2回 = 76,480</td> <td>円 560円×20人×2回 = 87,600</td> <td>円 420円×200部×5分野 = 620,000</td> <td>円 (180円×200人×5分野)+ (60円×9分野×7人) = 182,100</td> <td>円 1,435,560円×1人×1回 = 1,435,560</td> <td>2,572</td> </tr> </tbody> </table>					諸謝金	国内旅費	会議費	資料作成費	通信運搬費	広報費	合計(千円)	円 16,860円×5分野×2人×1回 = 168,600	(大阪基準,3泊4日,2等級) 円 {12,360円+(1,080円×4日)+ (5,520円×3泊)}×1人×2回 = 76,480	円 560円×20人×2回 = 87,600	円 420円×200部×5分野 = 620,000	円 (180円×200人×5分野)+ (60円×9分野×7人) = 182,100	円 1,435,560円×1人×1回 = 1,435,560	2,572		
諸謝金	国内旅費	会議費	資料作成費	通信運搬費	広報費	合計(千円)														
円 16,860円×5分野×2人×1回 = 168,600	(大阪基準,3泊4日,2等級) 円 {12,360円+(1,080円×4日)+ (5,520円×3泊)}×1人×2回 = 76,480	円 560円×20人×2回 = 87,600	円 420円×200部×5分野 = 620,000	円 (180円×200人×5分野)+ (60円×9分野×7人) = 182,100	円 1,435,560円×1人×1回 = 1,435,560	2,572														
計 / + 2																				
4012																				

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎 (単位：千円)
2. 専門家確保に必要な経費	(221,001) 221,047	331,068	110,021	
(目) 専門家確保諸費	(220,392) 220,392	330,413	110,021	<p>全額 本</p> <p>1. ライフ・ワーク専門家確保経費</p> <p>(1) 国内にいるライフ・ワーク専門家</p> <p>① 新規</p> $\begin{matrix} (430,000) \\ 443,330 \text{円} \times 6 \text{月} \times 10 \text{人} \end{matrix} = 26,600 (25,800)$ <p>② 継続</p> $\begin{matrix} (430,000) \\ 443,330 \text{円} \times 12 \text{月} \times 20 \text{人} \end{matrix} = 106,399 (51,600)$ <p>③ 社会保険掛金</p> $\begin{matrix} (0) \\ \{ (443,330 \text{円} \times 6 \text{月} \times 10 \text{人}) + (443,330 \text{円} \times 12 \text{月} \times 20 \text{人}) \} \\ \times \frac{135.4}{1000} \end{matrix} = 18,008 (0)$ <p>計 ① ~ ③</p> $151,007 (77,400)$ <p>(2) 海外にいるライフ・ワーク専門家 (自己収入見合)</p> $\begin{matrix} (0) \text{円} \\ 443,330 \times 6 \text{月} \times 10 \text{人} \end{matrix} = 26,600 (0)$ <p>社会保険掛金</p> $\begin{matrix} (0) \\ 443,330 \text{円} \times 6 \text{月} \times 10 \text{人} \times \frac{135.4}{1000} \end{matrix} = 3,602 (0)$ <p>計</p> $30,202 (0)$

(505)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				計 (1) + (2) 181.209 (77.400)
				2. 専門家プール経費
				(1) 嘱託手当
				$\frac{(376.300)}{392.500} \text{円} \times 0.8 \times 12 \text{月} \times 30 \text{人} = 113.040 (108.374)$
				(2) 社会保険掛金
				$\frac{(376.300)}{392.500} \text{円} \times 0.8 \times 12 \text{月} \times 30 \text{人} \times \frac{\frac{(134.9)}{7000}}{135.4} = 15.306 (14.620)$
				計 (1) + (2) 128.346 (122.994)
				3. 専門技術嘱託確保謝金
				$\frac{(555.500)}{578.400} \text{円} \times 12 \text{月} \times 3 \text{人} = 20.858 (18.998)$
				合計 1 ~ 3 330.413 (220.392)
(目) 選考委員会諸費	(609) 655	655	0	(1) 諸謝金
				委員謝金
				$9040 \text{円} \times 6 \text{回} \times 6 \text{人} = 325 (325)$

(506)

(单位: 十円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>(2) 委員旅費 (大阪基準, 泊2日, 1等級)</p> $\{12.138円 + (839円 \times 2日) + (5.454円 \times 1泊)\} \times 6回 \times$ $6人 \times \frac{2}{5} = 277 (277)$ <p>(3) 会議費</p> $880円 \times 6回 \times 10人 = 53 (53)$ <p>合計 (1) ~ (3) 655 (655)</p>

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
3. 専門家派遣前研修に必要な経費	(494,348) 496,673	509,874	13,201	JICAから開発途上国等に派遣される専門家及びその配偶者に対し、協力活動、現地生活及び赴任前準備に必要な知識、情報の提供及び語学力向上を目的として年9回の派遣前集合研修を実施する。また必要に応じて、これらの集合研修受講者に対して個別に語学研修、技術研修を実施する。				
(目) 派遣前研修諸費	(133,555) 135,479	139,563	4,090	1. 派遣前集合研修				
区分	国内旅費 受講者	講師	諸謝金 一般講師	謝金 語学講師	研修委託費	資料作成費	図書購入費	合計 (千円)
集合研修	① 専門家(大阪基準) ^円 {17,360 ^円 +(1,080 ^円 ×22日)+ (5,520 ^円 ×2日) ^円 }×(1,701 ^人 × $\frac{1}{3}$ × $\frac{2}{3}$)+(1,024 ^人 × $\frac{1}{3}$ × $\frac{2}{3}$) =57,057,343	(大阪基準/泊2日) ^円 {17,360 ^円 +(1,080 ^円 ×2日) +(5,520 ^円 ×1日)}×3人 ×9回=676,080	円 6,190 ^円 ×3 ^{時間} ×2人 ×5.5日×9回 =1,838,430	円 4,570 ^円 ×3 ^{時間} ×2人 ×5.5日×2 ^週 ×5 ^回 ×9回 =1,357,290	円 103,450 ^円 ×2,725 ^人 × $\frac{1}{3}$ × $\frac{1}{10}$ =9,396,708	円 1,340 ^円 ×2,725 ^人 × $\frac{1}{3}$ ×18種 =2,190,000	円 1,005 ^円 ×2,725 ^人 × $\frac{1}{3}$ =912,875	
個別研修	② 配偶者(大阪基準) {17,360 ^円 +(1,080 ^円 ×7日)+ (5,520 ^円 ×6日)}×1,701 ^人 × $\frac{1}{3}$ × $\frac{1}{3}$ × $\frac{2}{3}$ =4397,824	(大阪基準/泊2日) {17,360 ^円 +(1,080 ^円 ×2日) +(5,520 ^円 ×1日)}×1人 ×9回=225,360	6,190 ^円 ×3 ^{時間} ×2人 ×5日×9回 =1,671,300	4,570 ^円 ×3 ^{時間} ×2人 ×9日×3 ^週 ×5 ^回 ×9回 =6,663,060		1,340 ^円 ×1,701 ^人 × $\frac{1}{3}$ × $\frac{1}{3}$ ×10種 =2,532,600		
	① 語学研修(大阪基準9月) {17,360 ^円 +(1,080 ^円 ×10日)+ (5,520 ^円 ×9日)}×1,701 ^人 × $\frac{1}{3}$ × $\frac{2}{3}$ = 1,765,411							
	② 技術研修(大阪基準27泊30日) {17,360 ^円 +(1,080 ^円 ×30日)+ (5,520 ^円 ×29日)}×1,701 ^人 × $\frac{1}{3}$ × $\frac{1}{10}$ × $\frac{2}{3}$ = 4,752,171				103,450 ^円 ×1,701 ^人 × $\frac{1}{3}$ × $\frac{1}{10}$ = 5,865,615			
計	67,969,749	901,440	3,509,730	20,235,960	15,262,323	24,441,600	912,875	133,234

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																											
(目) 中期研修諸費	(112,938) 113,845	114,945	1,600	<p>2. 海外赴任相談経費 海外派遣の決定した専門家及びその同伴家族からの個別相談(任国事情, 荷物の輸送, 教育問題等)に於ける。</p> <p>(1) 相談員謝金 $393,600 \text{円} \times 12 \text{ヶ月} \times 1 \text{人} = 4,723$</p> <p>(2) 海外赴任相談関係資料 $1,743 \text{円} \times 10 \text{種} \times 59 \text{ヶ月} = 1,028$</p> <p>計 (1) + (2) 5,751</p> <p>3. 研修打合せ連絡旅費 派遣前集合研修(個別語学, 技術研修を含む)の実施にあたって講師, 研修機関との打合せのための職員旅費 (大阪基準, 3泊4日, 3等級) $\{11,166 \text{円} + (722 \text{円} \times 4 \text{泊}) + (2345 \text{円} \times 3 \text{等級})\} \times 2 \text{人} \times 12 \text{ヶ月} = 578$</p> <p>合計 1~3 139,563</p> <p>近い将来, 派遣が予定または期待される専門家に対し, 国際協力の仕組み, 開発途上国に関する知識, 語学並びに専門分野の関連知識, 技術移転手法を修得せしめる。75日間コースを年2回に分けて実施する。</p> <p>1. 国内研修</p>																											
				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">国内旅費</th> <th colspan="2">謝金</th> <th>国内地理地 研修旅費</th> <th>人当研修費</th> <th>資料作成費</th> <th>通信運搬費</th> <th>合計 (千円)</th> </tr> <tr> <th>受講者</th> <th>講師</th> <th>一般講師</th> <th>語学講師</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(大阪基準 85日) 円 $\{17,360 \text{円} + (1,080 \text{円} \times 2 + 5,520 \text{円}) \times 85 \text{日}\} \times 110 \text{人} \times \frac{2}{5}$ $= 26,447,840$</td> <td>(大阪基準 6泊7日) 円 $\{17,360 + (1,080 \text{円} \times 2) + (5,520 \text{円} \times 6 \text{泊})\} \times 11 \text{週} \times 10 \text{人} \times 2$ $= 6,384,400$</td> <td>円 $6,190 \text{円} \times 3 \text{時間} \times 5 \text{ヶ月} \times 11 \text{週} \times 10 \text{人} \times 2$ $= 19,212,500$</td> <td>円 $9,570 \text{円} \times 3 \text{時間} \times 6 \text{日} \times 11 \text{週} \times 10 \text{人} \times 2 \times 2$ $= 18,097,200$</td> <td>(広島基準 5泊6日) 円 $\{18,770 \text{円} + (1,080 \text{円} \times 6) + (5,520 \text{円} \times 5 \text{泊})\} \times 110 \text{人}$ $= 5,813,500$</td> <td>円 $59,520 \text{円} \times 110 \text{人}$ $= 6,547,200$</td> <td>円 $(980 \text{円} + 1,960 \text{円}) \times 16 \text{種} \times 110 \text{人}$ $= 5,174,400$</td> <td>円 $9,550 \text{円} \times 6 \text{ヶ月} \times 10 \text{人} \times 2$ $= 573,200$</td> <td>78,251</td> </tr> </tbody> </table>	国内旅費		謝金		国内地理地 研修旅費	人当研修費	資料作成費	通信運搬費	合計 (千円)	受講者	講師	一般講師	語学講師						(大阪基準 85日) 円 $\{17,360 \text{円} + (1,080 \text{円} \times 2 + 5,520 \text{円}) \times 85 \text{日}\} \times 110 \text{人} \times \frac{2}{5}$ $= 26,447,840$	(大阪基準 6泊7日) 円 $\{17,360 + (1,080 \text{円} \times 2) + (5,520 \text{円} \times 6 \text{泊})\} \times 11 \text{週} \times 10 \text{人} \times 2$ $= 6,384,400$	円 $6,190 \text{円} \times 3 \text{時間} \times 5 \text{ヶ月} \times 11 \text{週} \times 10 \text{人} \times 2$ $= 19,212,500$	円 $9,570 \text{円} \times 3 \text{時間} \times 6 \text{日} \times 11 \text{週} \times 10 \text{人} \times 2 \times 2$ $= 18,097,200$	(広島基準 5泊6日) 円 $\{18,770 \text{円} + (1,080 \text{円} \times 6) + (5,520 \text{円} \times 5 \text{泊})\} \times 110 \text{人}$ $= 5,813,500$	円 $59,520 \text{円} \times 110 \text{人}$ $= 6,547,200$	円 $(980 \text{円} + 1,960 \text{円}) \times 16 \text{種} \times 110 \text{人}$ $= 5,174,400$	円 $9,550 \text{円} \times 6 \text{ヶ月} \times 10 \text{人} \times 2$ $= 573,200$	78,251
国内旅費		謝金		国内地理地 研修旅費	人当研修費	資料作成費	通信運搬費	合計 (千円)																							
受講者	講師	一般講師	語学講師																												
(大阪基準 85日) 円 $\{17,360 \text{円} + (1,080 \text{円} \times 2 + 5,520 \text{円}) \times 85 \text{日}\} \times 110 \text{人} \times \frac{2}{5}$ $= 26,447,840$	(大阪基準 6泊7日) 円 $\{17,360 + (1,080 \text{円} \times 2) + (5,520 \text{円} \times 6 \text{泊})\} \times 11 \text{週} \times 10 \text{人} \times 2$ $= 6,384,400$	円 $6,190 \text{円} \times 3 \text{時間} \times 5 \text{ヶ月} \times 11 \text{週} \times 10 \text{人} \times 2$ $= 19,212,500$	円 $9,570 \text{円} \times 3 \text{時間} \times 6 \text{日} \times 11 \text{週} \times 10 \text{人} \times 2 \times 2$ $= 18,097,200$	(広島基準 5泊6日) 円 $\{18,770 \text{円} + (1,080 \text{円} \times 6) + (5,520 \text{円} \times 5 \text{泊})\} \times 110 \text{人}$ $= 5,813,500$	円 $59,520 \text{円} \times 110 \text{人}$ $= 6,547,200$	円 $(980 \text{円} + 1,960 \text{円}) \times 16 \text{種} \times 110 \text{人}$ $= 5,174,400$	円 $9,550 \text{円} \times 6 \text{ヶ月} \times 10 \text{人} \times 2$ $= 573,200$	78,251																							

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																																												
				<p>2. 海外研修費...中期研修受講者のうち、海外経験のない者に、開発途上国でJICAが実施する技術協力プロジェクト等を視察せしめ、将来専門家として派遣される場合にそなえて現場体験を与える。</p> <p>(1) 外国旅費 ☆</p> <table border="1" data-bbox="1110 842 2332 1024"> <thead> <tr> <th>航空賃</th> <th>支度料</th> <th>日当・宿泊</th> <th>雑費</th> <th>小計</th> <th>人数</th> <th>合計(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京～テヘラン 円</td> <td>円</td> <td>(3,200円×30日)+(9800円×29日)</td> <td>円</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>577,150</td> <td>65,450</td> <td>= 380,200</td> <td>5,000</td> <td>1,027,800</td> <td>32人</td> <td>32,890</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 現地調査費 ⑥</p> $602,900 \text{円} \times 5 \text{班} \times \frac{237}{225} \times 0.927124 = 2,944$ <p>単価内訳</p> <table border="1" data-bbox="1685 1199 2386 1444"> <tbody> <tr> <td>車両借上料</td> <td>4,790円 × 15日 × 4台</td> <td>=</td> <td>287,400円</td> </tr> <tr> <td>運転手備上料</td> <td>2,000円 × 15日 × 4人</td> <td>=</td> <td>120,000円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬賃</td> <td>130円 × 50箱 × 3回</td> <td>=</td> <td>19,500円</td> </tr> <tr> <td>資料購入費</td> <td>1,800円 × 50種</td> <td>=</td> <td>80,000円</td> </tr> <tr> <td>会議費</td> <td>1,600円 × 20人 × 3回</td> <td>=</td> <td>96,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>計 (1) + (2) 35,834</p>				航空賃	支度料	日当・宿泊	雑費	小計	人数	合計(千円)	東京～テヘラン 円	円	(3,200円×30日)+(9800円×29日)	円	円			577,150	65,450	= 380,200	5,000	1,027,800	32人	32,890	車両借上料	4,790円 × 15日 × 4台	=	287,400円	運転手備上料	2,000円 × 15日 × 4人	=	120,000円	通信運搬賃	130円 × 50箱 × 3回	=	19,500円	資料購入費	1,800円 × 50種	=	80,000円	会議費	1,600円 × 20人 × 3回	=	96,000円
航空賃	支度料	日当・宿泊	雑費	小計	人数	合計(千円)																																										
東京～テヘラン 円	円	(3,200円×30日)+(9800円×29日)	円	円																																												
577,150	65,450	= 380,200	5,000	1,027,800	32人	32,890																																										
車両借上料	4,790円 × 15日 × 4台	=	287,400円																																													
運転手備上料	2,000円 × 15日 × 4人	=	120,000円																																													
通信運搬賃	130円 × 50箱 × 3回	=	19,500円																																													
資料購入費	1,800円 × 50種	=	80,000円																																													
会議費	1,600円 × 20人 × 3回	=	96,000円																																													

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>3. 研修指導旅費 (広島基準 5泊6日, 3等級相当) ☆ 専門技術の補充のため国内の試験研究機関において実地研修を行う際、コース毎に経験豊かな指導者を同行せしめる。</p> $\{18,770円 + (10,800円 \times 6日) + (5,520円 \times 5泊)\} \times 1 \times 10^{3-2}$ <p style="text-align: right;">= 529</p> <p>4. 研修打合せ連絡旅費 (広島基準 3泊4日, 3等級) 実地研修の実施に際し事前に打合せ連絡を行うための職員旅費</p> $\{18,770円 + (10,800円 \times 4日) + (5,520円 \times 3泊)\} \times 1 \times 10^{3-2}$ <p style="text-align: right;">= 331</p> <p style="text-align: right;">合 計 1 ~ 4 114,945</p>

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
(目) 長期研修諸費	(224.728) 224.728	232.239	7.511	<p>全額 ☆</p> <p>将来、指導的な派遣専門家としての任務につくことが予定され、若しくは期待される者を先進国あるいは途上国の大学及び国際機関等に派遣して、わが国で蓄積の少ない技術分野の研さんと併せて豊かな国際的感覚を習得せしめる(原則として2年間)</p> <p>1. 海外研修費 183.279 (176.151)</p>								
区分	研修基準地	期間	航空賃	支度料	移転料	着後手当	雑費	小計 X/13X 0.95	滞在費	計	人数	合計
新規	アメリカ	9月	241,600	120,000	182,500	(2,500+7,900) X/10日 =104,000	2,500	(650,600)	(184,500) 190,600 X 9月 (1,664,500) = 1,715,400	(2,311,100) 2,413,819	30	(67,333,000) 72,414,570
継続	アメリカ	12月	-	-	-	-	-	-	(184,500) 190,600 X 12月 (2,214,000) = 2,287,200	(2,214,000) 2,287,200	30	(66,420,000) 68,616,000
帰国	アメリカ	5月	241,600	-	182,500	-	-	(424,100) 455,271	(184,500) 190,600 X 5月 (922,500) = 953,000	(1,346,600) 1,408,271	30	(40,398,000) 42,248,130
計											90	(176,151,000) 183,278,700
				<p>2. 域外研修費 (アメリカ～メキシコ基準 30日) 域外研修は研修機関における研修効果を一層高めるために、研修課題との関連性があり、その必要性が認められるものについて30日間を限度として研修地以外の地で実施される。</p>								

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎									
4. 技術協力の総合的研修に必要な経費	(112,553) 118,055	143,231	25,176	技術協力の業種別に於て技術協力実施に必要な総合的な知識を付与するための研修 1. 技術協力人材育成強化費 ※ 将来わが国の経済技術協力を従事しようとする者(民間)を海外で研修せしめ人材の養成拡充を図る。 (1) 留学生派遣費 帰国 ---- 昭和58年度より2年の者5名 継続 ---- 昭和59年度より2年の者5名 新規 ---- 5名(2年間)									
(目) 技術協力総合研修諸費	(53,255) 54,294	54,732	438										
区分	研修基準地	航空賃	移転料	日当	着棲手当	国内旅費	滞在費	支度料	資料購入費①	旅行雑費	小計	人数	合計(千円)
新規	アメリカ	241,600	121,600	2,400	120,000	15,104	217,030 × 6ヶ月 = 1,302,180	120,000	189,130 × $\frac{232}{217}$ × 0.927124 = 185,432	2,500	2,110,816	5	10,554
継続	アメリカ	241,600	0	0	0	0	217,030 × 12ヶ月 = 2,604,360	0	185,432	0	3,031,392	5	15,157
帰国	アメリカ	241,600	121,600	2,400	27,500	15,104	1,302,180	0	0	2,500	1,712,884	5	8,564
計												15	34,275

(単位：十円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
				(2) 海外開発専門職招聘費								
				被招聘者 年間5名								
				招聘期間 10日/名								
				イ. 招聘旅費								
				発地基準	航空賃(ファースト クラス)	日当・宿泊料	雑費	小計 ×1000円	人数	合計		
				アジア地域 (ジャカルタ基準)	419,600	12,320 × 10日 123,200	10,000	(552,800) 529,361	1	(553) 529		
				中近東アフリカ地域 (ラゴス基準)	1,106,800	123,200	10,000	(1,240,000) 1,187,424	1	(1,240) 1,187		
				中南米地域 (ブラジル基準)	1,075,500	123,200	10,000	(1,208,700) 1,157,451	1	(1,209) 1,157		
				先進諸国 (ワシントン基準)	655,800	123,200	10,000	(789,000) 755,546	2	(1,578) 1,511		
				計					5	(4,580) 4,384		
				ロ. 国内視察旅費								
				区分	乗車賃	特別旅行料金	グリーン料金	日当宿泊料	通訳手当	小計	人数	合計
				被招聘者 (広島基準)	14,400	11,400	12,000	—	—	37,800	5	189
				随行通訳者 (広島基準)	14,400	11,400	12,000	21,200	17,394 × 3日 = 52,182	111,182	5	556
				計							10	745

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度		対前年度比較 増△減額	積算基礎						
		予算額	実績		3. 教室借料						
					講義室	連絡事務室	電気料	水道料	計	月数	合計
					円	円	円	円	円	円	円
					4,100 × 30 ^{m²} × 5室	4,100 × 30 ^{m²} × 1室	37 × 1,810 ^{KWh}	150 × 220 ^{m³}	839,790	12	10,077
					= 615,000	= 123,000	= 66,970	= 33,000			
(E) 研修用映画作成諸費	(26,224) 28,198	29,610	1,412		合計 1~3						54,732(54,294)
					1. 映画製作 2本 (16mm, カラー-30分)						
					(1) 外回旅費 (2年級 1人 40日)						
					(航空賃) (旅費) (日当) { 55,730 ^円 + 85,090 ^円 + (3,800 ^円 × 40日) }						
					(宿泊料) (旅行雑費) + (11,400 ^円 × 39泊) + 5,000 ^円 } × 1104 × 0.95 = 1,305 (1,244)						
					(2) 製作直接経費						
					企画脚本費						588 (575)
					人件費						3,619 (3,510)
					フィルム関係費						848 (830)
					撮影関係費						1,034 (1,012)
					ロケーション関係費						4,296 (3,891)
					特殊撮影費						369 (361)
					音楽費						112 (110)
					録音費						398 (389)
					仕上費						69 (68)

(517)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎												
(目) 調査研究費	(25,342) 27,249	27,456	207	計 11,333 (10,746)												
				(3) 営業管理費 (製作直接経費の10%) (10,746) 11,333 × 0.1 = 1,133 (1,075)												
				(4) 焼増プリント代 60,840円 × 17本 = 1,034												
				計 (1) ~ (4) 14,805 (14,099)												
				計 (14,099) 14,805 × 2本 = 29,610 (28,198)												
				1. 専門家養成確保基礎調査 (1) 国内調査												
				(大阪基準 2等級 3泊4日)												
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>謝金</th> <th>国内旅費</th> <th>資料作成費</th> <th>会議費</th> <th>印刷製本費</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>円 14,000 × 8人 × 3日 × 2回 = 672,000</td> <td>円 { 23,000 + (1,900 × 4日) + (9,900 × 3泊) } × 10人 × 1/2 × 2回 = 241,200</td> <td>円 40 × 30部 × 2部 × 6種 = 180,000</td> <td>円 1,000 × 20人 × 4回 = 80,000</td> <td>円 3,500 × 100部 = 350,000</td> <td>1,523</td> </tr> </tbody> </table>	謝金	国内旅費	資料作成費	会議費	印刷製本費	合計	円 14,000 × 8人 × 3日 × 2回 = 672,000	円 { 23,000 + (1,900 × 4日) + (9,900 × 3泊) } × 10人 × 1/2 × 2回 = 241,200	円 40 × 30部 × 2部 × 6種 = 180,000	円 1,000 × 20人 × 4回 = 80,000	円 3,500 × 100部 = 350,000	1,523
謝金	国内旅費	資料作成費	会議費	印刷製本費	合計											
円 14,000 × 8人 × 3日 × 2回 = 672,000	円 { 23,000 + (1,900 × 4日) + (9,900 × 3泊) } × 10人 × 1/2 × 2回 = 241,200	円 40 × 30部 × 2部 × 6種 = 180,000	円 1,000 × 20人 × 4回 = 80,000	円 3,500 × 100部 = 350,000	1,523											

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎									
				(2) 海外調査									
				① 外国旅費(ジャカルタ基準 2年後 10日)									
				航空費	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	計×1/104×0.95	人数	合計		
				338,100	35,035	3,800 × 10日 = 38,000	11,400 × 9泊 = 102,600	5,000	(518,735) 544,049	5	(2,594) 2,720		
				② 現地調査費②									
				車輛借上費	資料購入費	通信連絡費	通訳備人費	会議費	単価計	外貨交換手数料	小計× $\frac{237}{247}$	件数	合計
				6,300 × 8日 = 50,400	2,100 × 20種 = 42,000	130 × 50話 × 2回 = 13,000	6,300 × 5日 = 31,500	1,700 × 15人 × 3日 = 76,500	213,400	2,134	(207,681) 206,808	5	(1,038) 1,034
				計 ① ~ ②						3,754 (3,632)			
				合計 (1) ~ (2)						5,277 (5,155)			
				2. 技術移動調査研究費									
				(1) 調査研究費 (大阪基準, 2等級, 3泊4日)									
				国内旅費	謝金	資料作成費	報告書作成費	賃金	小計	件数	合計		
				{ 23,000 + (1,900 × 4日) + (9,900 × 3泊) } × 2人 × 1回 = 120,600	14,000 × 2人 = 28,000	40 × 47枚 × 10部 = 18,800	1,500 × 100部 = 150,000	4,400 × 35日 × 1人 = 154,000	(471,400) 471,400	30	14,142		

(519)
(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
				(2) 子-9分析加工費 (技師(B) 1件30日)								
				区分	作業期間	直接人件費	諸経費	技師費	計	件数	合計	
				(箱内)		(468,000)	(468,000)	(468,000)				
				技師(B)	30日	482,510 × 1月 (468,000) = 482,510	(468,000) × 1.1 482,510 × 1.1 (514,800) = 530,761	(468,000) (514,800) (482,510 + 530,761) × 0.4 (393,120) = 405,308	(1,375,920) 1,418,579	2	(375.2) 2.837	
				計 (1) ~ (2)							16.979 (16.894)	
				3. 調査研究用資料機材購入費								5.200
				合計 1 ~ 3								27.456 (27.249)
(目) 技術情報情報整備活動費	(7,732) 8,314	8,314	0	1. 資料情報整備費								
資料購入費	資料作成費	印刷製本費	通信運搬費	消耗品費	賃金	謝金	原簿料	翻訳料	備品購入費	合計		
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円		
2,000 × 400	① 資料 40 × 50枚 × 20冊 × 20 = 800,000	400 × 2,000	400 × 1,500	3000 × 12月	4,400 × 200	(要約作成)	(要約作成)	(英文和訳)	55,000 × 8件			
= 800,000	② マイクロフィルム (2,100 + 290) × 100 / 20 = 360件	(1) × 2冊 = 1,600,000	× 2冊 = 600,000	= 360,000	× 1人 = 880,000	1,000 × 800	1,500 × 400	= 600,000	= 440,000	8,314		
	= 1,434,000											
800,000	2,234,000	1,600,000	600,000	360,000	880,000	800,000	600,000	440,000	8,314			

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
(目) 技術移転国際会議開催費	0	23,119	23,119	1. 招聘諸費						
				被招聘者	年間	12名				
				招聘期間	8日/名					
				(1) 招聘旅費						
				発地基準	航空賃	滞在費	鉄道賃	雑費	人数	合計
					円	円	左島基準(往復) 円	円	人	
				〒ハラン	648,200	20,000 × 8日 = 160,000	47,800	1,000 × 8日 = 8,000	6	(0) 5,184
				ニユヨク	496,900	20,000 × 8日 = 160,000	47,800	1,000 × 8日 = 8,000	6	(0) 4,276
				計					12	(0) 9,460

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(2) 保険料
				$8,310^{\text{円}} \times 12 \text{人} = 100(0)$
				計 (1) + (2) 2,560(0)
				2. 開催諸費
				(1) 本会議開催諸費
				1. 諸謝金
				① 専門表謝金 (日本人5人)
				$10,000^{\text{円}} \times 6 \text{時間} \times (6^{\text{日}} \times 2^{\text{人}} + 4^{\text{日}} \times 5^{\text{人}}) = 1,200(0)$
				② 監理員備上費
				$14,045^{\text{円}} \times 14^{\text{日}} \times 5^{\text{人}} = 983(0)$
				③ 同時通訳備上費
				$50,000^{\text{円}} \times 6^{\text{回}} \times 3^{\text{人}} = 900(0)$
				④ 速記者備上費
				$50,000^{\text{円}} \times 6^{\text{回}} \times 4^{\text{人}} = 1,200(0)$
				⑤ ライヒスト備上費
				$14,045^{\text{円}} \times 6^{\text{日}} \times 2^{\text{人}} = 169(0)$
				小計 ①～⑤ 4,452(0)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				<p>ロ、国内旅費</p> <p>① 専門家参加旅費 (広島基準、1等級)</p> $\{(32,200^{\text{円}} + 2,200^{\text{円}} \times 5^{\text{日}} + 10,200^{\text{円}} \times 4^{\text{泊}}) \times 3^{\text{人}}$ $+ (32,200^{\text{円}} + 2,200^{\text{円}} \times 3^{\text{日}} + 10,200^{\text{円}} \times 2^{\text{泊}}) \times 3^{\text{人}}\}$ <p style="text-align: right;">= 430 (0)</p> <p>ハ、庁費</p> <p>① 会場借料</p> <p>① 会議場</p> $744,000^{\text{円}} \times 4^{\text{日}} = 2,976,000^{\text{円}} (0)$ <p>② 事務局</p> $102,000^{\text{円}} \times 7^{\text{日}} = 714,000^{\text{円}} (0)$ <p style="text-align: right;">① + ② 3,690 (0)</p> <p>② 機器借料</p> $206,250^{\text{円}} \times 4^{\text{日}} = 825 (0)$ <p>③ 会場設営費</p> $110,000^{\text{円}} \times 1^{\text{回}} = 110 (0)$ <p>④ 会議費</p> $670^{\text{円}} \times 50^{\text{人}} \times 2^{\text{回}} = 670 (0)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				⑤ 通信交通費 $23,000 \text{円} \times 7 \text{日} = 161 (0)$
				⑥ レポート編集作成費 $2,000 \text{円} \times 300 \text{部} = 600 (0)$
				⑦ 資料作成費 $570 \text{円} \times 35 \text{種} \times 100 \text{部} = 1,995 (0)$
				⑧ 消耗品費 $500 \text{円} \times 43 \text{人} \times 4 \text{日} = 86 (0)$
				小計 ①～⑧ 8,137 (0)
				合計 イ～ハ 13,019 (0)
				(2) 関連機関視察交流経費
				イ. 国内旅費
				① 監理員旅費 $(32,200 \text{円} + 1,900 \text{円} \times 2 \text{日} + 9,900 \text{円} \times 1 \text{泊}) \times 2 \text{人} = 92 (0)$
				② 職員旅費 $(32,200 \text{円} + 1,900 \text{円} \times 2 \text{日} + 9,900 \text{円} \times 1 \text{泊}) \times 3 \text{人} = 138 (0)$
				小計 ① + ② 230 (0)

(524)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				ロ. 庁費
				① 車輛借上料
				$65,000 \text{円} \times 1 \text{台} \times 2 \text{回} = 130 (0)$
				② 会議費
				$3,000 \text{円} \times 60 \text{人} \times 1 \text{回} = 180 (0)$
				小計 ① + ② 310 (0)
				合計 1 + ロ 540 (0)
				計 (1) + (2) 13,559 (0)
				総計 1 + 2 23,119 (0)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
(項) 開発調査費		(12,463,956) 12,463,956	13,450,084	986,128	54年度 (8,656,133) 8,617,421	55年度 (10,285,101) 10,285,101	56年度 (11,542,369) 11,542,369	57年度 (12,307,777) 12,307,777	58年度 (13,190,380) 13,190,380		
1. 調査団派遣に必要経費		9846,613	10,488,456	641,843							
区分	基準地	件数	調査旅費	現地調査費	貸視材等購送費	報告著作成費	国内旅費	所属元 給与増進経費	水電費 調査委託費	調査業務実施費	計
事前調査	カラキ	(46)	(79,632)	(9,408)	(5,124)	(13,188)	(2,932)	(30,300)		(123,200)	(263,784)
		59	87,969	9868	5,399	13,895	3,089	32,914	0	133,975	287,109
奥地調査	"		(88,164)	(11,718)						(6,082,524)	(6,265,846)
		62	92,442	11,656	3,162	28,830	20,288	25,941	0	6,271,114	6,453,433
長期調査	"		(19,782)	(16,437)	(27,015)			(45,043)		(290,878)	(409,896)
		9	20,745	16,365	27,006	10,191	550	46,442	0	296,412	417,711
マツノケヤ調査	"		(3,317)					(1,894)		(14,039)	(21,351)
		7	3,479	641	151	1,187	122	1,953	0	14,474	22,007
地形図作成調査	"	(6)	(5,688)	(1,134)	(258)	(474)		(1,623)		(698,994)	(708,171)
		7	6,968	1,316	301	553	0	1,953	0	825,909	836,990
(一般調査) 小計		(140)	(196,583)	(39,338)	(35,710)	(53,870)	(23,892)	(104,020)		(7,215,635)	(7,669,048)
	144	211,593	39,846	36,019	54,656	24,049	109,203	0	754,884	8,017,250	
森林関係調査 事前調査	キャバラ	(29)	(54,781)	(10,310)	(1,022)	(9,940)	(1,276)	(11,768)		(65,729)	(154,826)
		32	63,424	11,328	1,128	10,968	1,408	13,389	0	74,848	176,493
実施調査	"		(60,078)	(12,133)				(23,130)		(1,353,371)	(1,472,887)
		19	63,023	12,080	2,922	17,054	4,198	23,849	0	1,385,914	1,509,041
長期調査	"		(2,116)	(814)	(3,390)			(3,246)		(31,642)	(42,040)
		1	2,219	810	3,389	777	55	3,347	0	32,380	42,777

事項及び科目			前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
区分	基準地	件数	調査旅費	現地調査費	資機材等購送費	報告著作費	国内旅費	所属先 給与繰戻経費	水産資源 調査委託費	調査業務実施費	計
実証調査	カメルン	(0) 1	0	0	0	0	0	0	0	(0) 81,563	(0) 81,563
林業資源調査 写真撮影	キャンベラ	(1) 2	(630) 1,322	(130) 259	(1,017) 2,033	(206) 411	(92) 184	(406) 837	0	(66,206) 133,700	(68,687) 138,746
団 化	"	(1) 2	(630) 1,322	(130) 259	(1,017) 2,033	(206) 411	(92) 184	(406) 837	0	(76,806) 154,900	(79,287) 159,946
水産資源調査 陸上調査	"	3	(11,799) 12,312	(1,986) 1,977	(142) 141	1,518	198	(2,435) 2,510	0	0	(18,018) 18,656
沿岸調査	"	3	(14,454) 15,162	(4,752) 4,733	(12,713) 12,708	5,561	198	(6,087) 6,276	0	(23,236) 23,861	(67,001) 68,499
海上調査	"	3	(3,765) 4,011	(11,202) 11,555	3,447	3,337	66	(4,870) 5,021	0	(147,208) 147,748	(274,719) 275,185
水産資源調査 委託費	"	1	0	0	0	0	0	0	100	0	100
(森林水産小計)	"	(61) 67	(148,193) 162,795	(142,287) 143,001	(25,670) 27,801	(38,599) 40,037	(6,170) 6,492	(52,348) 56,066	100	(1,764,198) 2,034,914	(2,177,565) 2,471,206
計		(201) 211	(344,776) 374,389	(181,619) 182,847	(61,380) 63,820	(92,469) 94,693	(30,068) 30,541	(156,368) 165,269	100	(8,979,833) 9,576,778	(9,846,613) 10,488,456

(527)
(单位: 千円)

事項又は科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
(目) 調査旅費	(344,776) 344,776	374,388	29,612									
区分	航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	小計 × 1.104 × 0.95	人員	構成比	計	件数	合計
事前調査	238,460	47,967	1426 × 30日	4487 × 29泊	1,496	13,065	(473,891)	4	3/4	(1,422)	(56)	(79,632)
			= 42,780	= 130,123			497,017		1/4	(474)		59
実施調査	238,460	47,967	1426 × 70日	4487 × 69泊	1,496	13,065	(710,411)	10	0/10	0	62	(88,164)
				= 99,820			= 309,603		745,079	10/10		(7104)
調査実施	238,460	47,967	1426 × 70日	4487 × 69泊	1,496	13,065	745,079	10	0/10	0	62	(544,980)
									= 99,820	= 309,603		745,079
作業監理	238,460	47,967	42,780	130,123	1,496	13,065	(473,891)	3	3/3	(1,422)	3	(88,164)
				130,123			497,017		0/3	0		92,442
報告書説明	238,460	0	1426 × 15日	4487 × 14泊	1,496	13,065	(377,229)	5	0/5	0	5	0
			= 21,390	= 62,818			398,558		5/5	(1,686)		(104,532)
										1,768		* 107,616

(529)
(单位: 十円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
区分	航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	小計×1104 ×0.95	人員	構成比	計	件数	合計
調査実施	238,460	47,967	1,426 × 90日	4,487 × 89泊	1,496	13,065	(828,671)	8	0/8	0		0
			= 128,340	= 399,343			869,110		8/8	(6629)		(39,774)
作業監理	238,460	47,967	42,780	130,123	1,496	13,065	(473,891)	2	2/2	(948)		(5,688)
							497,017		0/2	994		6,958
報告書説明	238,460	0	21,390	62,818	1,496	13,065	(337,229)	3	0/3	0		0
							357,686		3/3	(1,012)		(6,072)
											1061	* 7,427
小計											(140)	(196,583)
											144	211,593
												(651,720)
												* 693,022
蕨林業関係調査 事前調査	354,280	56,062	1,679 × 30日	5,244 × 29泊	1,748	15,271	(629,777)	4	3/4	(1,889)	(29)	(54,781)
			= 50,340	= 152,076			660,510		1/4	1,982		63,424
											32	(18,270)
											661	* 21,152

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
区分	航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	小計×1104 ×0.95	人員	構成比	計	件数	合計
実施調査											19	(60,078) 63,023 (141,227) * 148,105
	調査実施	376,690	56,062	1,678 × 807日 = 1,352,766	5,244 × 69泊 = 361,836	1,748	15,271	(929,067) 974,406	2/10	(1,858) 1,949	10	(35,302) 37,031
	作業監視	376,690	56,062	1,678 × 30日 = 50,340	5,244 × 29泊 = 152,076	1,748	15,271	(652,187) 684,014	8/10	(7,433) 7,795	2	(141,227) * 148,105
長期調査 調査実施	376,690	65,955	1,678 × 240日 = 402,720	5,244 × 239泊 = 1,253,316	1,748	15,271	(2,115,700) 2,218,946	3/2	(1,304) 1,368	2	(24,776) 25,992	
									0/2	0		
長期調査 調査実施	376,690	65,955	1,678 × 240日 = 402,720	5,244 × 239泊 = 1,253,316	1,748	15,271	(2,115,700) 2,218,946	1/3	(2,116) 2,219	3	(2,116) 2,219	
									2/3	(4,231) 4,438	1	(4,231) * 4,438
実証調査	(0) 1,227,000	(0) 94,330	(0) (0) 3,800 × 150日 = 570,000	(0) (0) 11,600 × 149泊 = 1,728,400	(0) 5,000	(0) 3,600	* 小計 (0) 3,628,330	0/3	0	3	(0)	
									3/3	(0) 10,885	1	(0) * 10,885

(531)
(单位: 千円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎							
区分	航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	小計×1104 ×0.95	人員	構成比	計	件数	合計
林業資源調査 写真撮影	354,280	56,062	50,340	152,076	1,748	15,271	(629,777)	5	1/5	(630)	14	(630)
							660,510		4/5	661	(1)	1,322
国 化	354,280	56,062	50,340	152,076	1,748	15,271	(629,777)	5	1/5	(630)	(1)	(630)
							660,510		4/5	661	2	2,519
小 計											(118,235)	
											(51)	131,310
水産資源調査 陸上調査	376,690	56,062	50,340	152,076	1,748	15,271	(652,187)	6	6/6	(3,913)	3	(11,739)
							684,014		0/6	4,104		12,312
沿岸調査	376,690	56,062	1,678 × 75日 = 125,850	5,244 × 74日 = 388,056	1,748	15,271	(963,677)	6	5/6	(4818)	3	(14,454)
							1,010,704		1/6	5,054		15,162
										(964)		(2892)
										1,011		* 3,033

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎							
区 分	航空賃	支度料	日 当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	小計×1104 ×0.95	人員	構成比	計	件数	合 計
海上調査	376,690	56,062	1,678 × 120日	5,244 × 119日	1,748	15,271	(1,255,167)	2	1/2	(1,255)	3	(3,765)
			= 201,360	= 624,036			1,337,395		1/2	(1,255)		* 4,011
小 計											9	(29,958) 31,485 * 7,024
合 計											(200) 210	(344,776) 374,388 (827,143) * 895,214

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
区分	通紙債上費	人夫備上費	車船運賃上費	通信連絡費	送料運送費	資料購入費	会議費	小計	外貨交換 手数料(%)	計× $\frac{227}{225} \times 4927124$	件数	構成比	合計
長期調査											9		(16,407) 16,365 (29,472) * 29,346
	調査実施	270×200 ^円 ×1 ^人 = 55,200	380×200 ^円 ×3 ^人 = 228,000	運転手燃料費 1720×200 ^円 ×3 ^人 = 103,200 事務所借上 86160×1 ^円 ×12 ^月 = 1,033,920	70×30 ^円 ×12 ^月 = 2,520	560×100 ^円 ×3 ^人 = 56,000	110×88 ^円 ×92,800 = 92,800 税関前調査委託費 287,210×10 = 2,872,100	1160×20 ^円 ×3 ^人 = 135,600	495,8820	49,588	(4,912) 4,891	1/3 2/3	(14,736) 14,673 (29,472) * 29,346
	作業整理	55,200	0	68,800	4,200	28,000	11,600	23,200	191,000	1,910	(189) 188	1/1 0/1	(1,701) 1,692 *
了了一丁調査	55,200	0	68,800	4,200	28,000	1160×5 ^円 = 5,800	23,200	185,200	1,852	183	7	1/2 1/2	641 * 641
地形図作成調査											(6) 7		(1,134) 1,316 (11,874) * 13,804

(535)
(單位：千円)

事項及科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎								
区分	通訳値上費	人件備上費	運搬整備上費	通信連絡費	福祉等送達費	資料購入費	会議費	小計	外貨買入 手数料(1%)	計 $\times \frac{227}{225} \times 0.927124$	件数	増減比	合計
調査実施	2760x80 ^円 x 2 = 441,600	320x80 ^円 x 4 = 121,600	2440x80 ^円 x 26 = 550,400	70x30 ^円 x 5回 = 10,500	560x1000 ^円 = 560,000	1160x50 ^円 = 58,000	1160x30 ^円 x 4回 = 139,200	1,881,300	18,813	(1,863) 1,856		0/3	0
												8/8	(11,178) * 12,992
作業整理	55,200	0	68,800	4,200	28,000	11,600	23,200	191,000	1,910	(189) 188		2/2	(1,134) 1,316
												0/2	* 0
報告書 説明	27,600	0	34,400	4,200	28,000	0	23,200	117,400	1,174	116		0/3	0
												3/3	(696) * 812
小計											(140)		(39,338) 39,846
											144		(137,379) * 138,964
農林業関係調査 事前調査	3220x30 ^円 $\times \frac{2}{3} \times 1人$ = 38,640	0	4030x26 ^円 x 30 ^円 x 99 = 217,620 邦折換 40280x3 = 120,840	80x30 ^円 x 5回 = 12,000	750x10 ^円 = 9,500	1340x20 ^円 = 26,800	1340x4 ^円 x 2 x 5回 = 53,600	479,000	4,790	(474) 472	(29)	3/4	(10,310) 11,328
												1/10	(3,437) * 3,776

事項及科目		前年度予算額	昭和60年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎								
区分	通訳係上費	人夫係上費	康術室指上費	通信連絡費	統計等返送費	資機材購入費	会議費	小計	外貨交換手数料(1%)	計× $\frac{227}{225} \times 0.927124$	件数	構成比	合計
実施調査											19		(12,133) 12,080
調査実施	$3,220 \times 70 \text{日} \times \frac{2}{3} \times 2人 = 300,530$	$4,50 \times 70 \text{日} \times \frac{2}{3} \times 15人 = 315,000$	$4030 \times 4 \times 70 \text{日} \times 0.9 = 1,015,560$ 飛行機 $40280 \times 5 = 2,01,400$	12,000	$950 \times 20 \text{kg} = 19,000$	26,800	$1340 \times 10 \times 2 \times 7 = 187,600$	2077,890	20,779	(2,058) 2,049		$\frac{2}{10}$ $\frac{8}{10}$	(7,820) 7,786 (31,282) * 31,145
作業監視	$3,220 \times 20 \text{日} \times 1人 = 64,400$	0	$4030 \times 1 \times 20 \text{日} = 80,600$	$80 \times 30 \times 2 \text{日} = 4,800$	$600 \times 50 \text{kg} = 30,000$	26,800	$1340 \times 20 \times 7 = 26,800$	232,400	2,334	($\times \frac{227}{225} \times 0.927124$) (227) 226		$\frac{3}{2}$ $\frac{0}{2}$	(4313) 4,294 0
長期調査	$3,220 \times 200 \text{日} \times 1人 = 644,000$	$4,50 \times 200 \text{日} \times 3人 = 270,000$	夏転子燃料修理 $2020 \times 200 \text{日} = 404,000$ 事務所指上 $103190 \times 7 \text{日} = 722,330$	$80 \times 30 \times 12 \text{日} = 28,800$	$740 \times 100 \text{kg} = 74,000$	$1340 \times 80 \text{kg} = 107,200$	$1340 \times 20 \times 8 \text{日} = 214,400$	2,464,730	24,647	(2441) 2,431	1	$\frac{1}{3}$ $\frac{2}{3}$	(814) 810 (1,627) * 1,621
実証調査	$\frac{(0)}{20000} \times \frac{(0)}{100 \text{日}} \times 1人 = 2,600,000$	$\frac{(0)}{1100} \times \frac{(0)}{130 \text{日}} \times 10人 = 1430,000$	$\frac{(0)}{20000} \times \frac{(0)}{130 \text{日}} \times 1台 = 2,600,000$	$\frac{(0)}{100} \times \frac{(0)}{30 \text{日}} \times 10回 = 30,000$	$\frac{(0)}{2000} \times \frac{(0)}{300 \text{kg}} = 600,000$	$\frac{(0)}{2000} \times \frac{(0)}{30 \text{日}} = 60,000$ 調査資機材 設置用資材 $\frac{(0)}{1000} \times \frac{(0)}{1000} = 1,000,000$	$\frac{(0)}{3000} \times \frac{(0)}{30人} \times 3日 = 270,000$	8,590,000	85,900	* 計 (0) 8,676	(0) 1	$\frac{0}{3}$ $\frac{3}{3}$	0 (0) * 8,676

(537)
(单位: 千円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎									
区分	通訳係上費	人夫係上費	船舶係上費	通信連絡費	郵便等送達費	資機材購入費	会議費	小計	外資交換 手数料(1%)	計	件数	構成比	合計	
林業資源調査 写真撮影	38,640	450×30日 × $\frac{2}{5}$ ×10人 = 54,000	4030×2台×30日 ×0.9 = 217,620 飛行機 40280×5hr = 201,400	12,000	740×50kg = 37,000	26,800	1340×5×2 ×5日 = 67,000	654,460	6,545	(648)	(1)	1/5	(130)	
												2	4/5	(518)
図 化	38,640	54,000	217,620 飛行機 201,400	12,000	37,000	26,800	67,000	654,460	6,545	(648)	(1)	1/5	(130)	
												2	4/5	(518)
小 計											(5)		(23,517)	
												57	(37,982)	* 47,286
水産資源調査 陸上調査	3220×30日 × $\frac{2}{5}$ ×1人 = 38,640	450×30日 × $\frac{2}{5}$ ×10人 = 54,000	4030×2台×30日 ×0.9 = 217,620 飛行機 40280×5hr = 201,400	12,000	740×50kg = 37,000	1340×20機 = 26,800	1340×6×2 ×5日 = 80,400	667,860	6,679	(662)	3	6/6	(1,986)	
												0/6	* 0	
沿岸調査	3220×75日 × $\frac{4}{5}$ ×2人 = 386,400	450×75日 × $\frac{4}{5}$ ×10人 = 270,000	4030×2台×75日 ×0.9 = 544,050 飛行機 40280×10hr = 402,800	12,000	740×150kg = 111,000	1340×60機 = 80,400	1340×6×2 ×7日 = 112,660	1,919,210	19,192	(1,901)	3	5/6	(4,752)	
												1/6	(951)	* 947

(539)
(单位：十円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎			
(目)資機材等購送費	(61,380) 61,380	63,820	2,440				
区分	資機材購送費		計	件数	構成比	合計	
	購入費・借料	⊕送料 × $\frac{237}{224} \times 0.927124$					
事前調査	23640 × 4人 = 94,560 円	560 × 50kg = 27,344 円	122	47 (56) 59	3/4	(5,124) 5,399	
					1/4	(1,708) * 1,800	
実施調査				62		3,162 (127,720) * 127,596	
調査実施	157,350 × 10人 = 1,573,500	560 × 800kg = 437,504 (439,350)	(2,013) 2,011		9/10	0	
					10/10	(124,806) * 124,682	
作業監理	7,820 × 3人 = 23,460	27,344 (27,459)	51		3/3	3,162	
					0/3	* 0	

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎		
区分	資機材購送費		計	件数	構成比	合計	
	購入費・借料	送料 × $\frac{332}{228} \times 0.927124$					
報告書説明	3920 × 5人 = 19,600	27,344	47	47	0/5	0	
					5/5	* 2,914	
長期調査				9	(27,015)	27,006	
					(53,400)	* 53,382	
調査実施	シ - T 1415,590 × 1台 = 1,415,590 観劇用機材 393,210 × 10台 = 3,932,100 その他機材 2,689,610	(1033,376 + 2,870,492 + 1,963,416) × 15% (863,099) = 859,473	(8,900)	8,897	1/3 (26,700)	26,691	
					2/3 (53,400)	* 53,382	
作業監理	8,030 × 1種 = 8,030	27,344	35	35	1/1	3,15	
					0/1	* 0	
ア79-7ア調査	7,820 × 2種 = 15,640	27,344	43	7	1/2	151	
					1/2	* 151	

(541)
(单位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎			
区分	資機材購送費		計	件数	構成比	合計	
	購入費・借料	⑤送料 × $\frac{227}{227} \times 0.927124$					
地形図作成調査						(258) 301	
					6)	(6,648) * 7,742	
					7		
調査実施	78720 × 8% = 629,760		(439,350)	(1,069)	0/8	0	
			437,504	1,067	8/8	(6,414) * 7,469	
作業整理	15,640		(27,459)	43	2/2	(258) 301	
			27,344			0/2	* 0
報告書説明	3,920 × 3% = 11,760		(27,459)	39	0/3	0	
			27,344			3/3	(234) * 273
小計					(140)	(35,700) 36,019	
					144	(189,627) * 190,671	

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎			
				計	件数	構成比	
区分	資 機 材 購 送 費			計	件数	構成比	合計
	購入費・借料		⑤ 送料 $\times \frac{237}{229} \times 0.927124$				
農林業開発調査 事前調査	27,180		$660 \times 30 \text{kg} = 19,336$ (19,418)	(47)	29	3/4	(1,022) 1,128
				46	32	1/4	(341) * 376
実施調査					19		2,822 * 7,965
調査実施	459,720		$660 \times 100 \text{kg} = 64,454$ (64,726)	524		2/10	1,991
						8/10	* 7,965
作業監理	20,000		$600 \times 50 \text{kg} = 28,785$ ($\times \frac{237}{229} \times 0.927124$) (28,907)	49		2/2	931
						0/2	* 0
長期調査	9,192,340		$6,646,030 \times \frac{15}{100} = 997,655$ (977,655)	(10,170)	1	1/3	(3,370) 3,389
				10,166		2/3	(6,780) 6,777

(543)
(單位：千円)

事項及科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎			
区分	資機材購送費			計	件数	補正比	合計	
	購入費・借料	②送料 × $\frac{227}{224} \times 0.927124$						
実証調査	現地調査用施設(資機材含む) 3,500,000 × 24折 = 7,000,000 ⁽⁰⁾		航空貨物送料 ※送料 3200 × 200kg = 640,000 ⁽⁰⁾	(0)	(0)	0/3	0	
	車輛 2,500,000 × 1台 = 2,500,000 ⁽⁰⁾		船送料 9,500,000 × $\frac{10}{100}$ = 950,000 ⁽⁰⁾	11,090	1	3/3	(0) * 11,090	
林業資源調査 写真撮影	9,191,630 × $\frac{1}{2}$ = 4,595,815		3322,750 × $\frac{15}{100}$ = 486,735 ⁽¹⁾	(5,085)	(1)	1/5	(1,017)	
				5,083	2	4/5	(4,068) * 8,133	
園 化	4,595,815		(38,789) 486,735	(5,085)	(1)	1/5	(1,017)	
				5,083	2	4/5	(4,068) * 8,133	
小 計					(51)		(9,368)	
					57		11,505 (23,222) * 42,474	
水産資源調査 陸上調査	27,150		(19,418) 19,336	47	3	6/6	(142)	
						0/6	141 * 0	

(544)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎		
区分	資機材購送費			計	件数	増減比	合計
	購入費・借料	送料	送料 × $\frac{227}{226} \times 0.927124$				
沿岸調査	4,595,815	(488,789) 4,86,735	(5,085) 5,085	4 3	5/6 1/6	(12,713) 12,708	(2,543) * 2,542
	海上調査	2,297,900	0			2,298	3
小計				9		(16,302) 16,296	(5,990) * 5,989
合計				(200) 210		(61,380) 63,820	(218,839) * 239,134

(545)
(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
(目) 報告書作成費	(92,469) 92,469	94,693	2,224					
区分	原稿料・審査料	翻訳料・校閲料	印刷製本費	報告書作成諸費	計	件数	構成比	合計
事前調査	原稿料 1460×100枚×1/2×79 = 48,667	翻訳 1910×100枚×1/2=95,500 校閲 730×100枚×1/2=36,500	報告書 1890×50部×2種×1/2 = 94,500	99,720	314	(56) 59	3/4 1/4	(13,188) 13,895 (4,396) * 4,632
						62		28,830 * 124,124
調査実施		翻訳 1910×400枚=764,000 校閲 730×400枚=292,000	報告書 4730×100部×2種 = 946,000		2,002		0/10 10/10	0 * 124,124
	審査 730×400枚 = 292,000		資料 470×50枚×4回 = 94,000	78,650	465		3/3 0/3	28,830 * 0
長期調査						9		10,191 * 12,012

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
区分	原稿料・審査料		翻訳料・校閲料	印刷製本費	報告書作成諸費	計	件数	構成比	合計
調査実施			翻訳 764,000 校閲 292,000	報告書 946,000		2,002		1/3	6,006
								2/3 *	12,012
作業監理	審査 292,000			資料 94,000	78,650	465		1/1	4,185
								0/1 *	0
779-777 調査	原稿 1,460×100枚×1/2 = 73,030		翻訳 95,500 校閲 36,500	報告書 94,500	39,320	339	7	1/2	1,187
								1/2 *	1,187
北形図作成調査							(6)		(474)
							7		553
調査実施				北形図印刷 70,780×40 ^冊 ×2 ^巻 = 5,662,400		5,662		0/8	0
								8/8 *	(33,972) 39,634

(547)
(单位：十円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
区分	原稿料・審査料		翻訳料・校閲料	印刷製本費	報告書作成諸費	計	件数	構成比	合計
作業監理					78,650	79		2/2	(474) 553
								0/2	* 0
小計							(140)		(53,870) 54,656
							144		(175,691) * 181,589
農林業開発調査 事前調査	原稿料 1710 × 50枚 = 85,500		翻訳 2220 × 50枚 = 111,000 校閲 850 × 50枚 = 42,500	2210 × 70部 = 154,700	63,370	457	(29) 32	3/4 1/4	(9,940) 10,968 (3,313) * 3,656
実施調査							19		17,054 * 20,034
調査実施	原稿料 1710 × 200枚 = 342,000		翻訳 2220 × 200枚 = 444,000 校閲 850 × 200枚 = 170,000	2210 × 100部 = 221,000	141,060	1,718		7/10 8/10	5,008 * 20,034

(単位：千円)

事項及科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
区分	原稿料・審査料		翻訳料・校閲料	印刷製本費	報告書作成諸費	計	件数	構成比	合計
作業監理	審査 342,000			2210×50部×2種=221,000	71,400	634		2/2	12,046
								0/2	* 0
長期調査			翻訳 2220×400枚=888,000 校閲 850×400枚=340,000	5520×100部×2種 = 1,104,000	0	2,332	1	1/3	777
								2/3	* 1,555
実証調査	(0) (0) 2,200×200枚 = 440,000		翻訳 (0) (0) 3,000×200枚=600,000 校閲 (0) (0) 1,100×200枚=220,000	(0) (0) 7,000×400枚 = 2,800,000	0	(0)	(0)	0/3	0
						4,060	1	3/3	* (0) 4,060
林業資源調査 写真撮影	原稿料 1,710×150枚 = 256,500		翻訳 2,220×150枚=333,000 校閲 850×150枚=127,500	221,000	90,310	1,028	(1) 2	1/5 4/5	(206) 411 * (823) 1,645
回 化	原稿料 256,500		翻訳 333,000 校閲 127,500	221,000	90,310	1,028	(1) 2	1/5 4/5	(206) 411 * (823) 1,645
小 計							(5) 57		(28,183) 29,621 (26,548) * 32,595

(549)
(單位：千円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
区分	原稿料・審査料 円	翻訳料・校閲料 円	印刷製本費 円	報告書作成諸費 円	計	件数 件	構成比	合計	
水産資源調査 陸上調査	原稿料 1710×50枚=85,500	翻訳 111,000 校閲 42,500	221,000	45,910	506	3	6/6	1,518	
							0/6 *	0	
沿岸調査	原稿料 1710×400枚=684,000	翻訳 888,000 校閲 340,000	221,000	91,490	2,224	3	5/6	5,561	
							1/6 *	1,112	
海上調査	684,000	翻訳 888,000 校閲 340,000	221,000	91,490	2,224	3	1/2	3,337	
							1/2 *	3,337	
小計						9		10,416	
							*	4,449	
合計						(200)		(92,469)	
						210		94,693	
							*	(206,688)	
							*	218,633	

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎			
(目) 国内旅費	(30068) 30,068	30,541	473	区分	国内旅費	件数	合計
				事前調査	$21,815 \times 41 \times \frac{1}{5} \times 3回 = 52,356$	56 ^件 59	(2,932) 3,089
				実施調査	327,225	62	20,288
				調査実施	$21,815 \times 10 \times \frac{1}{5} \times 5回 = 218,150$		
				作業監理	$21,815 \times 3 \times \frac{1}{5} \times 5回 = 65,445$		
				報告書説明	$21,815 \times 5 \times \frac{1}{5} \times 2回 = 43,630$		
				長期調査	61,082	9	550
				調査実施	$21,815 \times 3 \times \frac{1}{5} \times 3回 = 39,267$		
				作業監理	$21,815 \times 1 \times \frac{1}{5} \times 5回 = 21,815$		
				アア-ケア調査	$21,815 \times 2 \times \frac{1}{5} \times 2回 = 17,452$	7	122
				小計		(134) 137	(23,892) 24,049

(551)
(單位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎		
				区 分	国内旅費	計 件数 合計
農林業関係調査						
事前調査			$18,366 \times 41 \times \frac{1}{5} \times 3回 = 44,078$	44	(29) 32	(1,276) 1,408
実施調査					19	4,199
調査実施			$18,366 \times 10^4 \times \frac{1}{5} \times 5回 = 183,660$	184		3,496
作業監視			$18,366 \times 2^4 \times \frac{1}{5} \times 5回 = 36,732$	37		703
長期調査 調査実施			$18,366 \times 3^4 \times \frac{1}{5} \times 5回 = 55,098$	55	1	55
林業資源調査 写真撮影			$18,366 \times 5^4 \times \frac{1}{5} \times 5回 = 91,830$	92	(1) 2	(92) 184
図 化			91,830	92	(1) 2	(92) 184
小 計					(81) 56	(5,714) 6,030
水産資源調査						
陸上調査			$18,366 \times 6^4 \times \frac{1}{5} \times 3回 = 66,117$	66	3	198
沿岸調査			66,117	66	3	198
海上調査			$18,366 \times 2^4 \times \frac{1}{5} \times 3回 = 22,039$	22	3	66
小 計					9	462
合 計					(194) 202	(30,68) 30,541

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎																																	
(目) 所属先給与補填経費	(156,368) 156,368	165,269	8,901	<p>全額☆</p> <table border="1"> <tr> <td>(405,800)</td> <td>(445)</td> <td>(60,194)</td> </tr> <tr> <td>418,400円 × 45%^円 × 1/3 =</td> <td></td> <td>64,016</td> </tr> <tr> <td>(405,800)</td> <td>(129)</td> <td>(52,949)</td> </tr> <tr> <td>418,400円 × 13%^円 =</td> <td></td> <td>54,066</td> </tr> <tr> <td>(405,800)</td> <td>(43,826)</td> <td>(43,826)</td> </tr> <tr> <td>418,400円 × 216^円 × 1/2 =</td> <td></td> <td>45,187</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>(156,368)</td> <td>165,269</td> </tr> </table>	(405,800)	(445)	(60,194)	418,400円 × 45% ^円 × 1/3 =		64,016	(405,800)	(129)	(52,949)	418,400円 × 13% ^円 =		54,066	(405,800)	(43,826)	(43,826)	418,400円 × 216 ^円 × 1/2 =		45,187	計	(156,368)	165,269												
(405,800)	(445)	(60,194)																																			
418,400円 × 45% ^円 × 1/3 =		64,016																																			
(405,800)	(129)	(52,949)																																			
418,400円 × 13% ^円 =		54,066																																			
(405,800)	(43,826)	(43,826)																																			
418,400円 × 216 ^円 × 1/2 =		45,187																																			
計	(156,368)	165,269																																			
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>積算内訳</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前調査</td> <td>1 月 (56)^円 (224) 4 × 1 × 57^円 = 228</td> <td>(405,800) (224) (30,300) 418,400円 × 236^円 × 1/3 = 32,914</td> </tr> <tr> <td>実施調査</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>作業監理</td> <td>3 × 1 × 62^円 = 186</td> <td>(405,800) (25,160) 418,400 × 186^円 × 1/3 = 25,941</td> </tr> <tr> <td>長期調査</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査実施</td> <td>3 × 8 × 9 = 216</td> <td>(405,800) (43,826) 418,400 × 216 × 1/2 = 45,187</td> </tr> <tr> <td>作業監理</td> <td>1 × 1 × 9 = 9</td> <td>(405,800) (12,17) 418,400 × 9 × 1/3 = 1,265</td> </tr> <tr> <td>アツアツ調査</td> <td>2 × 1 × 7 = 14</td> <td>(405,800) (18,94) 418,400 × 14 × 1/3 = 1,963</td> </tr> <tr> <td>地形図作成調査</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>作業監理</td> <td>(6) (12) 2 × 1 × 7 = 14</td> <td>(405,800) (12) (1,623) 418,400 × 12 × 1/3 = 1,953</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>(661) 675</td> <td>(104,020) 109,203</td> </tr> </tbody> </table>	区分	積算内訳	計	事前調査	1 月 (56) ^円 (224) 4 × 1 × 57 ^円 = 228	(405,800) (224) (30,300) 418,400円 × 236 ^円 × 1/3 = 32,914	実施調査			作業監理	3 × 1 × 62 ^円 = 186	(405,800) (25,160) 418,400 × 186 ^円 × 1/3 = 25,941	長期調査			調査実施	3 × 8 × 9 = 216	(405,800) (43,826) 418,400 × 216 × 1/2 = 45,187	作業監理	1 × 1 × 9 = 9	(405,800) (12,17) 418,400 × 9 × 1/3 = 1,265	アツアツ調査	2 × 1 × 7 = 14	(405,800) (18,94) 418,400 × 14 × 1/3 = 1,963	地形図作成調査			作業監理	(6) (12) 2 × 1 × 7 = 14	(405,800) (12) (1,623) 418,400 × 12 × 1/3 = 1,953	小計	(661) 675	(104,020) 109,203
区分	積算内訳	計																																			
事前調査	1 月 (56) ^円 (224) 4 × 1 × 57 ^円 = 228	(405,800) (224) (30,300) 418,400円 × 236 ^円 × 1/3 = 32,914																																			
実施調査																																					
作業監理	3 × 1 × 62 ^円 = 186	(405,800) (25,160) 418,400 × 186 ^円 × 1/3 = 25,941																																			
長期調査																																					
調査実施	3 × 8 × 9 = 216	(405,800) (43,826) 418,400 × 216 × 1/2 = 45,187																																			
作業監理	1 × 1 × 9 = 9	(405,800) (12,17) 418,400 × 9 × 1/3 = 1,265																																			
アツアツ調査	2 × 1 × 7 = 14	(405,800) (18,94) 418,400 × 14 × 1/3 = 1,963																																			
地形図作成調査																																					
作業監理	(6) (12) 2 × 1 × 7 = 14	(405,800) (12) (1,623) 418,400 × 12 × 1/3 = 1,953																																			
小計	(661) 675	(104,020) 109,203																																			

(553)
(单位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎		
				区分	積算内訳	計
農林業関係調査						
事前調査					(29) (20) $1 \times 1 \text{月} \times 32 \text{件} = 32$	(405,800) (11,768) $418,400 \text{円} \times 32 \text{件} = 13,389$
実施調査					$1 \times \frac{70}{30} \times 19 = 44$	(405,800) (17,855) $418,400 \times 44 = 18,410$
作業整理					$1 \times \frac{20}{30} \times 19 = 13$	(405,800) (5,275) $418,400 \times 13 = 5,439$
長期調査					$1 \times 8 \times 1 = 8$	(405,800) (3,246) $418,400 \times 8 = 3,347$
林業資源調査					$1 \times 1 \times 2 = 2$	(405,800) (11) (406) $418,400 \times 2 = 837$
写真撮影						
図化					$1 \times 1 \times 2 = 2$	(405,800) (11) (406) $418,400 \times 2 = 837$
小計					(96) 101	(38,956) 42,259
水産資源調査						
陸上調査					$2 \times 1 \times 3 = 6$	(405,800) (2,435) $418,400 \times 6 = 2,510$
沿岸調査					$2 \times \frac{75}{30} \times 3 = 15$	(405,800) (6,087) $418,400 \times 15 = 6,276$
海上調査					$1 \times \frac{120}{30} \times 3 = 12$	(405,800) (4,870) $418,400 \times 12 = 5,021$
小計					33	(13,392) 13,807
合計					(790) 809	(156,368) 165,269
(目) 水産資源調査委託費	(100) 100	100	0			

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
				調査旅費	現地調査費 ^①	資料採集運送費 (送料のみ ^②)	技術費	報告書作成費	計
(目) 調査業務実施費	(8,979,833) 8,979,833	9,576,798	596,965						
区 分									
事前調査	(26,544) 29,323	(3,138) 3,289	(1,708) 1,800	(87,416) 94,931	(4,396) 4,632	(123,200) 133,975			
実施調査	(544,980) 571,578	(92,256) 91,884	(127,720) 127,596	(5,199,444) 5,355,932		(608,524) 6,271,114			
長期調査	(31,033) 32,544	(29,472) 29,346	(53,400) 53,387	(164,961) 169,128		(290,878) 296,412			
アアアア調査	(3317) 3479			(8,743) 9,016		(14,039) 14,474			
光物図作成調査	(45,846) 56,098	(11,874) 13,804	(6,648) 7,742	(600,664) 708,631	(33,972) 39,634	(698,994) 825,909			
(一般調査小計)	(651,720) 693,022	(137,379) 138,964	(189,627) 190,671	(6,061,218) 6,337,638	(175,691) 181,589	(7,215,635) 7,541,884			
森林系開発調査 事前調査	(18,290) 21,152	(3,457) 3,776	(341) 376	(40,368) 45,888	(3,313) 3,656	(65,729) 74,848			
実施調査	(141,227) 148,105	(31,282) 31,145		(1,162,863) 1,178,665		(1,353,391) 1,385,914			
長期調査	(4,231) 4,438	(1,627) 1,621	(6,780) 6,777	(17,449) 17,989		(31,642) 32,380			
実証調査	(0) 10,885	(0) 8,676	(0) 11,090	(0) 46,852	(0) 4,060	(0) 81,563			

(555)
(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎		
				調査旅費	現地調査費 ^①	資料等運送費 (送料のみ ^②)
林業資源調査	(2,519)	(518)	(4,068)	(58,278)	(823)	(66,206)
写真撮影	5,284	1,034	8,133	117,604	1,645	133,700
四 化	(2,519)	(518)	(4,068)	(68,878)	(823)	(76,006)
	5,284	1,034	8,133	138,804	1,645	154,900
水産資源調査	(2,892)	(951)	(2,543)	(15,738)		(23,236)
沿岸調査	3,033	947	2,542	16,227	1,112	23,861
海上調査	(3,765)	(11,206)		(24,633)		(147,208)
	4,011	111,555	3,447	25,398	3,337	147,748
小 計	(175,423)	(150,369)	(29,212)	(1,378,207)	(30,997)	(1,764,198)
	202,192	159,798	48,463	1,587,427	37,044	2,034,914
合 計	(827,143)	(287,728)	(218,839)	(7,439,425)	(206,688)	(8,979,833)
	895,214	298,752	239,134	7,925,065	218,633	9,576,778

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎		
(技術費)						
区分	コンサルタント報酬	地質調査測量費	諸謝金	計	件数	合計
事前調査	(398,210) $410,560 \times 1^{\text{月}} \times 2.94 \times 4^{\text{人}} \times \frac{1}{3} = 1,609,395$ (1,660,993)			(1,561) 1,609	(56) 59	(87,416) 94,931
実施調査				(33,862) 36,386		(5,199,444) 5,355,932
調査実施	(398,210) $410,560 \times (2.4+2.3)^{\text{月}} \times 2.94 \times 10^{\text{人}} = 56,731,131$ (398,210) $410,560 \times 2^{\text{月}} \times 2.94 \times 10^{\text{人}} = 24,140,928$ (2,926,844)	$9,533,638 \times \frac{1}{4}$ $= 2,383,410$		(30,823) 33,254		
作業監理			$3,740 \times 6^{\text{人}} \times 5^{\text{回}}$ $= 112,200$	112		
報告書説明	(398,210) $410,560 \times 0.5^{\text{月}} \times 2.94 \times 5^{\text{人}} = 3,017,616$ (2,926,844)			(2,927) 3,018		
長期調査				(18,329) 18,792	9	(164,961) 169,128
調査実施	(398,210) $410,560 \times (0.5+8)^{\text{月}} \times 2.94 \times 3 \times \frac{1}{2}$ (14,926,902) $= 15,389,842$ (2,926,844)	$9,533,638 \times \frac{1}{3}$ $= 3,177,879$		(18,105) 18,568		
作業監理			$3,740 \times 6^{\text{人}} \times 10^{\text{回}}$ $= 224,400$	224		
丁度丁度調査	(398,210) $410,560 \times 1^{\text{月}} \times 2.94 \times 2 \times (\frac{1}{3} + \frac{1}{5})$ (1,248,987) $= 1,287,516$			(1,249) 1,288	7	(8,743) 9,016
地形図作成調査				(100,109) 101,233	(6) 7	(600,654) 708,631

(557)
(単位：千円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎		
区分	コンサルタント報酬		地質調査測量費	諸謝金	計	件数	合計
調査実施	(315,600) 325,700 × (0.5 + 3 + 1) × 2.9% × 3人 = (33,403,104) 34,672,038		3,814/1km ² × 17,000 km ² = 64,838,000		(98,241) 97,310		
作業監理				112,200	112		
報告書説明	(398,210) 410,560 × 0.5 × 2.9% × 3人 = (1,756,106) 1,810,570				(1,756) 1,811		
小計						(140) 144	(6061,218) 6,337,638
森林関係調査 事前調査	(465,480) 479,910 × 3% × 1.6 × 2.9% = (1,368,511) 1,410,935		丁-ツ写真購入 1050 × 4枚 × 3種 × 1/5 = 2,520 解折 8760 × 3種 × 1/2 = 5,266 木外観カラー写真 8,140 × 3 × 2 × 1/5 = 15,768 計 23,544		(1,392) 1,434	(29) 32	(40,368) 45,888
実施調査 調査実施	(465,480) 479,910 × (8 × 70/30 + 8 × 50/30) × 2.9% = (43,792,358) 45,149,933		農業現場調査 1,130 × 10,000ha × 1.2 = 13,560,000 農業撮影 140 × 10,000ha × 1.2 = 1,680,000 農業図化 440 × 10,000ha = 4,400,000 林業撮影 140 × 100,000ha × 1.2 = 16,800,000 林業成果品 25 × 100,000ha × 1.2 = 3,000,000 林業解折 42 × 100,000ha × 1/2 = 2,100,000 林業現地刺針 120 × 100,000ha = 12,000,000 林業図化 140 × 100,000ha = 14,000,000 計 67,540,000 × 1/4 = 16,885,000		(60,677) 62,035	19	(1,152,863) 1,178,665

事項及び科目		前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎		
区分	コンサルタント報酬		地質調査測量費	諸謝金	計	件数	合計
長期調査 調査実施	(465,480) $479,910 \times (25+8) \times 2.94 \times 3 \times \frac{1}{2}$ $(17,448,518)$ = 17,989,426				(17,449)	1	(17,449)
実証調査	(0) $664,000 \times (3 \times \frac{50}{30} + 3 \times \frac{50}{30}) \times 2.94$ = 46,851,840				(0)	(0)	(0)
林業資源調査 写真撮影	(465,480) $479,910 \times (4 \times \frac{30}{30} + 5 \times \frac{50}{30}) \times 2.94$ $(16,878,305)$ = 17,401,537		撮影 140 × 200,000ha = 28,000,000 成実后 25 × 200,000ha = 5,000,000 解折費 42 × 200,000ha = 8,400,000 計 41,400,000		(58,278)	(1)	(58,278)
図 化	(465,480) $479,910 \times (4 \times \frac{30}{30} + 5 \times \frac{50}{30}) \times 2.94$ $(16,878,305)$ = 17,401,537		現地刺針 120 × 200,000 = 24,000,000 図 化 140 × 200,000 = 28,000,000 計 52,000,000		(68,878)	(1)	(68,878)
小 計						(51)	(1,337,836)
水産資源調査 沿岸調査	(465,480) $479,910 \times (1 \times \frac{75}{30} + 2 \times \frac{20}{30}) \times 2.94$ $(5,246,960)$ = 5,408,586				(5,246)	3	(15,738)
海上調査	(465,480) $479,910 \times (\frac{20}{30} + \frac{60}{30}) \times 2.94$ $(8,211,067)$ = 8,465,612				(8,211)	3	(24,633)
小 計						6	(40,371)
合 計						(197)	(7,439,425)
						207	7,925,065

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
2. プロジェクト研究に必要な経費	(38,740) 38,740	40,082	1,342					
(目) プロジェクト研究費	(38,740) 38,740	40,082	1,342					
内訳 調査旅費				$(6,504)$ 1. $6,725 \times 4 \text{件} = 26,900$ $(26,016)$ $(368,710)$ $381,250 \text{円} \times 6 \text{人} \times 2.94 = 6,725,250 \text{円}$ $(6,362)$ 2. $6,591 \times 2 \text{件} = 13,182$ $(12,724)$				
航空賃	支度料	日当	宿泊料	旅行雑費	国内旅費	小計 $\times 1.104 \times 0.95$	人員	計
256,410	47,967	$1426 \times 30 \text{日} = 42,780$	$4,487 \times 29 \text{泊} = 130,123$	1,496	14,050	(493) 517	4	(1,972) 2,068
現地調査費								
通訳機上費	車輦等機上費	通信連絡費	機材等運送費	資機材購入費	会議費	小計	外貨交換手数料(1%)	計 $\times \frac{232}{229} \times 0.927129$
$2,960 \times 15 \text{日} \times 1 \text{人}$ = 44,400	$3,600 \times 10 \text{日} \times 1 \text{台}$ = 36,000	$75 \times 30 \text{通} \times 3 \text{回}$ = 6,750	$600 \times 10 \text{kg}$ = 6,000	$12,400 \times 10 \text{kg}$ = 12,400	$12,400 \times 10 \text{人} \times 2 \text{回}$ = 24,800	130,350	1,304	129

(560)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和60年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
技術費				
コンサルタント報酬				計
(396,470)			(3,885,406)	3,885
$209,950 \times (0.5 + 1 + 1) \text{月} \times 2.94 \times 4 \text{人} \times \frac{1}{3} = 4,017,510$				4,018
報告書作成費				
原稿料・審査料		印刷製本費		報告書作成諸費
計		計		計
$1,590 \times 100 \text{枚} \times \frac{1}{2} = 79,500$		$5,080 \times 100 \text{部} \times \frac{1}{2} = 254,000$		42,280
				計 6,591
				合計 1+2 (38,740)
				40,082